

島々の誇りと個性がきらめき 大自然と文化と暮らしが響きあう町



竹富町総合計画 第10次基本計画

竹富町デジタル田園都市構想総合戦略

《 別冊(資料編) 》

令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度)



目 次

I. 人口の現状及び将来の展望.....	1
1 人口の現状分析	2
2 人口の将来展望	15
II. 竹富町に関する基本情報	19
1 統計データ	20
2 財政情報	37
3 社会基盤施設	40
4 竹富町の計画	45
III. 前期基本計画（第9次基本計画）の取り組み結果	47
1 竹富町総合計画第9次基本計画.....	48
2 第2次竹富町海洋基本計画	66
3 竹富町男女共同参画推進プラン	71
IV. 町民アンケート結果	73
V. 高校生アンケート結果.....	105
VI. 作業部会での議論	115
1 施策候補・課題リスト	116
2 議論の結果.....	120

I . 人口の現状及び将来の展望

1 人口の現状分析

(1) 人口動向分析

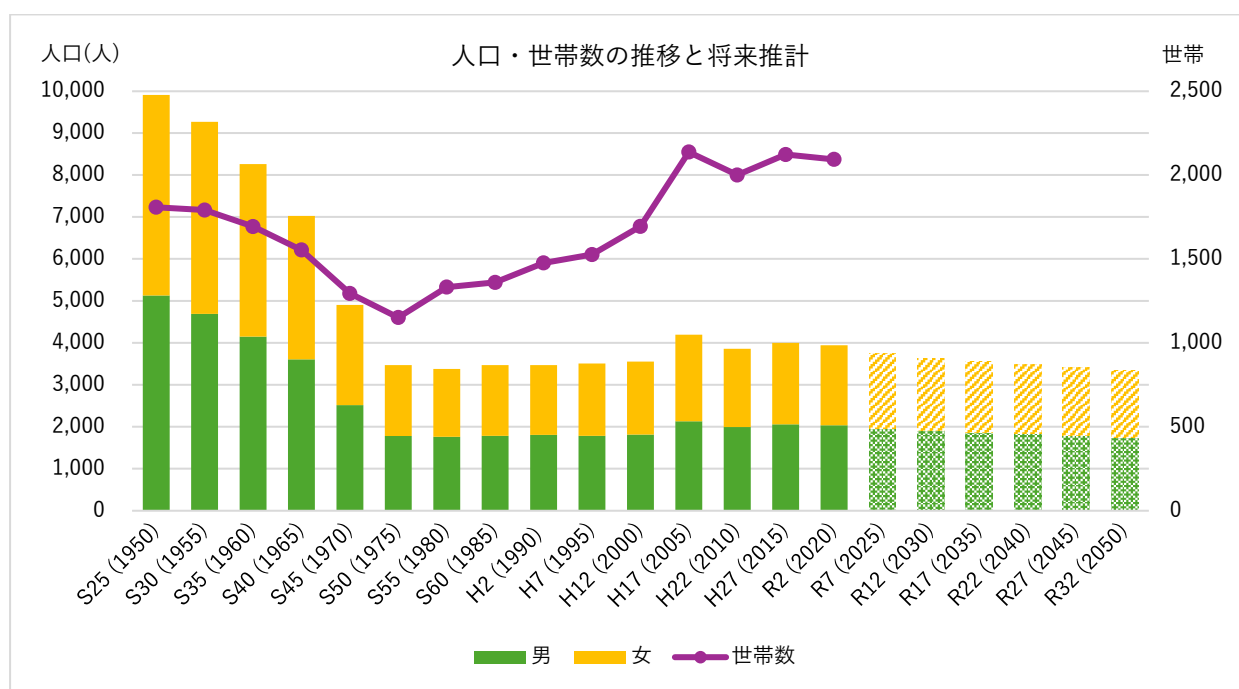
1. 時系列による人口動向分析

① 総人口・世帯数の推移と将来推計

5年ごとに実施される国勢調査によると、本町の人口は、町制施行時の昭和25（1950）年9,908人をピークとして高度成長期に急減しました。昭和55（1980）年に3,376人まで落ち込んだ後、平成12（2000）～平成17（2005）年の間に急増して4千人台を回復し、その後もほぼその規模を維持しています。

今後、人口は徐々に減少し、2050年には令和2（2020）年の85%程度になるという予測です。

世帯数は人口減少に伴って昭和50年に底を打ち、その後増加し続けています。1世帯あたりの人口は一貫して減少しており、単身世帯の増加を示しています。平成17（2005）年には2人を割り込みました。

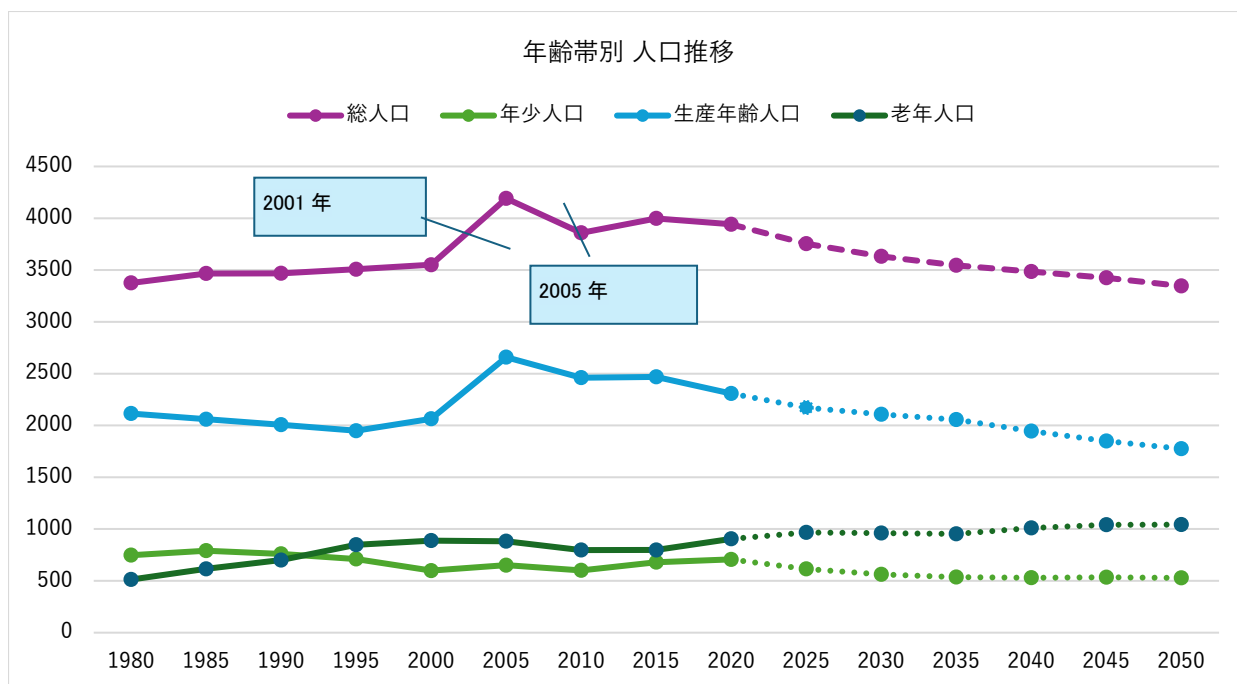


出典：昭和25年～令和2年 国勢調査

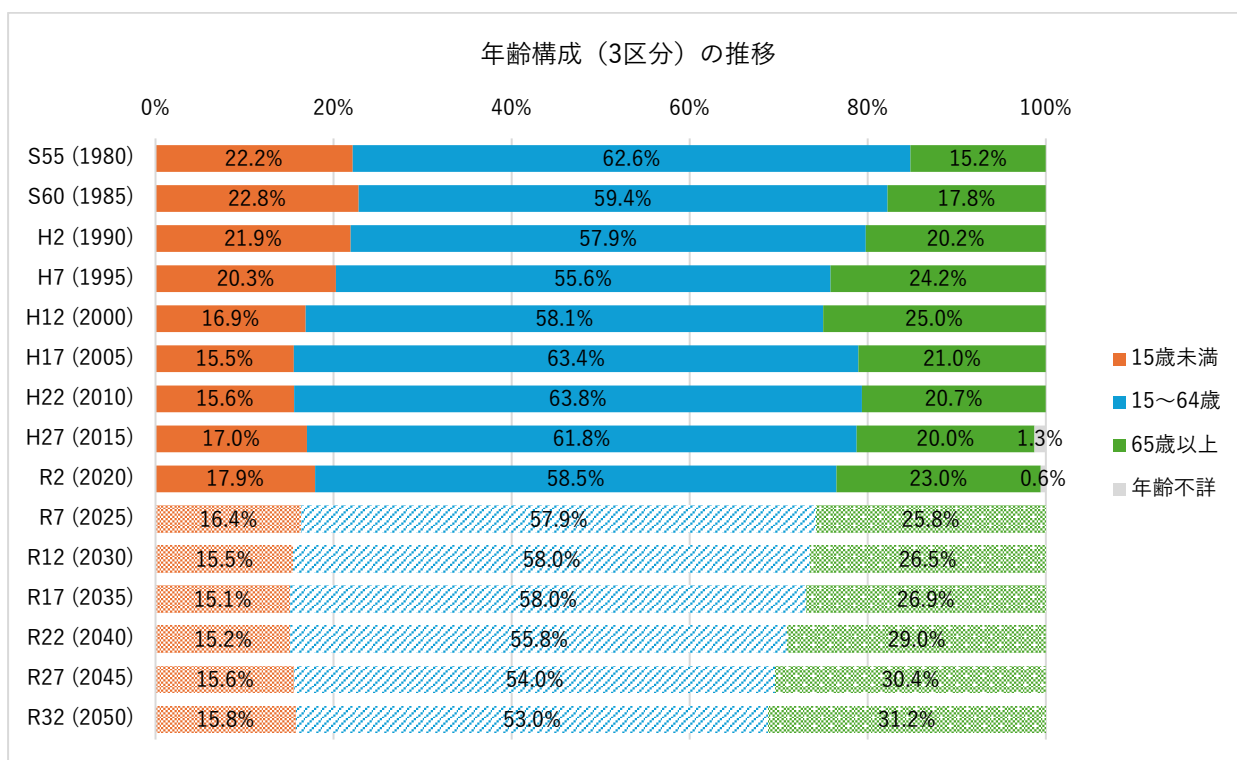
2025年～2050年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

② 年齢階級別人口の推移と将来推計

平成12（2000）年まで少子高齢化の傾向が見られましたが、2000～2005年の間に生産年齢人口が急激に増えました。その後は再び少子高齢化がじわじわと進んでおり、今後も確実に高齢化が進んでいくとの推計です。年少人口は横ばいで、生産年齢人口の割合が減少していくと予測されています。

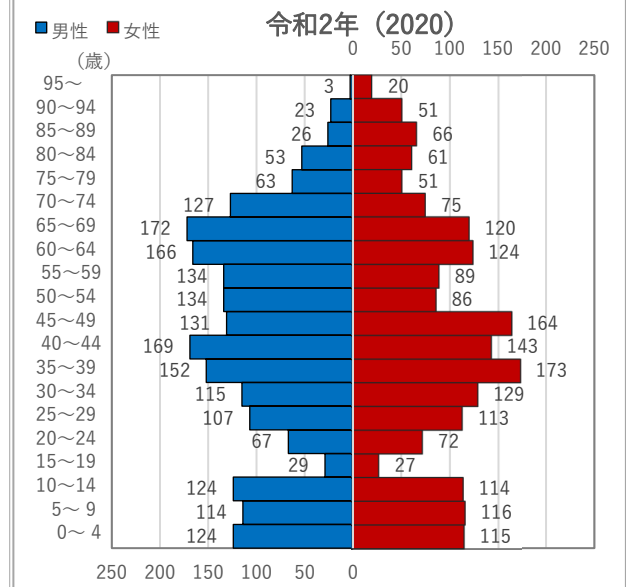
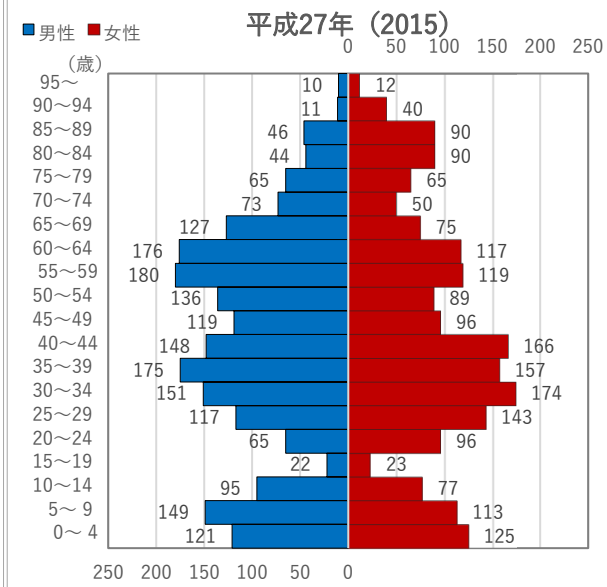
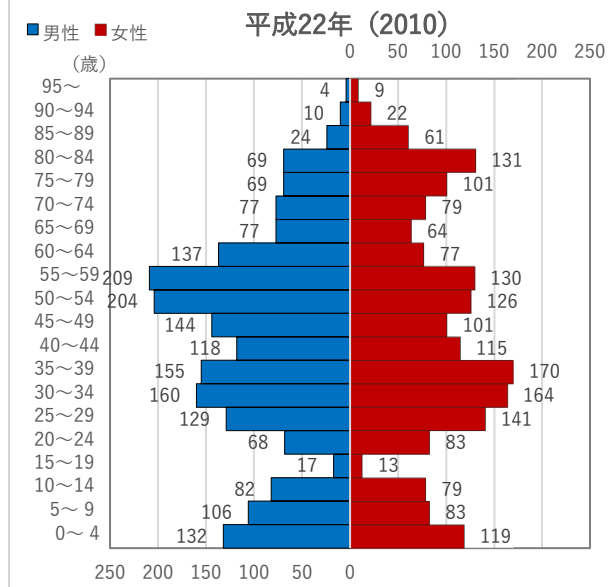
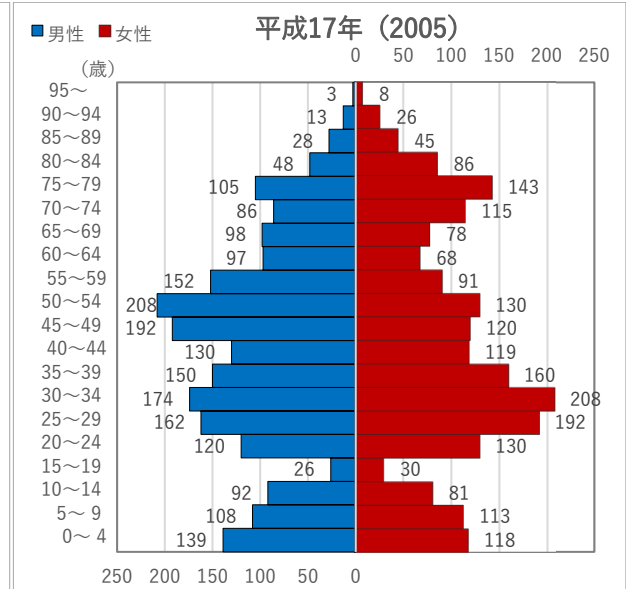
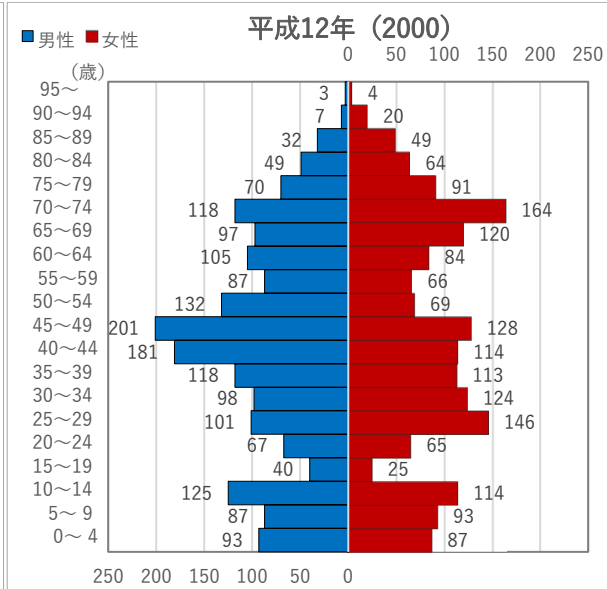
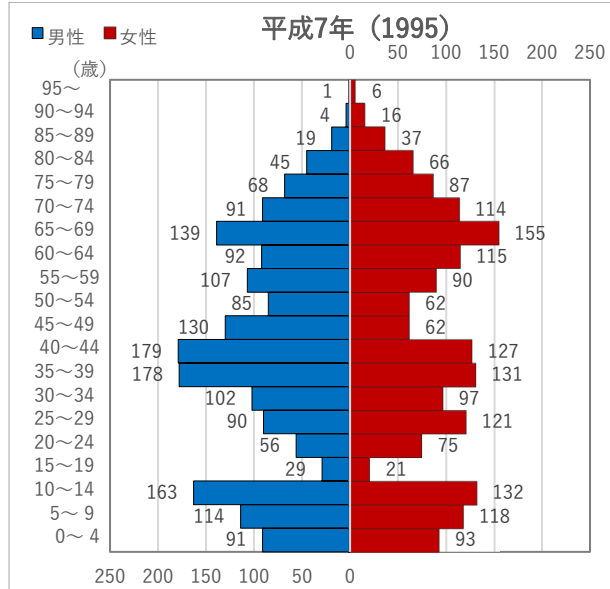


出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 ※2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値



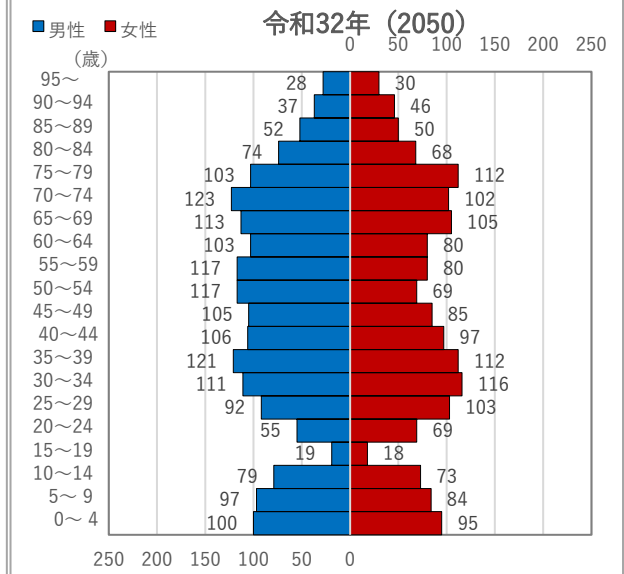
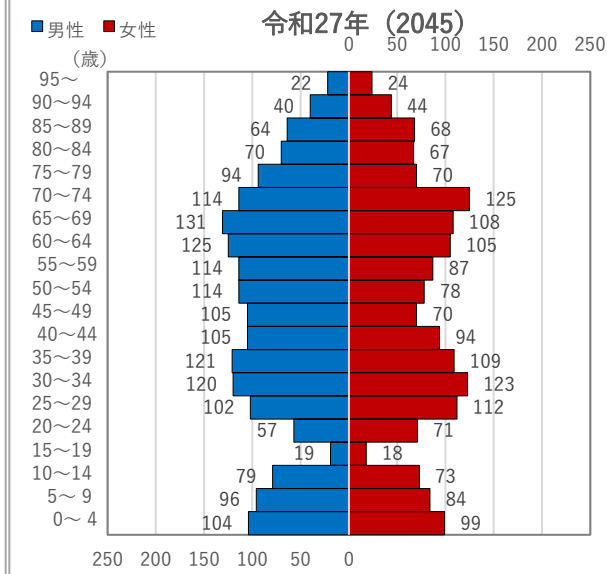
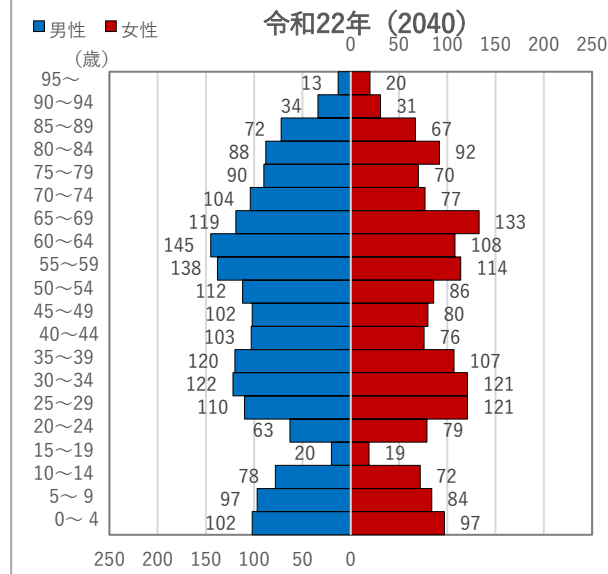
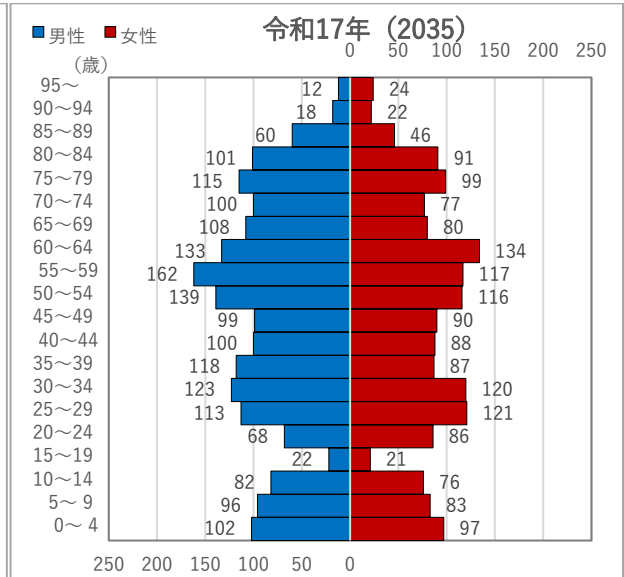
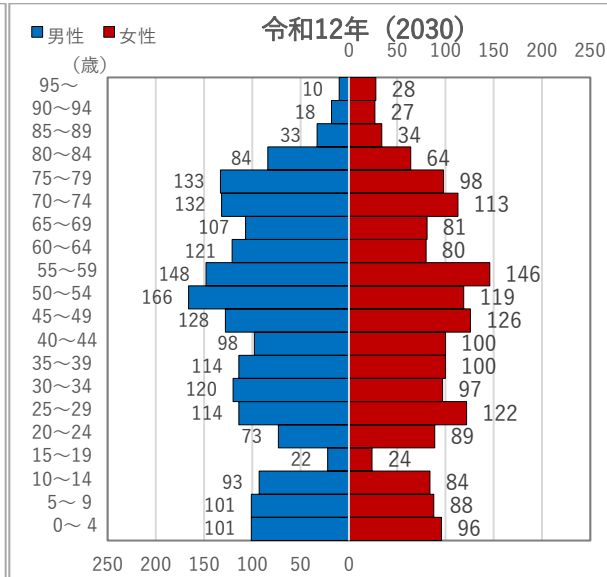
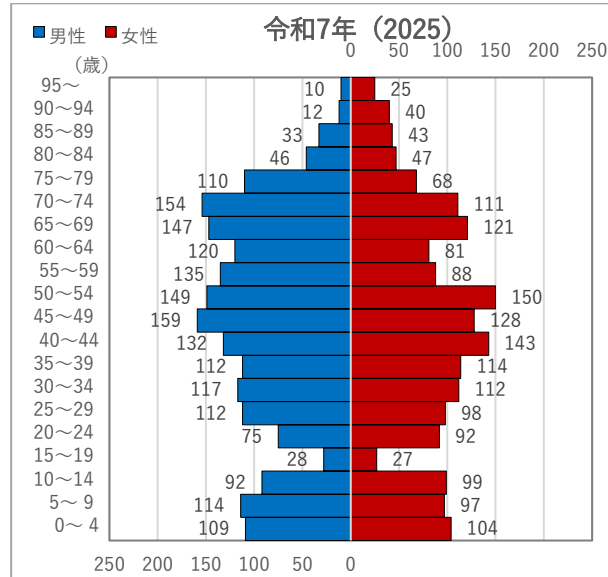
出典：昭和25年～令和2年 国勢調査
 2025年～2050年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

5 歳階級別人口



出典：令和2年国勢調査

5 歳階級別 将来人口



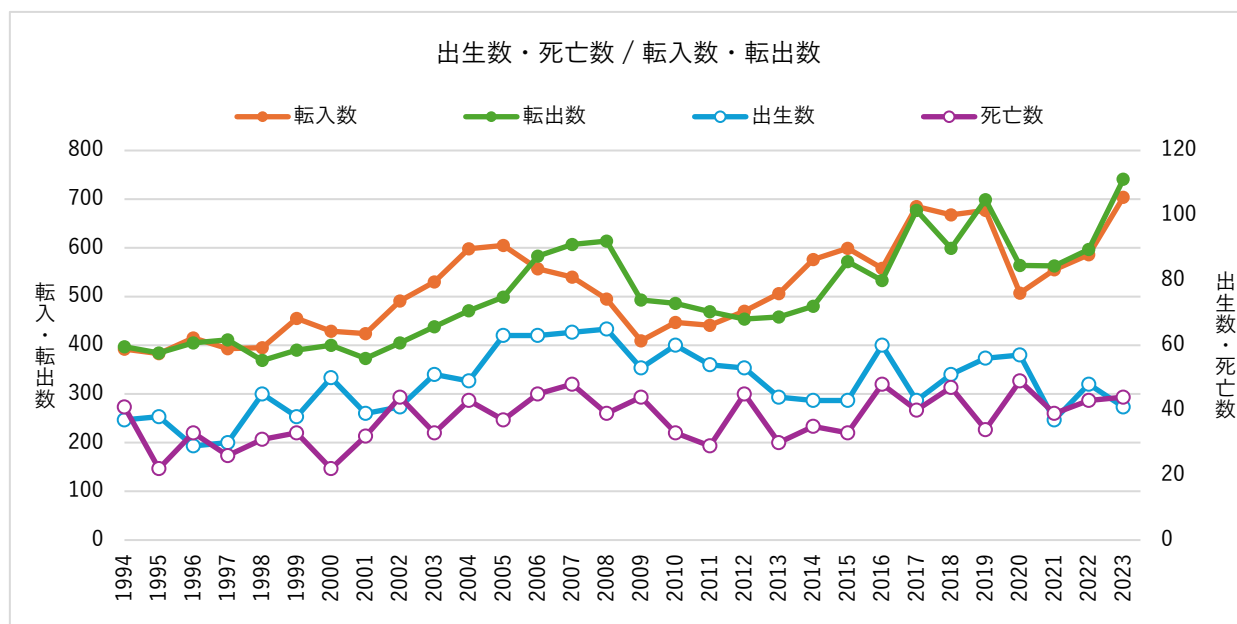
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

③ 出生・死亡、転入・転出の推移

本町は、社会増減（転入・転出）が激しく、人口増減とほぼ同期しているのが特徴です。

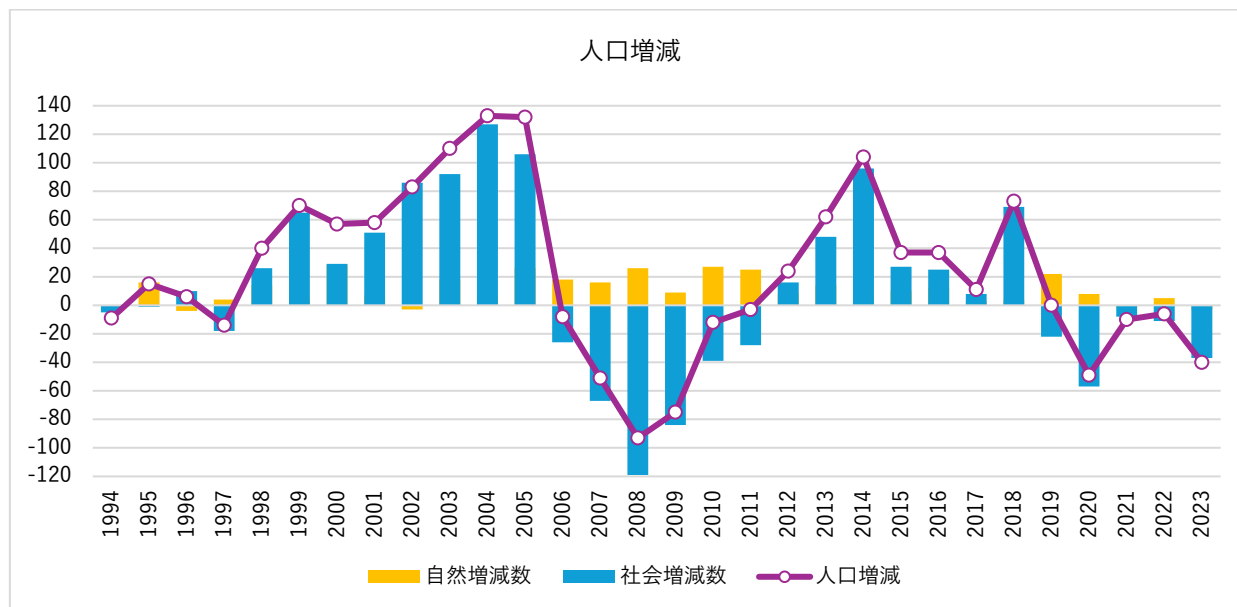
2000～2005 年に見られる人口増スパイクは、人口ピラミッドと下図から、20 代～30 代前半が中心で、特に女性が多かったことが確認できます。下図では、転入数の後を転出数が追いかけるような形が読み取れますが、人口ピラミッドを見るとある程度の人は町内に留まっていると見受けられ、この女性たちの存在がこの 15 年間の出生数を維持できた要因である可能性があります。

自然増減（出生・死亡）は、2021 年、2023 年にマイナスとなっています。コロナ禍の影響が濃いと考えられますが、今後注意深く見守る必要があります。



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※2012 年までは年度データ、2013 年以降は年次データ。2011 年までは日本人のみ、2012 年以降は外国人を含む数字。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※2017 年までは日本人のみ、2018 年からは外国人を含む

		自然増減			社会増減			増減数 (A)-(B)
		出生数	死亡者数	計 (A)	転入者数	転出者数	計 (B)	
平成 21 年度	2009	53	44	9	409	493	-84	-75
平成 22 年度	2010	60	33	27	447	486	-39	-12
平成 23 年度	2011	54	29	25	441	469	-28	-3
平成 24 年度	2012	53	45	8	470	454	16	24
平成 25 年	2013	44	30	14	506	458	48	62
平成 26 年	2014	43	35	8	576	480	96	104
平成 27 年	2015	43	33	10	599	572	27	37
平成 28 年	2016	60	48	12	558	533	25	37
平成 29 年	2017	43	40	3	685	677	8	11
平成 30 年	2018	51	47	4	668	599	69	73
平成 31 年	2019	56	34	22	677	699	-22	0
令和 2 年	2020	57	49	8	507	564	-57	-49
令和 3 年	2021	37	39	-2	555	563	-8	-10
令和 4 年	2022	48	43	5	586	597	-11	-6

出典：沖縄県ホームページ「住民基本台帳人口の概況：人口動態

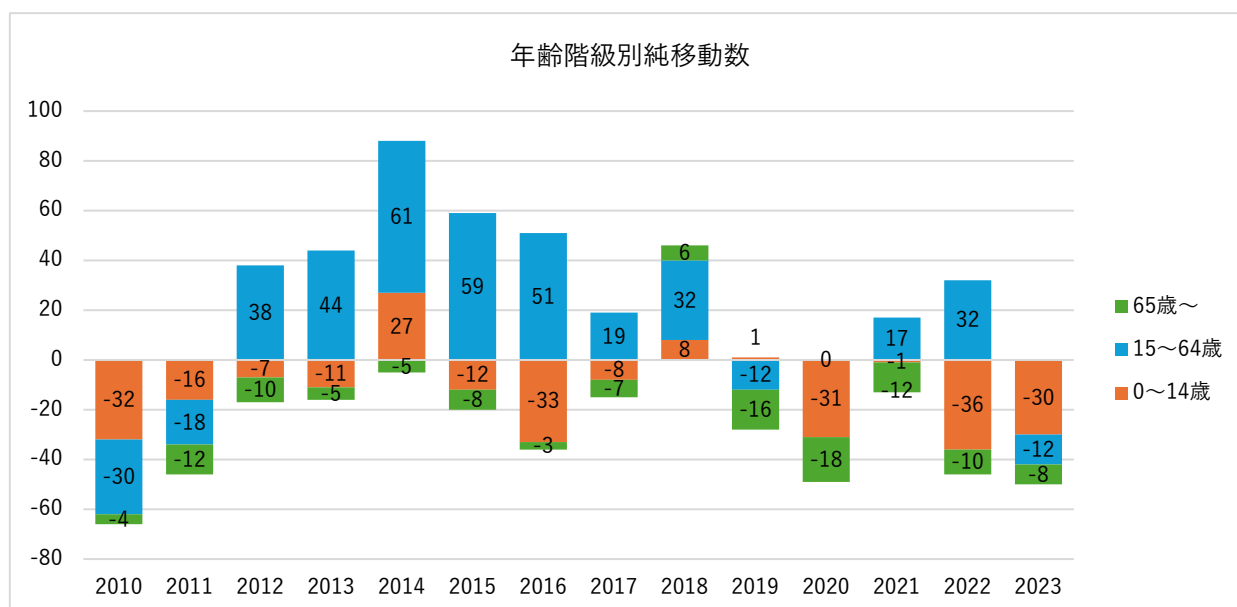
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/shinko/1016703/1016705/1016773/1022611/1016804.html>

2. 人口移動に関する分析

① 年齢階級別の人口移動の状況

転入は主に生産年齢人口、転出は主に年少人口と老年人口という構図が見えます。

年少人口はいわゆる「15 の島立ち」で多くが町外へ出ますが、このデータは住民基本台帳ですので、子どもだけが進学等のために町外へ出るというケースは年少人口の転出超過の理由には該当しません。したがって、子どものいる世帯が流出しているということになります。



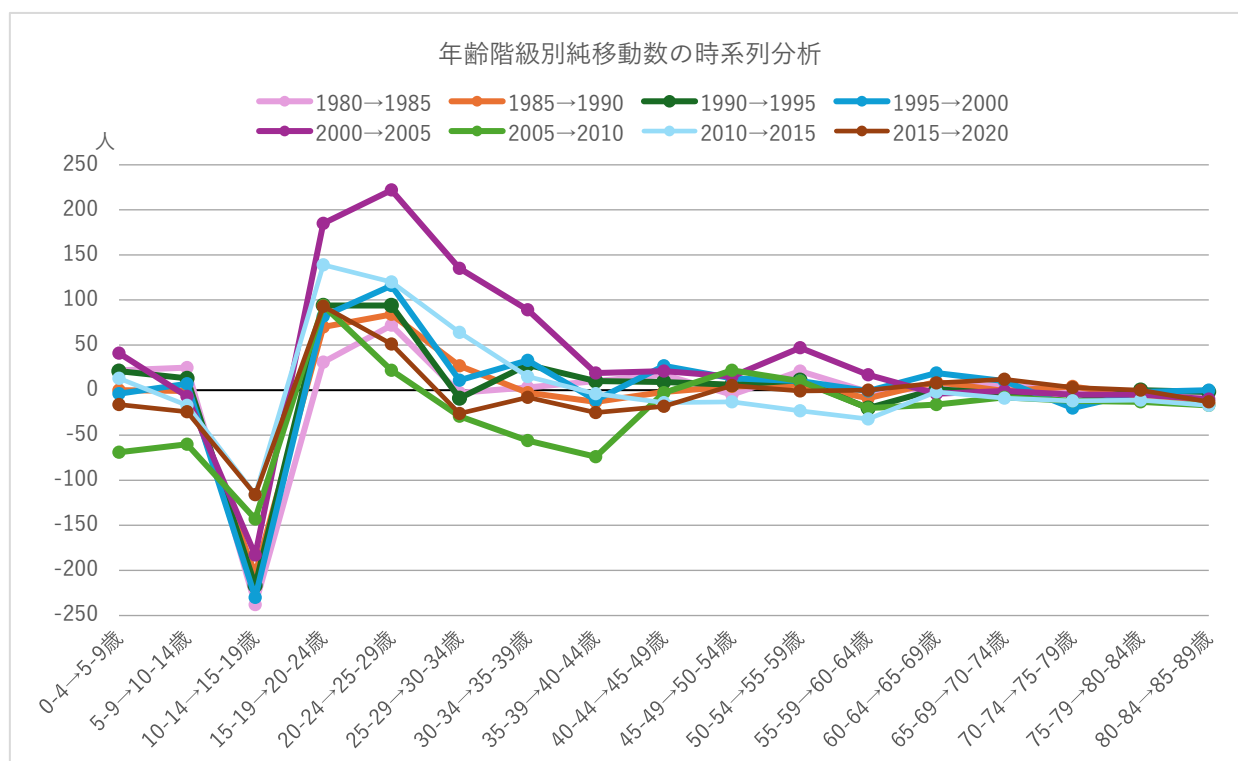
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※2017 年までは日本人のみ、2018 年からは外国人を含む

② 年齢階級別人口移動の動向

このグラフのデータは国勢調査を基にしているため、10～14 歳→15～19 歳の落ち込みは、「15 の島立ち」によるものと推察されます。社会増の主役となっているのは 20 代で、年代が上がるほど落ち着いてくる傾向です。社会増減のうち、どの程度が 15 歳で島立ちした子どもたちなのか、いつ、どのくらいの人が島に戻ってきているのかは不明です。

2000 年→2005 年はブームのように転入が多く、50 代、60 代でも明らかなプラスがありましたが、逆に 2005 年→2010 年は総じてマイナスで、特に子育て世代の転出傾向が目立ちます。それ以外の期間ではあまり大きな違いは見受けられません。



出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

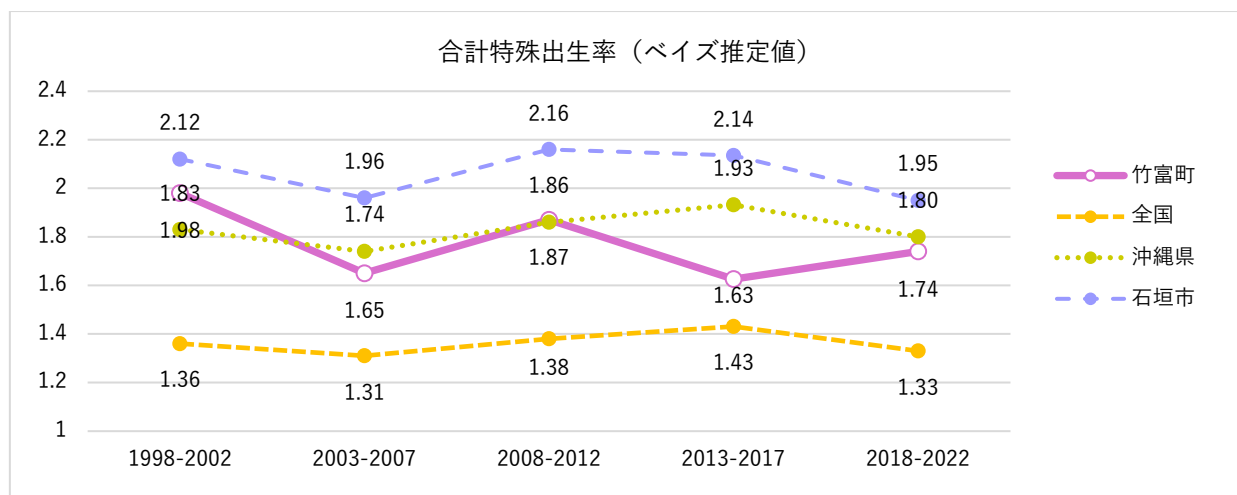
3. 出生に関する分析

① 出生率

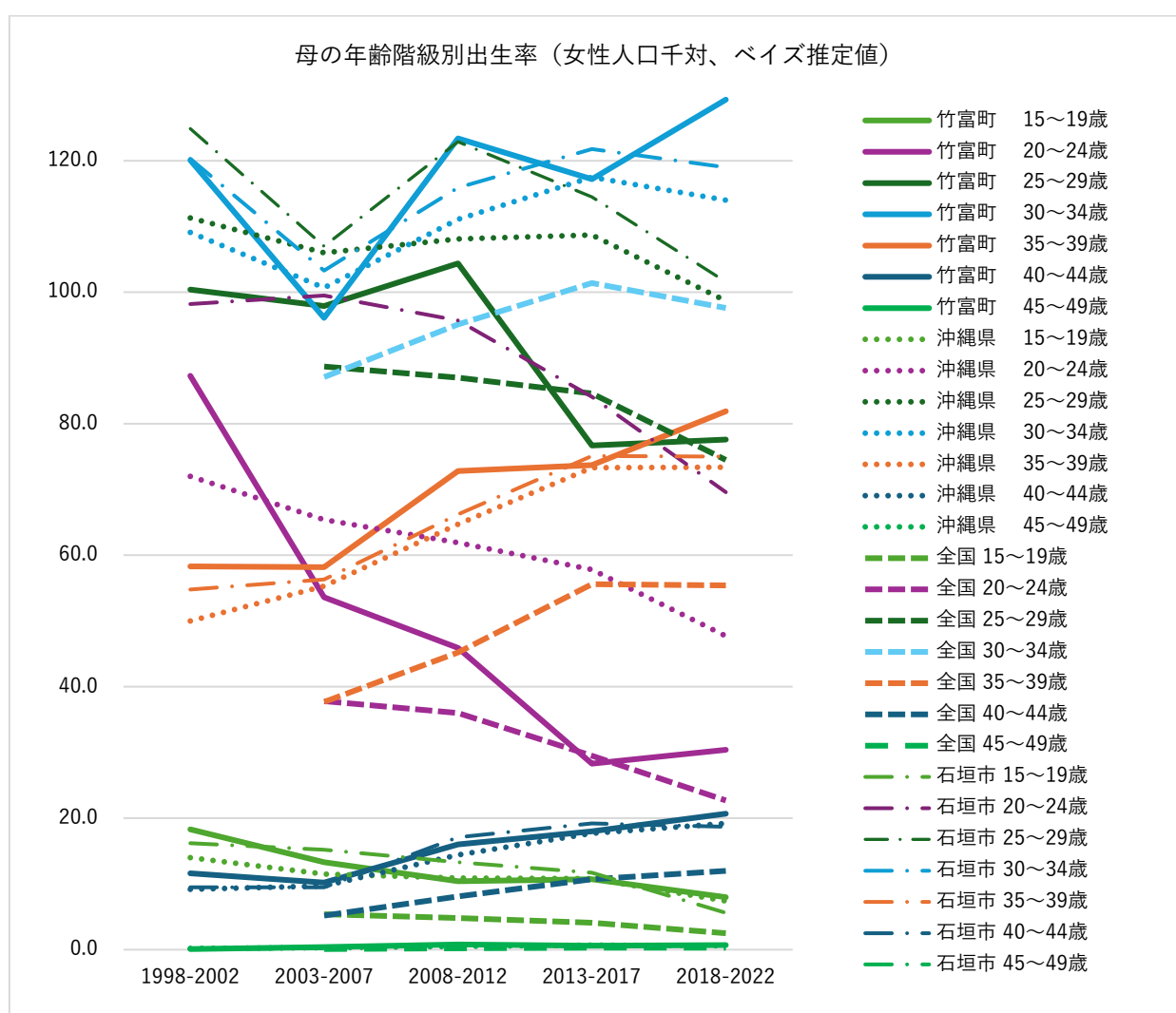
本町の特徴を明確にするため、参考値として、全国、沖縄県、石垣市の値を示します。

竹富町の出生率は全国値よりは高いものの、沖縄県全体とほぼ同程度で、石垣市に比べるとかなり低くなっています。

母の年齢階級別の動向を見ると、竹富町は 20～24 歳■、25～29 歳■の出生率が急落しており、それに代わるように 30～34 歳■、35～39 歳■が増加傾向にあります。全国、沖縄県、石垣市も同様の傾向ではありますが、竹富町では特に 20 代の変化が著しく、2013-2017 年では全国値を下回りました。高い出生率を示している石垣市とは、特に 20～24 歳■で差が大きくなっています。



出典：人口動態統計特殊報告 人口動態保健所・市区町村別統計



出典：人口動態統計特殊報告 人口動態保健所・市区町村別統計

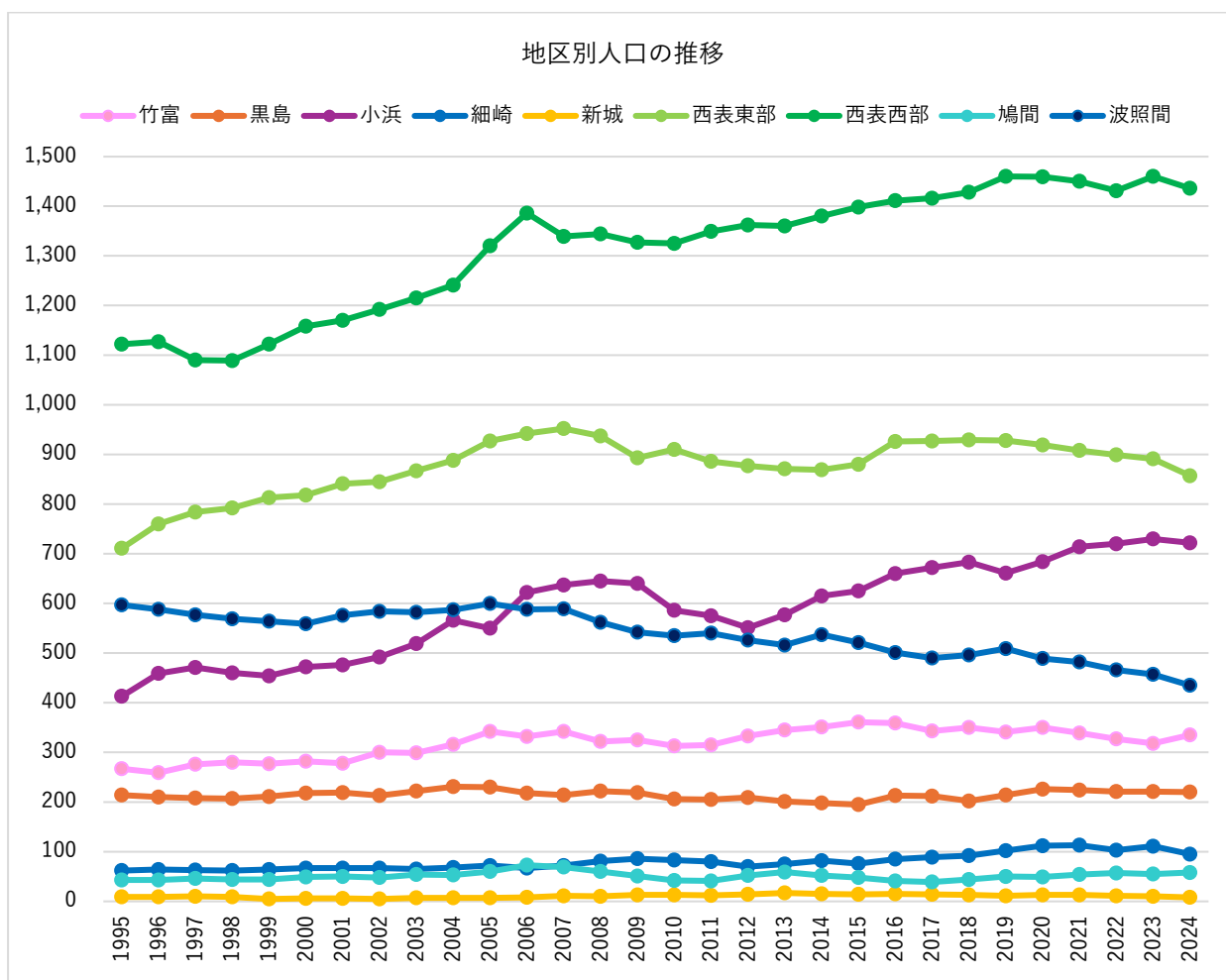
* 合計特殊出生率（ベイズ推定値）：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。また、ある地域で出生数や死亡数が少ない場合、数値が大幅に上下するため、出生、死亡の動向を把握することが一般に困難です。そこで、より広い地域のデータとその地域固有のデータを総合して、その地域の合計特殊出生率、標準化死亡比を推定することで、安定的な推定をおこなうことができます。これがベイズ推計です。

4. 地区別の分析

① 地区別人口の推移

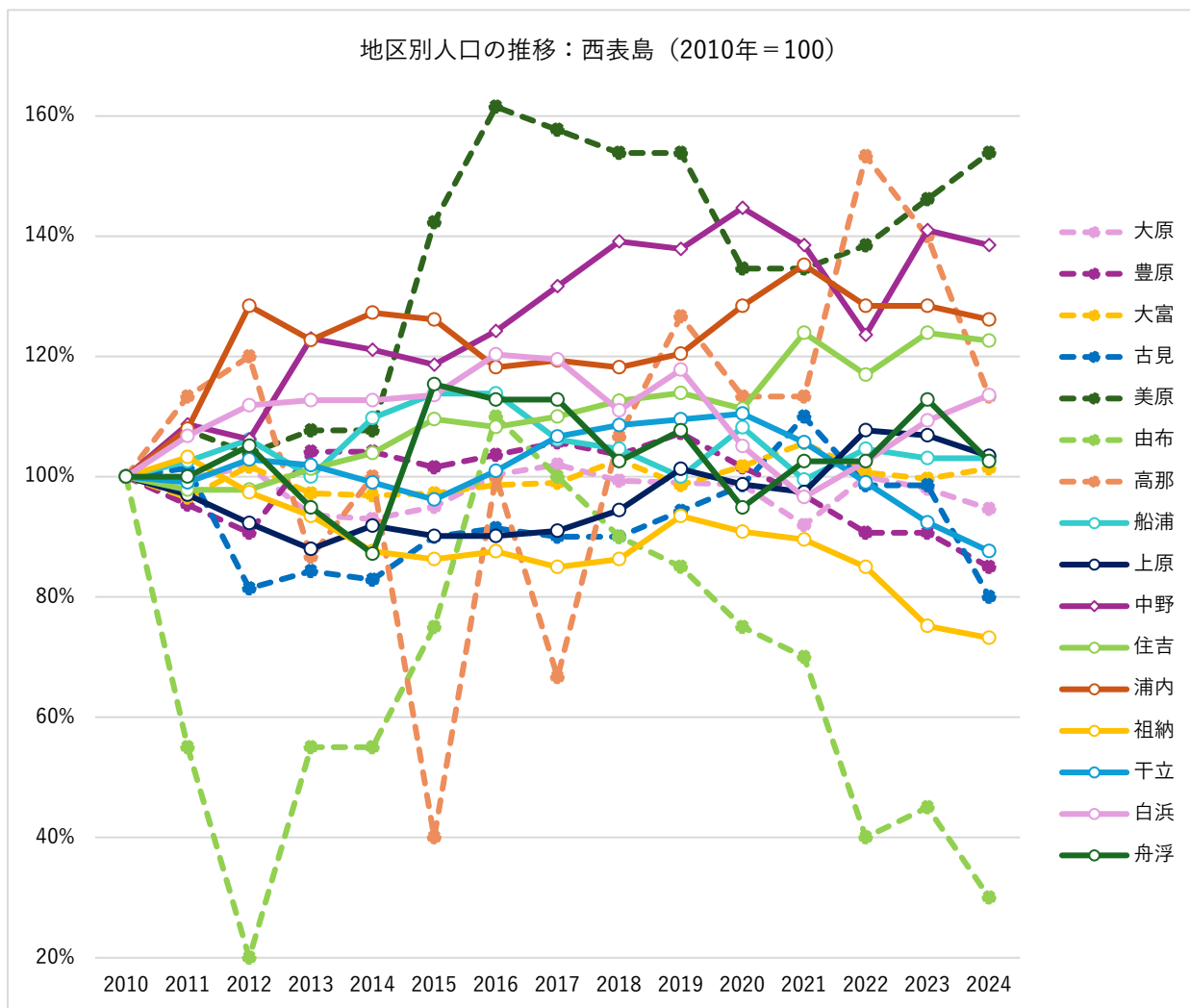
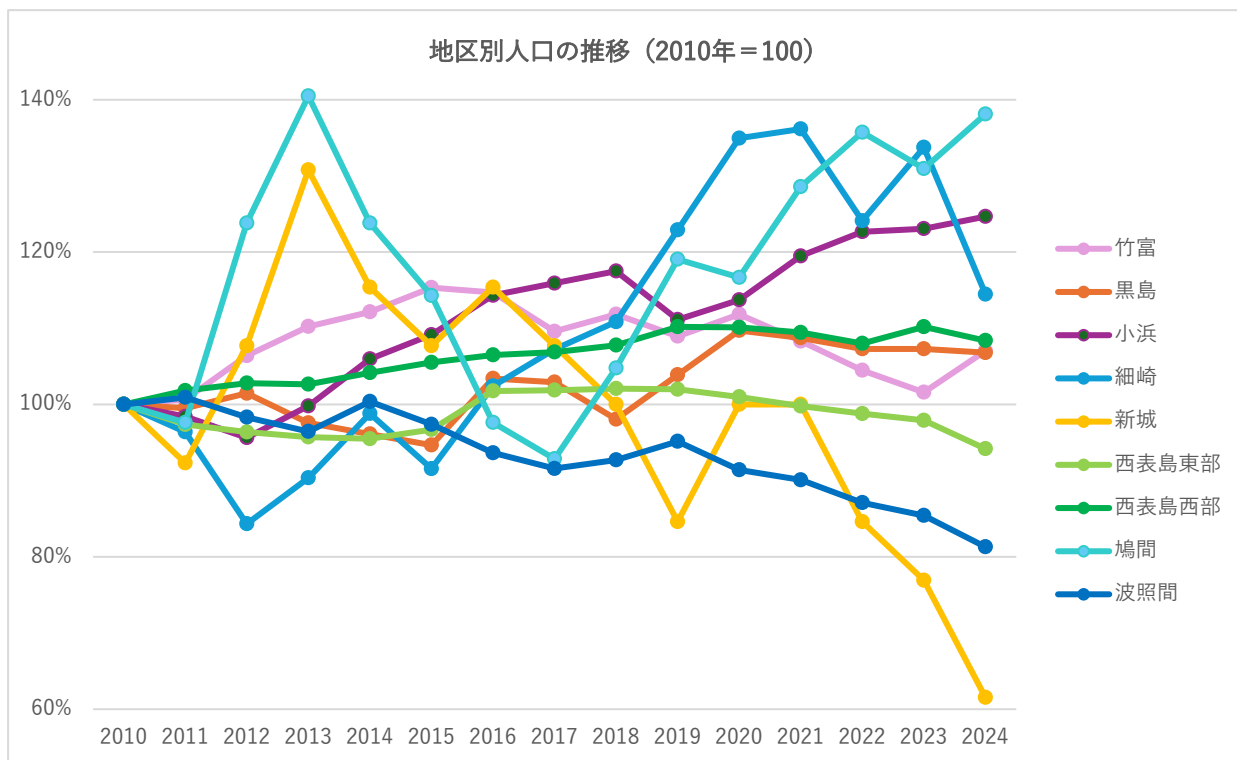
小浜島では、勢いは過去のものほどではありませんが、増加傾向が続いています。西表島西部では増加傾向が続いていましたが、最近では頭打ちのような状況となっています。波照間島、西表島東部は減少傾向にあります。そのほかの地区は、ほぼ横ばいが続いています。

もう少し詳しく見るために、2010 年を基準としてこの 15 年間の人口増減の累積をグラフにすると、祖納、新城、波照間で一貫して減少傾向にあります。



出典：「竹富町地区別人口動態票」

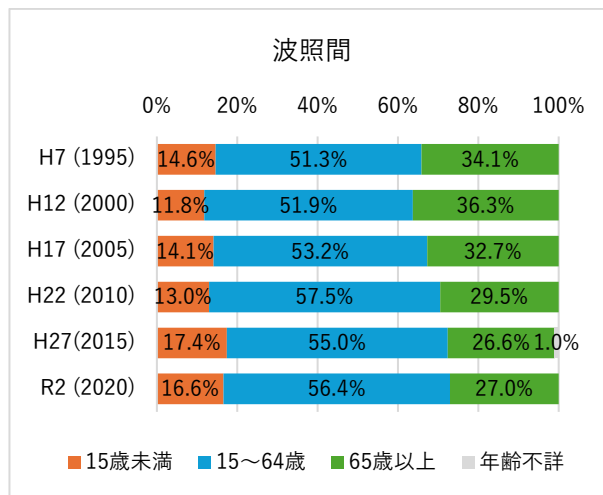
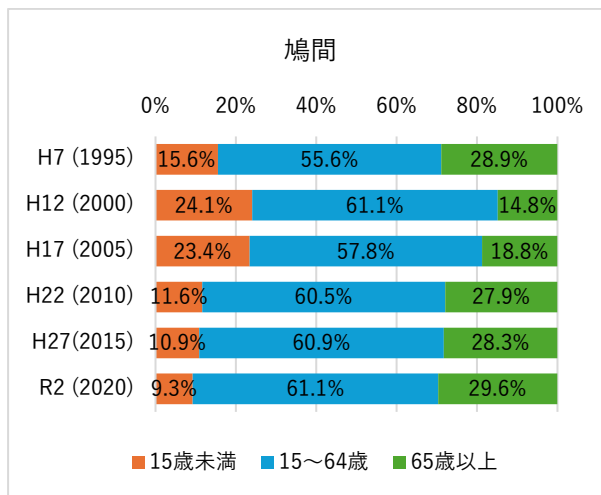
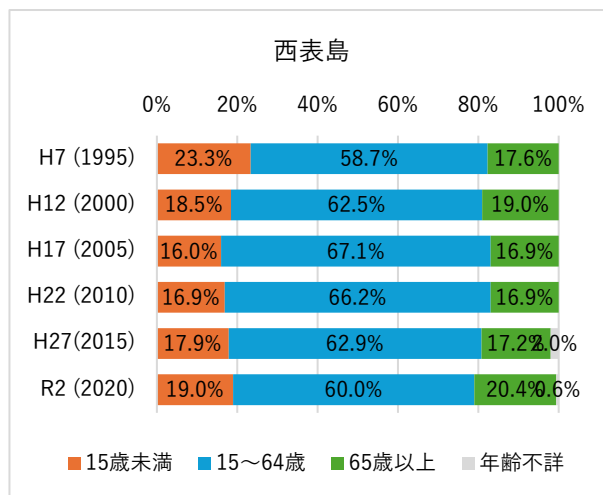
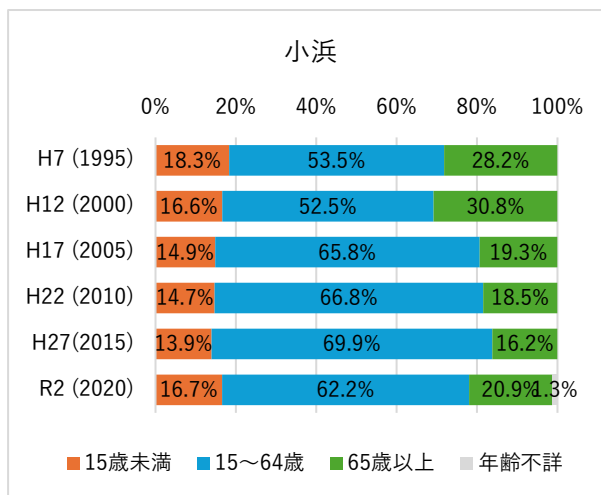
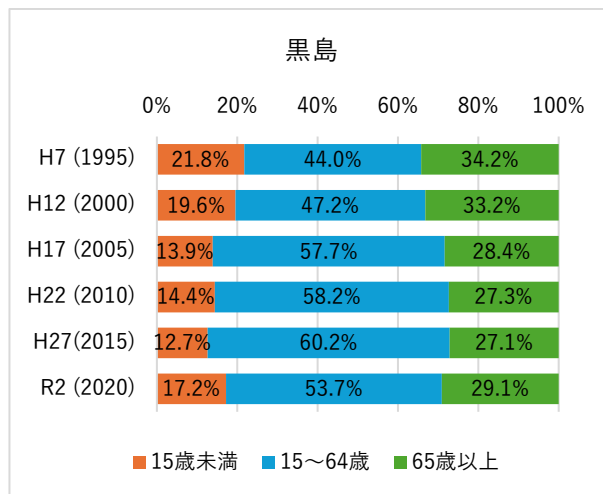
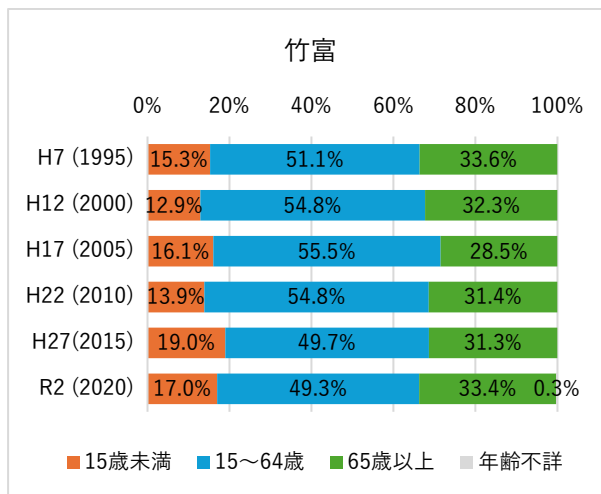
※各年 3 月末時点、日本人のみ



出典：「竹富町地区別人口動態票」各年3月末時点、日本人のみ

② 地区別年齢構成の推移

竹富島は老年人口の割合が比較的高く、その分生産年齢人口が少なくなっています。比較的老年人口が少ないのは小浜島、西表島です。西表島は年少人口と生産年齢人口の割合が高めになっています。小浜島は生産年齢人口の割合が高めですが、年少人口の割合が減少傾向にあります。



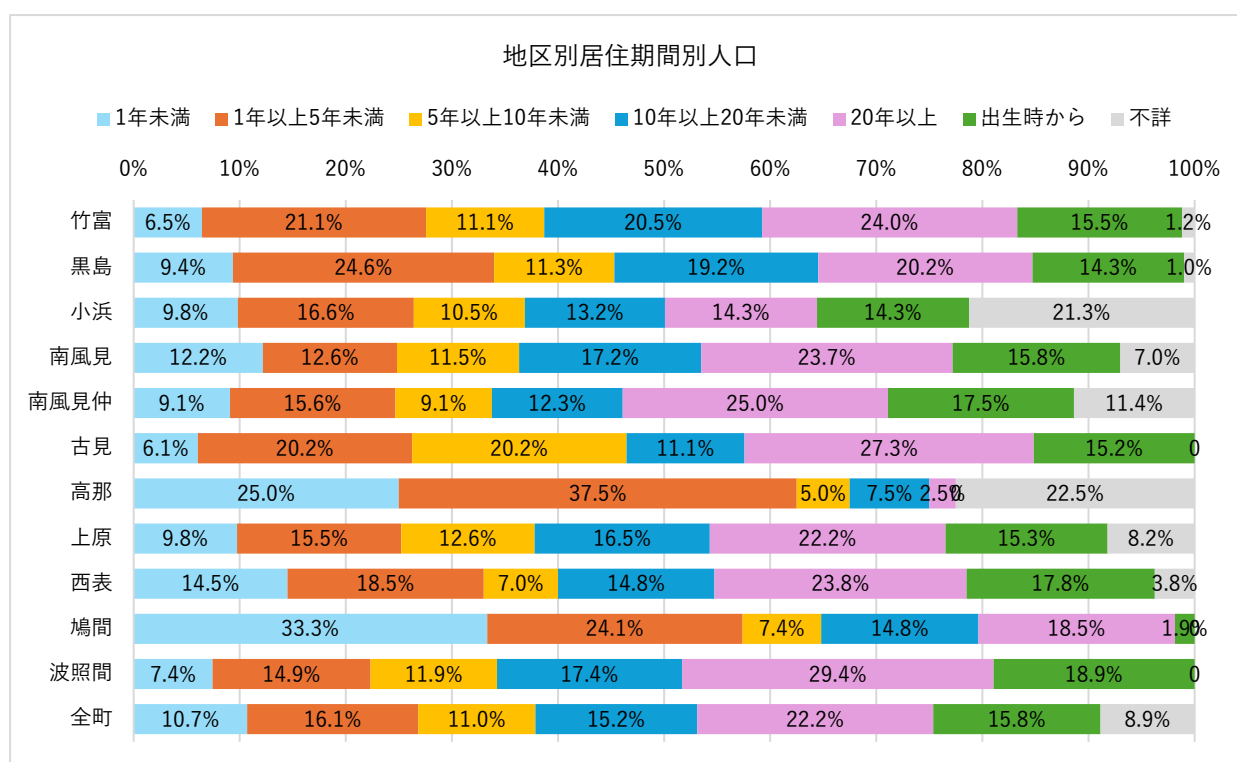
出典：平成7年～令和2年 国勢調査 ※新城は黒島に含む

③ 地区別居住期間別人口

出生時から住んでいる人の割合が高いのは、波照間、西表、南風見仲です。出生時からの居住者を除き、10年以上居住している人、すなわちその土地に定着した人の割合が多いのは、波照間、竹富、南風見です。波照間は他の地域に比べて居住期間が短い人が少なく、人口も減少しているため、社会減が続いていると推察されます。竹富も居住期間が短い人が少ないですが、人口は横ばいで、人の入れ替わりがあまりないと推察されます。

小浜、高那は「不詳」が多くなっています。これらの地域は、後述する住居の所有形態別世帯数で「住居以外」（寮など）に住んでいる世帯が非常に多い（小浜 36.7%、高那 70.3%）のも特徴です。また小浜は、長く居住している人の割合が他地域に比べて少ない状態です。

高那、鳩間は人の入れ替わりが多い地域です。鳩間は人口が少なく、小中学校の教員の転勤による現象と推察されます。



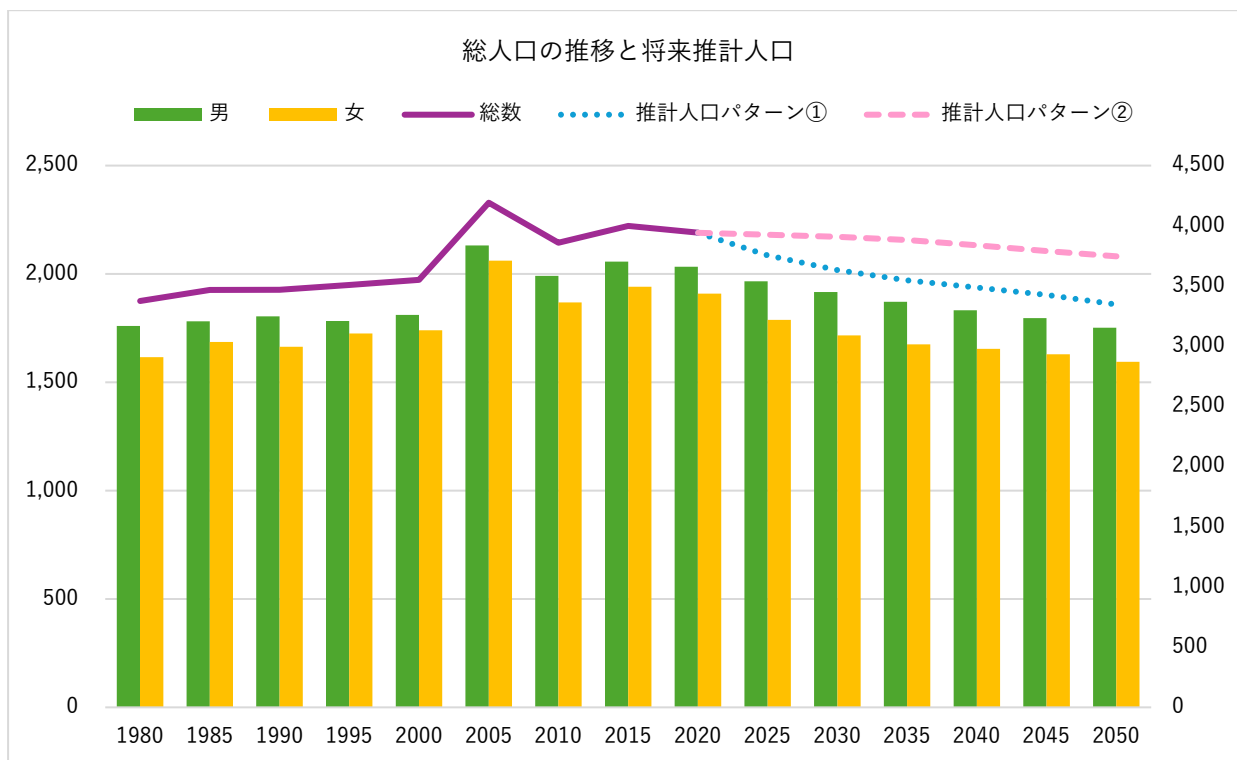
出典：令和2年国勢調査

(2) 将来人口の推計

令和2年までの国勢調査の結果をもとにした国立社会保障・人口問題研究所の推計人口によると、第10次基本計画期間終了直後である令和12年（2030年）の本町の人口は3,632人で、令和2年に比べて約8%減少します。そして、今から25年後の2050年には令和2年（2020年）比で15%減少するという推計です（パターン①）。

転入・転出がなかったと仮定した場合（封鎖人口、パターン②）の推計では、令和12年3,908人（▲1%）、2050年3,746人（▲5%）で、かなりの差があります。近年、転出超過の状態が続いており、社会増（転入を増やす、あるいは転出を防ぐ）のための取り組みが人口の維持に大きな効果があることがわかります。

パターン①	2020年までの実績値（国勢調査）をもとに、2020年を基準年としてコーホート要因法*により推計 *年齢別人口の加齢にともなう生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生、および人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法
パターン②	封鎖人口を仮定した将来推計人口。パターン①のうち、人口移動の影響を計算に入れずに、出生と死亡だけの要因で人口が変化すると仮定した場合の参考値



出典：1980年（昭和55年）～2020年（令和2年） 国勢調査

2025年～2050年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

2 人口の将来展望

(1) 町民の意向

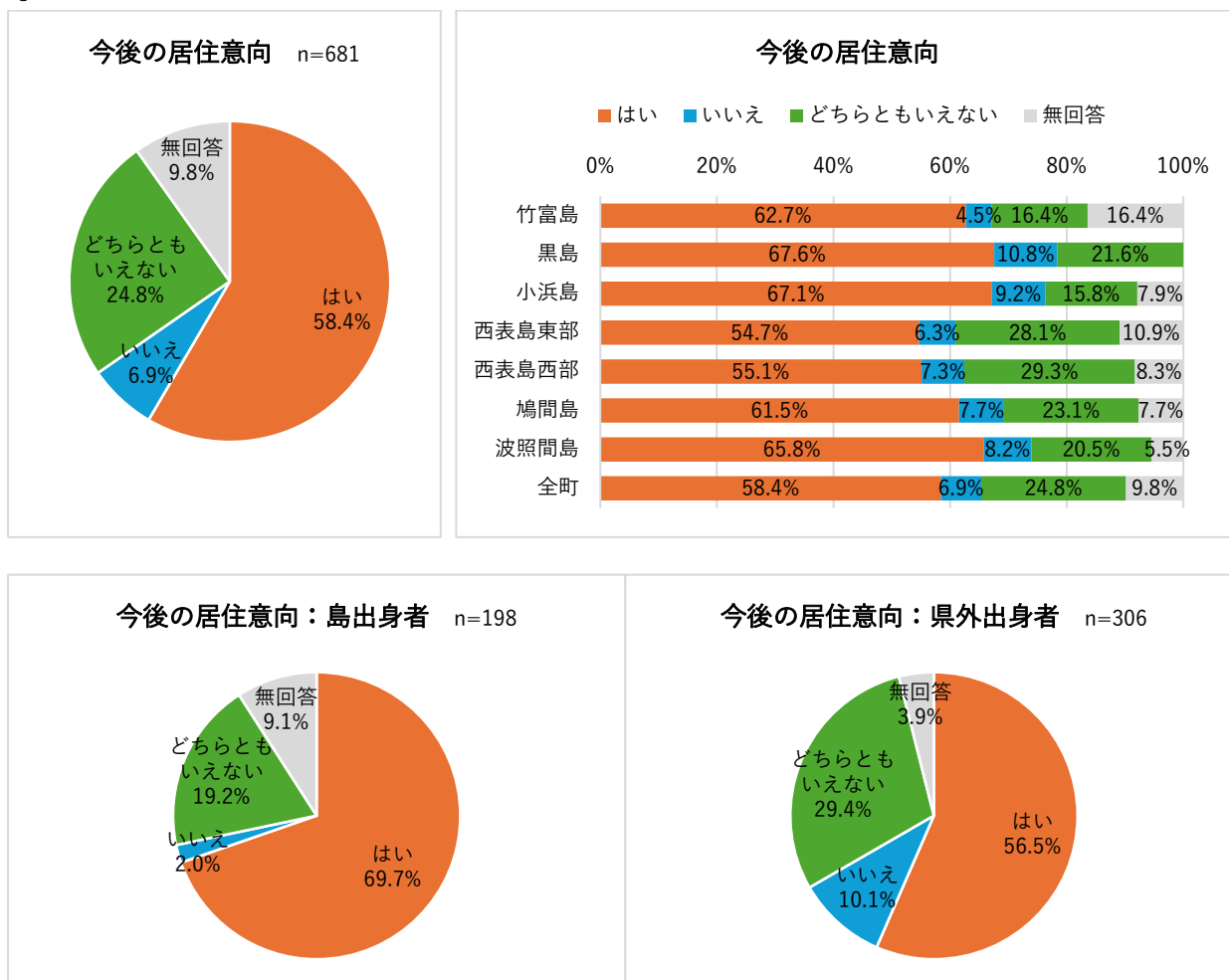
1. 町民アンケート

第 10 次基本計画策定にあたって実施した町民アンケート調査では、「今後も住み続けたいか」との問い 6 割近くが「はい」と回答しました。明確に「いいえ」と回答したのは約 7% で、4 人に 1 人は「どちらともいえない」という回答でした。

出身地別に見ると、やはり島出身者のほうが継続居住意向が高くなっています。県外出身者は過半数は住み続けたいと回答しているものの、「いいえ」や「どちらともいえない」の割合が島出身者に比べると高い傾向がありました。

人口減少の厳しい波照間島居住者の「住み続けるための条件」を見ると、物流の安定、船代の負担を複数の人が挙げています。

Q. あなたは今後も竹富町に住み続けたいですか？



出典：竹富町総合計画作成のための町民アンケート調査

郵送・Web アンケート併用：住民基本台帳に記載された 18 歳以上の全町民 3495 人へ郵送し、郵送にて回収
8 月 23 日～10 月 25 日 回収数 644 (10 月 25 日時点)

波照間居住者の住み続けるための条件（自由回答）

〔抽出条件〕居住地：波照間島 今後の居住意向で「いいえ」「どちらともいえない」と回答した人

【島出身者】

- ・生まれた場
- ・戦場にならぬこと

【県外出身者】

- ・物質の豊富さ
- ・物流の安定。食料の確保
- ・物資の輸送は生活するうえでもっと良くなって欲しい
- ・船代の負担を減らしてほしい
- ・船賃・石垣での宿泊費
- ・島外の交通の便をよくする

- ・病院に行きやすくしてほしい 宿泊、レンタカーなど・医療の充実
- ・教育（島外との学力差）の推進
- ・通信環境の改善（海岸線、空港周辺）
- ・住宅設備の修理業者等がない現状の改善
- ・いつまでも平和に暮らしたい。安心できる暮らしがしたい。
- ・平和であること
- ・島の行事の負担を減らして欲しい
- ・近所づきあいが難しい
- ・住民全員ゆいまーの心を持って何かしら島のことをやりながら暮らす

出典：竹富町総合計画作成のための町民アンケート調査

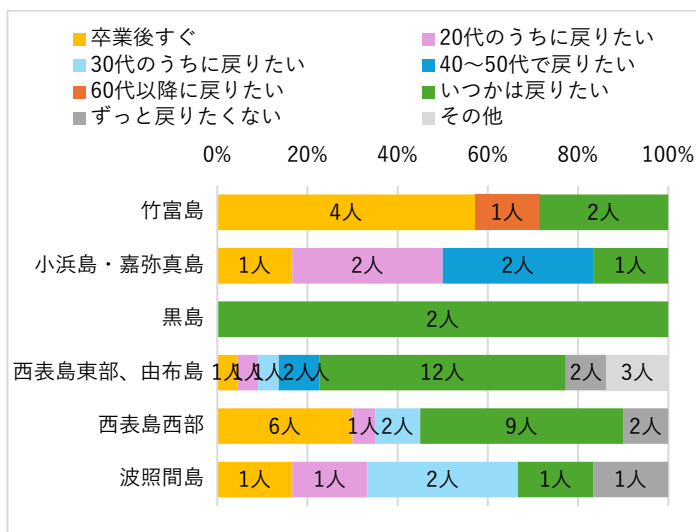
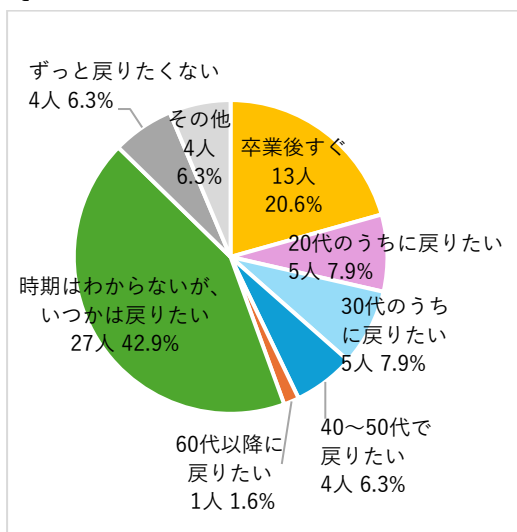
2. 高校生アンケート

第10次基本計画策定にあたっては、高校生にもアンケート調査をおこないました。時期の違いはありますが、回答者のうち8割以上が将来は島に戻りたいという意思を示しました。

卒業後すぐに住みたい地域は、半数以上が「沖縄県外の国内」と回答しました。理由としては、「やりたい仕事に就くため」、「県外での生活を経験してみたい」といったものが大勢を占めました。また、卒業後すぐに自分が育った島・地区に住みたいと回答した人も約2割おり、「自分の生まれ育った島が好きだから」という理由が大半でした。

彼らがいつでも戻りたいときに戻って来られることは、親が島に残ることにもつながり、人口の維持に大いに貢献すると考えられます。

Q. 将来、生まれ育った島に戻りたいと思いますか？



出典：竹富町総合計画作成のための高校生アンケート調査

Web アンケート 令和6年9月17日～30日 回収数63（回収率59.4%）

(2) 目指すべき将来の方向

- 本町で人口減少を食い止めるためには、ここ数年マイナスとなっている社会増減をプラスで維持することが重要です。
- 転出が多くても転入がそれ以上にあれば、社会増減はプラスになります。産業面での人手の確保という点では問題はありません。むしろ、常に若者が多くいる状況になります。そのためには、転入の促進に注力していくことになります。しかし、これらの若者が地域コミュニティの担い手となるのは、特に歴史の古いコミュニティでは現実的に困難です。
- 転出を抑えて定住を促進しても、社会増減はプラスになります。経済のみならず、地域社会においても担い手となってもらうには、長く居住してもらう必要があります。長く住む人が多くなればそれだけ平均年齢は上がりますが、その地域で家庭を持ち、島生まれの子どもが生まれる可能性が高くなります。若い移住者を地域コミュニティの担い手として受け入れられるかどうかのポイントとなります。
- 中長期的に考えれば、町としては転出を抑えて定住を促進する方向が望ましいですが、地域によって考え方は異なりますので、どのような戦略をとるかは、しっかり地域と話し合っ
て決める必要があります。
- 転出の抑制：まずは特に転出が多く次世代の「島出身者」を増やす可能性が高い30代前後の定住を図るための施策を展開していくことが効果的だと考えられます。この年代で転出を考える契機となることが多いのは、離職・転職、結婚、子どもの出産、出産後の職場復帰などです。
- 転入の促進：本町では様々な業種で人材が不足しており、町内の人材のマッチングだけでは充足できない職種もあります。特にそうした仕事に従事してくれる人に本町に移住してもらう施策を展開していくことが効果的だと考えられます。
- 出生数の増加：第一子出産年齢の上昇は出生率を低下させる方向に影響を与えることがわかっており、本町でも出産年齢の上昇傾向にあること、現状の出生率も既に人口置換水準の2.1を大きく下回っていることから、今後、出生数は減っていくと推測されます。子どもに対する支援はこれまでも手厚くおこなってきており、直接的に出生数に寄与するものではありませんが、安心して子どもを産める・育てられるということは若い転入者を惹きつける魅力になりますので、間接的に出生数につながる可能性があります。そのためには、子育て支援に熱心に取り組んでいることを、町外にアピールすることも重要だと考えられます。

(3) 人口の将来展望

1. 第10次基本計画における目標人口

第5次基本構想の設定を引き継ぎ、令和11年度の目標人口を次ページ表(C)の通りとします。

ただし、目標達成はかなり困難であろうと見込まれます。

総人口の目標4,540人(321人増)に対し、折り返し地点である現在は4,234人(15人数)で、あまり進展がありません。これは、増加を見込んでいた竹富島と西表島がここまでほぼ横ばいで推移していることが大きく影響しています。その他の地域では、目標を既に超えている地域(小浜島)もあれば、大幅に減ってしまった地域(波照間島)もあります。

目標設定そのものの妥当性もありますが、波照間島は許容しがたいレベルで目標から外れており、目標達成に向けて総力戦で取り組む必要があります。

基本構想策定時の目標人口と現状

	構想策定時 最新実績 (A)	現在 (B)	増減 (B)-(A)	目標人口 (C)	現時点で 目標達成まで の不足数 (C)-(B)	参考) 推計人口
時点	H31年3月末	R6年12月末	—	R11年度	—	R12年
総人口	4,219人	4,234人	+15	4,540人	306	4,292人
竹富島	341人	335人	-6	380人	45	378人
黒島	214人	219人	+5	220人	1	195人
小浜島・加屋真島	661人	749人	+88	680人	(-69)	680人
新城島	11人	8人	-3	15人	7	12人
西表島・由布島	2,388人	2,393人	+5	2,680人	287	2,578人
鳩間島	50人	68人	+18	55人	(-13)	51人
波照間島	509人	462人	-47	510人	48	423人
出典：	竹富町地区別 人口動態票	竹富町地区別 人口動態票	—	第5次基本構想 (R2年3月策定)	—	竹富町人口ピ ジョン(H28年 3月策定)

2. 長期的な展望

自然増が見込めず、転入者の主な供給源である日本全体の人口が減少していくなかで、本町だけ社会増を続けるのは、現実的にはかなり難しいと予測されます。

しかし、本町ではこれ以上人口が減るとコミュニティの存続ができない地域が出てくる可能性があります。いま既に危機的な状況となっている地域もあります。

したがって、人口の長期的な将来展望としては、自然増減はこれまでと同じ趨勢とし、社会増減は±ゼロを維持することとして、「2）将来人口の推計」のパターン②（封鎖人口を仮定した将来推計人口）と同じとします。

Ⅱ. 竹富町に関する基本情報

1 統計データ

(1) 人口・世帯

1. 人口に関する補足データ

人口・世帯数の推移と将来人口

		人口総 数	性別		年齢階級別							世帯数	1 世帯 あたり人口
			男	女	15 歳未満		15～64 歳		65 歳以上		年齢不詳		
昭和 25 年	1950	9,908	5,128	4,780								1,808	5.48
昭和 30 年	1955	9,266	4,691	4,575								1,791	5.17
昭和 35 年	1960	8,260	4,147	4,113								1,693	4.88
昭和 40 年	1965	7,026	3,606	3,420								1,553	4.52
昭和 45 年	1970	4,904	2,513	2,391								1,294	3.79
昭和 50 年	1975	3,468	1,779	1,689								1,151	3.01
昭和 55 年	1980	3,376	1,760	1,616	748	22.2%	2,115	62.6%	513	15.2%		1,332	2.53
昭和 60 年	1985	3,467	1,781	1,686	791	22.8%	2,060	59.4%	616	17.8%		1,360	2.55
平成 2 年	1990	3,468	1,804	1,664	760	21.9%	2,007	57.9%	701	20.2%		1,476	2.35
平成 7 年	1995	3,508	1,783	1,725	711	20.3%	1,949	55.6%	848	24.2%		1,526	2.30
平成 12 年	2000	3,551	1,811	1,740	599	16.9%	2,064	58.1%	888	25.0%		1,694	2.10
平成 17 年	2005	4,192	2,131	2,061	651	15.5%	2,659	63.4%	882	21.0%		2,137	1.96
平成 22 年	2010	3,859	1,991	1,868	601	15.6%	2,461	63.8%	797	20.7%		2,000	1.93
平成 27 年	2015	3,998	2,057	1,941	680	17.2%	2,469	62.6%	798	20.2%	51	2,122	1.88
令和 2 年	2020	3,942	2,033	1,909	707	18.0%	2,308	58.9%	905	23.1%	22	2,093	1.88
令和 7 年	2025	3,754	1,966	1,788	615	16.4%	2,172	57.9%	967	25.8%			
令和 12 年	2030	3,632	1,916	1,716	563	15.5%	2,107	58.0%	962	26.5%			
令和 17 年	2035	3,546	1,871	1,675	536	15.1%	2,057	58.0%	953	26.9%			
令和 22 年	2040	3,486	1,832	1,654	530	15.2%	1,946	55.8%	1010	29.0%			
令和 27 年	2045	3,425	1,796	1,629	535	15.6%	1,849	54.0%	1041	30.4%			
令和 32 年	2050	3,346	1,752	1,594	528	15.8%	1,775	53.0%	1043	31.2%			

出典：1950～2020 年／国勢調査 2025～2050 年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」

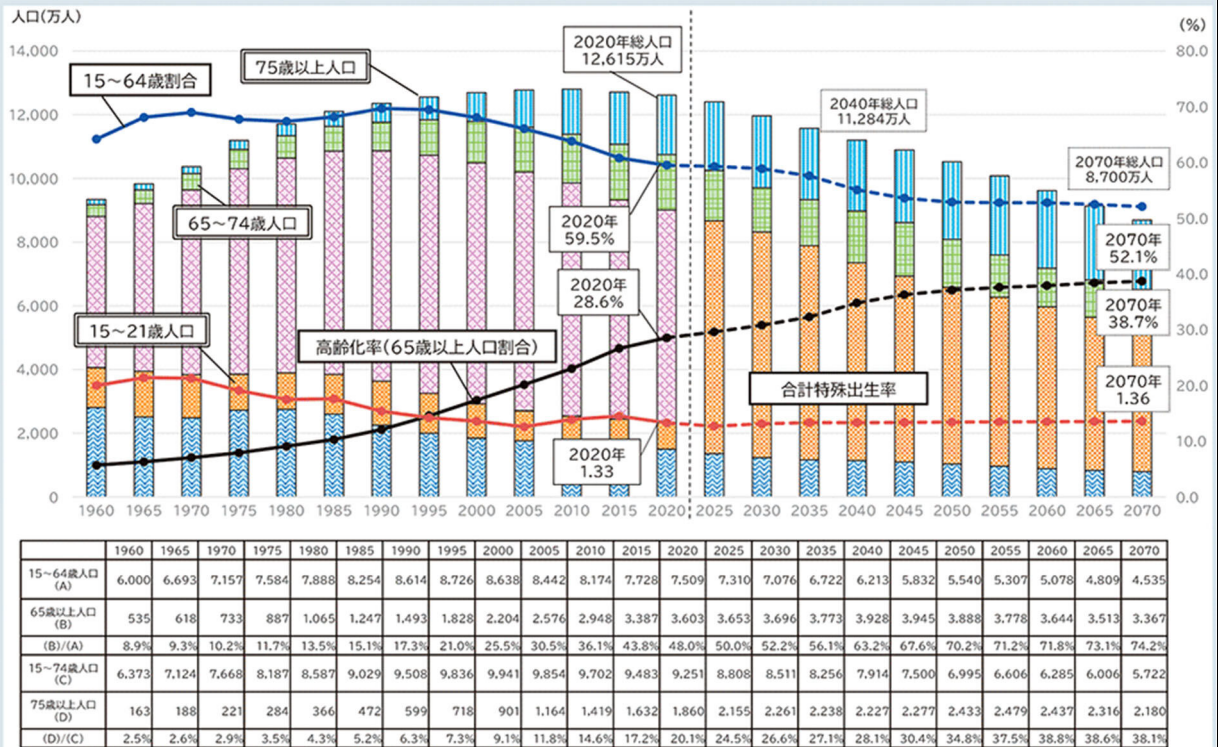
地区別居住期間別人口

	1 年未満		1 年以上 5 年未満		5 年以上 10 年未満		10 年以上 20 年未満		20 年以上		出生時から		不詳		総数
竹富	22	6.5%	72	21.1%	38	11.1%	70	20.5%	82	24.0%	53	15.5%	4	1.2%	341
黒島	19	9.4%	50	24.6%	23	11.3%	39	19.2%	41	20.2%	29	14.3%	2	1.0%	203
小浜	61	9.8%	103	16.6%	65	10.5%	82	13.2%	89	14.3%	89	14.3%	132	21.3%	621
南風見	54	12.2%	56	12.6%	51	11.5%	76	17.2%	105	23.7%	70	15.8%	31	7.0%	443
南風見仲	28	9.1%	48	15.6%	28	9.1%	38	12.3%	77	25.0%	54	17.5%	35	11.4%	308
古見	6	6.1%	20	20.2%	20	20.2%	11	11.1%	27	27.3%	15	15.2%	-	-	99
高那	10	25.0%	15	37.5%	2	5.0%	3	7.5%	1	2.5%	-	-	9	22.5%	40
上原	94	9.8%	149	15.5%	121	12.6%	159	16.5%	214	22.2%	147	15.3%	79	8.2%	963
西表	58	14.5%	74	18.5%	28	7.0%	59	14.8%	95	23.8%	71	17.8%	15	3.8%	400
鳩間	18	33.3%	13	24.1%	4	7.4%	8	14.8%	10	18.5%	1	1.9%	-	-	54
波照間	35	7.4%	70	14.9%	56	11.9%	82	17.4%	138	29.4%	89	18.9%	-	-	470
全町	364	10.7%	548	16.1%	375	11.0%	518	15.2%	756	22.2%	536	15.8%	301	8.9%	3398

出典：令和 2 年国勢調査

参考) 全国の人口の推移

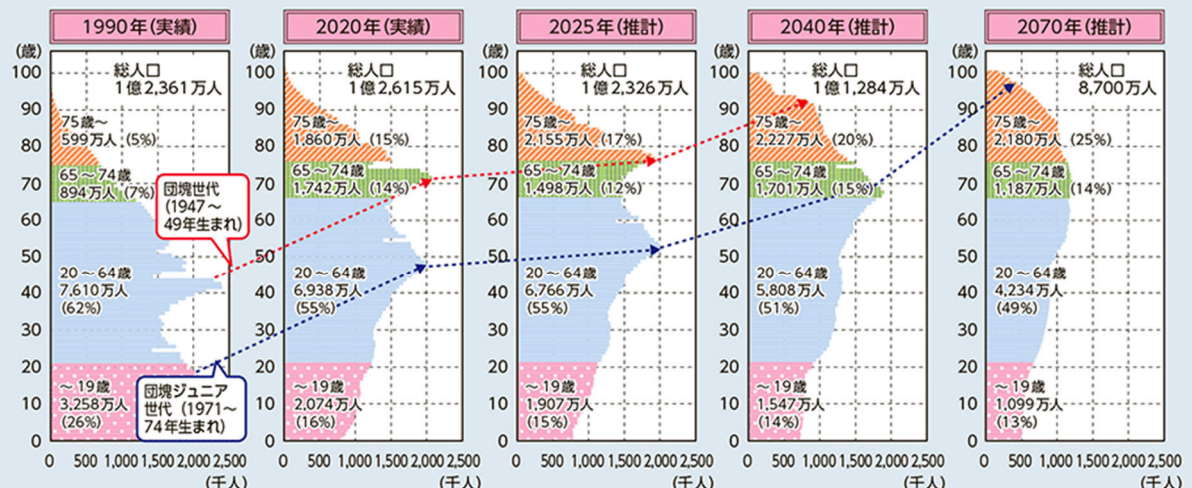
図表 1-1-1 日本の人口の推移



資料：1960年～1970年の人口は総務省「国勢調査」、1975年～2015年の人口は総務省「国勢調査」（年齢不詳の人口を各歳別にあん分した人口）、2020年の人口は総務省「国勢調査」（不詳補完値）（各年10月1日現在）、1960年～2020年の合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降の人口と合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（出生中位（死亡中位）推計）。

(注) 経済協力開発機構（Organisation for Economic Co-operation and Development; OECD）では、15歳から64歳までの人々を生産年齢人口としている。

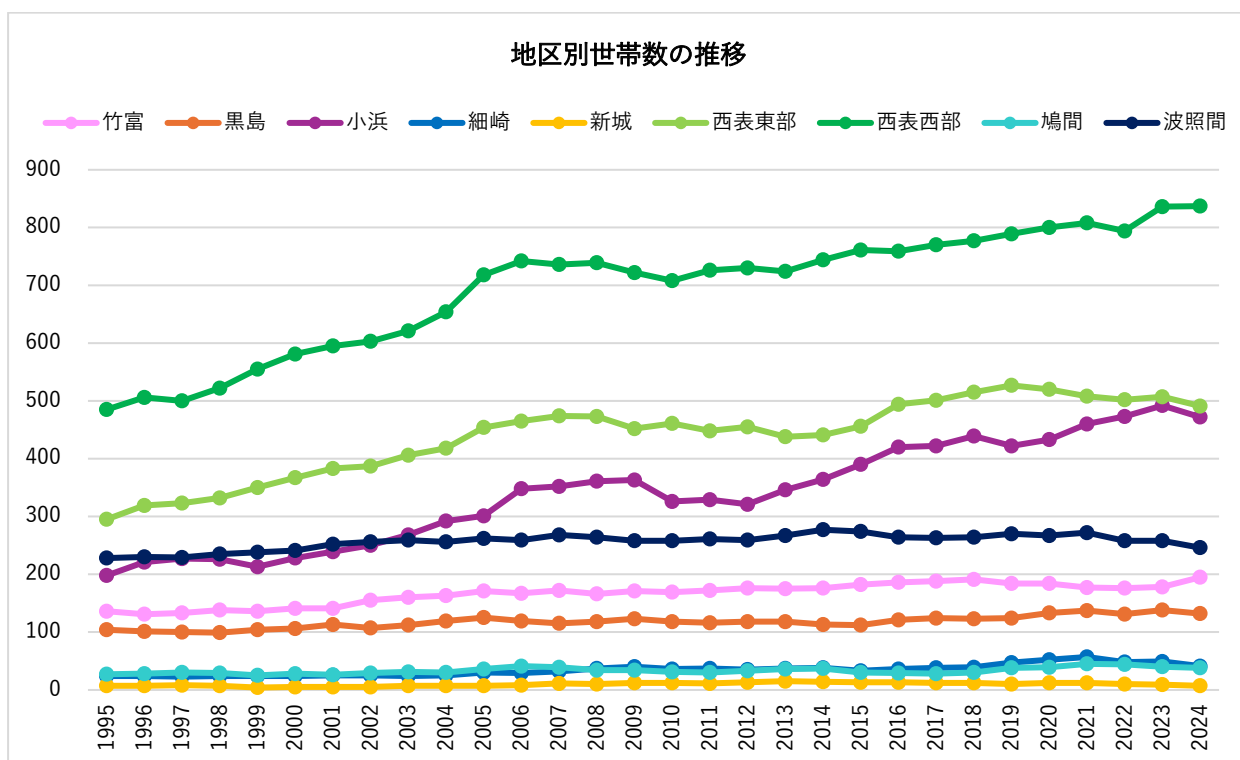
序-1-1 人口ピラミッドの変化（1990年～2070年）



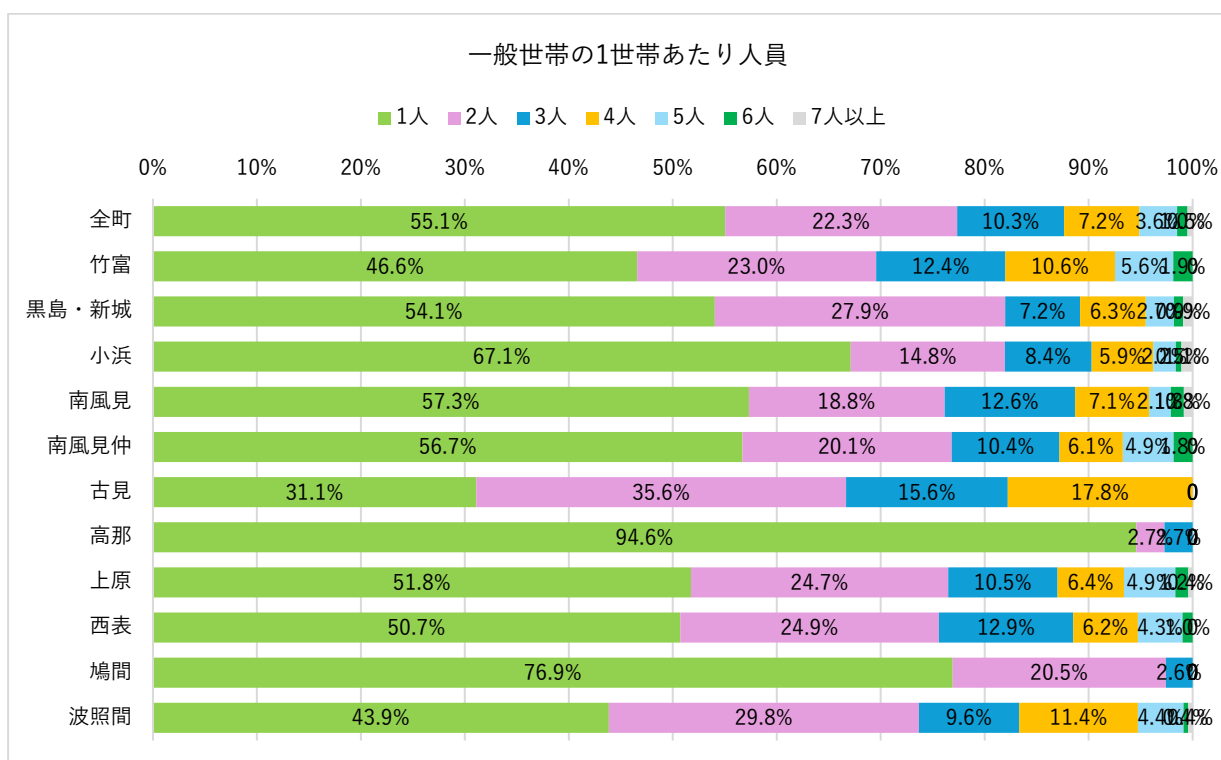
資料：実績値（1990年、2020年）は総務省統計局「国勢調査」（1990年は年齢不詳をあん分した人口、2020年は不詳補完値）、推計値（2025年、2040年、2070年）は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）により厚生労働省政策統括官付政策統括室において作成。

出典：上図 令和5年度厚生労働白書／下図 令和6年度厚生労働白書

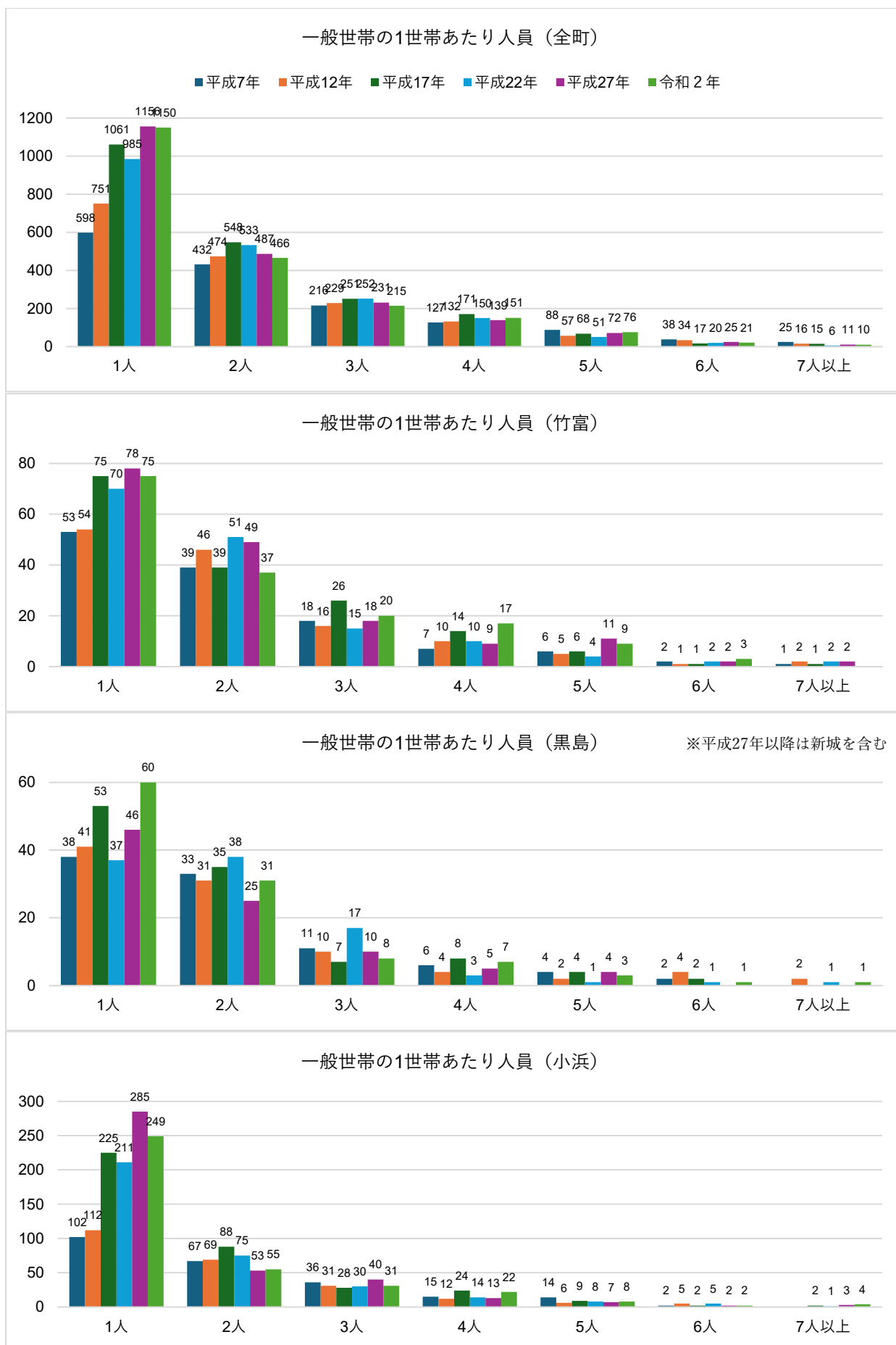
2. 世帯



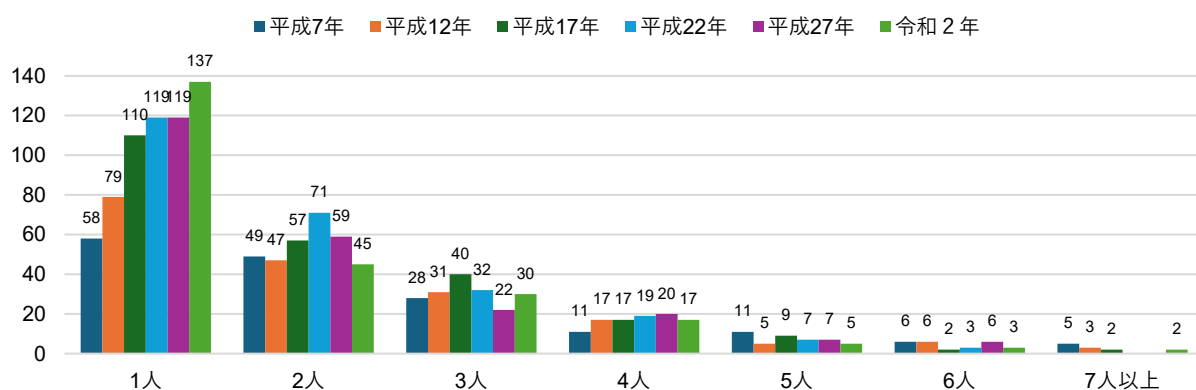
出典：「竹富町地区別人口動態票」各年3月末時点、日本人のみ



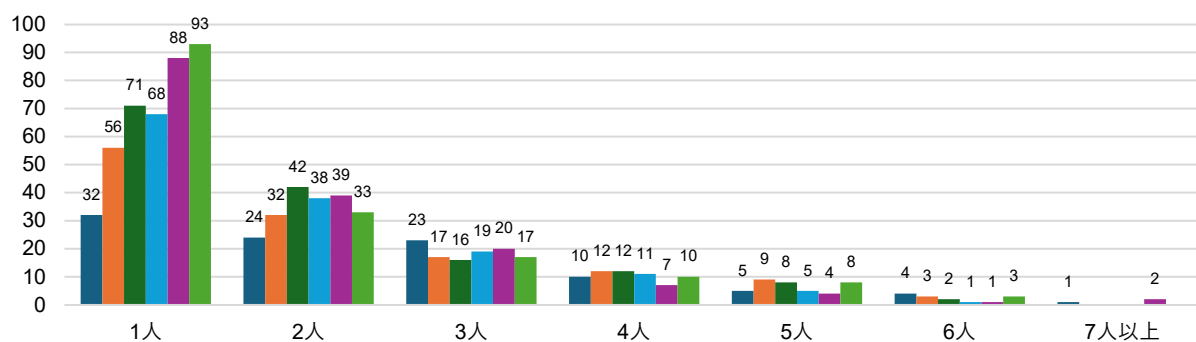
出典：「竹富町地区別人口動態票」各年3月末時点、日本人のみ



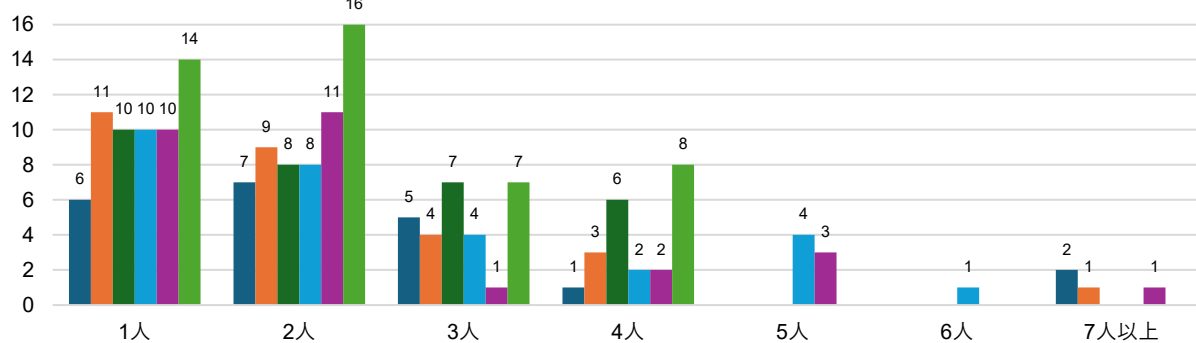
一般世帯の1世帯あたり人員（南風見）



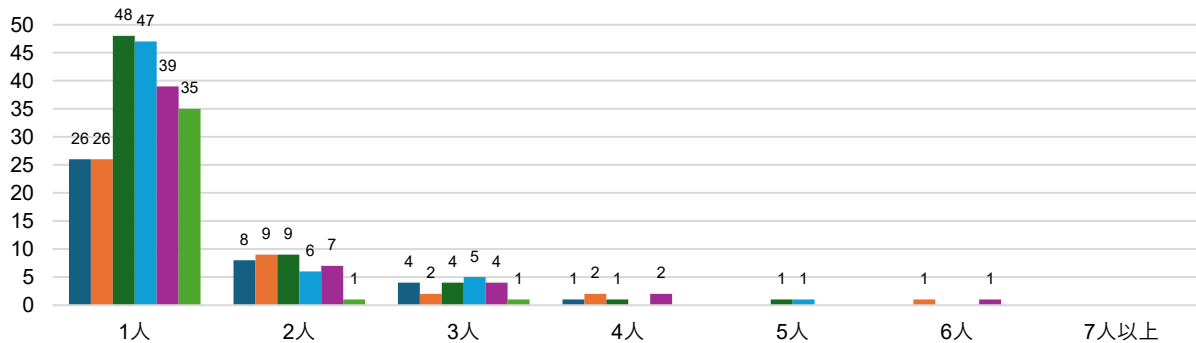
一般世帯の1世帯あたり人員（南風見仲）

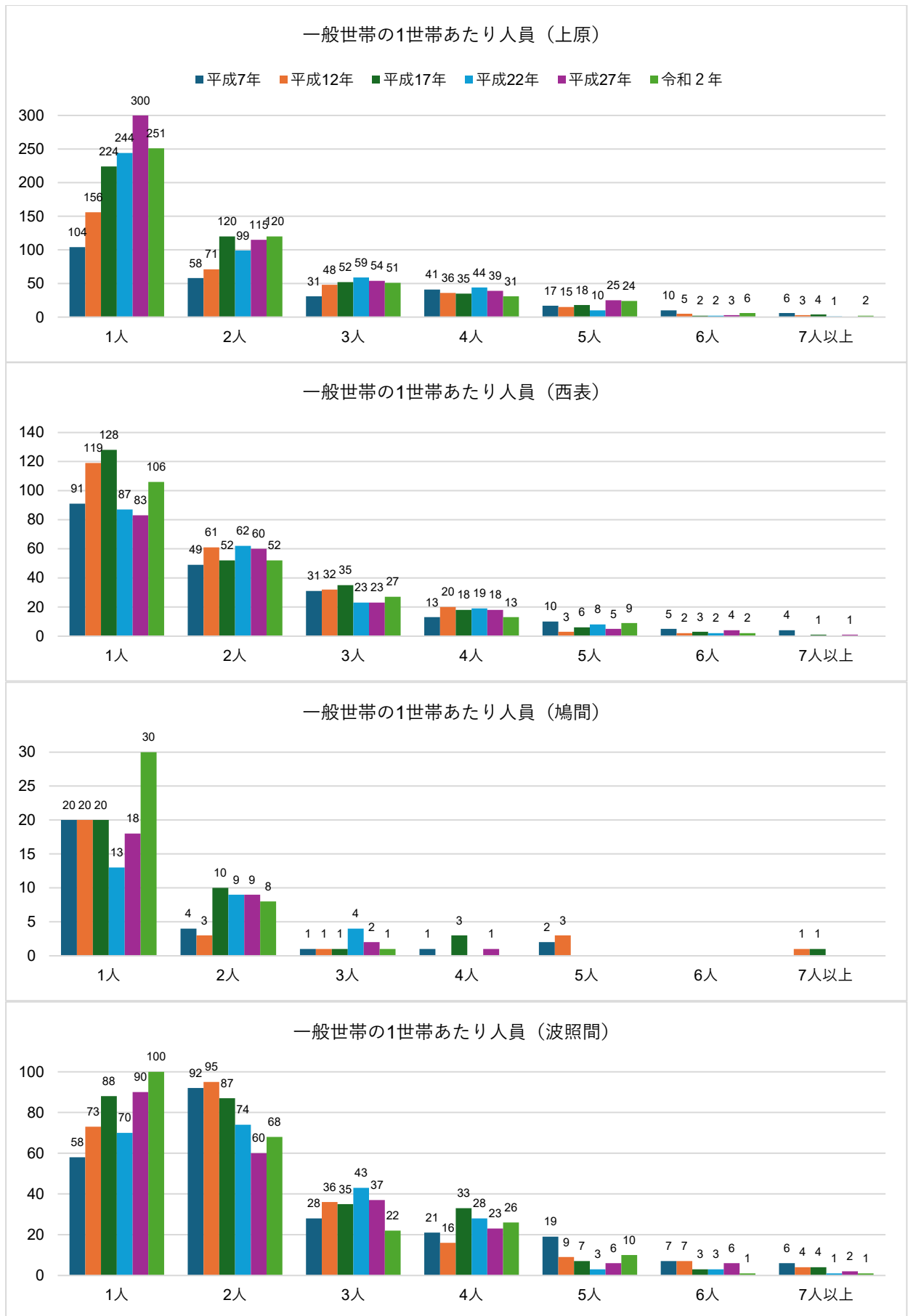


一般世帯の1世帯あたり人員（古見）



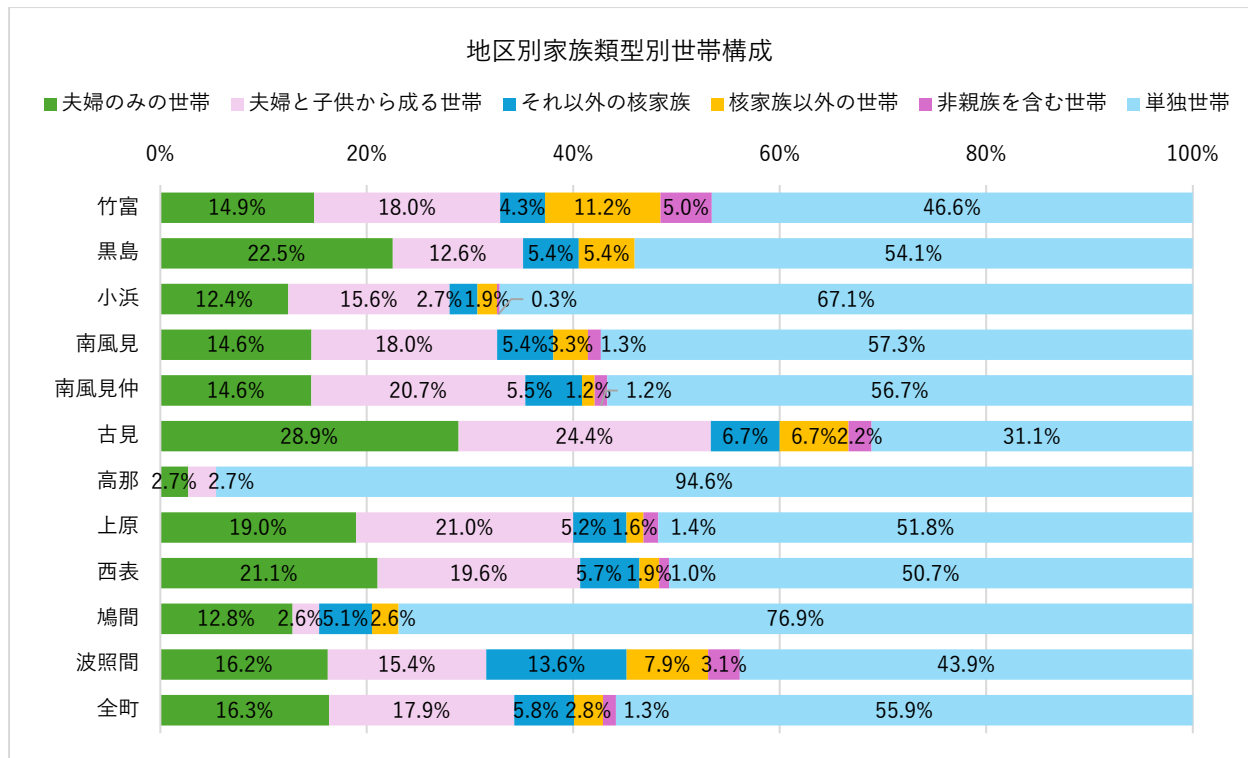
一般世帯の1世帯あたり人員（高那）





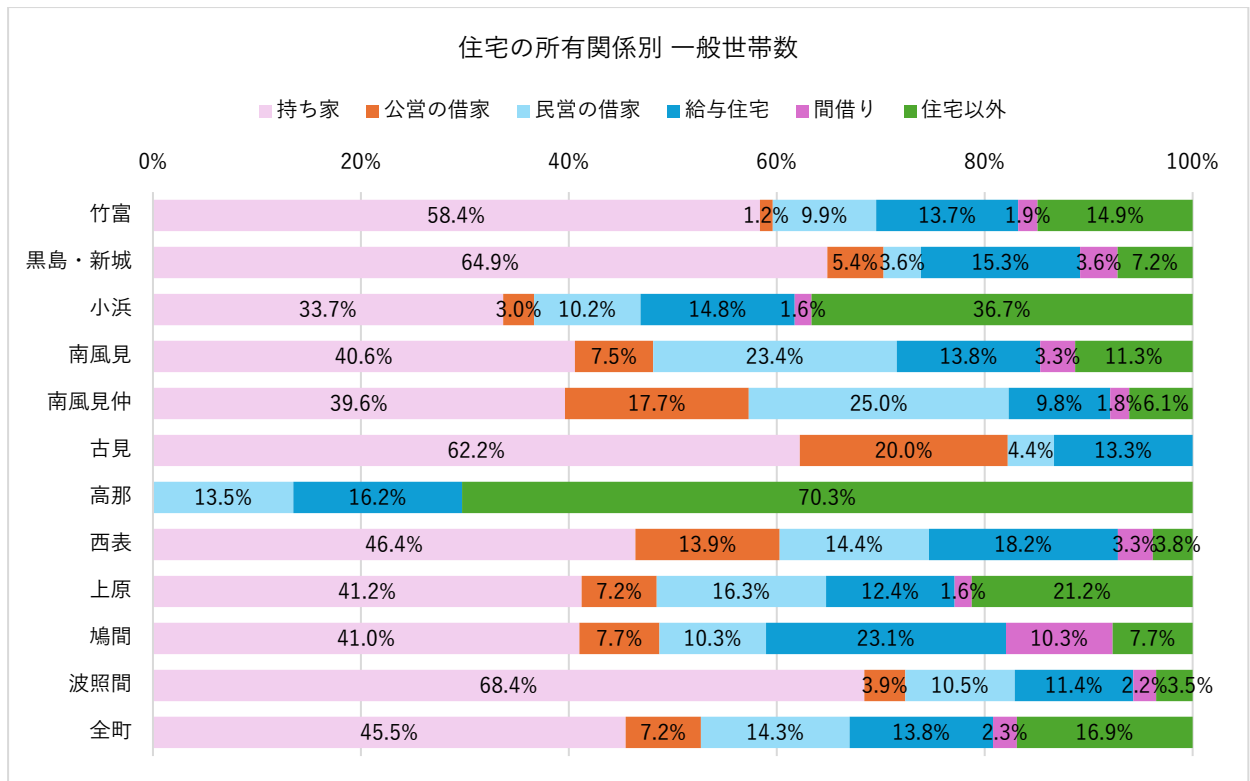
出典：令和2年国勢調査

1 統計データ



	夫婦のみの世帯		夫婦と子供から成る世帯		それ以外の核家族		核家族以外の世帯		非親族を含む世帯		単独世帯		総数
竹富	24	14.9%	29	18.0%	7	4.3%	18	11.2%	8	5.0%	75	46.6%	161
黒島	25	22.5%	14	12.6%	6	5.4%	6	5.4%	0	0.0%	60	54.1%	111
小浜	46	12.4%	58	15.6%	10	2.7%	7	1.9%	1	0.3%	249	67.1%	371
南風見	35	14.6%	43	18.0%	13	5.4%	8	3.3%	3	1.3%	137	57.3%	239
南風見仲	24	14.6%	34	20.7%	9	5.5%	2	1.2%	2	1.2%	93	56.7%	164
古見	13	28.9%	11	24.4%	3	6.7%	3	6.7%	1	2.2%	14	31.1%	45
高那	1	2.7%	1	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	35	94.6%	37
上原	92	19.0%	102	21.0%	25	5.2%	8	1.6%	7	1.4%	251	51.8%	485
西表	44	21.1%	41	19.6%	12	5.7%	4	1.9%	2	1.0%	106	50.7%	209
鳩間	5	12.8%	1	2.6%	2	5.1%	1	2.6%	0	0.0%	30	76.9%	39
波照間	37	16.2%	35	15.4%	31	13.6%	18	7.9%	7	3.1%	100	43.9%	228
全町	297	16.3%	326	17.9%	105	5.8%	51	2.8%	23	1.3%	1015	55.9%	1817

出典：令和2年国勢調査



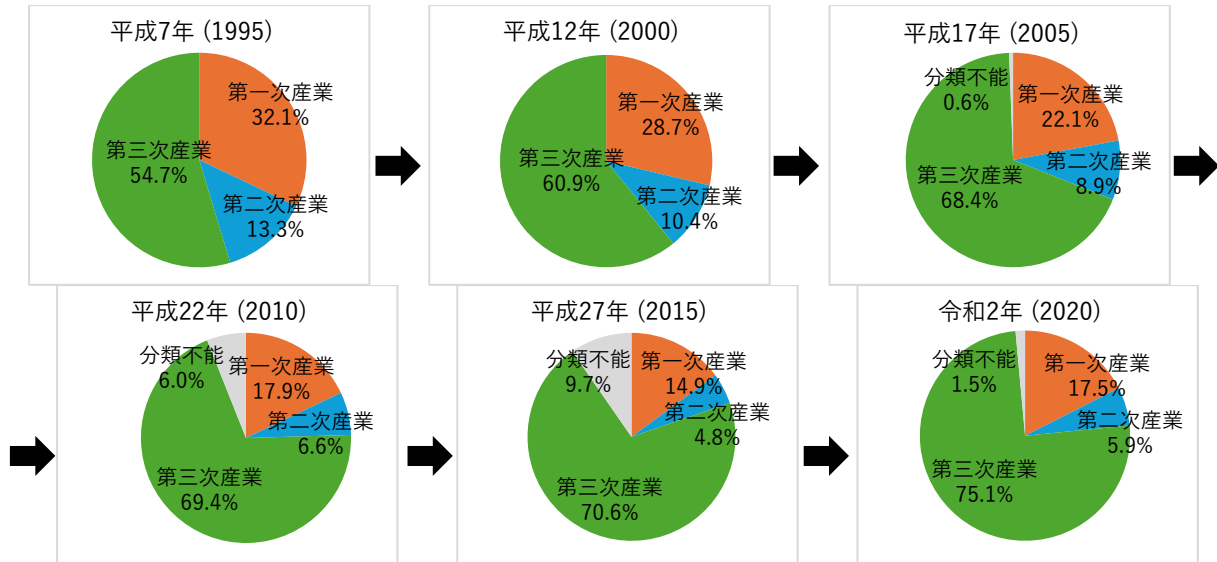
	総数	住宅に住む一般世帯							住宅以外に住む一般世帯
			主世帯	持ち家	公営の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	
全町	2,089	1,736	1,688	950	151	299	288	48	353
竹富	161	137	134	94	2	16	22	3	24
黒島・新城	111	103	99	72	6	4	17	4	8
小浜	371	235	229	125	11	38	55	6	136
南風見	239	212	204	97	18	56	33	8	27
南風見仲	164	154	151	65	29	41	16	3	10
古見	45	45	45	28	9	2	6	-	-
高那	37	11	11	-	-	5	6	-	26
西表	209	201	194	97	29	30	38	7	8
上原	485	382	374	200	35	79	60	8	103
鳩間	39	36	32	16	3	4	9	4	3
波照間	228	220	215	156	9	24	26	5	8

出典：：令和2年国勢調査

(2) 経済

1. 就業者

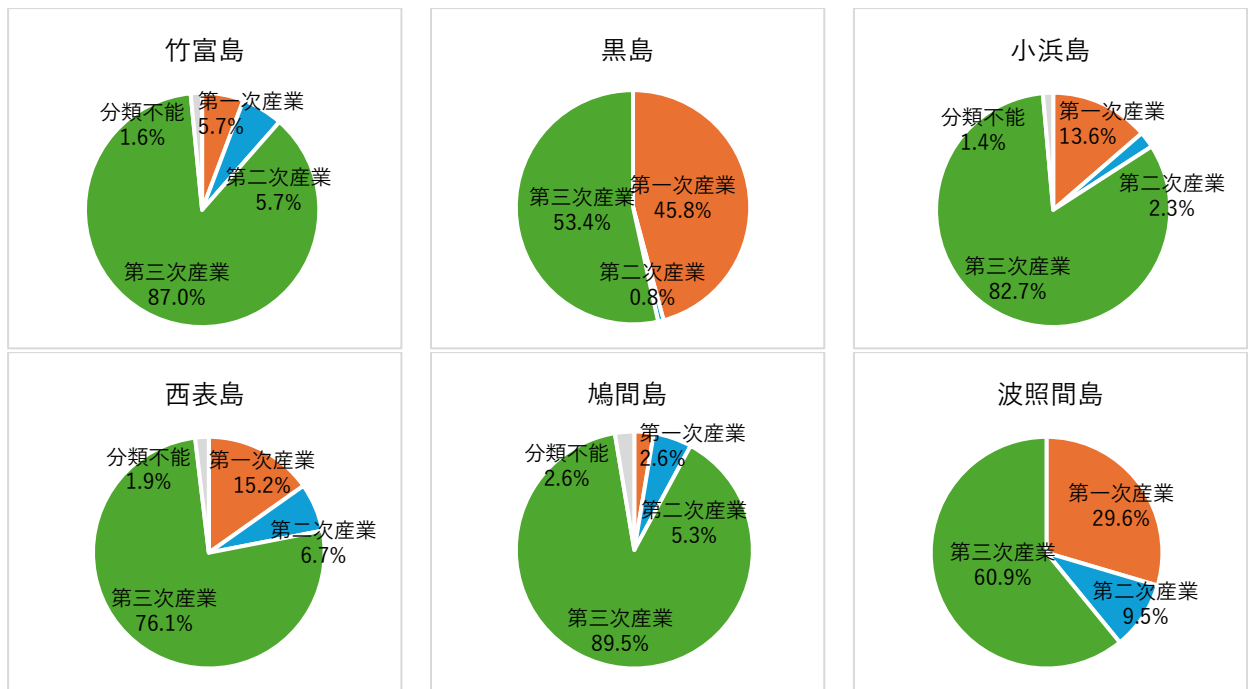
産業別就業者数



		H7(1995)		H12(2000)		H17(2005)		H22(2010)		H27(2015)		R2(2020)	
総人口		3,508		3,551		4,192		3,859		3,998		3,942	
就業者人口		1,906	54.3%	2,036	57.3%	2,513	59.9%	2,268	58.8%	2,338	58.5%	2,259	57.3%
第一次産業	農業	541	28.4%	524	25.7%	505	20.1%	369	16.3%	316	13.5%	363	16.1%
	林業	2	0.1%	2	0.1%	5	0.2%	3	0.1%	5	0.2%	4	0.2%
	漁業	68	3.6%	58	2.8%	45	1.8%	35	1.5%	28	1.2%	29	1.3%
	小計	611	32.1%	584	28.7%	555	22.1%	407	17.9%	349	14.9%	396	17.5%
第二次産業	鉱業	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	建設業	149	7.8%	134	6.6%	130	5.2%	75	3.3%	56	2.4%	55	2.4%
	製造業	101	5.3%	78	3.8%	94	3.7%	75	3.3%	56	2.4%	79	3.5%
	小計	253	13.3%	212	10.4%	224	8.9%	150	6.6%	112	4.8%	134	5.9%
第三次産業	電気・ガス・水道業	8	0.4%	7	0.3%	6	0.2%	9	0.4%	9	0.4%	9	0.4%
	情報通信業	153	8.0%	173	8.5%	15	0.6%	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
	運輸業、郵便業	220	0.0%	231	0.0%	142	5.7%	200	8.8%	146	6.2%	129	5.7%
	卸売り業・小売業		11.5%		11.3%	153	6.1%	140	6.2%	114	4.9%	132	5.8%
	金融業・保険業	0	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	2	0.1%
	不動産業、物品賃貸業	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	32	1.4%	32	1.4%	38	1.7%
	宿泊業、飲食サービス業	634	33.3%	802	39.4%	645	25.7%	625	27.6%	681	29.1%	667	29.5%
	教育、学習支援業					222	8.8%	175	7.7%	192	8.2%	226	10.0%
	医療、福祉					77	3.1%	86	3.8%	113	4.8%	119	5.3%
	複合サービス事業					23	0.9%	17	0.7%	23	1.0%	31	1.4%
	生活関連サービス業、娯楽業					406	16.2%	182	8.0%	241	10.3%	238	10.5%
	学術研究、専門・技術サービス業							24	1.1%	32	1.4%	26	1.2%
	サービス業(他に分類されないもの)							63	2.8%	50	2.1%	49	2.2%
	公務	27	1.4%	26	1.3%	27	1.1%	19	0.8%	15	0.6%	28	1.2%
	小計	1,042	54.7%	1,240	60.9%	1,719	68.4%	1,574	69.4%	1,651	70.6%	1,696	75.1%
分類不能の産業		0	0.0%	0	0.0%	15	0.6%	137	6.0%	226	9.7%	33	1.5%

出典：令和2年国勢調査

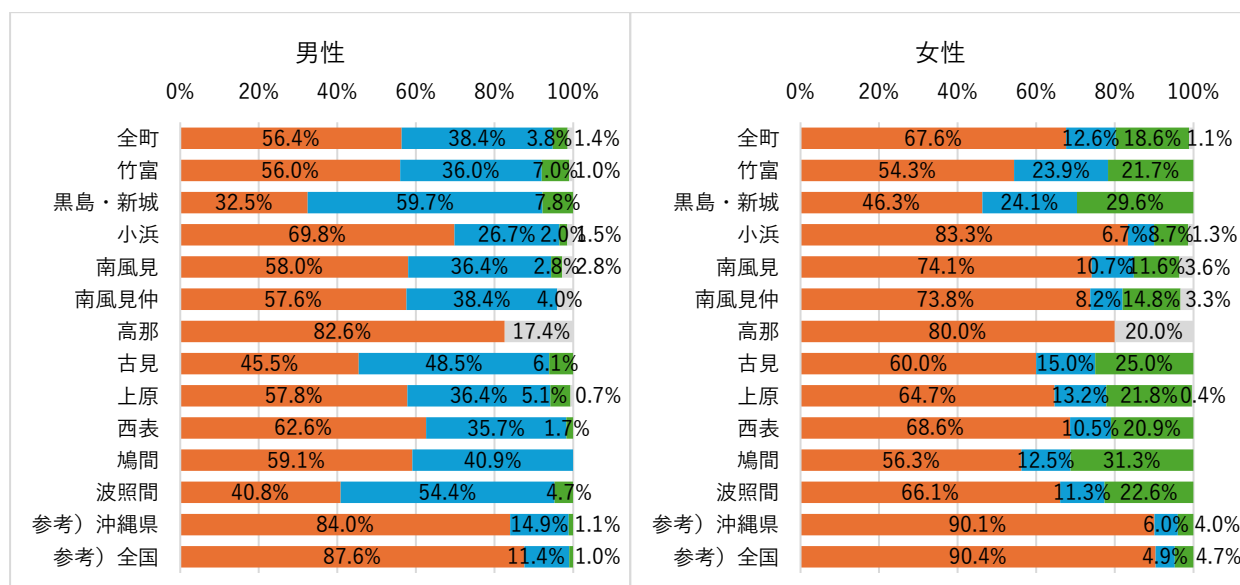
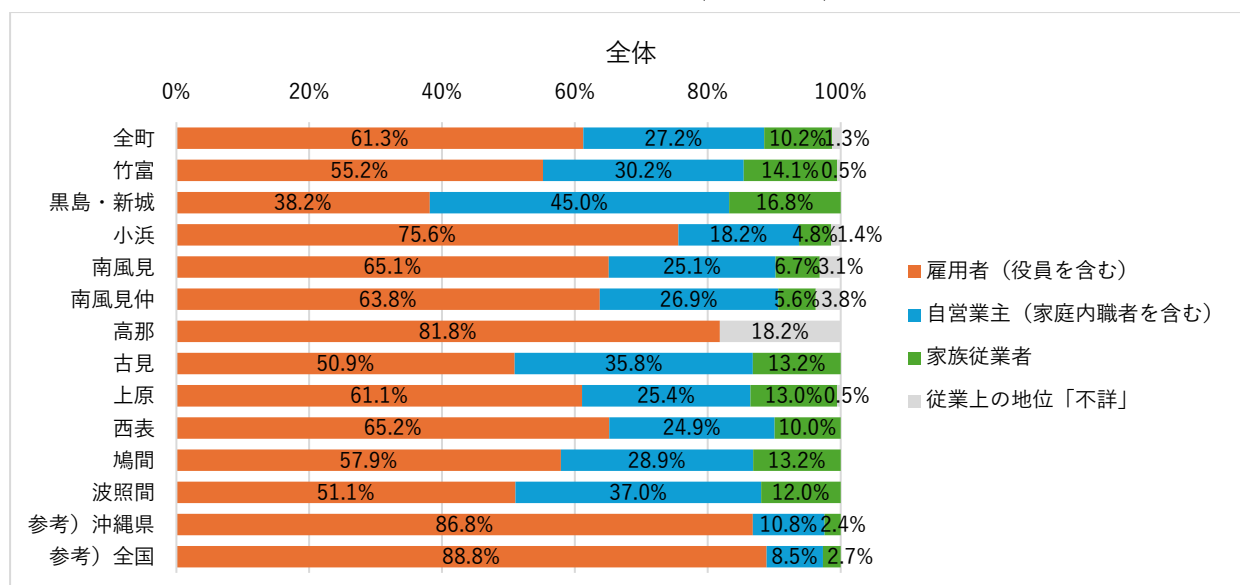
産業別就業者数



		竹富島		黒島		小浜島		西表島		鳩間島		波照間島		合計	
第一次産業	農業	5	2.6%	60	45.8%	43	12.2%	172	13.6%	1	2.6%	82	28.9%	363	16.0%
	林業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%
	漁業	6	3.1%	0	0.0%	5	1.4%	16	1.3%	0	0.0%	2	0.7%	29	1.3%
	小計	11	5.7%	60	45.8%	48	13.6%	192	15.2%	1	2.6%	84	29.6%	396	17.5%
第二次産業	鉱業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	建設業	2	1.0%	1	0.8%	0	0.0%	49	3.9%	0	0.0%	3	1.1%	55	2.4%
	製造業	9	4.7%	0	0.0%	8	2.3%	36	2.9%	2	5.3%	24	8.5%	79	3.5%
	小計	11	5.7%	1	0.8%	8	2.3%	85	6.7%	2	5.3%	27	9.5%	134	5.9%
第三次産業	電気・ガス・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	8	2.8%	9	0.4%
	情報通信業	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
	運輸業・郵便業	20	10.4%	1	0.8%	8	2.3%	86	6.8%	2	5.3%	12	4.2%	129	5.7%
	卸売り業・小売業	13	6.8%	2	1.5%	6	1.7%	86	6.8%	0	0.0%	25	8.8%	132	5.8%
	金融業・保険業	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
	不動産業、物品賃貸業	8	4.2%	2	1.5%	1	0.3%	25	2.0%	0	0.0%	2	0.7%	38	1.7%
	学術研究、専門・技術サービス業	3	1.6%	3	2.3%	1	0.3%	19	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	26	1.2%
	宿泊業、飲食サービス業	78	40.6%	21	16.0%	200	56.8%	291	23.1%	15	39.5%	62	21.8%	669	29.5%
	生活関連サービス業、娯楽業	13	6.8%	7	5.3%	19	5.4%	194	15.4%	2	5.3%	3	1.1%	238	10.5%
	教育、学習支援業	10	5.2%	16	12.2%	26	7.4%	136	10.8%	13	34.2%	25	8.8%	227	10.0%
	医療、福祉	10	5.2%	9	6.9%	12	3.4%	65	5.2%	0	0.0%	23	8.1%	119	5.3%
	複合サービス事業	3	1.6%	4	3.1%	5	1.4%	11	0.9%	2	5.3%	6	2.1%	31	1.4%
	サービス業（他に分類されないもの）	5	2.6%	4	3.1%	12	3.4%	26	2.1%	0	0.0%	2	0.7%	49	2.2%
	公務	2	1.0%	1	0.8%	1	0.3%	19	1.5%	0	0.0%	5	1.8%	28	1.2%
	小計	167	87.0%	70	53.4%	291	82.7%	961	76.1%	34	89.5%	173	60.9%	1,700	75.1%
分類不能の産業		3	1.6%	0	0.0%	5	1.4%	24	1.9%	1	2.6%	0	0.0%	33	1.5%
就業者総数		192	100%	131	100%	352	100%	1,262	100%	38	100%	284	100%	2,263	100%

出典：令和2年国勢調査 ※新城島（上地島、下地島）は黒島に含む ※嘉弥真島は小浜島に含む

従業上の地位別就業者数（15歳以上）



	雇用者（役員を含む）			自営業主（家庭内職者を含む）			家族従業者			従業上の地位「不詳」			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全町	720	664	1384	491	124	615	48	183	231	18	11	29	1277	982	2259
竹富	56	50	106	36	22	58	7	20	27	1	-	1	100	92	192
黒島・新城	25	25	50	46	13	59	6	16	22	-	-	-	77	54	131
小浜	141	125	266	54	10	64	4	13	17	3	2	5	202	150	352
南風見	83	83	166	52	12	64	4	13	17	4	4	8	143	112	255
南風見仲	57	45	102	38	5	43	-	9	9	4	2	6	99	61	160
高那	19	8	27	-	-	-	-	-	-	4	2	6	23	10	33
古見	15	12	27	16	3	19	2	5	7	-	-	-	33	20	53
上原	170	172	342	107	35	142	15	58	73	2	1	3	294	266	560
西表	72	59	131	41	9	50	2	18	20	-	-	-	115	86	201
鳩間	13	9	22	9	2	11	-	5	5	-	-	-	22	16	38
波照間	69	76	145	92	13	105	8	26	34	-	-	-	169	115	284

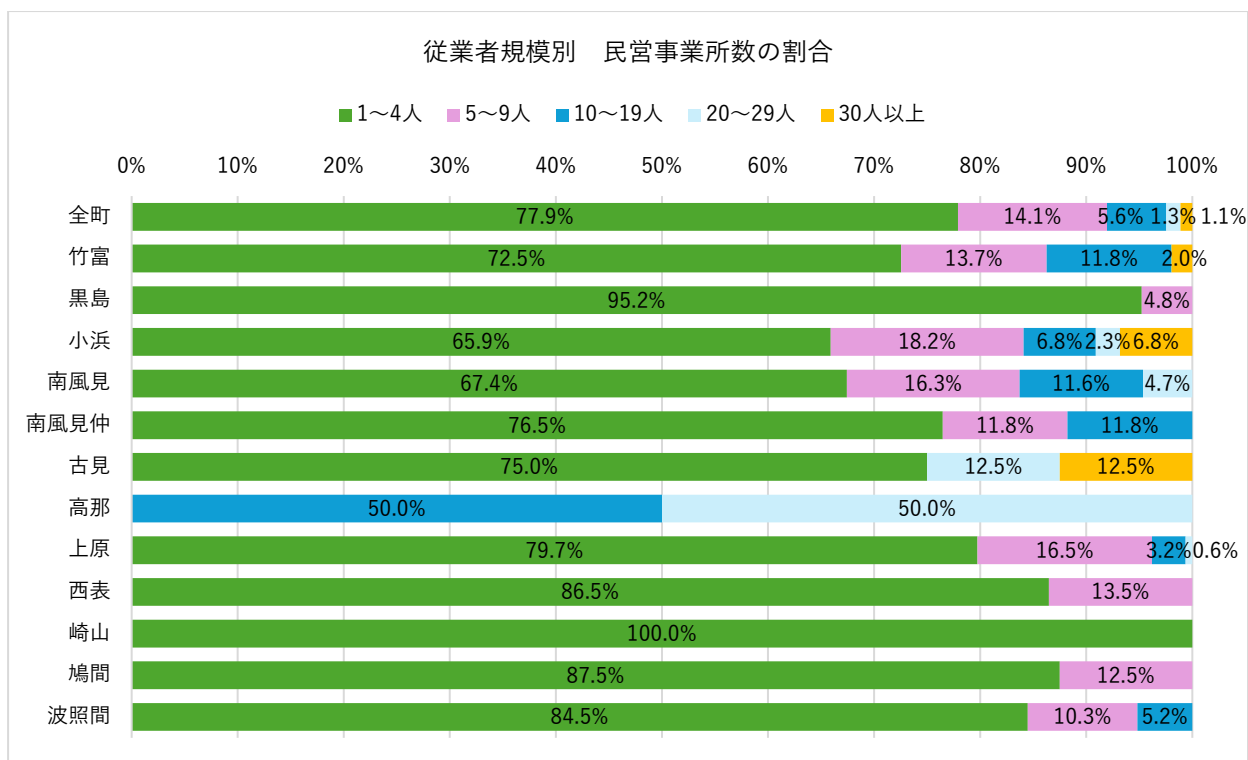
出典：令和2年国勢調査

2. 事業所

産業別事業所数（産業大分類）

	全町		竹富	黒島	小浜	南風見	南風見仲	古見	高那	上原	西表	崎山	鳩間	波照間
AS_全産業	500	100%	55	24	49	51	19	10	2	165	46	1	11	67
A_農業，林業	14	2.8%	-	1	1	3	1	1	-	4	1	-	-	2
B_漁業	2	0.4%	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C_鉱業，採石業，砂利採取業	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D_建設業	9	1.8%	-	-	-	2	-	-	-	4	2	-	-	1
E_製造業	26	5.2%	2	-	3	4	1	2	-	9	-	-	1	4
F_電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
G_情報通信業	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H_運輸業，郵便業	36	7.2%	6	1	6	8	3	-	-	4	5	-	-	3
I_卸売業，小売業	58	11.6%	8	5	3	5	3	-	-	17	5	-	-	12
J_金融業，保険業	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K_不動産業，物品賃貸業	21	4.2%	3	2	2	4	2	-	-	7	-	-	-	1
L_学術研究，専門・技術サービス業	8	1.6%	1	1	1	-	-	2	-	2	-	1	-	-
M_宿泊業，飲食サービス業	178	35.6%	25	9	21	10	4	2	2	54	14	-	6	31
N_生活関連サービス業，娯楽業	77	15.4%	2	-	5	5	3	2	-	49	8	-	1	2
O_教育，学習支援業	27	5.4%	2	2	2	2	1	1	-	6	6	-	2	3
P_医療，福祉	21	4.2%	3	2	3	3	1	-	-	3	2	-	-	4
Q_複合サービス事業	7	1.4%	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	1	1
R_サービス業（他に分類されないもの）	7	1.4%	1	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-
S_公務（他に分類されるものを除く）	8	1.6%	-	-	1	2	-	-	-	2	1	-	-	2

1 統計データ

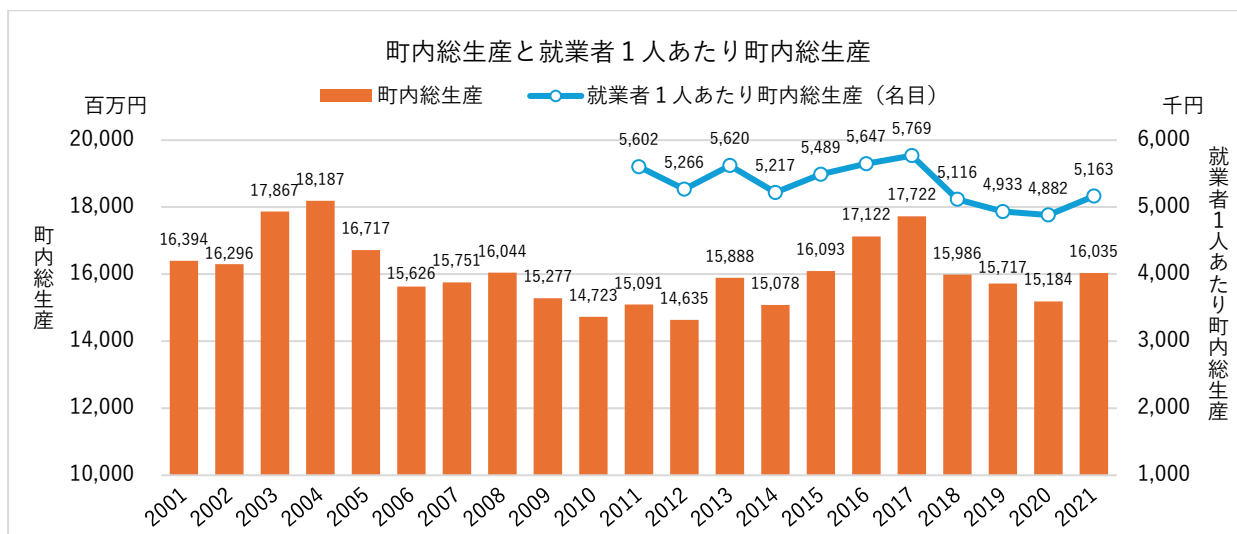


	1～4 人		5～9 人		10～19 人		20～29 人		30 人以上		総数	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全町	349	761	63	418	25	306	6	142	5	318	448	1,945
竹富	37	89	7	40	6	70	0	-	1	32	51	231
黒島	20	44	1	5	0	-	0	-	0	-	21	49
小浜	29	69	8	54	3	37	1	28	3	231	44	419
南風見	29	65	7	41	5	58	2	47	0	-	43	211
南風見仲	13	24	2	16	2	25	0	-	0	-	17	65
古見	6	17	0	-	0	-	1	22	1	55	8	94
高那	0	-	0	-	1	10	1	20	0	-	2	30
上原	126	279	26	174	5	65	1	25	0	-	158	543
西表	32	65	5	41	0	-	0	-	0	-	37	106
崎山	1	1	0	-	0	-	0	-	0	-	1	1
鳩間	7	11	1	9	0	-	0	-	0	-	8	20
波照間	49	97	6	38	3	41	0	-	0	-	58	176

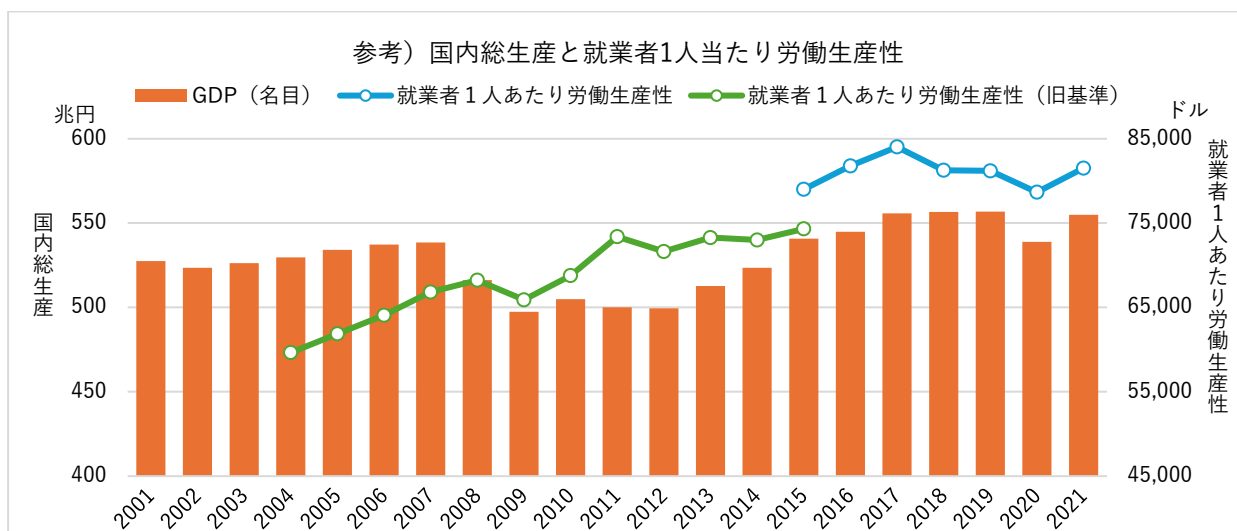
出典：：令和3年経済センサス

3. 町民経済計算

① 町内総生産



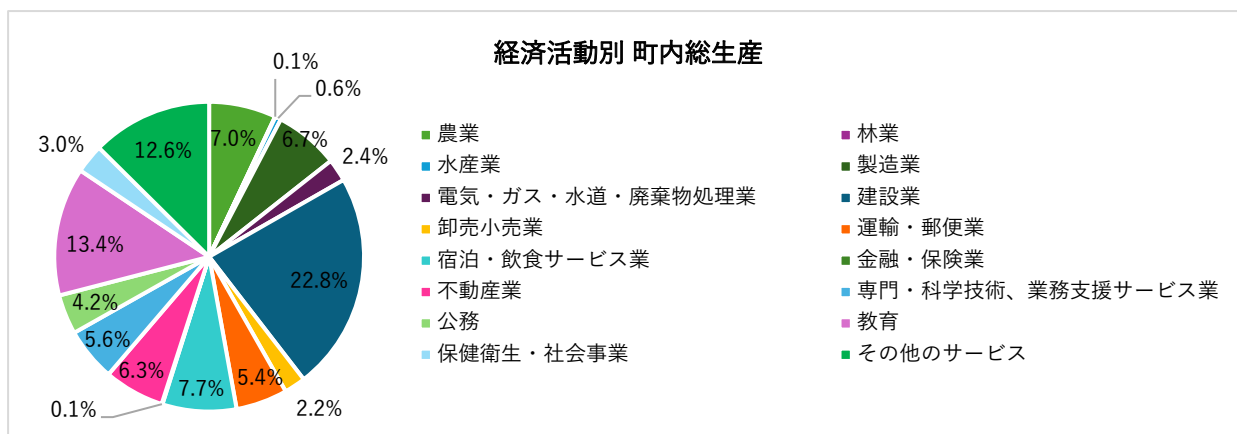
出典：令和 3 年度沖縄県市町村民経済計算



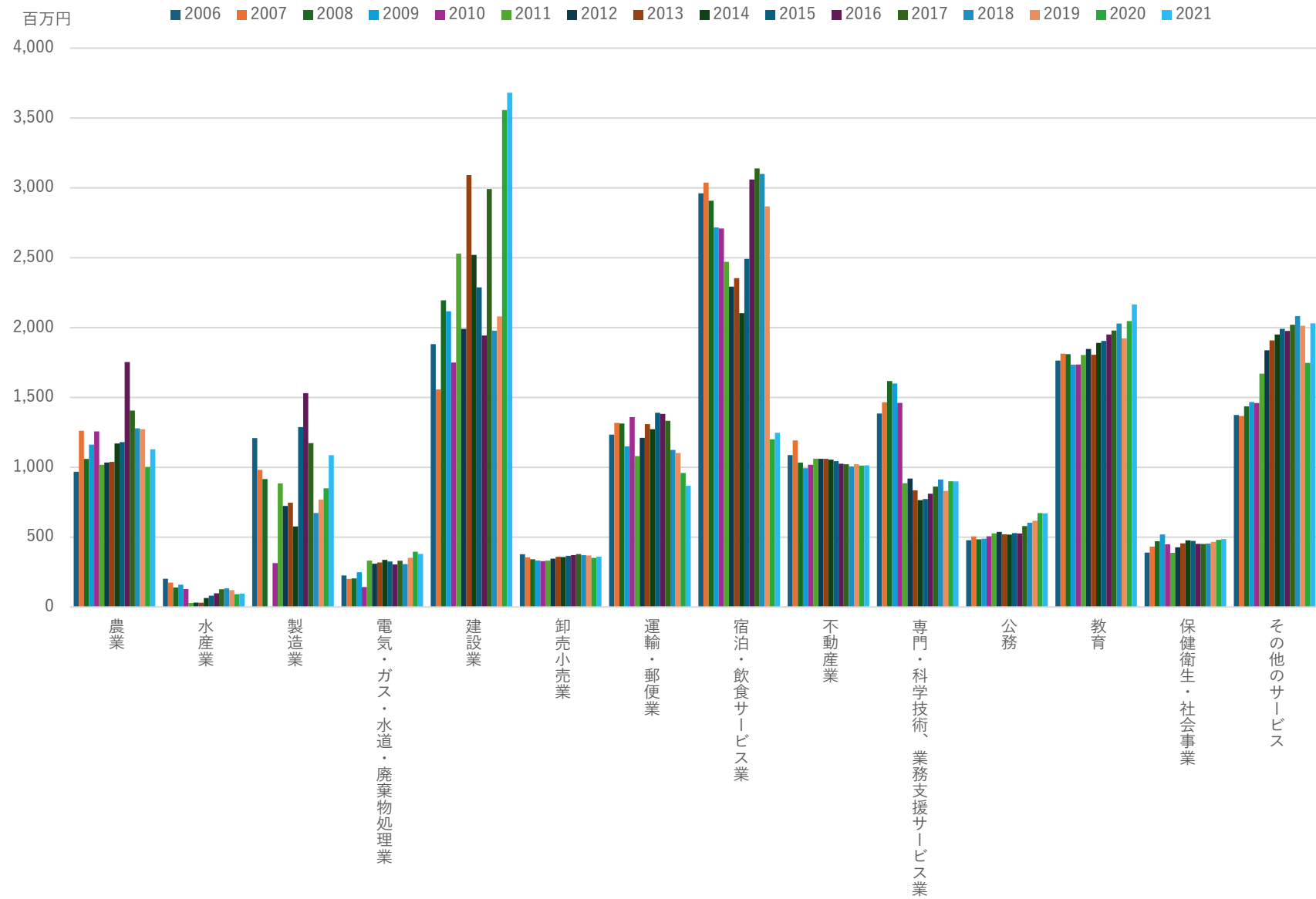
出典：国内総生産 国民経済計算（GDP 統計）／就業者 1 人あたり労働生産性 公益財団法人日本生産性本部「労働生産性の国際比較」

※就業者 1 人あたり労働生産性＝名目付加価値

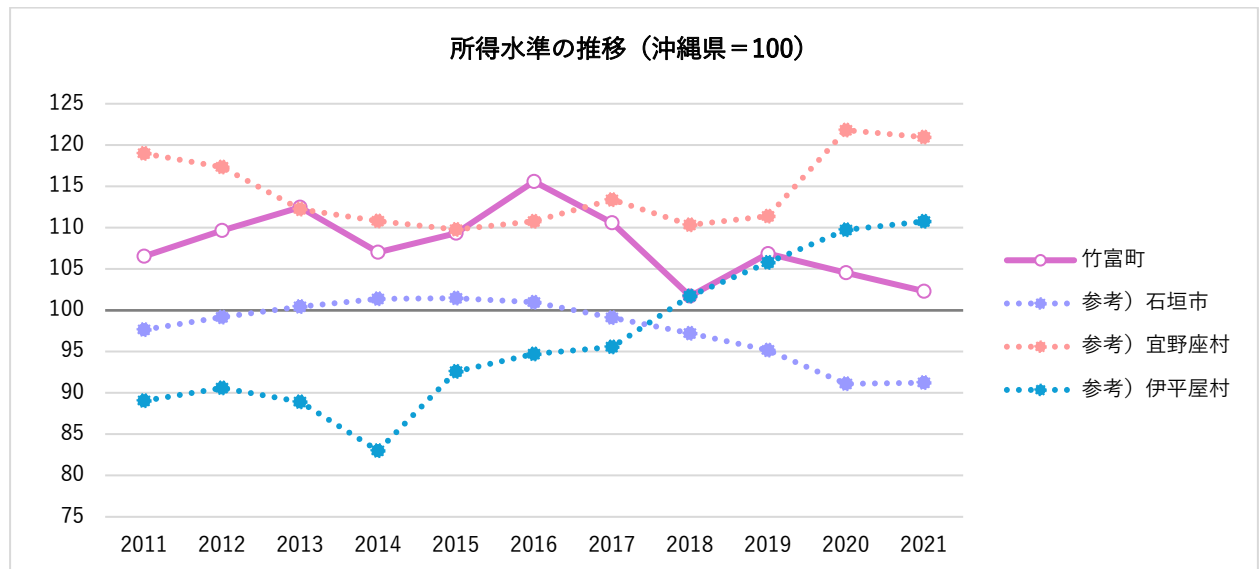
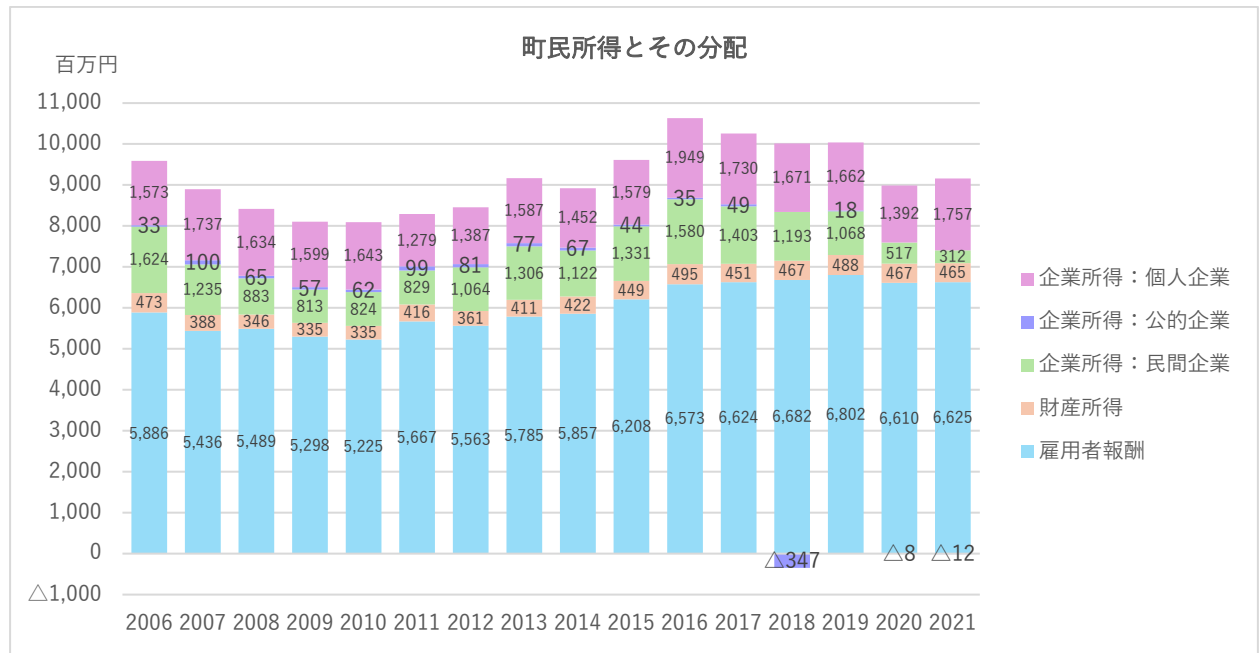
※2016 年に GDP に関する統計の見直しがおこなわれ、労働生産性の試算も 2015 年を境に新基準を踏まえておこなわれるようになった。



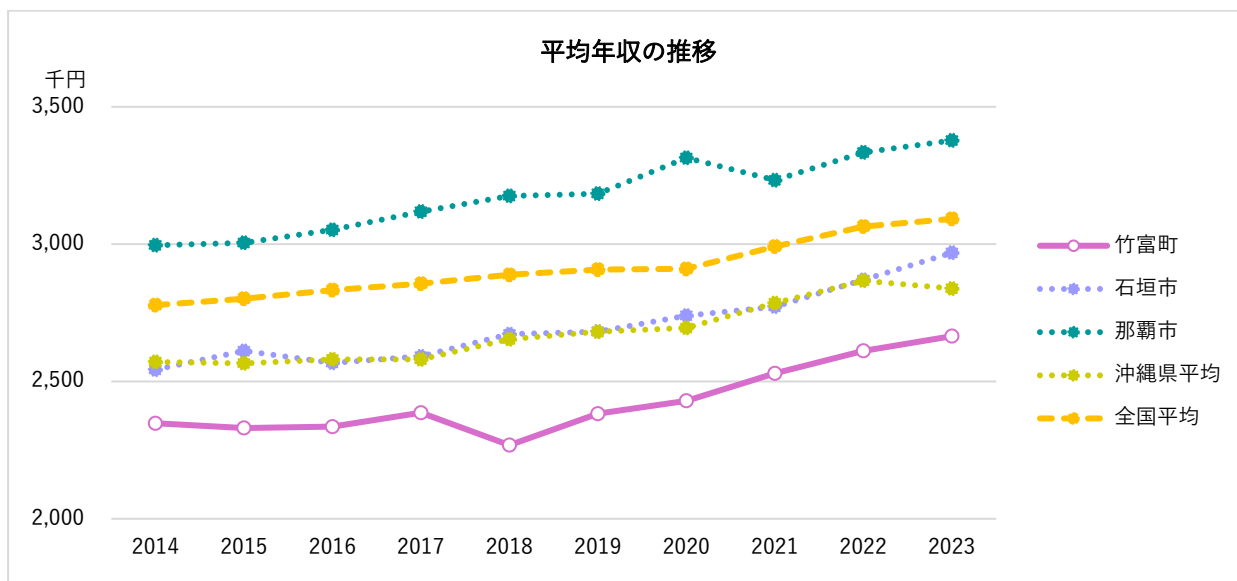
産業別市町村内総生産



② 町民所得



4. 平均年収

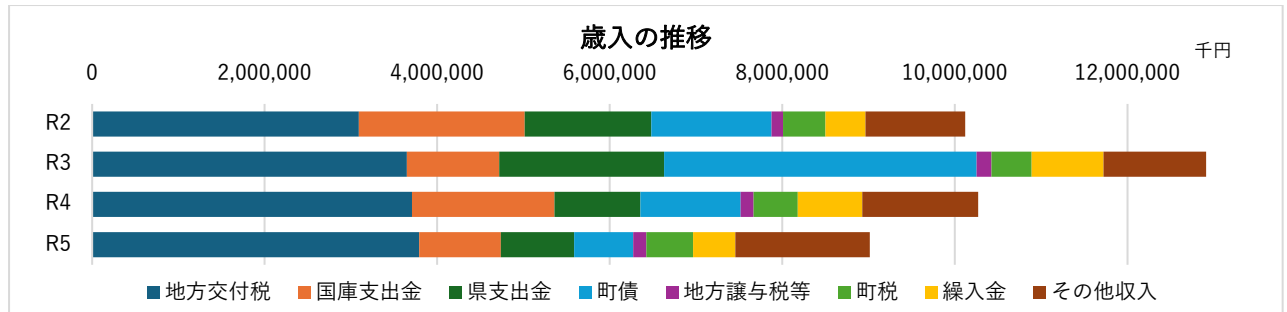


	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
竹富町	2,347,670	2,330,604	2,335,411	2,386,259	2,268,426	2,382,534	2,429,573	2,529,338	2,611,395	2,665,004
石垣市	2,542,997	2,610,943	2,567,584	2,591,345	2,672,143	2,681,249	2,739,624	2,771,989	2,869,794	2,968,837
那覇市	2,996,095	3,004,621	3,051,978	3,118,260	3,175,200	3,183,474	3,313,918	3,232,567	3,333,694	3,377,576
沖縄県平均	2,571,080	2,565,962	2,580,485	2,580,275	2,653,694	2,680,979	2,694,875	2,785,114	2,866,388	2,838,319
全国平均	2,778,352	2,801,271	2,832,665	2,855,871	2,888,304	2,907,156	2,910,046	2,991,179	3,064,023	3,092,370

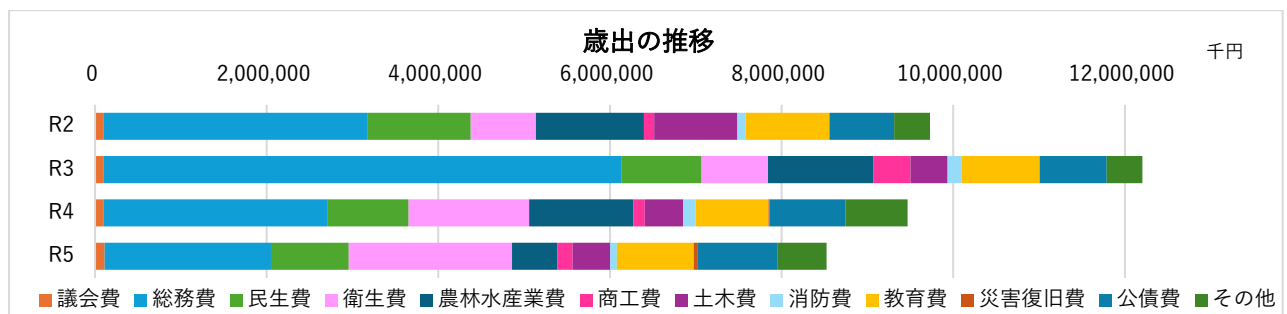
出典：「市町村税課税状況等の調」より作成（課税対象所得÷所得割の納税義務者数）

2 財政情報

(1)歳入・歳出



		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
依存財源	地方交付税	3,091,719	31%	3,648,991	28%	3,709,084	36%	3,790,931	42%
	国庫支出金	1,922,665	19%	1,070,092	8%	1,650,397	16%	947,702	11%
	県支出金	1,466,853	14%	1,910,364	15%	996,086	10%	848,392	9%
	町債	1,393,463	14%	3,622,100	28%	1,161,820	11%	685,746	8%
	地方譲与税等	134,041	1%	172,206	1%	149,230	1%	152,408	2%
自主財源	町税	491,591	5%	465,779	4%	512,729	5%	540,769	6%
	繰入金	463,368	5%	833,237	6%	747,183	7%	489,101	5%
	その他収入	1,157,204	11%	1,188,857	9%	1,343,706	13%	1,558,738	17%
合計		10,120,904	100%	12,911,626	100%	10,270,235	100%	9,013,787	100%
自主財源比率			21%		19%		25%		29%



	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
議会費	97,790	1%	96,797	1%	96,924	1%	112,303	1%
総務費	3,081,684	32%	6,034,837	49%	2,608,632	28%	1,937,954	23%
民生費	1,197,870	12%	936,879	8%	949,201	10%	906,426	11%
衛生費	759,586	8%	772,601	6%	1,403,643	15%	1,902,648	22%
農林水産業費	1,260,218	13%	1,225,840	10%	1,216,784	13%	525,598	6%
商工費	118,126	1%	434,253	4%	129,592	1%	179,865	2%
土木費	971,045	10%	434,254	4%	445,848	5%	438,691	5%
消防費	93,536	1%	159,891	1%	148,739	2%	77,456	1%
教育費	977,863	10%	911,296	7%	847,946	9%	895,994	11%
災害復旧費	0	0%	0	0%	10672.832	0%	40,528	0%
公債費	754,824	8%	782,152	6%	883,970	9%	938,925	11%
その他	416,316	4%	416,316	3%	726,302	8%	569,038	7%
合計	9,728,859	100%	12,205,116	100%	9,468,254	100%	8,525,426	100%

(2) 財政分析



※類似団体：人口及び産業構造等により 35 のグループに分類された地方公共団体のうち、竹富町と同じグループに属する団体

※早期健全化基準：財政健全化法で規定された実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率のいずれかで基準値を超えた場合、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められる基準

※財政再建基準：自治体財政健全化法で規定された実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率の基準値のいずれかを超過した地方公共団体は、財政再生団体として、国などの管理下で計画的に財政の健全化が図られる基準

財政力



※基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

財政力指標 0.14

全国平均 0.49 沖縄県平均 0.38

類似団体内順位 56/94

基幹産業である農業就業者（農家）の高齢化等により財政基盤が弱く、全国及び沖縄県平均を下回っている。

今後、町全体では人口減少傾向となることが予想され、現状のままでは基準財政収入額が減少していく可能性がある。他方、島しょ自治体である竹富町の基準財政需要額を減少させることは難しい。そのため、財政力指数の低下傾向が今後も続く懸念がある。

財政構造の弾力性



経常収支比率 87.1%

全国平均 92.2% 沖縄県平均 88.2%

類似団体内順位 58/94

今後は、一般財源の増収施策の結果に関わらず、経常的経費の抑制を進める必要がある。DX 施策をより一層推進することで、業務の効率化が図られ、経常的経費も削減できる可能性がある。

※人件費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。低いほど健全

公債費負担の状況



※一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す。低いほど健全（早期健全化基準：25%、財政再生基準：35%）

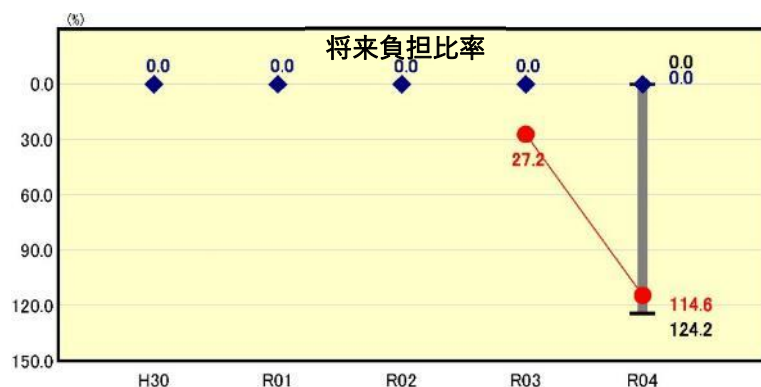
実質公債費比率 7.0%

全国平均 5.5% 沖縄県平均 7.0%

類似団体内順位 45/94

今後、学校等の教育施設の更新整備などによる公債費の増加や、公営企業繰出金の増加が見込まれる。早期健全化基準の25%にはまだかなり余力があり、新規発行債の適正運用や抑制に努めることで、比率上昇を抑制あるいは現状レベルでの維持は可能であると考えられる。

将来負担の状況



※一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す。低いほど健全（早期健全化基準：350%）

将来負担比率 114.6%

全国平均 8.8% 沖縄県平均 12.8%

類似団体内順位 93/94

役場新庁舎、複合型福祉施設、汚泥再生処理施設など大型施設整備によって、今後償還が発生する公債費の増大が挙げられる。今後はこれまでに積み立ててきた財政調整基金や減債基金等を効率的に運用し、計画的な公債費償還や繰上償還による将来負担の軽減、平準化に努めることで、当該比率の上昇抑制を図ることができると考えられる。

給与水準（国との比較）



※国家公務員の給料を100とした場合の地方公務員一般行政職の給料水準

ラスパイレス指数 95.6

全国平均 98.7 沖縄県平均 96.3

類似団体内順位 60/94

全国平均の中でも低い水準にあるが、類似団体とほぼ同水準である。今後は業務増加の可能性のあるものの、定員管理の適正化やDXの推進等で、現状レベルの指数を維持することは可能であると考えられる。

3 社会基盤施設

		竹富島	黒島	小浜島	西表島・東部	西表島・西部	鳩間島	新城島	波照間島
生活インフラ	出張所				西表東部出張所	西表西部出張所			波照間出張所
	水道(簡易水道)	石垣島からの海底送水による受水	西表島からの海底送水による受水	西表島からの海底送水による受水	表流水	表流水	西表島からの海底送水による受水	西表島からの海底送水による受水	海水淡水化
	水道施設	竹富地区簡易水道施設	黒島地区簡易水道施設	小浜地区簡易水道施設	西表東部第1区簡易水道施設 西表東部第2区簡易水道施設	上原地区簡易水道施設(第一浄水場) 上原地区簡易水道施設(第二浄水場) 西表西部地区簡易水道施設 白浜地区簡易水道施設 船浮地区簡易水道施設			波照間地区簡易水道施設
	生活排水処理	特定環境保全公共下水道／竹富島浄化センター	浄化槽	浄化槽	浄化槽	浄化槽	浄化槽	浄化槽	農業集落排水
	電力	石垣島から海底ケーブル	竹富島から海底ケーブル	石垣島・竹富島から海底ケーブル	小浜島から海底ケーブル		西表島から海底ケーブル	西表島から海底ケーブル	島内発電
	廃棄物処理	竹富小型焼却炉施設	黒島小型焼却炉施設	小浜小型焼却炉施設	竹富町リサイクルセンター(リサイクル施設、埋立処分地施設) 西表小型焼却炉		鳩間小型焼却炉施設	新城ごみ仮置所	波照間小型焼却炉施設
緊急車両		竹富ポンプ車	黒島ポンプ車 黒島地区可搬消防ポンプ	小浜ポンプ車 小浜地区全自動小型消防ポンプ	大富ポンプ車 豊原ポンプ車 古見ポンプ車 小型動力ポンプ	西表ポンプ車 上原ポンプ車 白浜ポンプ車 西表地区全自動小型消防ポンプ 上原地区可搬消防ポンプ 西部診療者救急車輛			波照間ポンプ車 波照間救急車輛

		竹富島	黒島	小浜島	西表島・東部	西表島・西部	鳩間島	新城島	波照間島
交通・通信	空港								波照間空港 石垣 週3回1往復
	港湾	竹富東港	黒島港	小浜港	仲間港	船浦港 上原港 白浜港 祖納港 船浮港(避難港)	鳩間港	上地港	
	漁港			細崎漁港		西表漁港			波照間漁港
	航路	石垣行19便/日	石垣行6便/日	石垣行10便/日(うち2便は竹富経由)	石垣行12便/日(うち1便は小浜・竹富経由、1便は黒島経由)	石垣行8便/日(うち2便は鳩間経由)	石垣行4便/日(うち2便は上原経由)		石垣行3便/日
	道路総延長 (R3.41 現在)	県道 0km 町道 27.5km	県道 2.8km 町道 21.8km	県道 1.5km 町道 15.4km	県道 54.0km 町道 45.6km		県道 0km 町道 3.0km	県道 0km 町道 1.2km	県道 0km 町道 26.7km
	ブロードバンド	FTTH	FTTH	FTTH	FTTH	FTTH	FTTH	無線方式	FTTH
住宅	町営住宅	竹富 2戸	黒島 2戸 ふしま保里 1戸 ふしま伊古 1戸	小浜 4戸 小浜第1 8戸 細崎 4戸	大富 30戸 大原 6戸 豊原 10戸 豊原第1 2戸 古見 6戸 古見第1 2戸 美原 2戸	白浜 15戸 白浜第1 4戸 白浜第2 8戸 祖納第1 3戸 祖納 4戸 千立 4戸 舟浮 6戸 船浦 10戸 中野 6戸 住吉 2戸 住吉第1 2戸 上原 4戸 上原第1 8戸 浦内 4戸	鳩間 2戸 鳩間第1 2戸		波照間 4戸 波照間第1 4戸
	職員住宅	竹富職員住宅		小浜職員住宅	西表東部職員住宅	西表西部職員住宅			竹富町職員住宅
	教員住宅	竹富小学校 2戸 竹富中学校 4戸	黒島小学校 8戸 黒島中学校 5戸	小浜小学校 9戸 小浜中学校 8戸	大原小学校 13戸 大原中学校 10戸 古見小学校 4戸	上原小学校 11戸 西表小学校 6戸 西表中学校 5戸 白浜小学校 10戸 船浮小学校 6戸	鳩間小学校 5戸 鳩間中学校 6戸		波照間小学校 8戸 波照間中学校 9戸

		竹富島	黒島	小浜島	西表島・東部	西表島・西部	鳩間島	新城島	波照間島
保健・医療・福祉						船浮中学校 7戸 船浮小学校 2戸			
	医療施設	町立竹富診療所 (医師1、看護師1)	町立黒島診療所 (医師1、看護師0)	県立八重山病院 附属 小浜診療所 (医師1、看護師1)	県立八重山病院 附属 大原診療所 (医師1、看護師1) 町立大原歯科診療所 (歯科医師 0)	県立八重山病院 附属 西表西部診療所 (医師1、看護師0)			県立八重山病院 附属 波照間診療所 (医師1、看護師1) 町立波照間歯科診療所 (歯科医師 0)
	指導所				大富保健指導所	西表西部保健指導所			波照間保健指導所 波照間保健センター
	高齢者福祉施設	竹富高齢者ゆくい処(通所介護事業所さみん)	黒島高齢者ゆくい処(通所介護事業所さみん)	小浜高齢者ゆくい処(通所介護くま)	大富高齢者ゆくい処(通所介護事業所さみん)	南風見苑(デイサービスセンター、特別養護老人ホーム)			波照間高齢者ゆくい処 すむづれの家(小規模多機能型居宅介護事業所)
	障がい者福祉施設				就労継続支援 B型事業所「共同作業所スオウの木」				
	複合型福祉施設	竹富島複合型福祉施設		小浜複合型福祉施設	西表東部複合型福祉施設	西表上原複合型福祉施設			波照間複合型福祉施設
教育・文化	保育所	竹富保育所	黒島保育所	小浜保育所	大富保育所	上原保育所 西表保育所			波照間保育所
	幼稚園				おおはら幼稚園	うえはら幼稚園			はてるま幼稚園
	学校 *プールあり	竹富小中学校	黒島小中学校	小浜小中学校	大原小学校* 大原中学校	上原小学校* 白浜小学校 西表小中学校 船浮小中学校 船浦中学校	鳩間小中学校		波照間小中学校
	給食共同調理場				東部地区学校給食共同調理場	西部地区学校給食共同調理場			
	留学施設						鳩間島留学支援多目的施設 つばさ寮		

		竹富島	黒島	小浜島	西表島・東部	西表島・西部	鳩間島	新城島	波照間島
	集会所等	竹富島まちなみ館	黒島伝統芸能館	小浜島集会所施設 細崎部落集会施設 小浜島細崎防災施設	開拓の里 大原農村集落多目的集会施設 大富農村集落多目的集会施設 古見の浦の里 美原農作業準備休憩施設	船浦地区地域活性化施設 ういばるデンサ会館 中野ちゅらゆな館 浦内地区地域活性化施設 西表農村集落多目的集会施設 祖納自然資源活用型交流促進施設 白浜海人の家 船浮多目的集会施設	鳩間島コミュニティセンター	新城島防災施設	はてるまふれあいセンター
	社会教育施設等	竹富町離島振興総合センター	竹富町農村婦人の家 黒島牛まつり広場	小浜ちゅらさん広場	町立児童交流センター	ときめきホール 船浦 中野わいわいホール	鳩間島野外ステージ		
	観光施設(町営)					西表島エコソーリズムセンター 子午線ふれあい館 白浜海人の家 イルンティ フタデムラ			波照間島星空観測タワー
	観光施設(町営以外)	竹富島ビジターセンター(竹富島ゆがふ館)	黒島ビジターセンター 黒島研究所		環境省西表野生生物保護センター				
	公園	コンドイ園地 農山村広場公園	黒島園地 農山村広場公園 フシマ農村公園	小浜園地 大岳園地 海人公園	ンママキーやまねこパーク(東部公園) 大富農村公園 古見地区農村公園	うなり崎公園 いりおもてふるさとの森施設 西表農村公園(干立)			ムシャーマ公園

		竹富島	黒島	小浜島	西表島・東部	西表島・西部	鳩間島	新城島	波照間島
	文化財 (国指定・登録)	竹富島の種子取 小城盛(先島諸島 火番盛) 旧与那国家住宅 竹富町竹富島伝 統的建造物群保 存地区 西栈橋 なごみの塔 竹富島の生活用具	ブズマリ(先島諸島 火番盛) 神山家住宅 伊古栈橋	小浜島の盆、結願 祭、種子取祭の芸 能 大岳(先島諸島火 番盛) 大盛家住宅	仲間川天然保護 区域 ウブンドルのヤエ ヤマヤシ群落 古見のサキシマス オウノキ群落	星立天然保護区 域 船浦のニツパヤシ 群落 西表島の節祭	中森(先島諸島火 番盛)	タカニク(先島諸島 火番盛) 波照間ムリ(先島諸 島火番盛)	下田原城跡 コート盛(先島諸島 火番盛) 波照間島のムシ ヤーマ
	(県指定)	西塘御嶽 蔵元跡			仲間第一貝塚 仲間第二貝塚 平西貝塚	船浮のヤエヤマハ マゴウ 新盛家住宅			下田原貝塚
産 業	郵便局	竹富郵便局	黒島郵便局	小浜島郵便局	西表大原郵便局	西表島郵便局	鳩間簡易郵便局		波照間郵便局
	農協				JA おきなわ西表東 部業務取扱所				JAおきなわ波照 間業務取扱所
	市場			黒島セリ市場					
	製糖工場			小浜製糖工場 竹富町小浜地域 活性化宿泊施設 「とうまーる」	西表製糖工場 竹富町西表地域 活性化宿泊施設 「ふるさと寮」				波照間製糖工場 竹富町波照間 地域活性化宿泊 施設「ふるま寮」
	織物共同作業所	竹富織物共同作 業所		小浜織物共同作 業所	西表東部織物共 同作業所	西表織物共同作 業所			
	給油所	2か所	1か所	1か所	1か所	3か所			1か所

4 竹富町の計画

		第10次基本計画に統合	統合による効果が見込める	統合済み	策定・見直し時期のリンクによる効果が見込める
		当該分野の基本的計画	特定分野の計画	実施計画	
竹富町総合計画 基本構想	分野横断	竹富町総合戦略 地域再生計画(竹富町まち・ひと・しごと創生推進計画) 竹富町海洋基本計画 竹富町男女共同参画推進プラン 竹富町DX推進計画 竹富町国土利用計画 竹富町再エネ導入戦略	竹富町墓地基本計画 竹富町農業振興地域整備計画 竹富町森林整備計画	竹富町地球温暖化対策地方公共団体実行計画	
	1. 安全な町	竹富町国民保護計画 竹富町地域防災計画 竹富町国土強靱化地域計画	竹富町津波避難計画 竹富町避難行動要支援者支援計画 竹富町業務継続計画 竹富町耐震改修促進計画 竹富町無電柱化推進計画	竹富町公営住宅等長寿命化計画 西表島大原複合防災拠点整備計画	
	2. 安心な町	竹富町公共施設等総合管理計画	竹富町港湾・漁港施設等活用計画 竹富町自転車活用推進計画 竹富町簡易水道経営戦略 竹富町汚水処理施設整備構想 竹富町特定環境保全公共下水道事業経営戦略 竹富町公共下水道事業計画(全体計画) 竹富町農業集落排水事業経営戦略	竹富町簡易水道事業基本計画 竹富町簡易水道事業水質検査計画 浄化槽設置計画 竹富町公共下水道事業計画(事業計画) 農業集落排水施設整備整備構想	
	生活用水の安定化及びごみ汚水対策	竹富町循環型社会形成推進地域計画	竹富町一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 竹富町一般廃棄物(生活排水)処理基本計画 竹富町災害廃棄物処理計画		
竹富町総合計画 基本計画	住宅及び医療福祉	竹富町住生活基本計画 竹富町健康増進計画 竹富町高齢者保健福祉計画 竹富町障がい者計画	竹富町耐震改修促進計画 空き家対策計画 食育計画 竹富町障がい福祉計画 竹富町障がい児福祉計画 自殺対策計画	竹富町公営住宅等長寿命化計画 空き家対策総合実施計画 竹富町保健事業実施計画(データヘルス計画) 竹富町特定健康診査等実施計画 竹富町介護保険事業計画	
	3. バランスのとれた町	竹富町農業振興地域整備計画 竹富町観光振興基本計画	竹富町農業経営基盤の強化に関する基本的な構想 西表島エコツーリズム推進全体構想 竹富町自転車活用推進計画	西表島世界遺産センター整備基本構想・基本計画	
	4. 自然文化・教育の町	竹富町の教育及び文化の振興に関する大綱 竹富町景観計画	竹富町子ども・子育て支援事業計画 竹富町海洋教育基本計画 竹富町文化振興・観光交流拠点基本構想・基本計画 竹富町無電柱化推進計画	西表島世界遺産センター整備基本構想・基本計画 重要文化財旧与那国家住宅保存活用計画 国指定史跡下田原城跡保存管理計画 史跡先島諸島火番盛整備基本計画 竹富町竹富島歴史的景観形成地区保存計画 竹富町の公共施設等の屋外照明整備基準及び管理計画	
			竹富町竹富島地域自然資源地域計画 竹富町森林整備計画		

Ⅲ. 前期基本計画(第 9 次基本計画)の 取り組み結果

※令和6年8月～10月町職員調査及び課長ヒアリングに基づくまとめ

1 竹富町総合計画第9次基本計画

計画期間：令和2（2020）年～6年（2024）の5年間

「最終的な目標達成見込み」の凡例： ◎達成済み ○達成見込み ▼達成不可見込み ×達成不可 ー判断不可

町づくり目標1 島人と来訪者の安全を確保する(安全な町)

地域防災計画の随時見直しを図り、行政機関・民間と連携を強固にし、必要なインフラ整備を推進する

現状と課題(令和2年3月時点)

○現状： 各種災害の頻発、国の国土強靱化基本計画の見直し

○竹富町の取組：

- ・地域防災計画、津波避難計画、風水害避難勧告等判断・伝達マニュアル等の策定完了
- ・運輸事業者と災害時における物資の緊急輸送に関する覚書の取り交わしなど、増加する観光客も含めた安全確保

○課題： 台風によるライフライン遮断、土砂災害のリスク、避難道の安全性確保、多くの集落が津波浸水区域にあること、災害時の人・物資輸送など

施策(令和2～6年度)

(1)地域防災計画の改定

(2)緊急時の空路・海路・陸路、物資輸送体制の整備

(3)緊急時通信網の整備

(4)緊急時を含む各島・地域のエネルギー確保施設・体制の整備

施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・地域防災計画の改定は完了し、随時見直し実施中
- ・国民保護計画、業務継続計画も策定
- ・防災力強化の手段として、民間との連携も適宜進めている
- ・今年4月の津波警報後に実施したアンケート調査で、避難路等の安全性等について課題が明確化
- ・新城島を除く全町で光通信網の整備が完了。携帯電話の不感地帯解消も実現
- ・災害時の電力確保については、沖縄電力との協定により、台風時等の停電復旧対応力を強化
- ・電線地中化を小浜島にて推進中
- ・災害時にも使用可能な再エネの導入は、波照間の海水淡水化装置に太陽光パネルを装備し、余剰電力を他の施設に供給する計画が進行中。その他は小規模な施設ごとに留まっている

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
地域防災計画の改定と随 時見直し	改定の実施	平成26年改定	令和2年度改定	改定済み	◎
	見直しの実施	毎年見直し	毎年見直し	毎年見直し	◎
緊急時の輸送体制の整備	民間機関との協定数	1件	3件	6件	◎

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
緊急時通信網の整備	超高速通信網の未整備地域	3 地域	未整備地域ゼロ	1 地域	×：1 地域 ただし携帯不感地域 についても取組推進
緊急時を含む各島・地域のエネルギー確保施設・体制の整備	電線地中化地域数	2 地域	3 地域	2 地域	×：2 地域 ただし個別計画に基づき推進中
	自立した再生可能エネルギー施設数	1 施設	3 施設	2 施設	○：3 施設



現時点の課題(令和7年度～)

- ・避難路の安全性確保、避難場所の環境整備、備蓄物資の充実、防災無線の聞こえ など
- ・集落における非常時電源確保
- ・観光客の避難誘導
- ・要支援者名簿の更新
- ・受援計画の整備
- ・各種計画が災害時にきちんと運用できるようにするための最適な体制づくり

町づくり目標2 島人の暮らしと来訪者の滞在を支える(安心な町)

町民が安心して生活し、観光客等の来訪者が安心して過ごせる基盤及びサービスを整備・充実する

行政サービス

現状と課題(令和2年3月時点)

○竹富町の取組： 石垣庁舎の建設

○課題： 大原庁舎及び役場出張所の整備

施策(令和2～6年度)

(1)行政機能の向上を目指す町

石垣庁舎の整備、大原庁舎の整備、出張所の整備の検討



施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・石垣庁舎の開庁
- ・大原庁舎等整備基本計画の素案は策定したが、その後、防災拠点としての機能など施設の在り方そのものの見直し中
- ・出張所の整備については、ハコモノの検討よりもまずは諸手続きのオンライン化や郵便局との連携を推進して利便性の向上を図った

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
行政機能の 整備	石垣庁舎の建設・開庁	仮設庁舎での業務、石垣庁舎整備事業の検討	完成・開庁	完成・開庁	◎
	大原庁舎の建設・開庁	検討中	完成・開庁	施策の見直し	ー
	竹富島、小浜島、黒島、鳩間島での役場出張所設置	検討中	完成・開所	施策の見直し	ー



現時点の課題(令和7年度～)

- ・大原庁舎、複合防災拠点の整備
- ・各島における物理的な行政窓口サービス拠点についての検討

上下水道

現状と課題(令和2年3月時点)

上水道

- 竹富町の取組： 海底送水管の更新（工事完了：西表～新城、西表～黒島 工事中：石垣～竹富）
- 課題： 人口と観光客の増加に伴う給水人口の増加、総配水量に対する総有水量の割合が低い（76.9%）

下水道・生活排水

- 現状： 竹富島は下水道接続率 100%（特定環境保全公共下水道）、波照間島は農業集落排水接続率 86%
- 課題： 合併浄化槽への切替が進まない（竹富島・波照間島以外）

施策(令和2～6年度)

- ①緊急時を含む生活用水供給施設の整備と管理
- ②下水道等污水处理施設の整備



施策の実施状況(令和2～6年度)

上水道

- ・竹富～石垣及び西表～小浜の海底送水管更新工事完了
- ・波照間島海水淡水化施設は令和7年度整備に向けて調整中

下水道・生活排水

- ・波照間島農業集落排水接続率の向上の推進（継続）
- ・合併浄化槽の新設や単独浄化槽からの切替費用に対する補助金を開始

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
生活用水の確保	石垣島～竹富島及び西表島～小浜島の海底送水管の更新	一部更新	全面更新	一部更新	◎
	各島の貯水・配水施設の整備	計画中	一部着手	一部整備	◎
	緊急時に対応する新たな水源の検討	事前調査	検討開始	検討開始	◎
下水道等污水处理施設の整備	波照間島の農業集落排水施設の接続率	86%	100%	88%	× 目標値が過大



現時点の課題(令和7年度～)

上水道

- ・波照間島海水淡水化施設の施設維持・更新・運用コスト（再エネ導入による電気代削減や広域化検討）
- ・管路等給配水の老朽化
- ・西表～鳩間の海底送水管更新に向けた取り組み
- ・（中長期的な課題）緊急時・平常時を含めた最適な水源確保や水源の一本化

下水道・生活排水

- ・合併浄化槽の新設・切替費用に対する補助金の周知
- ・波照間島農業集落排水接続率の向上（継続）
- ・西表島以外の島でのし尿汚泥処理（緑地還元からの切替）

廃棄物処理**現状と課題(令和2年3月時点)**

○課題：

- ・廃棄物排出量が年々増加
- ・ごみ焼却炉の更新
- ・循環型社会の形成（生ごみ、家畜ふん尿の堆肥化等）
- ・海岸漂着ごみ（自然に対する脅威、観光資源価値の低下、処分コスト負担）

施策(令和2～6年度)

廃棄物・海洋ごみ対策施設の整備と関連行政及び民間との連携

施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・竹富町に適したごみ処理方法の検討（島内での完結）
- ・令和6年度から汚泥再処理センターにて西表島のし尿処理・堆肥化を開始
- ・漂着ごみの処理について2つの実証実験を実施中（小浜島、西表島）

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
廃棄物・海洋ごみ対策施設の整備と関連行政及び民間との連携	町民一人1日当たりのごみ排出量	478g	466g	R3：560g R4：570g R5：581g	× 事業所ごみが年々増加
	海岸漂着ごみ処理・リサイクル制度の制定	制度なし	制度制定	制度制定	◎
	海岸漂着ごみリサイクル量	未集計	150 m ³ /年	波照間と竹富でペットボトルリサイクル実施 売却益は年200円程度	× 圧縮するため達成困難
	竹富町廃棄物処理・資源循環クローズドモデル計画（仮称）の策定	委員会での検討開始	計画策定	未実施	× 具体的な取組内容が決まらなると策定不可

現時点の課題(令和7年度～)

- ・焼却炉に代わる自然分解型アップサイクルユニットの導入
- ・西表島汚泥再処理センターの安定稼働・堆肥化
- ・実証実験の結果を踏まえた漂着ごみの処理
- ・地域ボランティアに頼らない漂着ごみの回収

運輸(交通・物流)

現状と課題(令和2年3月時点)

- 現状： 波照間航路はばいじま2の運航により欠航率の大幅改善(就航率90%以上)
- 竹富町の取組： 民間小型機のチャーター便就航の検討中
- 課題：(空路)波照間路線の早期再開
(海路)波照間航路の安定化、鳩間航路の冬期の欠航率の高さ
(道路)引き続き地域の状況に即した道路の改良・舗装

施策(令和2～6年度)

- ①波照間空港の運用再開と利活用
- ②海上交通網(島間航路を含む)の充実
- ③町道の改良及び舗装化推進
- ⑤(物資輸送における)無人航空機(ドローン)の活用



施策の実施状況(令和2～6年度)

- (空路)波照間路線再開
- (海路)・上原・鳩間航路の開設に向けて調整が続けたが、現時点では具体案なし
・上原・鳩間以外の島間航路については、ニーズ低迷により進展なし
- (道路)地域の状況に即して優先度の高い箇所から改良・舗装(継続)
- (物流)・農協丸の代替船建造(設計まで)と新しい運航体制の検討
・上原・鳩間にて、ドローンによる物資輸送の実証実験やオペレータ訓練などを実施

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
空路・海路・陸 路の整備	波照間空港の運 用再開	検討・調整段階	運用再開	運用再開	◎
	鳩間・上原間航 路の開設	検討中	開設	検討中	× 運航事業者を確保できる見 通し立たず
	島間航路数	4 航路	8 航路	4 航路	×：4 航路 情勢変化により目標の妥当性が 著しく低下
	町道の改良率	37.5%	40%	(参考値) 32.4%	計画策定当時の値の出所が不明 で比較不可
	町道の舗装率	56.5%	60%	57.4%	× 目標値が過大(1%は約 1,260mに相当)



現時点の課題(令和7年度～)

- (空路)波照間路線維持のための利活用促進
- (海路)・上原・鳩間航路の開設
・海上交通の利便性の向上
- (道路)引き続き地域の状況に即した道路の改良・舗装(継続)
- (物流)・農協丸代替船の新体制での運航と、それを踏まえた町内物流の最適化
・町内物流における無人航空機(ドローン)の効果的な活用と運用体制の確保

通信

現状と課題(令和2年3月時点)

- 竹富町の取組：フリーWi-Fiスポット整備、各種申請のオンライン化の検討
- 課題：医療・福祉、教育、地域間交流、行政サービスにおけるブロードバンドの活用

施策(令和2～6年度)

- ④超高速通信網のインフラ整備と医療・福祉、教育、地域間交流、行政に必要な設備とシステム構築



施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・新城島を除く全町で光通信網の整備が完了。携帯電話の不感地帯解消も実現（再掲：町づくり目標1）
- ・コロナ禍でオンライン会議等の利用が加速した
- ・医療・福祉分野：様々なスマートフォンアプリ（母子手帳アプリ、オンライン診療アプリ、健康管理アプリなど）の活用、遠隔手話通訳など
- ・教育分野：GIGAスクール構想に基づき、1人1台タブレット端末を活用した調べ学習やAIドリルの導入、オンラインでの町内外校との交流など、ごく当たり前のツールとして活用
- ・行政サービス分野：20以上の申請・申込手続きのオンライン化、町長直行便の運用、公式LINEによる防災や各種お知らせなど
- ・デジタルデバイド対策として、各島でスマホなんでも相談会（定期）等を開催

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
通信網の整備	超高速通信網による町民の各種申請のオンライン対応	未実施	2申請項目	申請：12項目 申込：8項目	◎
	超高速通信網による医療・福祉、教育、地域間交流、行政運営での活用	実証実験2回	10回線で本格運用開始	様々な場面で活用（*1）	◎

*1 診療所受診時の遠隔手話通訳、介護職員初任者研修の一部オンライン授業、オンライン・対面ハイブリッドの海洋教育サミットなど



現時点の課題(令和7年度～)

- ・様々な分野でさらなるDX化、ブロードバンドの活用
- ・オンライン診療、遠隔診療の実現
- ・デジタルデバイド対策の継続

住宅供給

現状と課題(令和2年3月時点)

- 竹富町の取組： 町営住宅の整備・建替えと公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕・改善
- 課題： 移住者の増加に伴う住宅不足

施策(令和2～6年度)

- ①町営住宅の整備
- ②民間住宅の建設推進

施策の実施状況(令和2～6年度)

町営住宅

- ・細崎団地4戸を新設
- ・大富団地の建替えに向けた実施設計(30戸から32戸に増戸)
- ・既設の町営団地の修繕・改善の実施(小浜、祖納、舟浮における居住性の向上、福祉対応、長寿命化など)

民間住宅

- ・竹富町、浦内公民館、ジャカコン西日本の3者協定により浦内の町有地にコンテナ住宅を設置
- ・波照間島や黒島などで新たな民間住宅の建設を目指して検討中
- ・空き家等実態把握調査を実施
- ・空き家等掲示板を開設し、空き家情報の提供を開始

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
住宅整備	町営住宅数、建替え数	163戸	4戸新設 4戸建替え	4戸新設中 32戸建替え中(30戸から増戸)	○：新設4戸 ×：建替え32戸 実施設計完了まで
	民間住宅整備数	0	10戸	5戸	×：5戸

現時点の課題(令和7年度～)

町営住宅

- ・大富団地の建替え(増戸)と公営住宅等長寿命化計画に基づく既設団地の修繕・改善(祖納、干立、小浜、舟浮における居住性の向上、福祉対応などを予定)

民間住宅

- ・町有地の活用を含めた様々なスキームによる住宅建設
- ・賃貸住宅としての空き家の活用促進

医療・健康増進**現状と課題(令和2年3月時点)**

○現状： 町立診療所2か所、県立八重山病院附属診療所4か所、町立歯科診療所3か所

○竹富町の取組：

（健康増進）特定検診受診率の向上、保健師による個別保健指導・健康相談

（母子保健）妊産婦検診時の渡航費、予防接種費用等の助成、各地域の母子保健推進員（委嘱）や関係機関との連携

○課題：（医療）鳩間島・新城島における医療提供

（健康増進）高齢者医療費の抑制

（母子保健、子育て支援）子育て世代包括支援センターの設置と関係機関連携によるきめ細やかな支援

施策(令和2～6年度)

③医療、高齢者及び障がい者福祉と子育て支援関連施設とサービス制度の充実

医療：超高速通信網を活用した医療機関間の連携や見守りを推進

健康づくり：特定検診受診率と特定保健指導の実施率向上

母子健康医療：健康管理支援の推進、安定的な医療体制提供のための関係機関連携

施策の実施状況(令和2～6年度)**医療**

- ・オンライン診療アプリ（キッズドクター）の利用勧奨（町民／観光客）
- ・西表に2か所あった歯科診療所を統合し、町立歯科診療所は波照間とあわせて計2か所となったが、現時点でいずれも歯科医不在となり休診中

健康増進

- ・保健師6名体制で各地区を担当
- ・特定検診受診率のさらなる向上に向けて取り組んだが、コロナ禍の影響もあって低迷
- ・沖縄セルラー電話㈱による実証事業「健康プロジェクト」（スマホアプリによる健康情報管理）全面協力
- ・令和7年度からを計画期間とする健康増進計画（改定）および食育推進計画（新規）の一体的策定作業中
- ・福祉支援課との連携により、高齢者の生活習慣病等の重症化予防に関する一体型の個別支援を実施
- ・地域の自主的な健康増進活動を担う健康づくり推進部会や食を通じた健康づくりを推進する食生活改善推進員（ヘルスメイト）の活動サポート、生活改善に向けた栄養指導（相談）など（継続）

母子保健

- ・母子手帳アプリ運用
- ・妊婦訪問、乳幼児相談（栄養相談）、産後ケア・母乳ケア費用や妊産婦検診のための渡航費助成など（継続）
- ・各地区診療所や石垣市にある助産院など関係機関との連携強化

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
医療体制	超高速通信網を活用した医療連携	未実施	1施設で開始	スマホアプリにより施設を問わず実施	◎
	同 見守り	未実施	開始	未実施	×
健康づくり	特定検診受診率	57.6%	60%	R4：59.2% R5（暫定値）：57.3%	▼
	特定保健指導の実施率	71.9%	75%	R4：66.3% R5（暫定値）：67.0%	▼ ただし指導人数はほぼ変わらず

現時点の課題(令和7年度～)

- ・町立歯科診療所(2か所)の再開
- ・地道な個別アプローチによる特定検診受診率の向上
- ・各地域における自主的な健康増進活動の活性化
- ・一人ひとりに寄り添った切れ目のない支援

高齢者・障がい者福祉

現状と課題(令和2年3月時点)

○課題：

- (全般) 介護や子育てに悩みや不安を抱える人の増加、総合的な支援の必要性、民生委員・児童委員など地域福祉活動への支援強化、住民の地域福祉活動への参加促進
- (高齢者福祉) 地域包括ケアシステムの構築
- (障がい者福祉) 切れ目のない相談・支援体制の構築、就労支援など社会参加の促進

施策(令和2～6年度)

③医療、高齢者及び障がい者福祉と子育て支援関連施設とサービス制度の充実

高齢者福祉：介護保険施設及び居宅での支援、配食サービスなどの継続実施

複合型福祉施設の順次整備、効果的な福祉支援の推進

施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・地域包括支援センターの体制強化（専任のセンター長、専門職の増員）
- ・移動支援：お出かけサポートは既存の3地区に加え、新たに黒島での実施に向け要綱見直し中
- ・(高齢者福祉) 認知症対策：VR体験や認知症カフェなどの普及啓発、認知症初期集中支援チームの設置
- ・(高齢者福祉) 介護の担い手育成・確保：地域で介護を担う人材を確保するための介護職員初任者研修等を実施
- ・(高齢者福祉) 介護予防：西表東部にて通所型サービスBを開始。また、いきいき百歳体操の場にリハビリテーション専門職を派遣するとともに、年1回体力測定を実施
- ・(高齢者福祉) 生きがいづくり：複合型福祉施設の開設（5か所）。黒島にふれあいサロン、大富地区にゆくい処を新たに開設
- ・(高齢者福祉) 配食サービス：船浮・白浜地区で新たに開始見込み。竹富地区では島内事業者による週5回の配食を目指している

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
高齢者福祉	ふれあいあいサロン登録者数	202人	220人	R5：220	◎
	お出かけサポート登録者数	117人	130人	R5：113	○
	介護予防教室の開催箇所数	19箇所	19箇所	14地区（いきいき百歳体操実施地区）	×：14地区 計画策定時の値が誤りの可能性
	配食サービス実施箇所数	6箇所	8箇所	6箇所	▼ ただし内容は充実
	複合型福祉施設設置数	未設置	5施設	5施設	◎

現時点の課題(令和7年度～)

- ・地域包括支援センターのさらなる体制強化（生活支援コーディネーターの第3層：各地域への配置）
- ・黒島での複合型福祉施設の開設
- ・鳩間島での配食サービス
- ・各地域における各種サービス・取組の継続実施、そのための介護人材の育成や集落支援員との連携等による体制確保
- ・避難行動要支援者名簿の作成
- ・手話通訳者等の人材育成
- ・誕生から39歳まで切れ目のない重層的支援

子育て支援

現状と課題(令和2年3月時点)

○課題:

(全般) 介護や子育てに悩みや不安を抱える人の増加、総合的な支援の必要性、民生委員・児童委員など地域福祉活動への支援強化、住民の地域福祉活動への参加促進

(子育て支援)

- ・ 幼児教育・保育の質の向上、働きながら子育てできる環境の整備、子育て支援の充実
- ・ 療育が必要な子ども、ひとり親家庭、虐待の未然防止・早期発見など子どもや家庭の状況に応じたきめ細やかな支援

施策(令和2～6年度)

③医療、高齢者及び障がい者福祉と子育て支援関連施設とサービス制度の充実

複合型福祉施設の順次整備、効果的な福祉支援の推進

町づくり目標4(1)町づくりを担う人を育てる教育推進の町

①竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と更新

施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・ こども未来課の設置
- ・ 「子育て支援アドバイザー」が悩みや相談を受け付け、毎月の「竹富町こども未来応援会議」において関係者間で情報共有する仕組みを構築
- ・ 児童手当、児童扶養手当、こども医療費、母子及び父子家庭等医療費助成などによる支援
- ・ ひきこもり対策推進事業、医療的ケア児総合支援事業、発達障害児者及び家族支援事業など
- ・ 高校生の通学に係る交通費や居住に係る費用を補助
- ・ (人材確保) 専門的資格(幼稚園教諭、保健師、看護師、保育士、管理栄養士等)の取得をめざす人に修学資金を支給する「ふるさと応援奨学金」はこれまでに13名(制度開始からの累計16名)が利用
- ・ (人材確保) 地域で子どもの一時預かり等の子育て支援を担う保育サポーター養成オンライン講座を実施(八重山3市町合同、ファミリーサポート・センター)
- ・ (人材確保) 夏休みに帰省した高校生を対象として、保育所でのアルバイト体験

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込み
竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と更新	竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と更新	改定	適宜更新	第3期計画改定作業中	○ 令和6年度末に第3期計画完成

現時点の課題(令和7年度～)

- ・ 誕生から39歳まで切れ目のない重層的支援
- ・ 保育所の保育時間の見直しなど多様なニーズに応えるサービスの充実
- ・ 幼保連携による人材の柔軟な配置
- ・ 子育てを支える人材の育成
- ・ 保育所・幼稚園の閉園時間後の遊具の利用

町づくり目標3 島々の持続的な発展を推進する(バランスのとれた町)

持続的な発展のため、第一次産業とともに観光を主体とする第三次産業をリーディング産業と位置づけ、第二次産業とともに各島に適した六次産業化を推進する

第一次産業

現状と課題(令和2年3月時点)

○現状：
(農業) 竹富農業振興地域整備計画の見直し
(畜産業) 黒島を中心に肉用牛の生産が順調

○竹富町の取組：
(農業) 西表島、小浜島、波照間島に刈倒機、ハーベスター、プランター、トラクター等各種機械の導入

○課題：
(農業) 農業生産基盤の整備率向上、農業の担い手減少、さらなる機械化・近代化、農作物の付加価値化、集出荷等による流通の効率化
(畜産業) 用水確保、家畜運搬の効率化、担い手の育成、家畜ふん尿の堆肥化
(漁業) 深刻な担い手不足、資源管理、養殖など資源の多様化の推進による所得の安定化

施策(令和2～6年度)

(1)竹富農業振興地域整備計画の早期見直し
(2)漁業の振興



施策の実施状況(令和2～6年度)

農畜産業

・ 農業用水施設の修繕・長寿命化、農道の補修整備
・ 農地の集積・集団化
・ 西表島の集出荷場が狭隘かつ老朽化しているため、新施設整備による効率的な集出荷体制の構築を検討中
・ 農産物出荷コストの一部補助により、地理的不利性の補正
・ 新規就農説明会や就農準備資金等の支援により毎年2-3名の新規就農者が誕生
・ 子牛の価格低迷、物価高が重なり、経営状況が悪化して成牛を手放す畜産農家が増えている。輸送費や飼料に対する助成をおこないつつ、長期的な支援として子牛の預かり保育、ストーンクラッシャー導入による採草回数の増加など経営効率化の支援を検討している
・ 牛を始めとする農産物の輸送を担ってきたJAの汽船やえやま(通称：農協丸)が老朽化し、JAが運航の撤退を決めたことから、町で代替船の建造を進めている
・ 西表島農業青年クラブにて牛糞堆肥づくりを試験実施。琉球大学との協定により黒島で牛糞の堆肥化に向けて検討中

漁業

・ 西表島でシャコガイ、小浜島で海ブドウとシラヒゲウニの養殖を開始
・ 波照間島でトビウオ漁の試験的实施

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
農業の振興	竹富農業振興地域整備計画	調整中	見直し	見直し実施済	◎

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
	ほ場整備率	63.9%	66%	59.4%	× 計画策定時の値 が誤りの可能性
	農業用水源整備率	16.5%	27%	17.4%	× 西表上原地区整 備計画が大幅見直し
	灌漑施設整備率	16.0%	26%	16.8%	同上
	農家数	214 戸	220 戸		○
	農業粗生産額（耕種）	11 億 7 千万円	12 億 5 千万円		
	畜産粗生産額	16 億 9 千万円	18 億円	R2：12 億 3 千万円 R3：13 億円 R4：11 億 7 千万円	× 生産量は増加だ が子牛価格が低迷
漁業の振興	漁獲量	59t	66t	119.5t	◎ 主に細崎のモズ ク養殖生産が増
	海洋保護区・資源管理	限定参加	積極参加・実施	積極参加・実施	◎
	養殖等	モズク養殖	他の養殖等開始	他の養殖開始	◎
	漁業者数	29 人	29 人	34 人	◎



現時点の課題(令和7年度～)

農畜産業

- ・西表島の集出荷場の整備と効率的な集出荷体制の構築
- ・農業生産基盤の整備率向上、機械化・近代化、農作物の付加価値化等（継続）
- ・黒島の「牛の島」としての存続・発展
- ・子牛の価格低迷、物価高に耐えうる畜産業の経営安定化
- ・再肥育ブランド牛の開発
- ・新規就農者の支援（継続）
- ・牛糞堆肥化ノウハウの確立と町内展開

漁業

- ・養殖魚種の多様化、安定供給

第二次・第三次産業

現状と課題(令和2年3月時点)

- 現状： 多くの観光客が訪れ、今後も増加が見込まれる
- 竹富町の取組： 竹富島における地域自然資産法に基づく入域料の収受と自然環境保全活動の開始、西表島における利用者負担制度の検討
- 課題：
 - ・第一次産業産品を用いた特産品の産出およびその製造販売業の増加
 - ・自然・伝統文化の保全・継承のための財源確保

施策(令和2～6年度)

- (3)商工業の振興
- (4)各島・地域における観光業振興団体構築と振興計画策定
- (5)滞在型観光の推進
- (6)観光客からの入域料による自然環境保全活動に係る資金の確保と適正な活用
- (7)観光利用ルール・マナーアップ・価値共有の制度制定と周知

施策の実施状況(令和2～6年度)

- ・竹富町特産品のリニューアルと周知活動の強化→事業者からの応募増により認定特産品が倍増
 - ・地域商社事業（マッチング）による新たな特産品を開発
 - ・地域おこし協力隊を配置し、特産品生産事業者の発信力強化等
 - ・観光関連サービスの高付加価値化に向け、宿泊施設の改修のための融資や新業態の起業支援などを開始
- ※施策(6)(7)の実施状況については町づくり目標4参照

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込み
商工業の振興	町内総生産額	115 億 9 千万円	120 億円	R5：160 億円	◎
	商工会会員登録数	355	370	R5：365	達成不可見込み
	町特産品認定数	63 品目	70 品目	R5：98 品目	◎ 令和6年度もさらに増える見込み
各島に適した観光振興	観光業振興団体数	2 団体	4 団体	3 団体 小浜、黒島、波照間	×：3 団体（*1）
	地域観光振興計画	なし	4 計画	0 計画	×
滞在型観光の推進	一人当たりの観光消費額	年間 11,867 円 秋冬 7,704 円	年間 15,000 円 秋冬 10,000 円	（参考値） 年間 33,059 円 秋冬 30,823 円	— 比較不可（*2）

*1 社会情勢の変化、個別計画に基づく方針転換

*2 計画策定時と同じ方法（対面式アンケート）で値を算出することができない

現時点の課題(令和7年度～)

- ・商工会と連携した特産品の開発と販売促進
- ・各島の考え方に沿った観光の推進
- ・産業連関分析に基づく観光による経済波及効果の増幅

町づくり目標4 島々の自然と文化を継承する(自然・文化と教育の町)

担い手となる子供たちへの教育をより一層進め、各校・各地域の交流や拠点の新設を推進する
また、観光客の理解を深め、協力を得る

教育・交流 ※子育て支援については町づくり目標2を参照

現状と課題(令和2年3月時点)

○現状： 全国平均を上回る学力

○竹富町の取組：

(幼児教育) 幼稚園教諭・保育士合同研修会、竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と各種施策の推進

(学校教育) 学力向上推進委員会による実践発表会の開催、全小中学校への図書館司書配置、海外ホームステイ事業、姉妹町・友好都市との相互交流訪問、外国語指導助手や ICT 支援員の派遣、海洋教育の推進

○課題： 保護者の経済的負担、学校間の交流が少ない

施策(令和2～6年度)

(1)町づくりを担う人を育てる教育推進の町

- ①竹富町子ども・子育て支援事業計画の策定と更新
- ⑤国内外交流の推進

施策の実施状況(令和2～6年度)

(学校教育)

- ・1人1台タブレットを配布し、塾の代替機能として AI ドリルを導入
- ・「海洋教育」を中心に、各校で地域の特性を生かした特色ある取組が継続されており、全国から多くの視察や交流の要望が寄せられている
- ・教職員の ICT スキル向上のため、各校年2回ずつ学校のニーズに応じた研修を実施

(国内外交流；子ども)

- ・外国語指導助手(3名)は各小中学校および幼稚園のほか、昨年度から保育所にも月1回訪問
- ・海外ホームステイ事業、姉妹町・斜里町との交流相互訪問(各校1名)の継続実施(ただしコロナ禍により中止の年あり)
- ・竹富町スポーツ少年団交流大会、全国離島交流中学生野球大会の実施(継続)

(国内外交流；全世代)

- ・5年に1度の姉妹町・斜里町との相互交流の旅(竹富町民号・斜里町民号)の実施(継続)
- ・R5年度に斜里町との姉妹町盟約50周年を記念して職員の交流相互訪問や各島での写真展などを実施
- ・竹富町球技大会、竹富町民運動会、竹富町やまねこマラソン大会の実施(継続)。球技大会ではR6年競技種目にモルックを追加

現時点の課題(令和7年度～)

- ・幼稚園・保育所から小学校へのスムーズな移行のための幼保小連携カリキュラム編成
- ・ブロードバンド環境を備えた放課後の学習の場の確保
- ・キャリア教育の充実
- ・地区学力向上推進委員会、学校評議員制度の再編／コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の立ち上げ
- ・町内交流の活性化
- ・竹富町民運動会の見直し

自然・伝統文化の保全・継承

現状と課題(令和2年3月時点)

○現状： 数多くの指定文化財

○竹富町の取組：

- ・「竹富町史 島々編」や「町史だより」の発刊
- ・「竹富島重要伝統的建造物群」の伝統的建造物の保全、「準景観地区」の指定に向けた準備
- ・竹富町西表島エコツーリズム推進協議会の設立

○課題： 町の自然と伝統文化を知り交流できる施設の新設、観光客に守ってほしいルール・マナーの理解や保存継承のための協力、海岸漂着ごみ対策

施策(令和2～6年度)

(1)町づくりを担う人を育てる教育推進の町

- ②自然及び文化財の保護と活用、伝承のための体制強化
- ③景観の維持保全
- ④町史編纂の推進

(2)必要な施設とともに先進的なルール・制度の制定と実行を推進する町

- ①総合博物館及びビジターセンター等の新設
- ②観光客からの入域料による自然環境保全活動に係る資金の確保と適正な活用（再掲）
- ③観光利用ルール・マナーアップ・価値共有の制度制定と周知（再掲）
- ④海岸漂着ごみ対策

施策の実施状況(令和2～6年度)

博物館・ビジターセンター

- ・離島振興センター跡地に博物館のコア施設をつくり、各島にサテライトミュージアムを設ける計画で、R10年度までのロードマップに沿って目録作りなどを進めている
- ・R3年7月、西表島が世界自然遺産に登録。西表島世界遺産センターの建設に向け、実施設計を実施中
- ・個人で所蔵する文化財を町の収蔵庫で預かる取組をR5年度より開始

自然・伝統文化の保全

- ・デジタルミュージアムの構築に向け、わらべうたや古謡などのアナログ資料の収集・デジタル化を推進中
- ・コロナ禍で中止した年もあるが、シマムニ発表会、古謡発表会、民俗芸能発表会を継続開催
- ・R5年2月より、町内初となる竹富島を対象とした準景観地区を運用開始
- ・竹富町の新たな観光ブランド「責任ある観光」の展開
- ・竹富島地域自然資産地域計画の改定と入域料収受率向上策の検討
- ・「西表島エコツーリズム推進全体構想」の策定（R4年12月認定）、西表財団の設立、観光案内人制度の開始、立入制限区域（特定自然観光資源）の運用開始
- ・訪問税の導入に向けた検討

施策	指標	計画策定時の値	目標値	現状値	最終的な目標達成見込
総合博物館・ビジターセンターの新設の推進	総合博物館及びビジターセンター等の新設推進	検討中	建設・運営計画の策定	策定済み(*1)	◎
景観の維持保全	「竹富島重要伝統的建造物群」修繕件数	76件	86件		
	竹富島集落の「準景観地区」指定	検討中	指定と条例改正	指定及び条例施行済み(*2)	◎

Ⅲ. 前期基本計画(第9次基本計画)の取り組み結果

施策	指標	計画策定時の 値	目標値	現状値	最終的な 目標達成見込
	竹富町景観条例、竹富町景観計画に基づく保全件数（竹富島以外）	集計なし	9 件	0 件	
各島の町史の刊行	刊行数	5 島	7 島	5 島	×：6 島
観光入域料等利用者負担制度の推進	制度制定数	1 島	2 島	1 島	○：2 島
観光ルール・マナーアップの推進	ルール・マナーアップ制度、入域制限の制定・実施数	協定数 1(*3)	1	1	○：2(*4)
		条例数 1(*5)	3	4	◎：4(*6)

- * 1 令和2年度に文化振興・観光交流拠点基本構想書、令和3年度に同基本計画書（施設整備計画及び運営計画を含む）を策定。令和3年度に西表島世界遺産センター整備基本構想、令和4年度に同基本計画策定及び基本設計
- * 2 令和4年10月準景観地区指定、令和5年2月竹富町準景観地区条例施行
- * 3 仲間川保全利用協定
- * 4 西表島エコツーリズム推進全体構想による特定自然観光資源制度
- * 5 竹富町自然環境保護条例
- * 6 竹富町観光案内人条例、竹富町エコツーリズム推進法の施行等に関する条例、竹富町撮影に関する規則



現時点の課題(令和7年度～)

- ・博物館・ビジターセンター整備の推進
- ・シマムニ、古謡、民俗芸能等の伝承者の高齢化
- ・伝統的建造物を新築・維持補修するための瓦・茅・ヒルギ等伝統的資材の調達と設計士・大工の確保
- ・竹富町の新たな観光ブランド「責任ある観光」の浸透
- ・竹富島入域料（協力金）の収受率向上とトラスト活動の実現
- ・西表島の観光案内人制度と立入制限区域（特定自然観光資源）の順調な運用
- ・訪問税の導入

2 第2次竹富町海洋基本計画

計画期間：平成30（2018）年～令和4年（2022）の5年間

「目標達成状況」の凡例：◎達成 ○ほぼ達成 △一部達成 ×未達

実施項目	成果	
	目標達成状況	取り組み内容
1. 亜熱帯海域と島々の大自然及び豊かな生物多様性をはぐくむ貴重な生態系を保全する		
①サンゴ礁及び島々の自然環境保全・適正利用の推進		
(1)各島および周辺海域に適したマリンレジャー・エコツアー関連事業者の実態及び観光圧の把握	× 実施なし	
(2)各島および周辺海域に適したマリンレジャー・エコツアーガイドの育成、関連事業者・ガイドの登録制度及び許認可制度の導入	西表島（陸域）：○ 観光案内人 103 事業者、234 人 登録引率ガイド 49 人 他島：× 実施なし	竹富町観光案内人条例を制定し、ガイド事業者（観光案内人）の免許制度を構築 西表島エコツーリズム推進協議会の下に西表島登録引率ガイド養成委員会を立ち上げ、立入制限フィールドに同行できるガイド（登録引率ガイド）試験等を実施
(3)各島および周辺海域に適したマリンレジャー・エコツアー等の適正・安全利用ルール等の制定とルール見直しの検討の開始	西表島（陸域）：○ 他島：× 実施なし	西表島エコツーリズム推進全体構想において、西表島を6つのエリアに区分し、エリアごとのルールを制定
(4)各島および周辺海域ごとの貴重生物及び外来種等生物多様性に関わるモニタリング調査と保全対策の検討の開始	西表島（陸域）：○ 他島：× 実施なし	世界自然遺産モニタリング計画及び西表島エコツーリズム推進全体構想において、モニタリング調査についての規定を設け、調査を実施
(5)多言語化を含む観光客等への利用ルールの周知	西表島（陸域）：○ 他島：× 実施なし	西表島エコツーリズム推進全体構想において、情報発信の方法を規定
②サンゴ礁等及び島々の自然環境保全のための自主財源創出		
(1)ふるさと納税による自然環境保全活動への寄付の促進	○ 自然環境保全に関わる寄付額 R4：1億4,760万円 R5：1億6,445万円	新規返礼品の拡充（77アイテム増）、 宿泊・体験型の返礼品の拡充 PR活動・募集サイトの拡充
(2)地域自然資産法を活用した入域料徴収及びトラスト活動制度の開始	竹富島：◎ 他島：× 実施なし	竹富島地域自然資産地域計画を策定し、令和元年より竹富島地域自然資産財団で活動。令和6年度より第2期計画推進中
(3)サンゴ礁海域の地方交付税算定対象導入に関わる活動の継続	× 実施なし	
(4)ネーミングライツ（命名権）等その他の方式による自主財源創出の検討・実施（継続含む）	◎ 実施中	訪問税の導入に向けた取り組み、基金の運用、石垣庁舎内空きスペースをテナント貸し、石垣市内の旧竹富町舎跡地（八重山郵便局横）の駐車場に自動精算機を導入して大幅増収 など
③世界自然遺産の登録を目指している西表島及び周辺サンゴ礁の自然環境保護・適正利用の推進		
1 ①を参照		

実施項目	成果	
	目標達成状況	取り組み内容
④海岸漂着等ごみ対策制度の制定と利活用の推進		
(1)鳩間島固定式油化プラントの本格稼働に結び付く、町としての制度の制定	× 鳩間島油化プラント廃止 (R3)	平成 30 年度から地域おこし協力隊を配置し、稼働を停止していた油化プラントの復旧、スチレン油の精製、他島からの発泡スチロール回収、スチレン油の用途開発などをおこなったが、プラントの老朽化等により継続を断念
(2)固定式油化プラント等の働き手確保		
(3)全町(全島)を想定した移動式油化プラントの導入・誘致の検討・推進		
(4)油化プラントで生成されるスチレン油の活用の多様化の推進		
(5)全町(全島)での海岸漂着ごみ回収事業の展開	△ 実施中 鳩間島油化プラントにおいて一時期、西表島と竹富島の漂着発泡スチロールを受け入れて油化	依然として、各公民館、学校や団体によるボランティア海岸清掃が中心 プラスチックをマテリアル化してアップサイクルする試みを始めている
(6)船舶事故等による緊急対応が必要な漂着ごみ対策体制の整備	× 実施なし	
(7)特区(海岸漂着ごみ及び各種廃棄物のリサイクル特区等)指定等の推進	× 実施なし	
⑤陸土流出と生活排水対策等によるサンゴ礁保全の推進		
(1)農地等からの陸土流出対策実施を担う農業環境コーディネーターの確保	× 農業環境コーディネーター：1 人	石垣庁舎に 1 名駐在し、小浜島、西表島で活動
(2)植栽を主体とする整備計画の策定と補助事業の要望及び農業環境コーディネーターを中心とした整備の実施	△	県の計画のもと推進
(3)竹富町下水道整備構想及び各島の実情に応じた生活排水処理施設の整備と施設更新を含む効率・効果的な維持管理の推進	× 汚水処理人口普及率：56.3%	汚泥再処理センターにて西表島のし尿処理・堆肥化を開始 (R6～) 合併浄化槽の新設・単独浄化槽からの切替費用に対する補助金を開始 (R5～)
	× 環境配慮型トイレ設置数：4	R6 大見謝ロードパークに整備予定
2. 島々の離島苦を克服し、災害に強い安全・安心な生活環境を実現する		
⑥生物多様性に配慮した防風林整備の推進		
(1)各島に適した防風林事業に関する調査研究の実施	× 実施なし	
(2)各島に適した防風林整備事業計画書の作成		
(3)各島に適した防風林整備事業の推進と段階的实施		
⑦安全で多様な離島交通網(空・海・陸路)の構築と整備の推進		
(1)波照間空港の早期再開と多面的活用の検討	○ 運用再開	R6 年 1 月より運用再開。週 3 往復運航

実施項目	成果	
	目標達成状況	取り組み内容
(2)島間・周遊海上交通網の検討と推進	× 実施なし 島間・周遊航路：4 航路 (増減なし)	コロナ感染症の影響、船会社の船員不足や働き方改革、島間移動ニーズの低迷等により、取組は実施していない
(3)集落間及び集落内道路の整備推進	町道改良率：32.4% 計画策定時の値の出所が不明で比較不可	確保できた予算に応じて優先度の高いところから改良・舗装を実施
(4)陸の孤島船浮にヘリポートを整備	× 実施なし	
⑧島々の光通信等情報通信インフラの整備と活用の推進		
(1)各島における超高速ブロードバンドサービスの基盤整備の推進	○ 新城島以外は整備完了	鳩間島と船浮地区も含め令和4年度に整備完了 新城島については適切な通信手段の候補を絞り込み、より詳細な検討を実施中
(2)安全等の情報や電子申請等の行政サービスの充実	◎ 情報通信システムの開始 各種申請や手続きのオンライン化(20以上)	公式LINEを通じた防災や生活を含めた一元的な情報発信。防災情報一斉配信情報共有アプリ(住民向け一斉情報配信メール、自治会・町内会運営支援システム等)の活用を開始(R6～)
(3)通信インフラを活用した新規事業の推進	× 実施なし	様々な分野で本格的なオンライン利用がおこなわれつつあり、特に教育と行政運営において超高速通信網は既に欠かせないものとなっている
⑨島々の医療・福祉体制の整備の推進		
(1)島々の地域包括ケアとブロードバンド活用を含めた医療・福祉システムの整備	○	オンライン診療アプリ(キッズドクター)の利用を推奨 手話使用者の診療所受診時の遠隔手話通訳、各島を結んでの介護従事者ゆんたく会、適宜必要に応じておこなっているオンライン相談などで活用
(2)島々に最適な医療・福祉の基盤づくり		
(3)医療ヘリ体制の充実	× 実施なし	
⑩島々の教育環境の充実		
(1)ブロードバンドを活用した教育環境の充実	◎	一部特別教室や体育館等を除き、環境整備は完了 GIGAスクール構想のもと、町内外とのオンライン交流、AIドリルの導入など様々な方法でブロードバンドを活用
(2)高校生への経済的負担軽減措置	○	竹富町離島高校生修学支援費補助金を継続実施している
(3)研究機関等と連携した海洋教育の充実	◎	笹川平和財団の海洋教育パイオニアスクールプログラムを活用して海洋教育の実践を開始。竹富町海洋教育基本計画策定、副教材の制作、全校が集う海洋教育サミット開催などを実施(R1～3)。現在も各校特色ある取り組みを続けており、全国からの視察や交流の要望が絶えない
⑪環境配慮型港湾・航路、海岸保全施設整備の推進		
(1)各港湾・航路を対象とした町独自の整備方針の策定等	◎(R6達成)	令和6年度、港湾施設等利活用計画の改定作業をおこなっており、船浦(マリーナ構想)、白浜(大型船が着岸可能な護岸の整備)、上地(浮桟橋)の3港の整備を要望することとしている

実施項目	成果	
	目標達成状況	取り組み内容
(2)安全と環境に配慮した海岸侵食対策の必要性の検証及び町独自の整備方針の策定等	× 実施なし	
⑫島々の生活用水の安定性向上		
(1)観光客予測や役場移転を含めた竹富町内の生活用水等需要予測の再チェック	◎	簡易水道事業基本計画策定業務において、生活用水等需要予測を実施
(2)生活用水安定性向上のための竹富町簡易水道統合計画書の見直し	◎	同上
(3)整備事業の推進	◎	更新計画に基づき、黒島配水管更新工事、竹富海底送水管更新工事、竹富配水池更新工事が進行中
3. 海洋及び島々の資源と特性を活かした産業振興を推進する		
⑬沿岸域の海底資源の有効活用の推進		
(1)竹富町沿岸海域における海底資源及び利活用に関する調査研究	× 実施なし	
(2)竹富町沿岸海域における海底資源利活用事業計画作成		
⑭海洋深層水及び地下水の有効活用の推進		
(1)海洋深層水及び地下水の利活用の可能性に関する調査研究	× 実施なし	事業者による調査では、波照間島、新城島が適地だという結果
(2)海洋深層水及び地下水の利活用構想の作成		
(3)海洋深層水及び地下水の利活用事業の促進		
⑮増養殖を主体とする漁業の振興と担い手育成		
(1)竹富町の海域に適した増養殖に関する調査研究	△	陸上養殖等の導入について地域の要望聴取を実施中。漁業再生支援事業導入を要望中
(2)増養殖を担う漁業者、事業者の育成	× 実施なし	高齢等の理由で漁業をやめる人もいるが、新たな担い手が入ってきている
⑯島々の特定事業活動に伴う産業廃棄物と再生可能エネルギーの活用		
(1)製糖工場から発生する脱葉等廃棄物の有効利用に関する調査研究	△	西表島東部に仮の堆肥場を設置し、西表島農業青年クラブにて牛糞堆肥づくりを試験実施
(2)牧場等から発生する牛糞等廃棄物の有効利用に関する調査研究	△	琉球大学・関係機関と共同で牛糞堆肥を活用した循環型農業に取り組んでいる（美ら島プロジェクト）
(3)再生可能エネルギーに関する調査研究と試験運用	○	竹富町再エネ導入戦略（R4年1月）、に竹富町地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編・事務事業編）（R6年2月）を策定
⑰海洋と島々の特徴を活かした観光産業振興		
(1)体験・滞在型観光につながる自然環境、伝統文化、景観、遺産、産業メニューの整理	◎	西表島において、自然保護と利用の好循環形成につながる海域における係留ブイを用いたツアーの造成を実施
(2)各島の製品の掘起、創生	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標3「第二次・第三次産業」を参照

実施項目	成果	
	目標達成状況	取り組み内容
	町特産品認定数：98 品 目	
(3)多言語化を含む周知広報	△	ふるさと納税のプラットフォームを活用し、全国に竹富町特産品の魅力を発信 令和6年度から地域おこし協力隊を配置し、事業者の発信力強化等にも取組中
4. 町民が守り、育む伝統文化や景観を次世代に継承する		
⑱海洋と島々の自然と歴史・文化研究体制の構築と推進		
(1)包括連携協定を締結している琉球大学及び沖縄美ら島財団との協働による新たな自然と文化研究施設の創設	× 実施なし	琉球大学、沖縄美ら島財団との協働ではないが、令和6年度、海中遺跡基礎調査を実施（町内のダイビング業者へ委託）
(2)琉球大学、沖縄美ら島財団に加え、東海大学等の既存の研究施設及び笹川平和財団も含めた連携体制の構築と、自然と文化情報の整理及び周知・発信		
(3)各研究施設と連携した人材育成制度の創設		
(4)各研究機関と連携した博物館・ビジターセンター等の新設の検討	○	文化振興・観光交流拠点基本構想書(R2)、同基本計画書(R3)を策定 西表島世界遺産センター整備基本構想(R3)、同基本計画策定及び基本設計(R4)を実施
⑲海洋と島々の歴史・文化遺産の保全と活用		
(1)竹富町歴史・文化遺産の保全と活用構想計画の作成	◎	史跡・重文に関する保存活用計画を策定
(2)竹富町歴史・文化遺産の保全と活用整備事業の段階的实施	◎	重要文化財旧与那国家住宅保存活用計画(H30)、竹富町竹富島歴史的景観形成地区保存計画(R2)、史跡先島諸島火番盛整備基本計画(R4)を策定。計画に沿った整備のほかに、登録有形文化財なごみの塔修理工事、竹富島西棧橋修繕工事、県指定新盛家住宅保存修理なども実施
(3)竹富町歴史・文化遺産の周知・広報（多言語説明を含む）	△	与那国家などのパンフレット制作したほか、現地看板整備などを推進中
4. 町民が守り、育む伝統文化や景観を次世代に継承する		
⑳有人国境離島地域の振興		
(1)様々な取組を通じた有人国境離島地域の振興	△	
(2)竹富町からの積極的な情報発信	△	町制70周年海洋シンポジウムを開催（R1）
㉑無人国境離島の自然環境保護と適正利活用		
(1)自然環境を主体とした調査研究	× 実施なし	
(2)自然環境保護及び利活用の在り方の検討		
(3)竹富町町内外への周知・広報		

3 竹富町男女共同参画推進プラン

計画期間：平成25（2013）年～令和4年（2022）の10年間

「実施状況」の凡例：◎実施 ×実施なし

基本方針	施策	実施状況	取り組み内容
基本目標1 男女共同参画推進に向けた意識づくりと人権の尊重			
1 男女共同参画推進に向けた意識づくり	①ジェンダーに対する正しい理解を促す啓発活動	◎	啓発物の掲示・設置等 ④は道徳の時間の中で実施 ⑨は出席番号の男女混合化は既に実施済み。中学校の制服の選択制などが広がり始めている
	②固定的な性差別役割分担の解消に向けた講演会等の開催	×	
	③広報等を活用した啓発活動	◎	
	④学校における男女平等教育の推進	◎	
	⑤保護者活動への積極的参画及び女性役員の就任促進	×	
	⑥職場研修の実施	◎	
	⑦意識調査の実施	×	
2 人権尊重の視点に立った男女共同参画の推進	⑧人権啓発活動の推進	◎	
	⑨人権を尊重し、男女平等と自立を図る教育・学習の推進	◎	
3 男女間、子どもに対するあらゆる暴力の根絶	⑩DV・児童虐待等の防止の被害者保護のための関係機関とのネットワークの充実	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標2「福祉・子育て支援」を参照
	⑪男女間における暴力の予防のための啓発	◎	啓発物の掲示・設置等
基本目標2 あらゆる分野での男女共同参画の推進			
4 政策・方針決定過程への参画の推進	⑫男女共同参画のためのエンパワーメントの支援	◎	(一社)沖縄県女性の翼の海外セミナー「女性の翼」へ町内から公募により派遣
	⑬各審議会等への女性委員の登用促進(H24年時点14.6%→目標登用率30%)	×	今回の審議会は30%以上を達成 R6:22%
	⑭審議会、政策・方針決定の場への参画の必要性の啓発	×	
	⑮審議会等に参画できる人材の発掘・育成	×	
5 地域社会における男女共同参画の推進	⑯地域公民館等における女性リーダーの育成	×	
	⑰消防・防災活動への女性参画の推進	◎	消防団員154名中女性5名
	⑱各種地域団体との連携	×	
6 家庭生活における男女共同参画の推進	⑲家事・育児・介護講座などの実施	◎	子育てに難しさを感じる保護者を対象としたペアレント・プログラムの実施 認知症VR体験や認知症カフェなどの普及啓発活動
	⑳介護支援サービスの充実や相談支援	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標2「福祉・子育て支援」を参照

3 竹富町男女共同参画推進プラン

基本方針	施策	実施状況	取り組み内容
7 国際協調の推進	㉑国際性豊かな人づくり	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標4「教育・交流」を参照
基本目標3 あらゆる分野での男女共同参画の推進			
8 男女が共に働くための環境整備	㉒事業者等に対する男女共同参画の啓発	×	
	㉓育児休業の制度の啓発、取得の向上	×	
	㉔女性の出産、育児終了後の再就職（再チャレンジ）支援	×	
	㉕ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の促進	×	
9 子育て支援施策の整備	㉖子育てのための環境整備	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標2「福祉・子育て支援」を参照
	㉗多様な就労形態に応じた保育サービスの充実と環境整備	◎	
	㉘子育て相談支援体制の充実	◎	
	㉙母子・父子支援の充実	◎	
	㉚各種健康診査での相談機能の充実	◎	
	㉛妊娠・出産等に関する健康支援	◎	
10 農林水産業・商工業などの就業と経営の参画	㉜農林水産業・商工業者などに対する男女共同参画の啓発	×	
	㉝家族経営協定の普及促進	×	
	㉞女性の能力向上のための研修機会の充実	×	
基本目標4 生涯生き生きと暮らせる社会づくり			
11 生涯を通じた健康づくりの推進	㉟健康教育・健康相談の充実	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標2「医療・健康増進」を参照
	㊱運動教室の充実	◎	
	㊲高齢者の包括的な支援体制	◎	
	㊳健康づくりの推進	◎	
	㊴生活習慣病の早期発見・早期治療体制の整備	◎	
12 高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境整備	㊵相談支援体制の充実	◎	総合計画第9次基本計画 町づくり目標2「福祉・子育て支援」を参照
	㊶障がい者の社会参加の促進	◎	
	㊷ユニバーサルデザインの推進	◎	

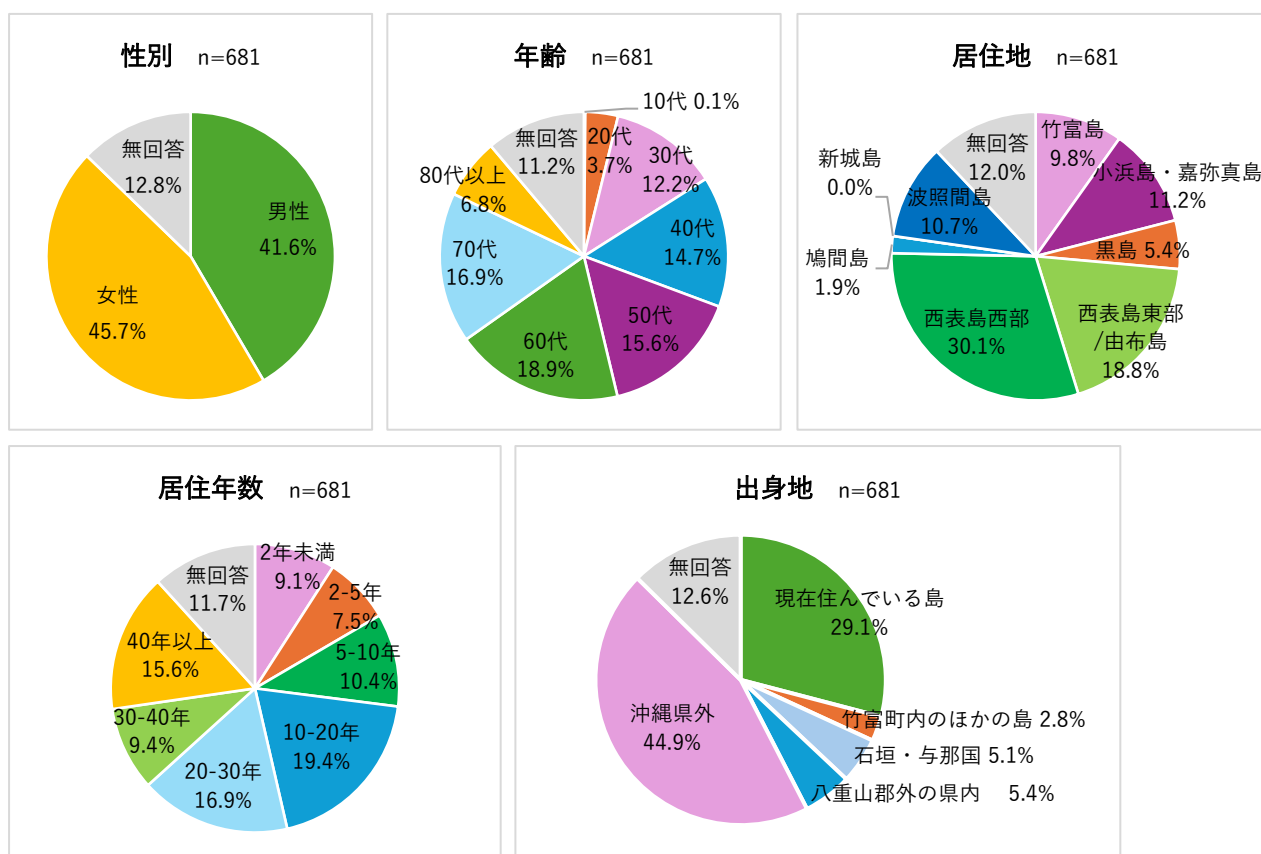
IV. 町民アンケート結果

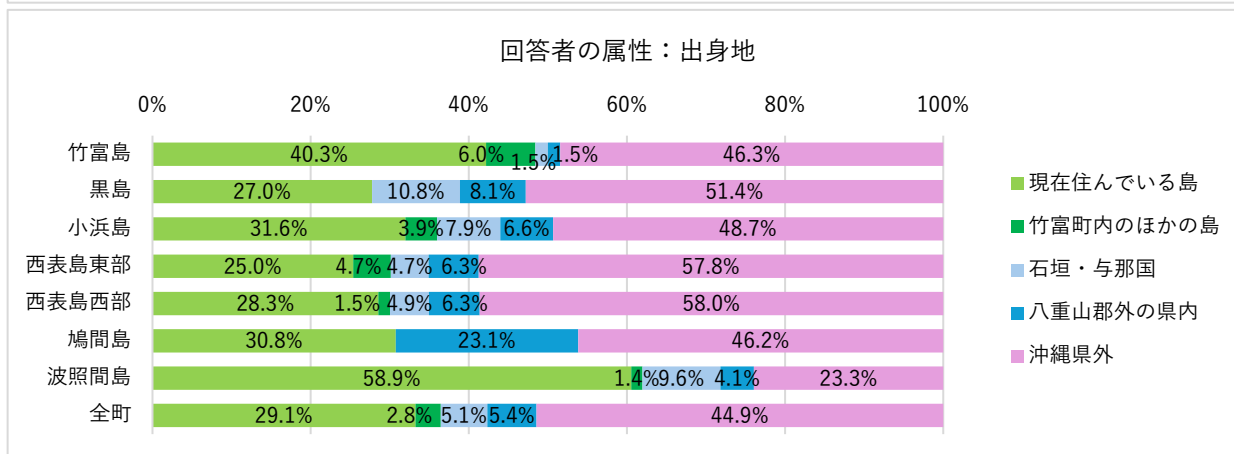
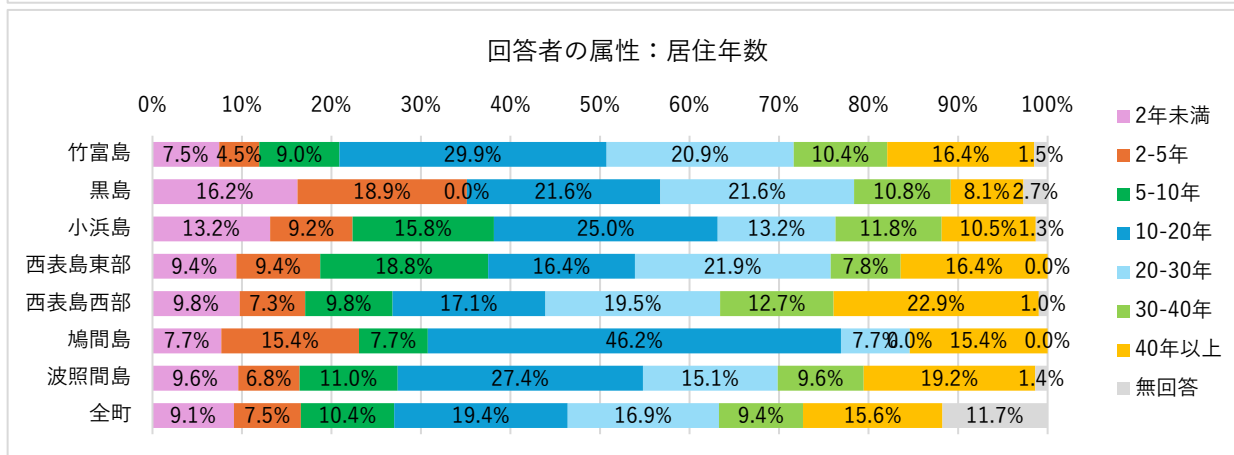
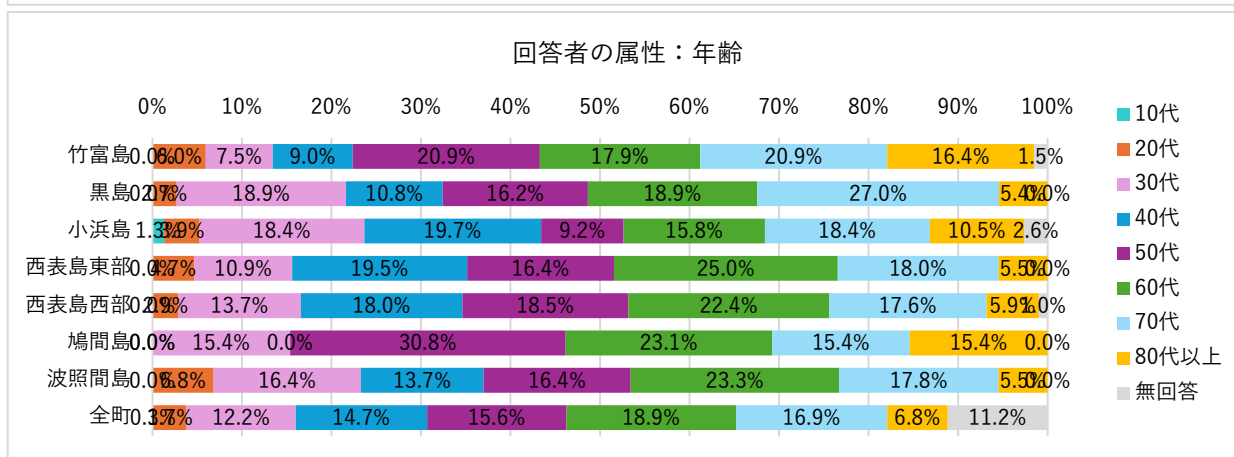
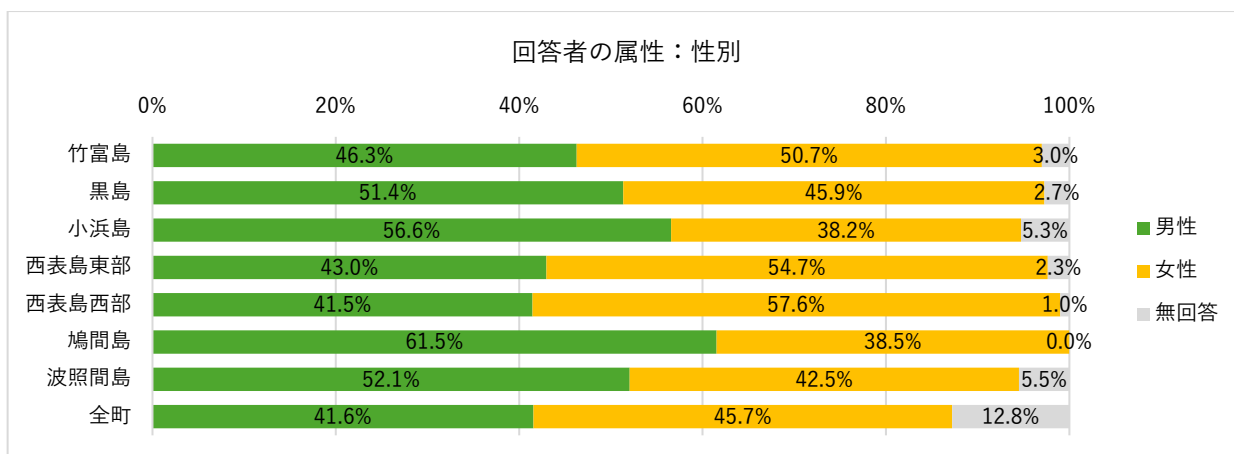
調査概要

Web アンケートおよび郵送法の併用

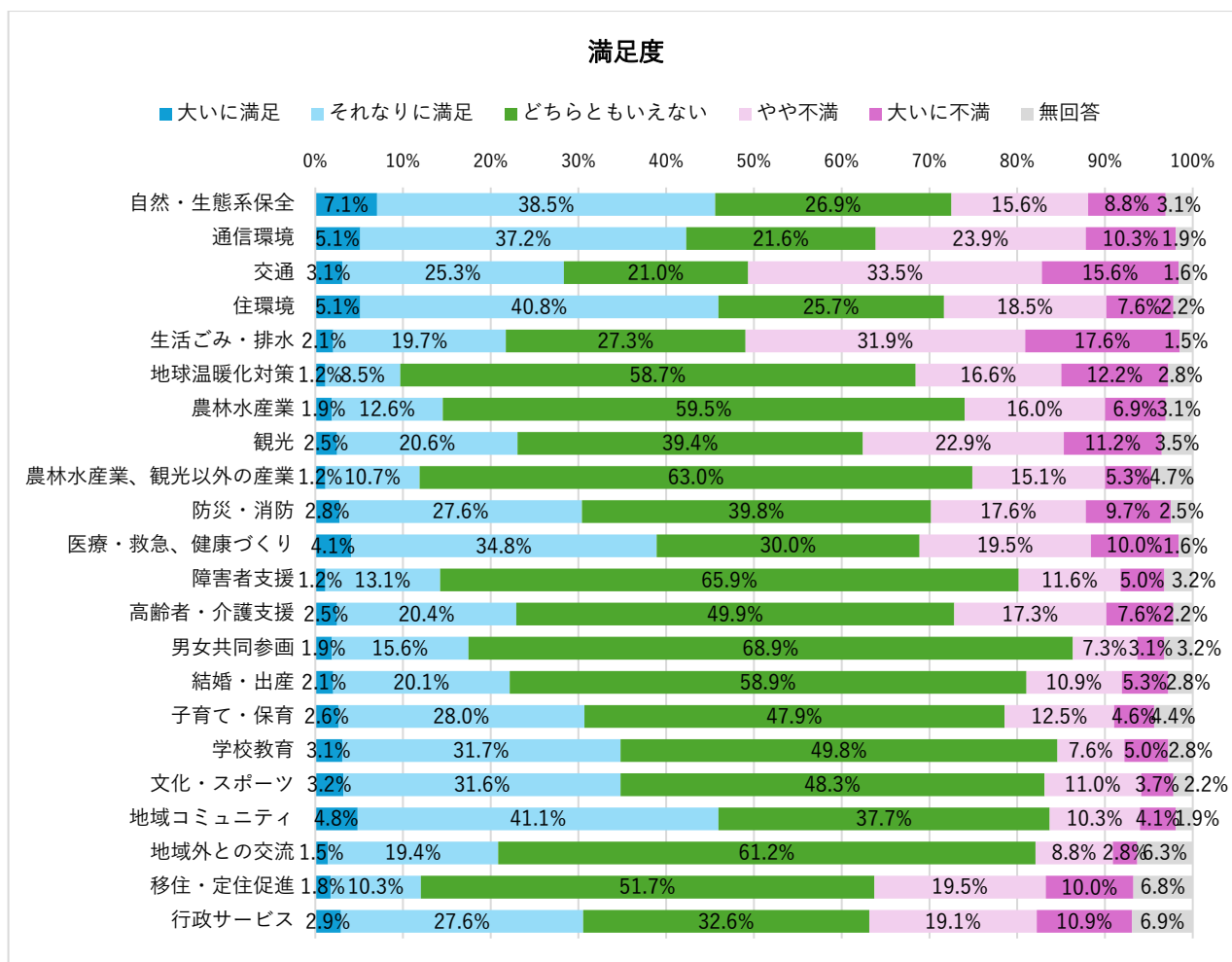
	合計	Web アンケート	郵送法
実施方法	3,495	-	住民基本台帳に記載された 18 歳以上の全町民 3495 人へ郵送し、郵送にて返送
実施期間		8 月 23 日～10 月 25 日	10 月 10 日～10 月 25 日
回答者数	681	122	559
回収率	19.5%	-	16.0%
無効票	0	0	0

あなた自身のことについて教えてください。





I お住まいの地域における以下の事柄について、あなたの現在の満足度をお教えてください



地区別の満足度比較

●：全町よりも5%以上満足度（「大いに満足」「それなりに満足」の合計の割合）が高い

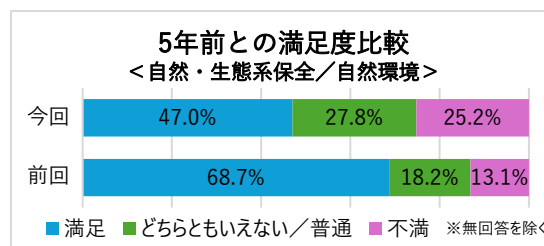
▼：全町よりも5%以上不満足度が高い（「やや不満」「大いに不満」の合計の割合）

	自然・生態系保全	通信環境	交通	住環境	生活ごみ・排水	地球温暖化対策	農林水産業	観光	農林水産業、観光以外の産業	防災・消防	医療・救急、健康づくり	障害者支援	高齢者・介護支援	男女共同参画	結婚・出産	子育て・保育	学校教育	文化・スポーツ	地域コミュニティ	地域外との交流	移住・定住促進	行政サービス
竹富島	●	●	●	●	●	●	▼	●▼	▼	●	●	●	●▼	●▼	●	●	●	●	●	●	●▼	●
黒島			▼	●	●	▼	●▼	●	▼	●▼	●	●	▼	●	▼	●▼	●▼	●▼	●	●▼	●▼	●▼
小浜島	●	●	●	●		●▼	●	●		●		▼		●▼	●	●	●	●▼	●	▼		●
西表島東部	●				▼			●		▼	▼	●									●	▼
西表島西部	▼	▼	▼	▼	▼			▼		▼	▼	▼	▼				▼		▼			▼
鳩間島		●	▼	●▼	●	●▼		●	●▼	▼	▼	▼	▼		▼	▼	●	●	▼	▼	▼	▼
波照間島		●			●	●	▼	●	▼			●	●	▼	▼				▼	▼	▼	

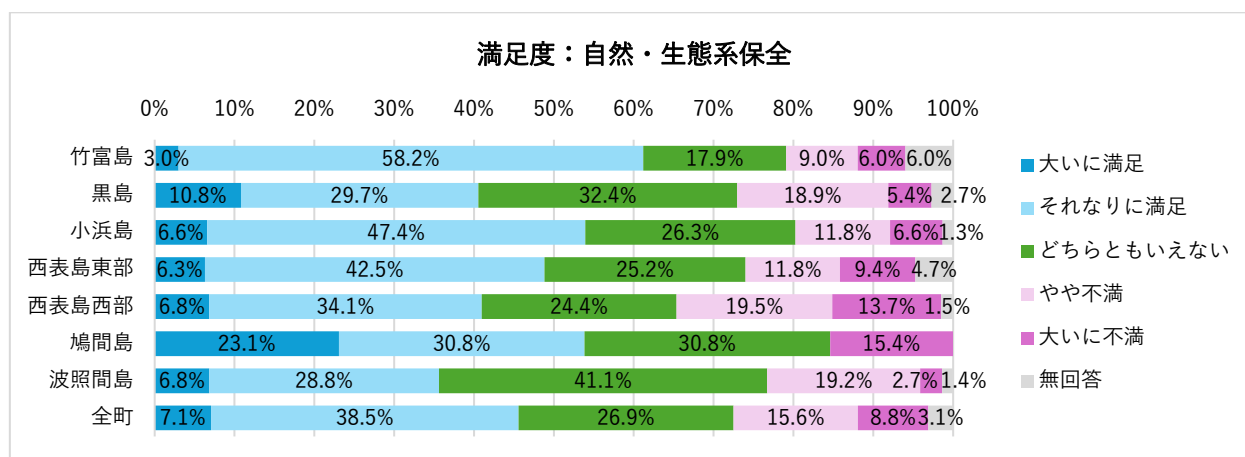
自然・生態系保全

全分野を通じて、3 番目に満足とした人が多い分野である。

しかし、5 年前よりかなり満足度が下がった。特に西表島西部で満足度が低い。



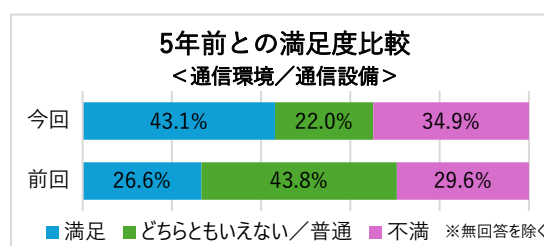
- 現状について満足しているという人も多い（12 件）一方で、保全が不十分だとする声も少なくない（11 件）。
- 特に海域の自然劣化を感じるという人が複数おり、個別の事象としては魚の減少（3 件）、サンゴの白化（3 件）、ウミガメによる被害（4 件）、赤土流出（4 件）、漂着ごみ（7 件）が挙げられた。
- 自然劣化の要因として、観光客や事業者数が増加したことを挙げる人が多くいた（13 件、すべて西表島）。そのために西表島では観光案内人制度や立ち入り制限区域の設定などの取組をおこなっているが、ルールの運用がきちんとおこなわれるのか懐疑的な声が複数あった。一方で、そういったルールが過剰であるとする声もある。
- 外来種については、小浜島と黒島でクジャクとカラス、西表島と波照間でノヤギによる被害が挙げられた。また、動植物（特に昆虫）の採取（6 件）やロードキル（2 件）を懸念する声も挙がっている。
- 道路わきの草木の管理がたいへんだという声も様々な地域から挙がった。（8 件）



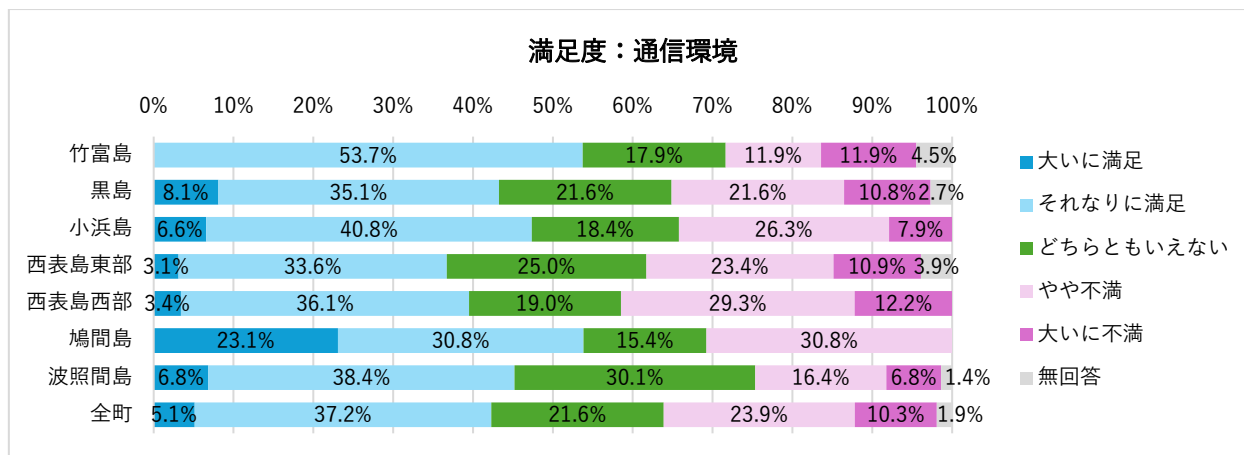
通信環境

5 年前より満足とする人は増えたが、不満も増えた。

地域別では、西表島で満足度が低い。鳩間島は令和 3 年に光回線が整備されたため、それまでと比べて状況が改善したことが満足度を押し上げた要因と推察される。



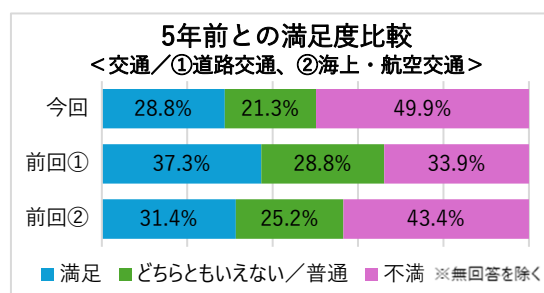
- すべての地域において、不満の主な要因となっているのは、携帯電話の電波状況である。島内に電波が入らない場所があるというだけでなく、集落の中や家の中でも電波が弱いとする人も少なからずいる。
- フリーWi-Fi スポットの増設を求める声も複数あった（9 件）。
- 「まだ遅い」とする意見はあるが、光通信が整備されたことでインターネット回線については概ね満足している人が多い。
- しかし、天気の悪い日にインターネットがつながりにくいという声が相変わらずある（9 件）。
- 通信環境に関連して、停電の多さを理由としている人が多かった（20 件）。
- テレビの映りが悪いという声も 9 件あった。



交通

生活ゴミ・排水と並び、全分野を通じて最も不満の多い分野である。
5年前により不満とする人が増えた。

地域別では、鳩間島、黒島で満足度が低く、竹富島、小浜島では高い。



海路

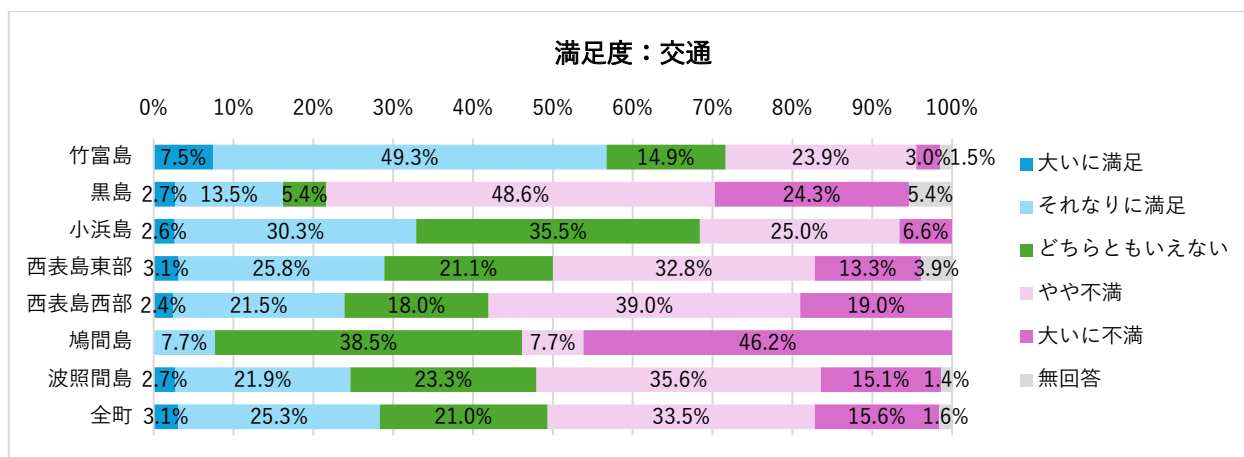
- 海上交通（船）については、すべての地域において便数、運航時間帯とも不満の声が強い。海上交通の充実については、別の設問でも重要な課題として多くの人が訴えている。
- 西表島では、減便で不便になったことに加え、観光客の増加によって島民が船に乗れないことがあるという声が上がっている。黒島も船の増便を求める声大きい（9件）。
- 運航時間帯は、現状より朝早く、そして夕方遅くの便を望む声が多い。その解決策として、2社で重複している出航時間をずらしたり、以前実施していた共通乗船券を復活させてどちらの会社の船でも乗れるようにしたりすることが期待されている。また、飛行機の時間に合わせた便を望む声も複数あった（4件）。
- 鳩間島は黒島より便数は少ないが、何よりも安定的に運航されることが強く望まれている（5件）。
- 波照間島については、船のスピードアップを望む声があった（4件）。
- 島間航路を望む声もある（4件）。
- 船賃の島民割引を評価する人がある（7件）ものの、まだ高いという声も少なくない（8件）。
- 貨物船についても、欠航や故障、荷物が積めないといった不満の声がある（9件）。

陸路

- 公共交通については、西表島で高齢者・子どものためのバスの充実、夜間バスの運行、タクシーを求める声があった。
- 道路のでこぼこが多いという声が黒島、小浜、西表で上がっている（10件）。
- 道路際の草木が伸び過ぎという指摘も少なくなかった（10件）。中には道路にまではみ出して危険を感じるという声も複数あった。
- 冠水する箇所があるという声が複数あった。

空路

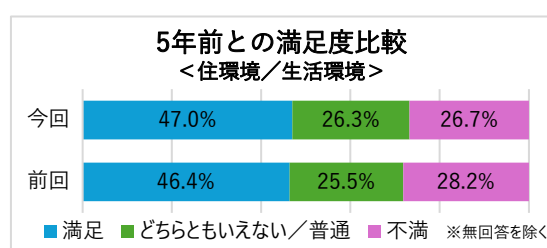
- 波照間空港については、増便、安定運航、空港・集落間の足の確保、フライト時間の見直し、那覇直行便の開設など、島民から様々な意見が上がった。



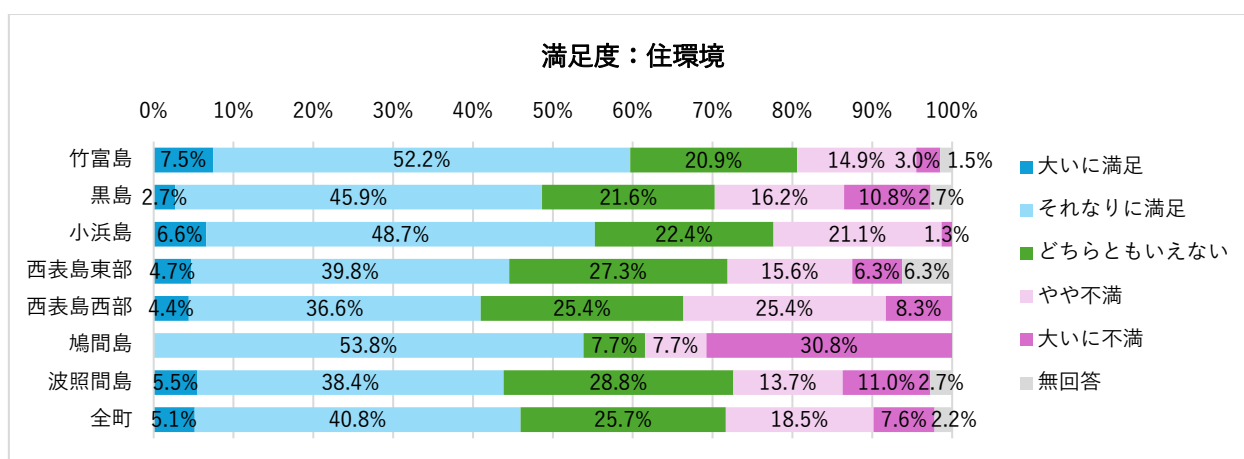
住環境

全分野を通じて満足とした人が最も多い分野である。5 年前とほとんど変化はない。

地域別では、竹富島、小浜島で比較的満足度が高く、西表島西部で満足度が低い。



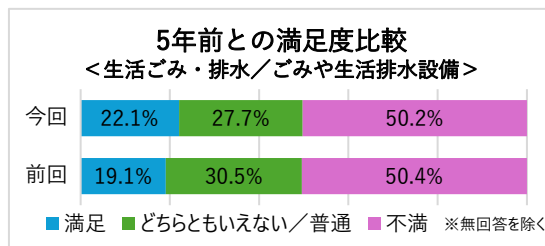
- 最も多かったのが、住宅不足についてである（30 件）。「住宅不足が原因でどの業種も人手不足、定住したい住民を逃している」「家があれば人は減らないのに」といった意見がある。
- 家賃が高いという声も少なくない（8 件）。
- 借りられたとしても古い物件が多いという声も複数あった（4 件）。賃貸に限らず、住居の老朽化が進んでいるという声も少なからずあり、修繕・リフォーム費用の高さ（7 件）やそれを手掛ける業者不足（3 件）について困っているという人もいる。
- 町営団地については、単身用が必要だとする声が複数あった（5 件）。
- 住宅地の生活環境については、空き家が増えてきたこと、その中には廃屋となったり草が生い茂ったりと管理ができていない家もあることが挙げられている。また、街灯が暗いという声も複数挙がった（5 件）。
- 通信環境でも挙げられていた停電の多さはここでも複数の人が指摘しており、合計すると 21 件にも及ぶ。主に西表島だが、小浜島、黒島、竹富島からも声が挙がっている。



生活ごみ・排水

交通と並び、全分野を通じて最も不満の多い分野である。5年前とほとんど変化はない。

地域別では、波照間島、竹富島、黒島で比較的満足度が高く、西表島で満足度が低い。

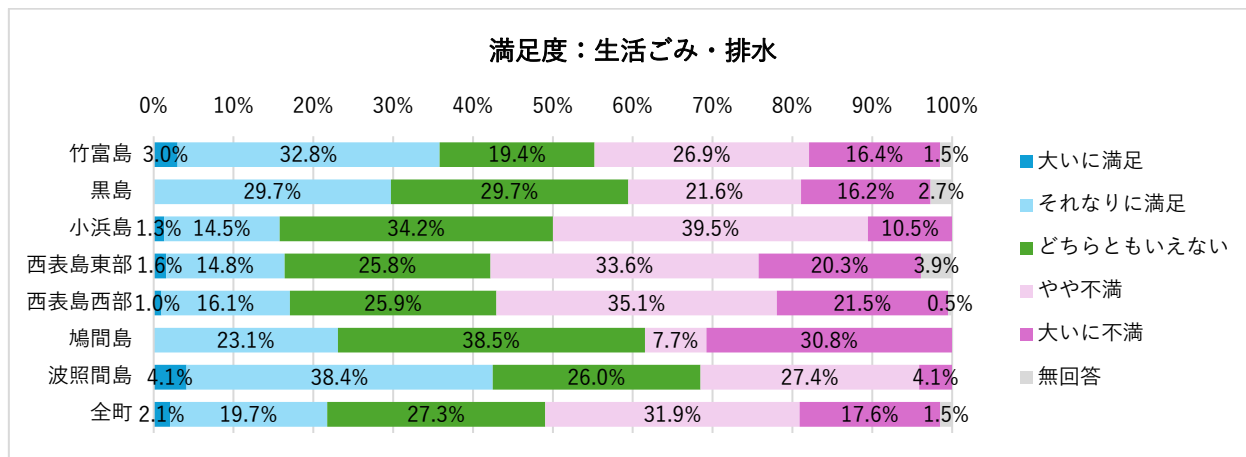


生活ごみ

- 圧倒的に多かったのが、生ごみの処理についての不満である（72件）。不衛生であることを訴える人が多く、「生ゴミ捨てに行くのが憂鬱」という声も挙がっている。可燃ごみとして回収してほしいという声も多い（12件）。
- ごみ袋代が高いという声も多かった（15件）。
- 分別が細かすぎることにに対する不満（10件）や分別方法の適切性に対する疑問（6件）、焼却施設の能力向上を求める声も挙がった。
- 燃やすごみや粗大ごみの回収回数を増やしてほしい、町が回収しないごみ（家電、古タイヤ、伐採した木枝や雑草、事業所ごみなど）をどうしたらよいのかという声も複数あった。また、野焼きを規制してほしいという声も挙がった（8件）。
- 埋立ごみの削減やプラスチックごみ・生ごみの島内リサイクルなど、循環型社会の推進を求める声も複数あった。

生活排水

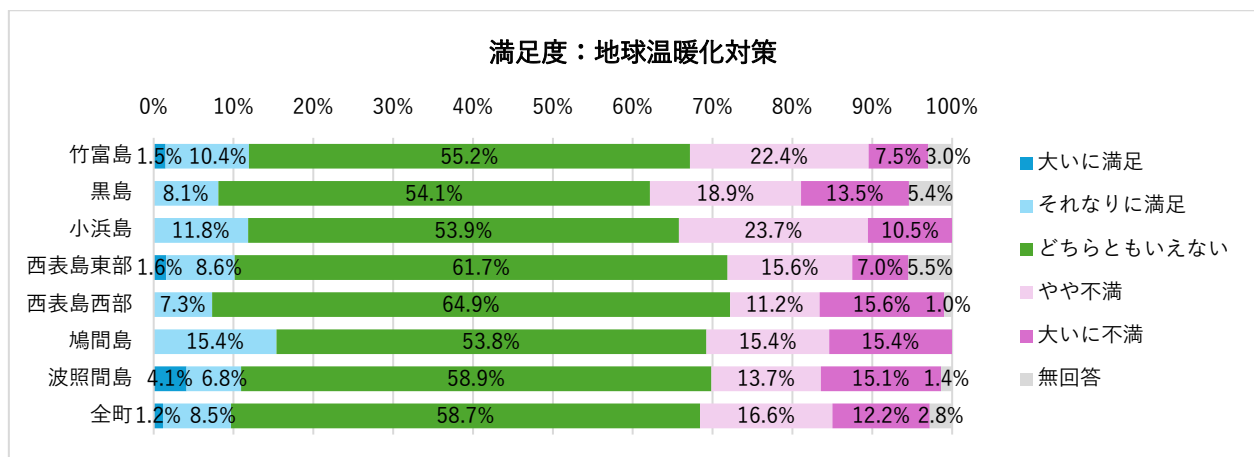
- 生活排水の垂れ流しによる海の汚染を懸念する声が多く挙がった（下水道が整備されている竹富島でも2件、集落排水が整備されている波照間でも2件）。合併浄化槽の設置を推進すべきという声に加え、そもそも浄化槽さえついていない家が多数あるという声もあった。また、下水道をきちんと整備すべきという声も多かった（20件）。
- 排水管、排水溝の流れが悪く（17件）、悪臭や蚊の発生につながっているという声や、雨天時に冠水をもたらしめているという声もあった。



地球温暖化

6割が「どちらともいえない」と回答している。5年前は質問していない。

- もっと積極的に取り組むべきという声、温暖化に伴う変化に対する懸念、対策は困難という声、対策によって生活が不便になることを心配する声など様々あるが、圧倒的に多かったのが、役場が何をしているのかわからない・知らないという声であった（32件）。
- 具体的な施策としては、再エネ導入、藻場の保全、牛糞対策、リサイクル推進などが挙げられた。

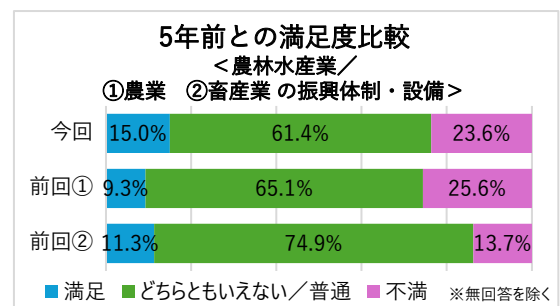


農林水産業

6割が「どちらともいえない」と回答している。5年前に比べ、大きな差はない。

地域別では、波照間島、黒島で不満が多い。

- もっと支援や補助が必要という一方で、少数だが優遇され過ぎという声もある（2件）。
- 輸送費やエネルギー価格等、コスト上昇を訴える声も複数挙げられている。
- 製糖や畜産に偏っていることを懸念する声もあった。



農業

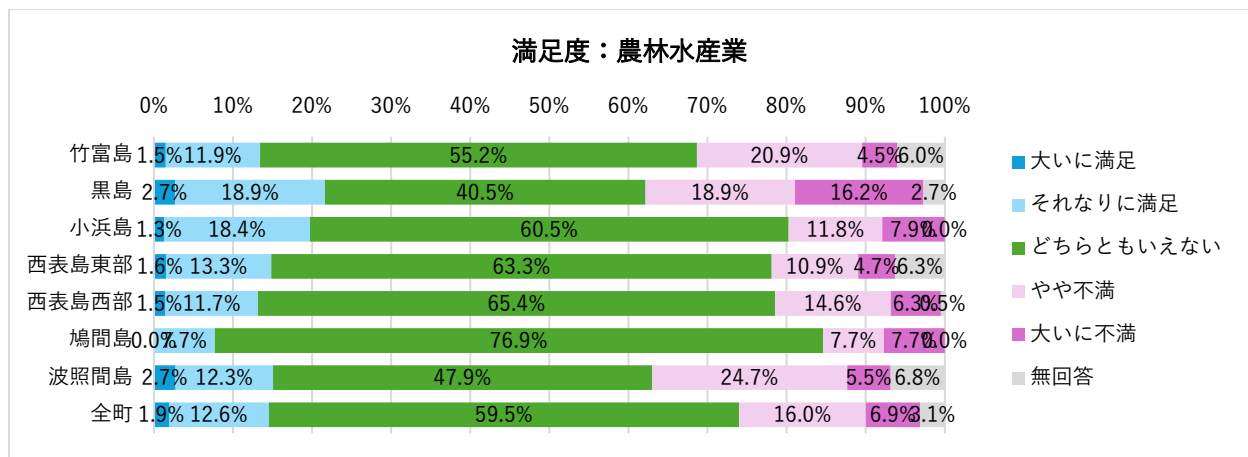
- 農地拡大、担い手不足対策、機械化の推進、害獣対策など、様々な要望が挙げられた。
- 新鮮な野菜や果物を求めて、地産地消、島内の自給自足を望む声も少なからず挙げられた。

畜産業

- 飼料等の高騰、牛の価格下落について厳しさを訴える声も挙げられた。

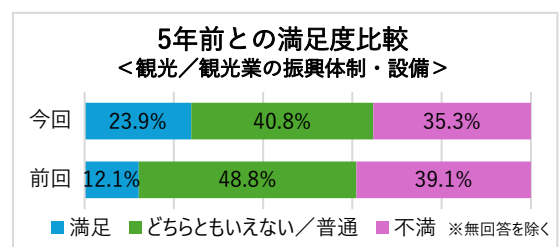
漁業

- 主に島の出身者から、資源減少を訴える声も挙げられている。
- 漁港設備の不備、使いづらさも挙げられている。
- 魚屋がない、販売が少ないという声も複数挙げられた。

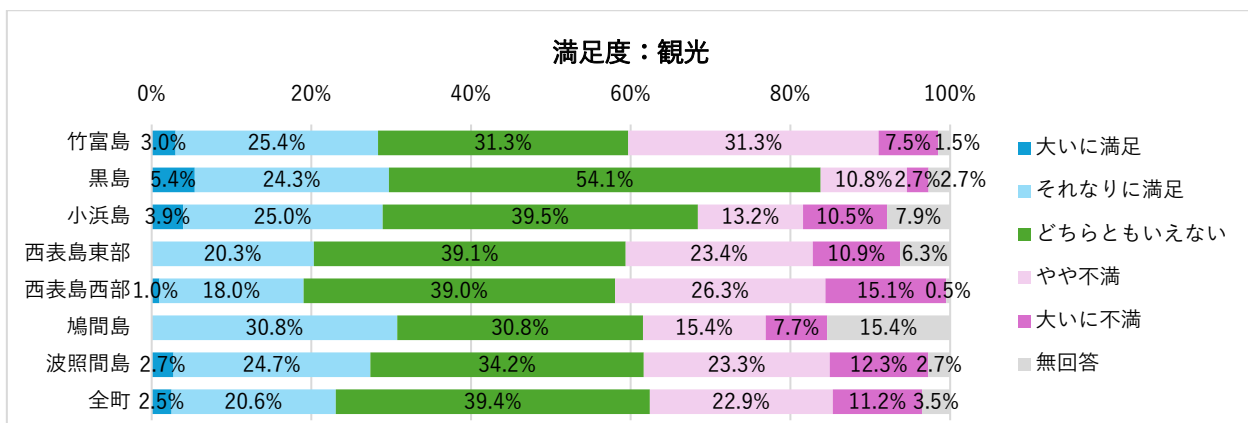


観光

全分野を通じて、不満だとする人が3番目に多かった分野である。5年前に比べ、わずかではあるが、満足とする人が増えた。地域別では、竹富島、西表島西部で不満が多く、黒島、小浜島で満足が多い。



- 観光客が多すぎる、オーバーツーリズムであるという声が竹富、西表島西部で多い。住民生活への影響（11件）やごみの増大（4件）、自然環境への負荷（8件）などが不満として挙げられたが、最も多いのは観光客のマナーの悪さ（13件）を指摘する声である。ポイ捨て、水着での散策、私有地への無断立ち入り、レンタカーのスピード超過や駐車場所などはいずれも複数人が挙げている。
- ガイド資格を有しない事業者やルール・マナーを守らない事業者に対する不満の声も多い（16件）。また、「人材不足でオーバーツーリズム」という声もあった。
- 島は観光で成り立っている、観光振興にもっと力を入れるべきという声と、観光を優先しすぎだ、観光による経済効果は少ないという声、両方があった。
- 日帰り客が多いという声も多く挙げた（12件）。
- 観光客の受入れ環境の不備を指摘する声もたくさん挙げた。シャワー・トイレの整備、交通の充実、港へのごみ箱設置や駐車場の拡充、案内表示の充実（外国語対応を含む）、美観の維持などが挙げられた。飲食店の少なさも複数人が指摘している。
- 町の観光政策について、「観光客に来てほしいのか来てほしくないのか政策がよくわからない」という声も挙げた（3件）。規制ルールについては、反対の声があった（2件）。また、訪問税については賛成の声が5件あったほか、金額や対象者について検討を求める声があった。

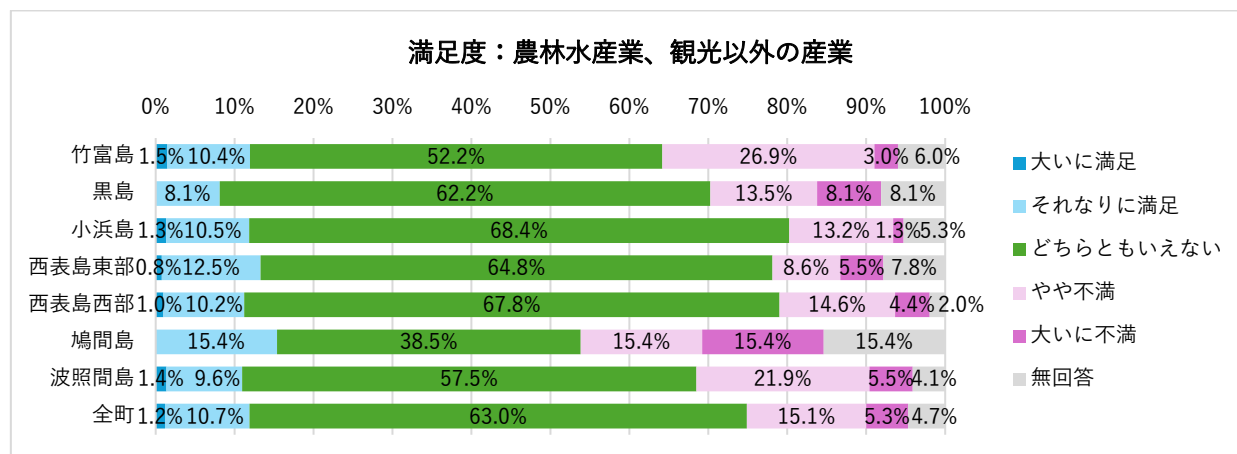
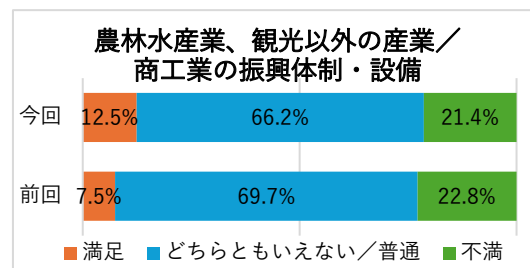


農林水産業・観光以外の産業

全分野を通じて、「どちらともいえない」が3番目に多かった分野である。満足状況は5年前とほぼ同様であった。

地域別では、竹富島、波照間島でやや不満が多い。

- 観光、畜産以外の産業の必要性は感じられているが、現実的にはそういった産業がないという声が多く（20件）、産業育成も行われていないと感じられている（3件）。
- 具体的には、製造業（6次、土産品、工芸）やリモートワークのできる業種に期待する声が挙がった。

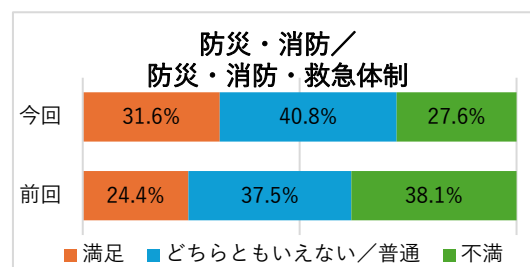


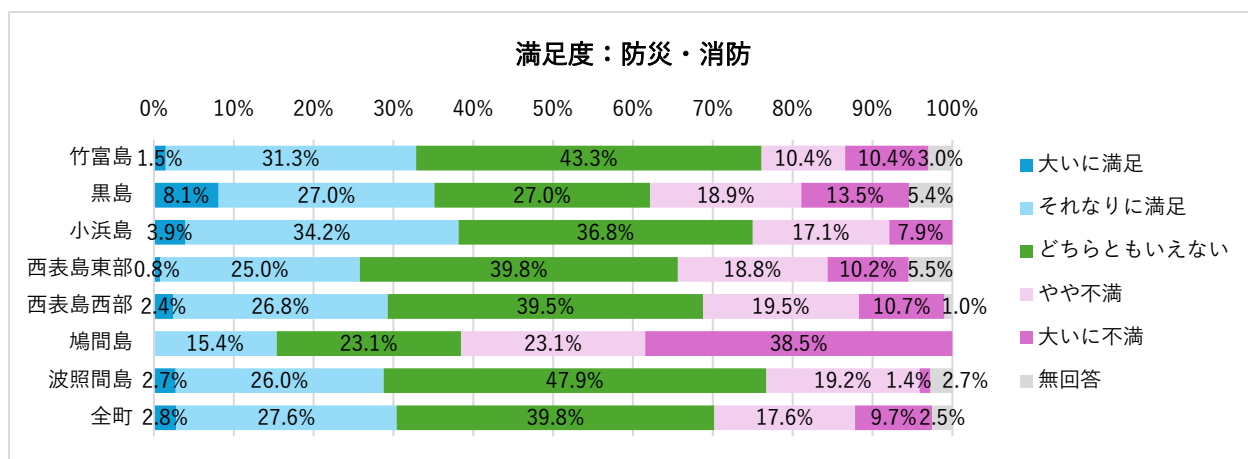
防災・消防

5年前に比べ、満足度は向上した。

地域別では、鳩間島の不満が際立っている。小浜島は比較的満足度が高い。

- 防災対策の不足、不安を訴える声は少なからず挙がった（16件）。
- 避難場所の環境整備を求める声が多く挙がった（15件）。具体的には、屋根がないため、炎天や雨天を心配する声、トイレ・水道等のインフラや備蓄がないことが指摘されている。また、場所そのものについて疑問視する声もあった（海に近い、遠いなど、7件）。竹富島では避難所となっている校舎の老朽化が心配されている（3件）。避難が長時間・長期間に及んだ場合を心配する声もあった（3件）。
- 防災無線が聞こえない、故障が多いといった訴えが複数ある（6件）。
- 4月の実際の体験もあり、観光客の避難について不安の声があった（3件）。
- 体制については、消防団の活動に感謝する声が挙がった（5件）一方で、消防団が機能していない、あるいは正規の消防署を設けてほしいという声もあった（2件）。また、消防団や地元の負担が大き、自助頼みだという声もあるが、現実的な対応として、地域防災の強化や町民の意識啓発、島ぐるみの避難訓練の必要性を訴える声も多かった。



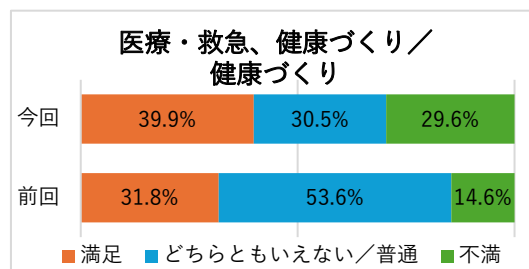


医療・救急、健康づくり

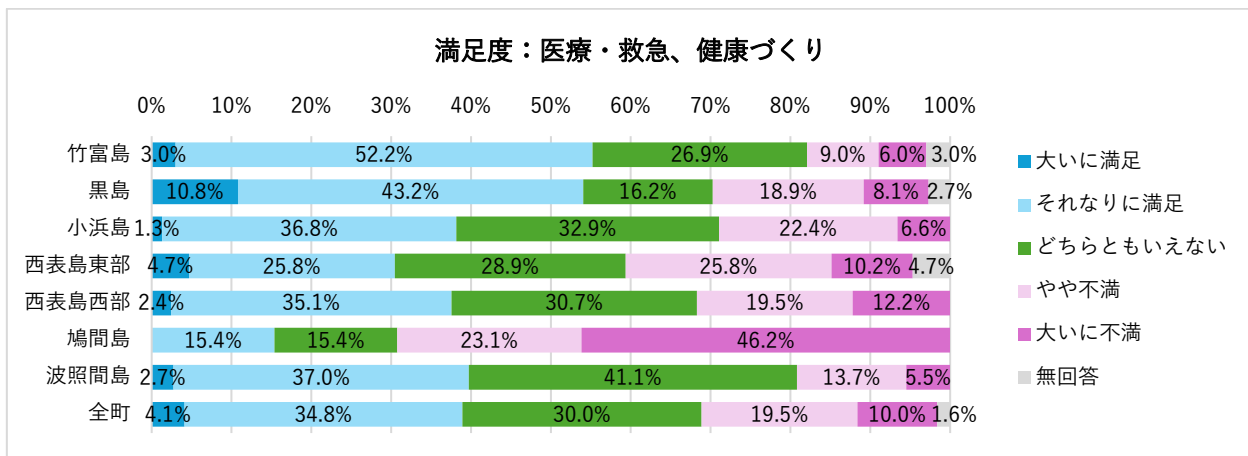
5年前に比べ、満足は増えたが、不満も増えた。

地域別では、鳩間島の不満が際立っている。竹富島は満足度が高い。

波照間島は不満が少ない。



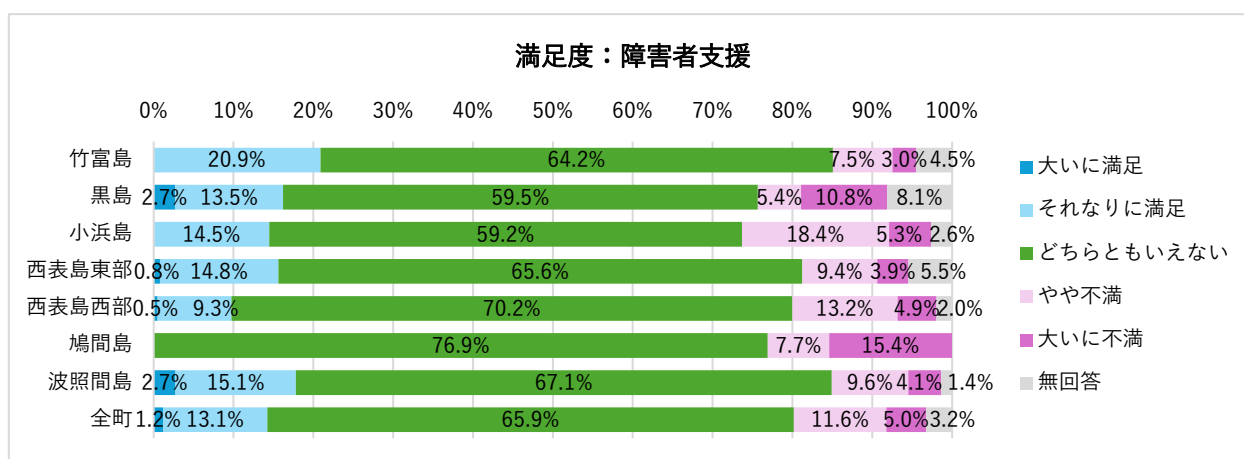
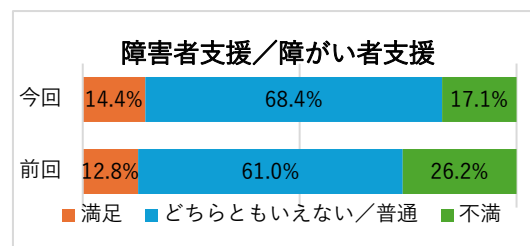
- 鳩間島は「診療所ない」「何かあっても医師に見てもらうまで2時間以上かかる」。また、健康診断も西表島まで赴く必要があり、「島に来て欲しい」との声が挙げられた。
- 診療所のある島でも、医療の脆弱性を訴える人が多い。特に子ども医療、夜間対応の不安が挙げた（16件）。診療所の医師に感謝する声が多く挙げたが、医師の人柄や能力によるという声も複数あった。西表島西部は、医師の増員が必要だと感じている人が複数いる（5件）。
- 西表島西部に JEMS が導入されたことを評価する声が複数あった（7件）一方で、他の地域にも導入を求める声があった（6件）。
- 石垣市にある医療機関に行く際の時間や費用についての不満も挙げた。それによって「我慢してしまう時がある」との声もあった。
- 歯科医の不在について、西表島東部で14件、西部で20件、波照間島で4件の指摘があった。
- 子どもの健康相談や救急ダイヤルについて評価する声があった。
- 予防医療の充実や催しの周知強化を求める声があった。



障害者支援

全分野を通じて、「どちらともいえない」が2番目に多かった分野である。5年前に比べ、不満はやや減少した。

- 「身近にいないため不明」「どんな支援があるのか知らない」という人が多く、そのために「どちらともいえない」を選択した人が多かったと推察される。
- 支援の不十分さを訴える声が複数あった（4件）。また、「自分自身が障害を持ったときここには住めないと思う」という声も複数挙げられた。
- バリアフリー対応の不十分さを指摘する声が複数あった（5件）。
- マンパワー不足を指摘する声も複数あった（3件）。
- その他具体的には、「車椅子で利用できる福祉カーは普段から外出時に貸し出してほしい」「島内で手話通訳を利用できるサービスがほしい」「各地域に常駐ヘルパーをおいてサポート体制を整えるべき」といった声が挙がった。

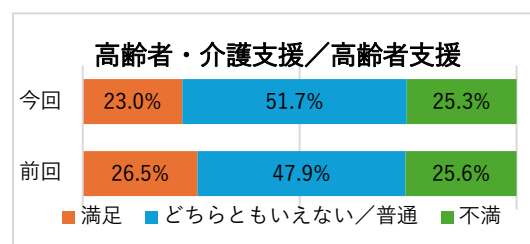


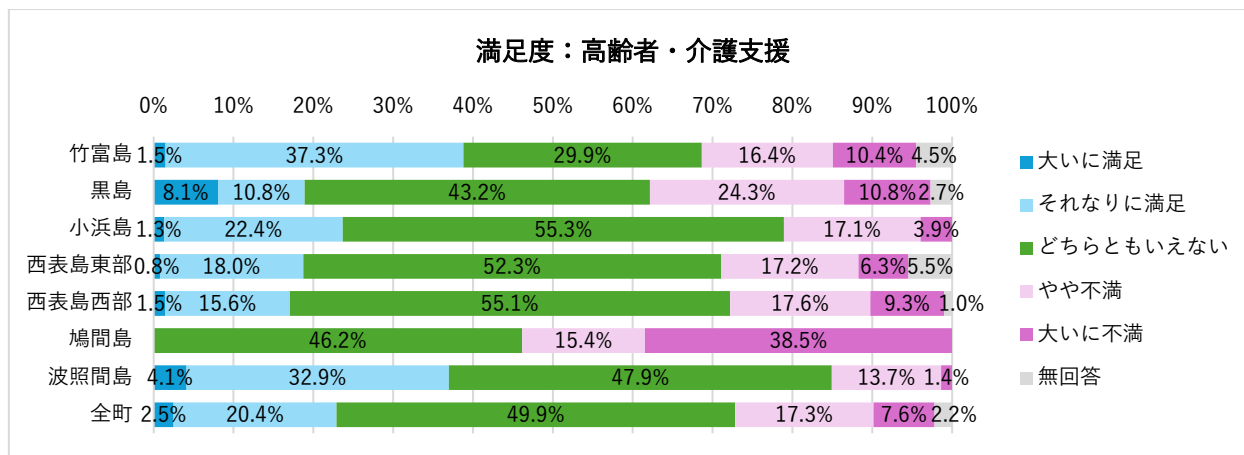
高齢者・介護支援

5年前に比べ、満足度にほとんど変化はなかった。

地域別では、鳩間島の不満が際立っている。波照間島は満足度が高い。

- 「受けられるサービスが少ない」「介護保険など納めていても、受けられないサービスもある」など、介護サービスの充実を求める声は多い。介護する家族等に対する支援も不十分だとする声が挙がった（5件）。
- 各島に入所型の施設がほしいという声も複数あった。
- 波照間のすむづれの家について、非常に高く評価する声が複数挙がった（5件）。こういった声は、他の施設については挙がっていない。同様の施設が各島にほしいという声もあった。
- 介護士等の人材不足について指摘する声あった（7件）。
- 免許を返納した後、医療機関へ通院する際などの交通手段を心配する声が複数あった（4件）。
- 独居高齢者の見守りの必要性も挙がった（3件）。





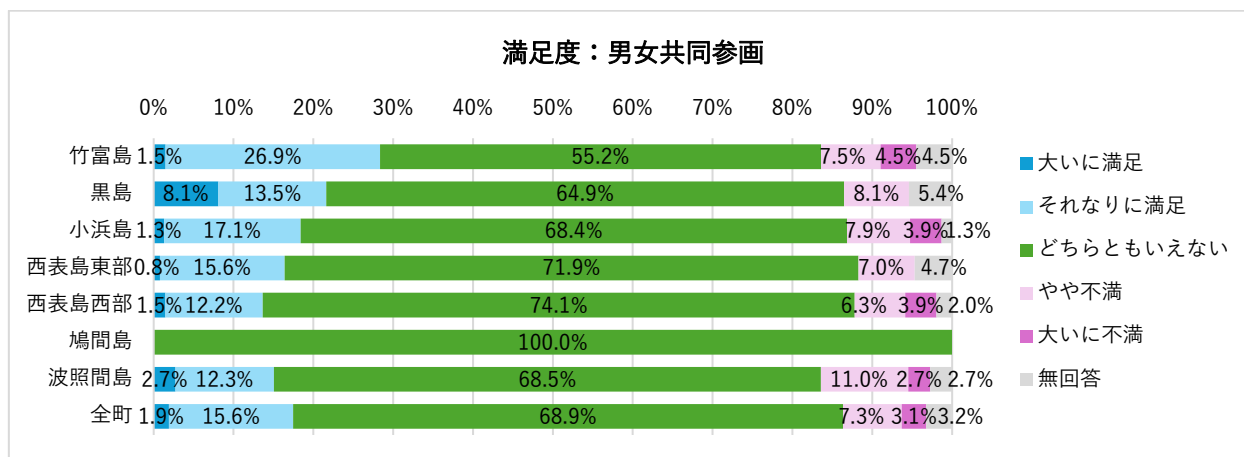
男女共同参画

全分野を通じて、「どちらともいえない」が最も多かった分野である。

5年前の調査項目にはなかった。

地域別では、竹富島は満足も不満も多い。

- 「そもそも男女共同参画に興味、関心のない方々が多すぎる。根本的に。」という声が、「どちらともいえない」が最も多かったことの要因のひとつと推測される。「男も女もサボってる人はごく少数」「ほぼ共働きくらい、町民は貧しい」といった男女共同参画に対して理解が不足しているコメントも散見された。
- 男尊女卑がある（7件）、女性議員が少ない（3件）、女性の活躍する場が少ない（2件）という声が挙がった。男尊女卑については、やはり伝統行事等でそう感じる場面があるようである。
- 「すでに男女とも平等と思う」「改善しつつある」という声も複数あった。



結婚・出産

5年前の調査項目にはなかった。

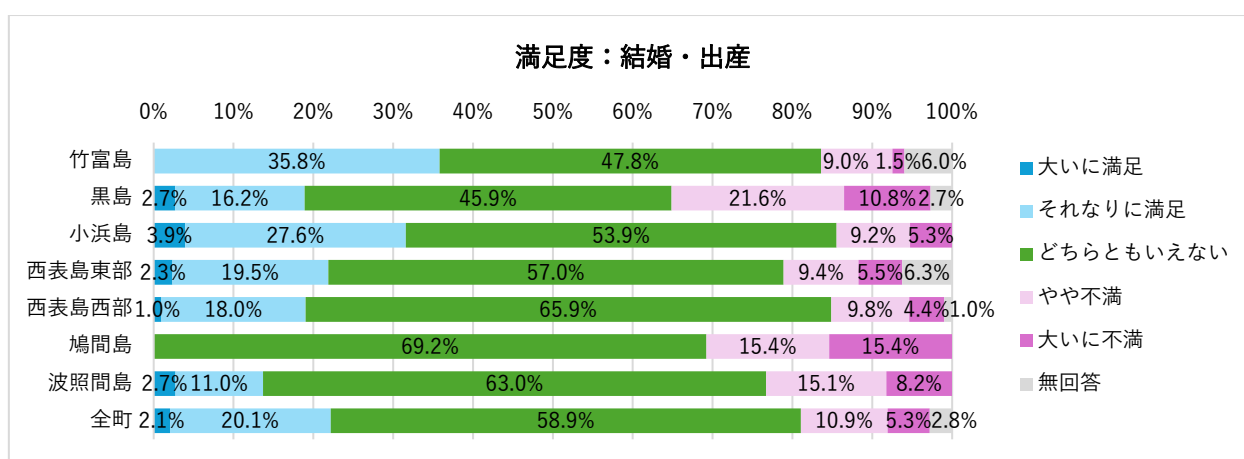
地域別では、黒島、鳩間島で不満が多く、竹富島、小浜島で満足が多かった。

結婚

- 結婚に関連するコメントを記入した20-30代は4人のみだったが、そのうち2人が住居の確保の難しさに言及した。そのほかの世代でも、結婚後の新居がないという声があった（4件）。
- そのほか、独身者が多い、若者が少ない、出会いが少ないといった声が複数あった。

出産

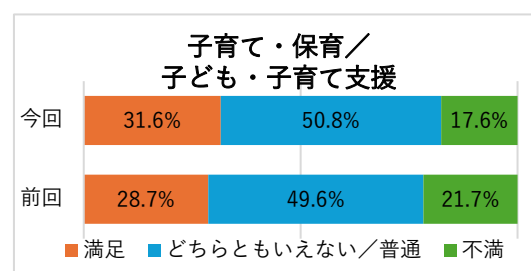
- 町内での妊娠・出産について多くの人が困難であるとコメントした（7件）。助産院がないことに加え、緊急時の対応など不安がある。
- 竹富町では出産に際して様々な助成もおこなっているが、もう少し金額を上げてほしいという声もあった（3件）。助成制度を知らないと思われる人からも、通院等に対する助成の必要性が挙げられた。



子育て・保育

5年前に比べ、わずかではあるが、満足度が上がった。

地域別では、竹富島、黒島、小浜島では比較的満足が多かった。鳩間島では不満が多いが、無回答も多い。

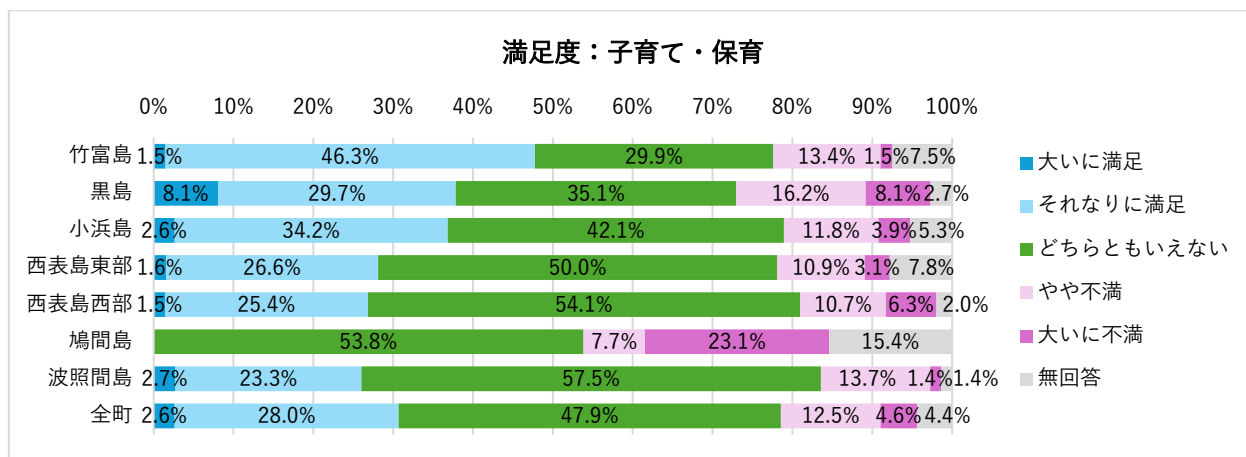


保育所

- 保育所について最も多かったのが、2歳未満の子を預けられるようにしてほしいという声であった（19件）。
「2年間、預ける場所も遊びに連れて行き親がホッとできる場所もなかったの、とても辛かった。仕事もできず、2人目は考えられなかった」
- 保育所・幼稚園で給食の提供を求める声があった（3件）。
- そのほか、保育所については入れるかどうか不安という声、預けられる時間を早めてほしいという要望や、認定こども園に向けた取り組みを求める声もあった（2件）。
- 鳩間島には保育所・幼稚園がないことについての指摘があった（4件）。
- 保育士が不足している（5件）状況を解消するための施策として、賃金を始めとする待遇の改善（4件）が挙げられた。

保育所以外

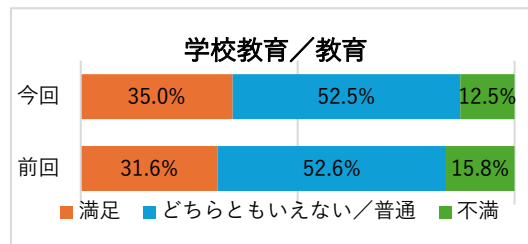
- 保育所以外では、遊具のある公園、雨天時に遊べる施設など、遊び場の整備を求める声があった（5件）。子育て支援センターの開設を評価する声も挙がったが、土日や学校の夏休み・冬休み期間中の開所に期待する声もある。
- 子ども手当の増額など、より手厚い支援を求める声がある一方で、何でも無償化するのはどうかという声も一部あった。
- 「地域が子どもを育てる環境がある」という声も複数挙がった（3件）。
- 「習い事をする所が無くて、わざわざ石垣に渡航」しなければならないというコメントもあった。



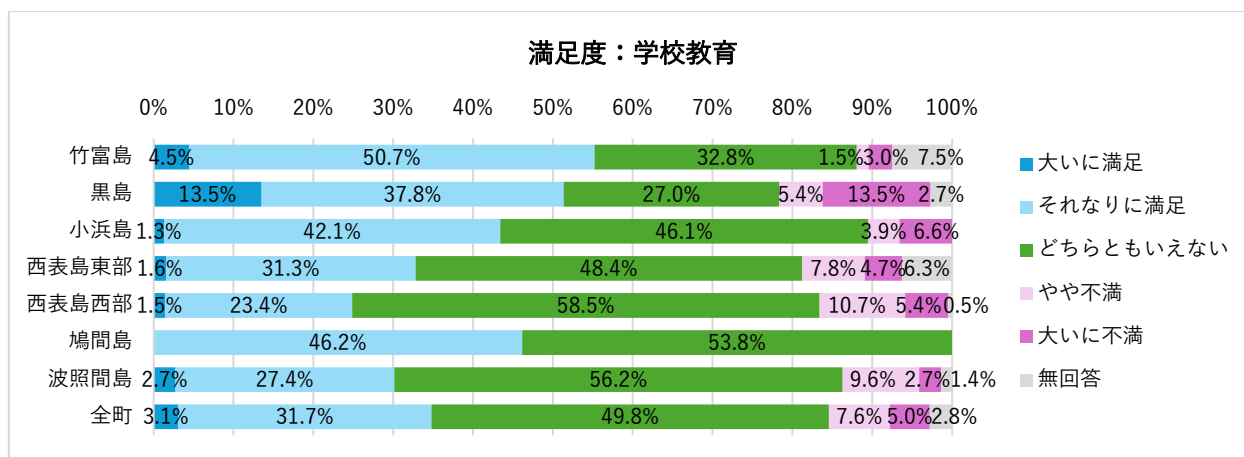
学校教育

5年前に比べ、わずかではあるが、満足度が上がった。

地域別では、竹富島、小浜島、鳩間島では満足度が高かった。黒島は満足は多いが、不満も多い。

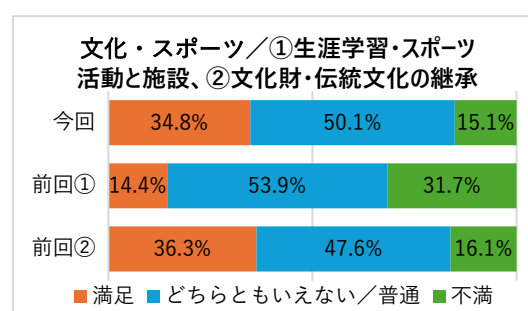


- 校舎や教員宿舎の老朽化を懸念する声があった（4件）。
- 教育の質については、低いと感じている人が複数いた（4件）。
現状は複式学級になる手前のギリギリの人数で子どもを見切れていないという声、さらに子供が減って複式学級になることを懸念する声もあった。
- 臨時任用教員が多いこともあり、短期間で入れ替わって地域になじめなかったり、引継ぎがきちんとされていないなどなどの不満がある。また、若い教員が多く、地域への理解や経験が不足しているという指摘も挙がった。
- 島ならではの少人数教育に満足している声が複数あった（5件）。また、「地域みんなで子供に関わろうとしている」という声がある一方で、「教職員との関係性がうすくなっている」という声もある。石垣から通勤する教員がいる竹富島では、教員宿舎を増やして島に居住してもらうことで、地域との関わりを強めたいという声もあった。
- 不登校の子どもが増えていることを懸念し、支援策を期待する声もあった（3件）。

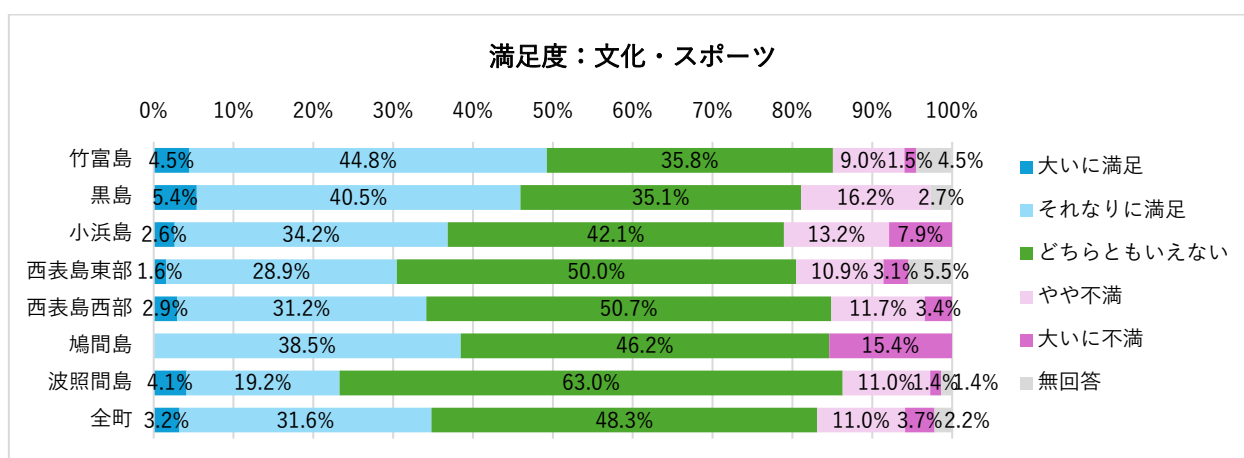


文化・スポーツ

5年前の調査では「生涯学習・スポーツ活動と施設」について尋ねており、施設は十分ではないということで満足度を下げていたと推察される。今回の結果と単純な比較は難しいが、少なくとも文化財・伝統文化については、満足度はほとんど変わっていない。地域別では、竹富島、黒島で満足とする人が多かった。



- スポーツについては、盛んにおこなわれているという声が複数あった（6件）が、「コロナ後、希薄になった」「やりたいができない」「機会が少ない」「低調」「盛り上がらない」という声もあった。
- 町主催の球技大会や運動会を評価する声がある一方で、文化も含め行事が多すぎて負担が大きいという声も複数あった（5件）。
- スポーツについては、子どもも含め、できる種目が限られているという声があった（4件）。
- 子ども遠征費の補助の増額を求める声（5件）のほか、習い事への補助を求める声もあった。
- スポーツ・文化施設の充実を図る声が多く挙がった（14件）。スポーツ施設については体育館やプール、ジムなど、文化施設については図書館や映画館が挙がった。
- 伝統文化については、後継者育成の必要性や補助金の充実を求める声があった。

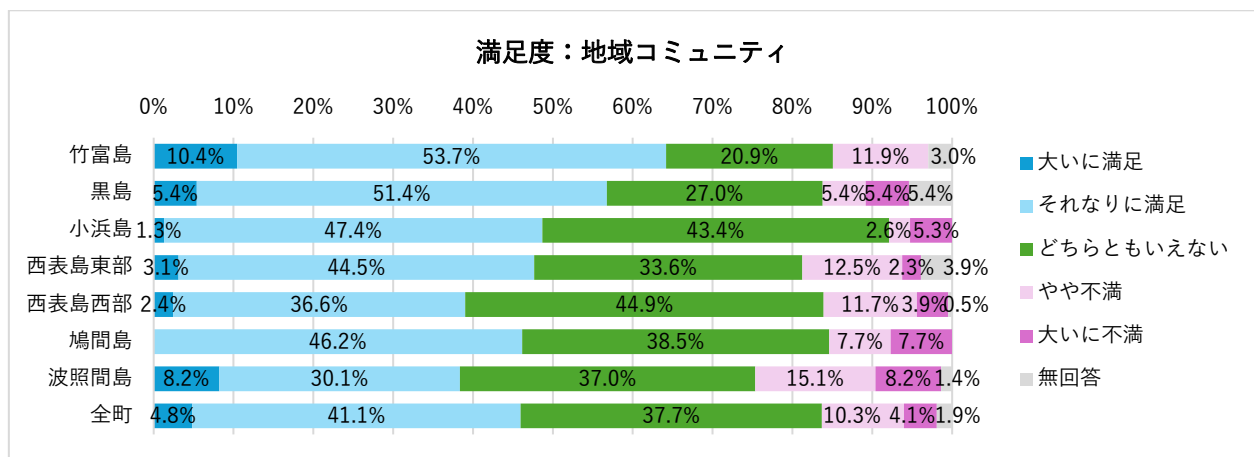
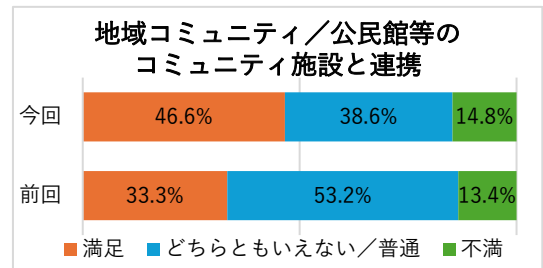


地域コミュニティ

全分野を通じて、2 番目に満足とした人が多い分野である。5 年前と比べて、満足とした人が増えた。

地域別では、竹富島、黒島で満足度が高く、波照間島で低かった。

- 地域コミュニティや公民館活動は活発（3 件）で、大切なこと（3 件）だと認識されているが、行事が多すぎるという声もある（5 件）。いつも決まった一部の人しか参加・協力しない、参加しない人が増えているという声もあった（6 件）。半強制的な参加が求められることについて、選択できるようにしてほしいという声もあった。
- 人間関係については、良い意味でも悪い意味でも距離が近いという声が複数あった（5 件）が、年々希薄になっていると感じている人もいる（4 件）。移住者について
- 移住者が近所づきあいをしないという声もあるが、「移住者には優しくない」「参加しやすい雰囲気づくりをお願いしたい」という声もあった。

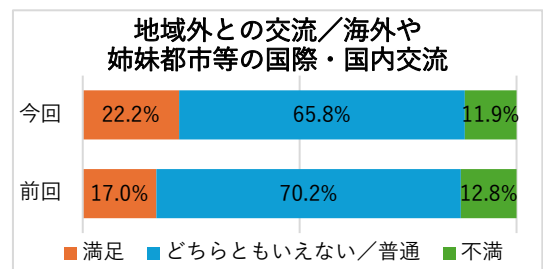


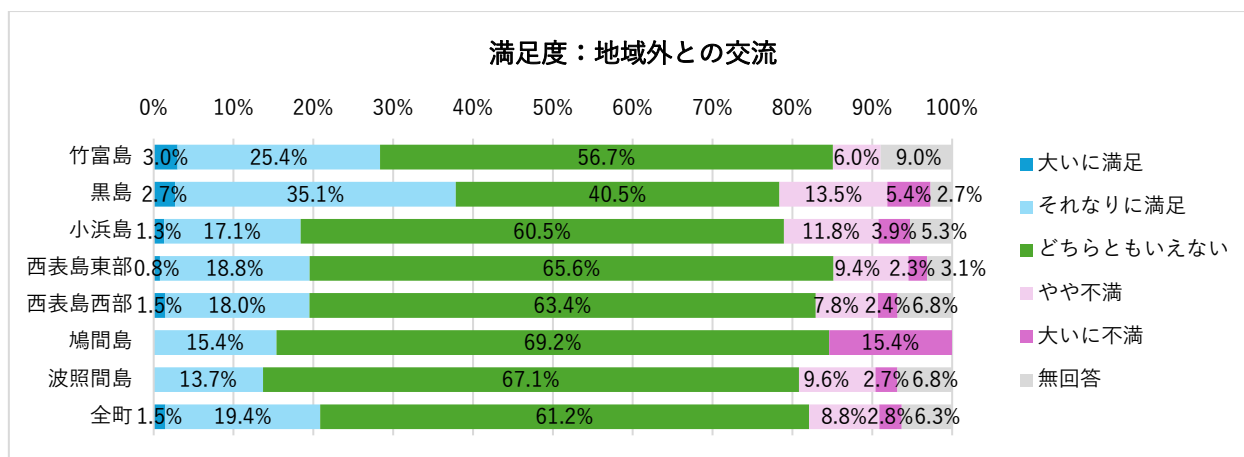
地域外との交流

5 年前に比べ、ほんのわずかではあるが、満足度が上がった。

地域別では、竹富島で満足度が高く、波照間島で低い。

- 交流の機会が少ないという声（9 件）、交流の機会拡大を望む声（4 件）があった。
- 交流のアイデアとしては、年 1 回交流イベント行事の開催、町民文化祭の開催などのアイデアが挙がった。また、友達の作り方を学ぶ機会として幼稚園・保育所同士の交流を望む声もあった。
- 交流の機会が一部の人に偏っているという声が複数あった。
- 交流の促進を妨げるものとして、交通の不便さや船賃が挙がった。
- 姉妹町である斜里町との交流は複数名（3 名）が挙げたが、友好都市である対馬市について触れた人はいなかった。



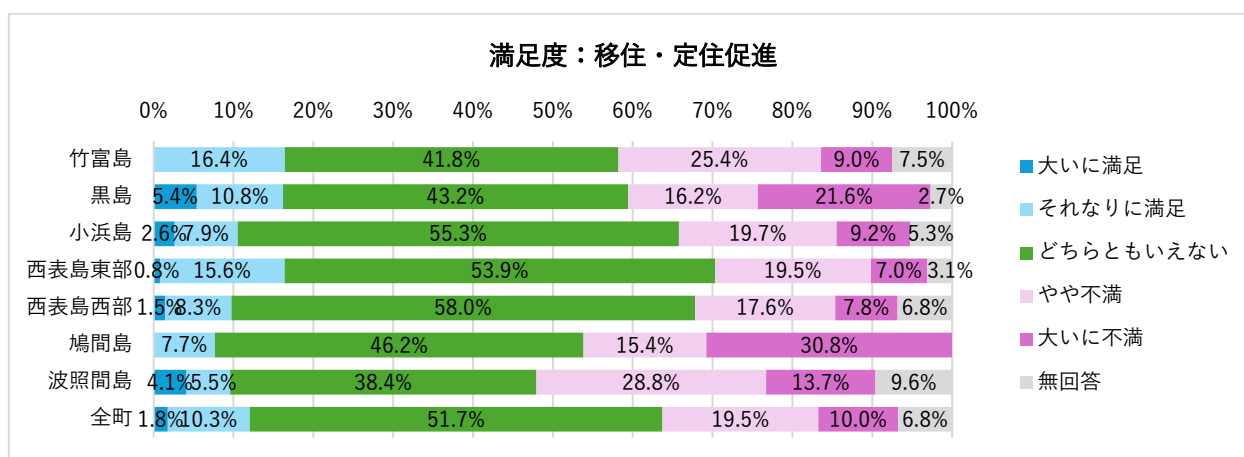


移住・定住促進

5年前の調査項目にはなかった。

地域別では、西表島東部で満足度が比較的高い。鳩間島、波照間島で不満が多い。

- 圧倒的に多かったのが、移住するための住宅不足という指摘である（68件）。対策として、空き家の活用（7件）、町営住宅（3件）や移住者用住宅（2件）の建設などが挙げた。
- 仕事がない、限られているという声もある（7件）。
- 移住者と地域の関係についてのコメントも複数あった。地域に関わらないことを不満とする人や、受け入れ側の意識の問題と捉える人もいる。
- 定住するには生活基盤や住環境の整備が必要という声もあった（2件）。

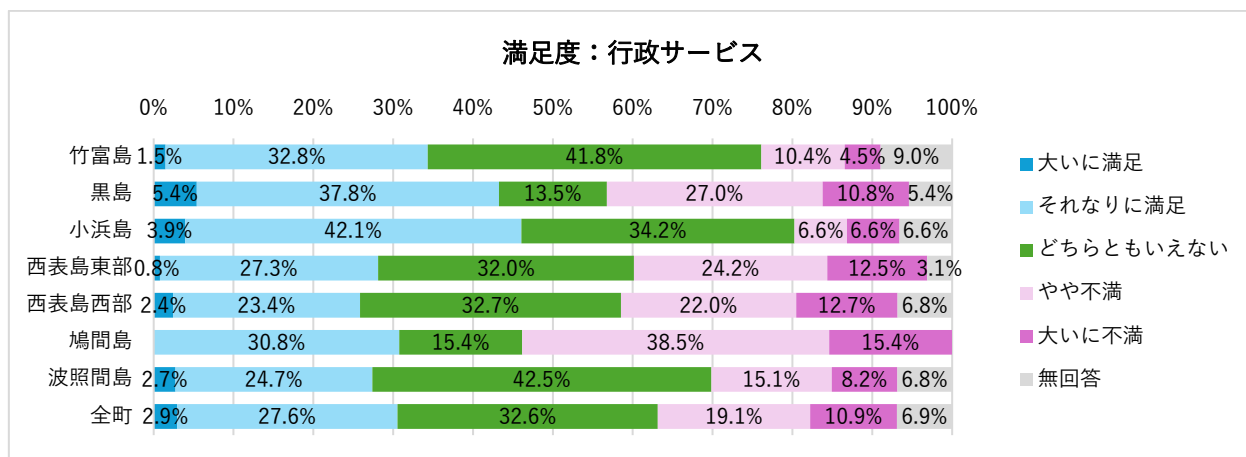
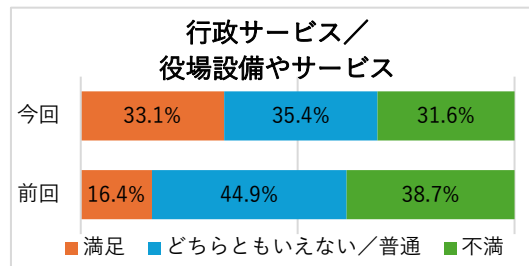


行政サービス

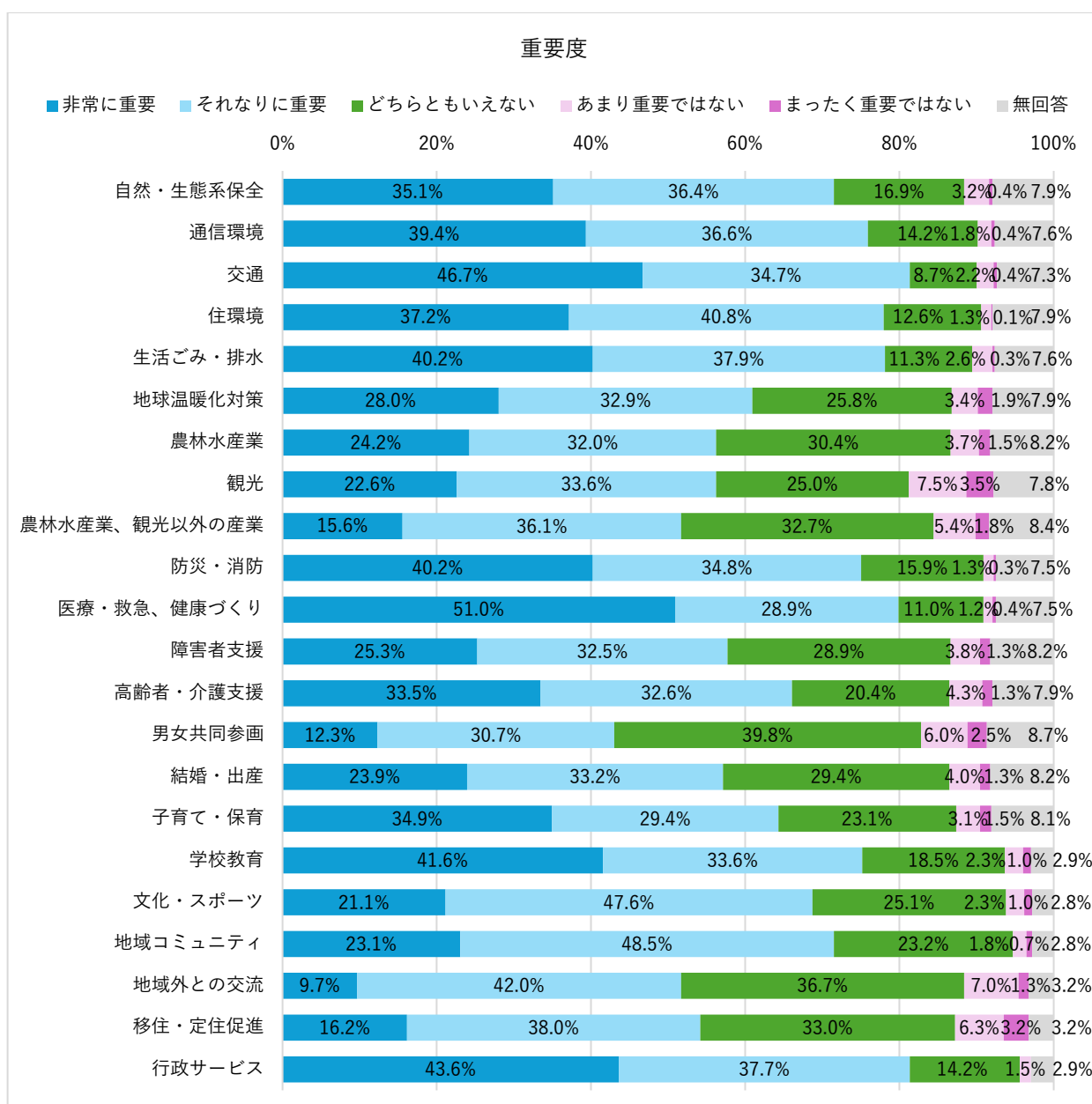
5年前に比べ、満足度は向上した。

地域別では、小浜島、竹富島の満足度が高い。黒島は満足は多いが、不満も多い。鳩間島は不満とする人が多い。

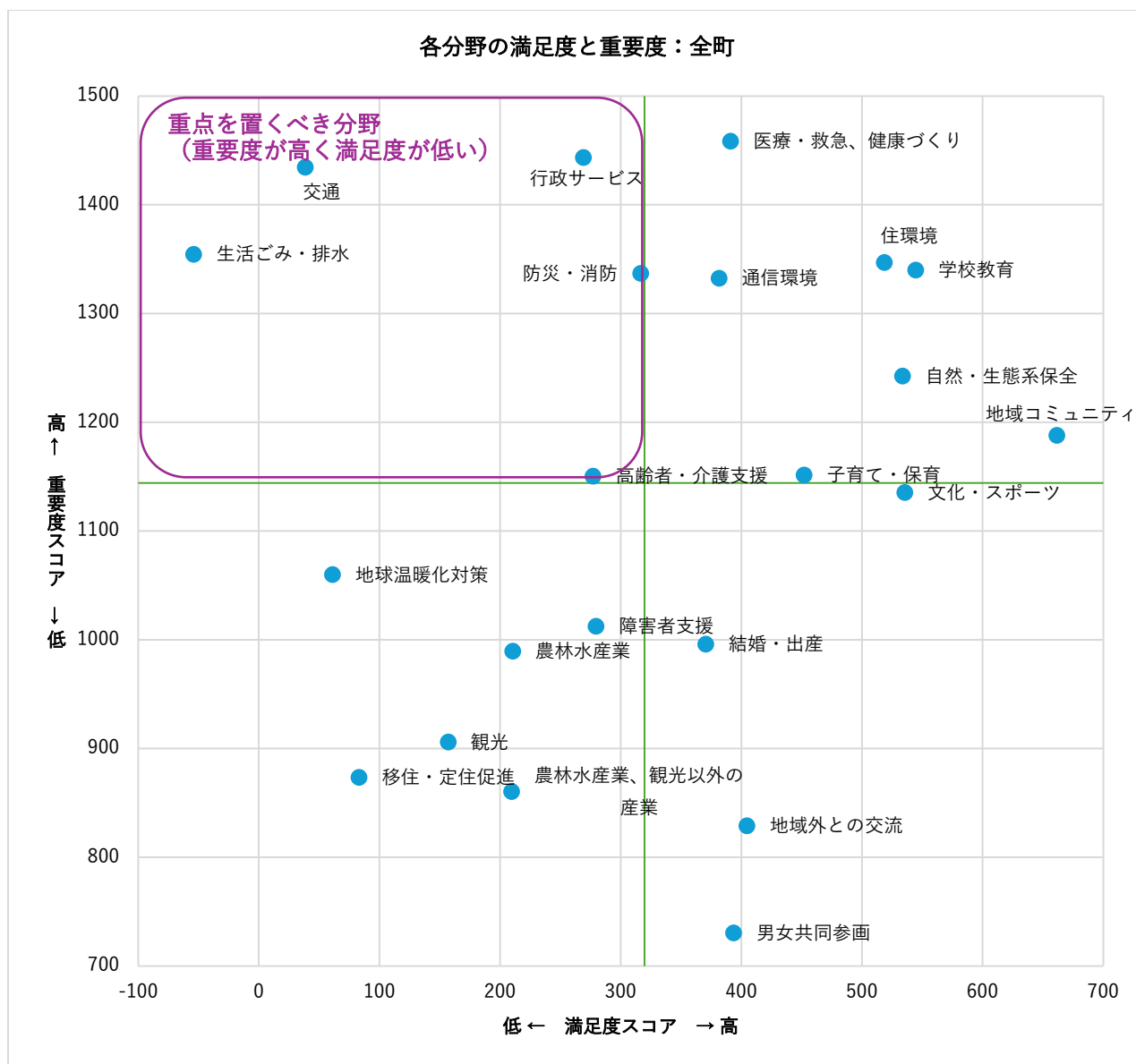
- 役場が石垣市にあること（6件）、町職員が石垣市民であること（15件）を理由として、島の暮らしへの理解不足（11件）や町民に寄り添った対応がなされていない（8件）と考えている人が多い。「職員の顔が見えない」というコメントも2件あった。
- 職員の対応の悪さ（7件）や遅さ（5件）についての不満を訴える声も複数あった。
- 守秘義務について、職員の意識の低さを挙げた人が複数いた（4件）。
- 石垣庁舎でないとできない手続きがあることを不満とした人が複数いた（5件）。
- 各島に出張所の設置を望む声（3件）、出張所でできることを増やしてほしいという声（4件）があった。
- オンラインでできることが増えたという声（6件）や、さらなるオンライン活用の拡大を望む声（3件）、公式 LINE での情報発信について評価する声（4件）もある一方で、「LINE の多様に不満」「LINE のセキュリティは信用できない」という声もあった。
- 職員はよくやってくれているという声も多い（13件）。以前より仕事が早く親身になったという声もあった（3件）。
- 石垣庁舎の宿泊施設（ツマベニ）やカーシェアの予約がとれないという声もあった（2件）。



II お住まいの地域に関する以下の事柄は、あなたにとってどのくらい重要ですか？



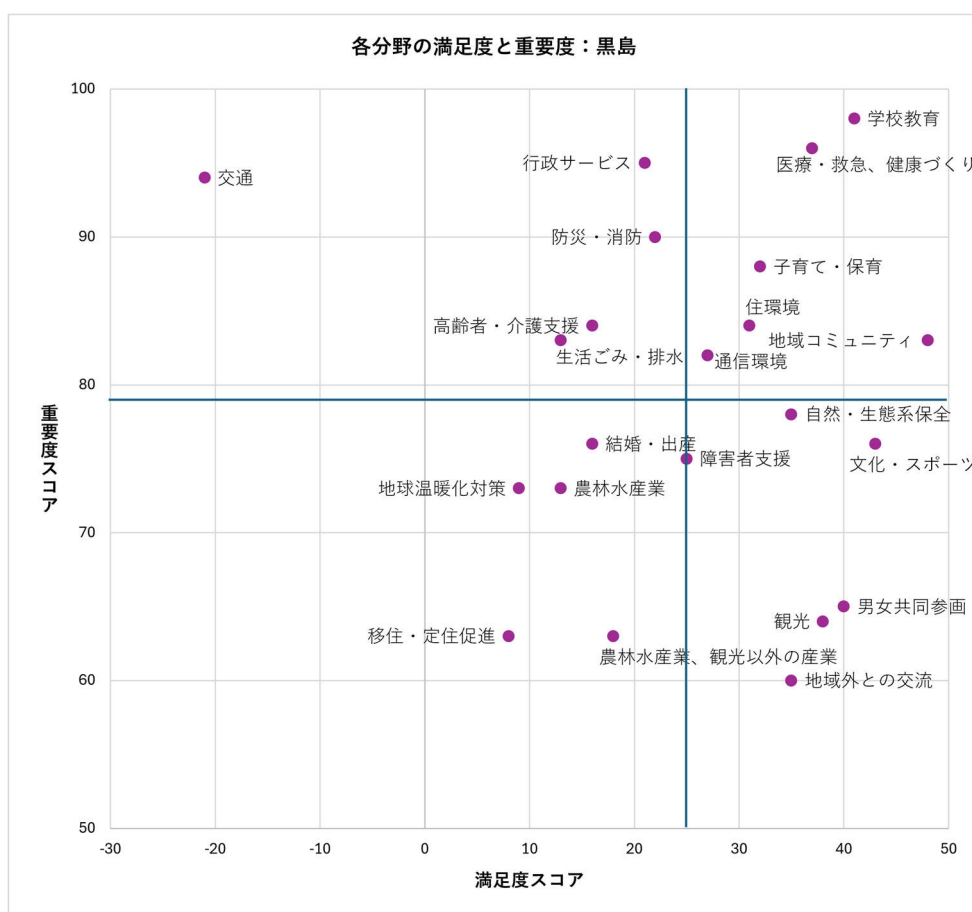
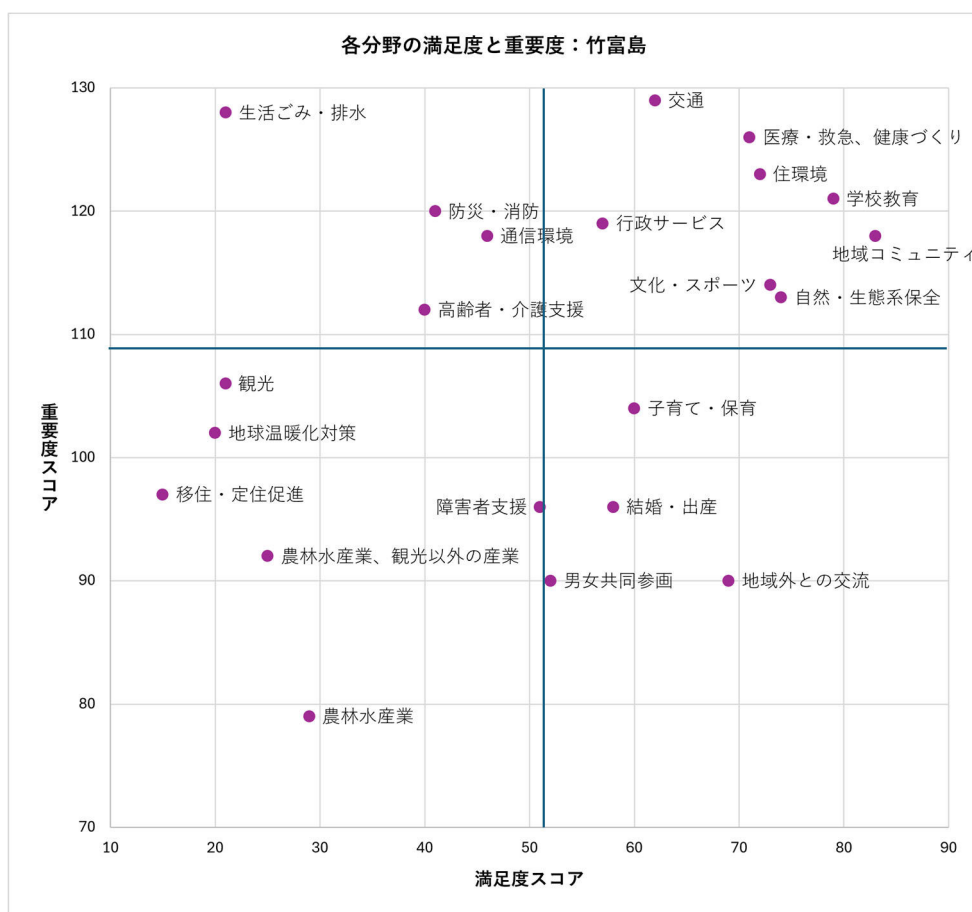
各分野の満足度と重要度

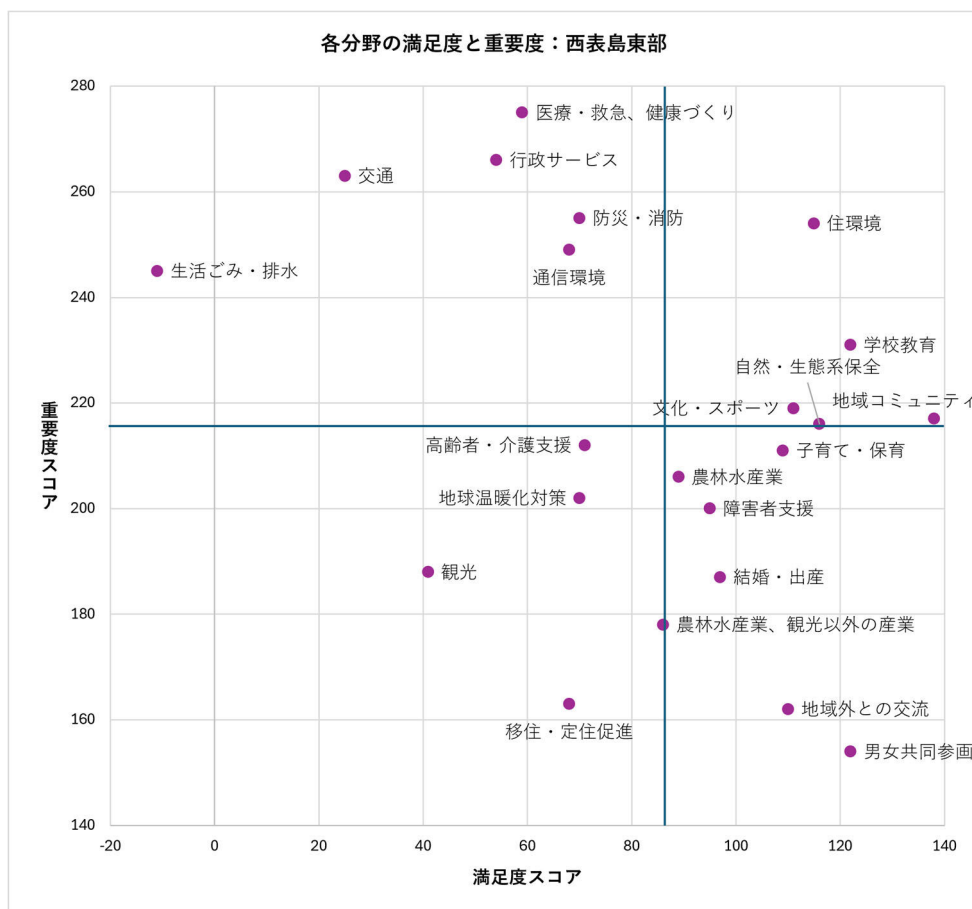
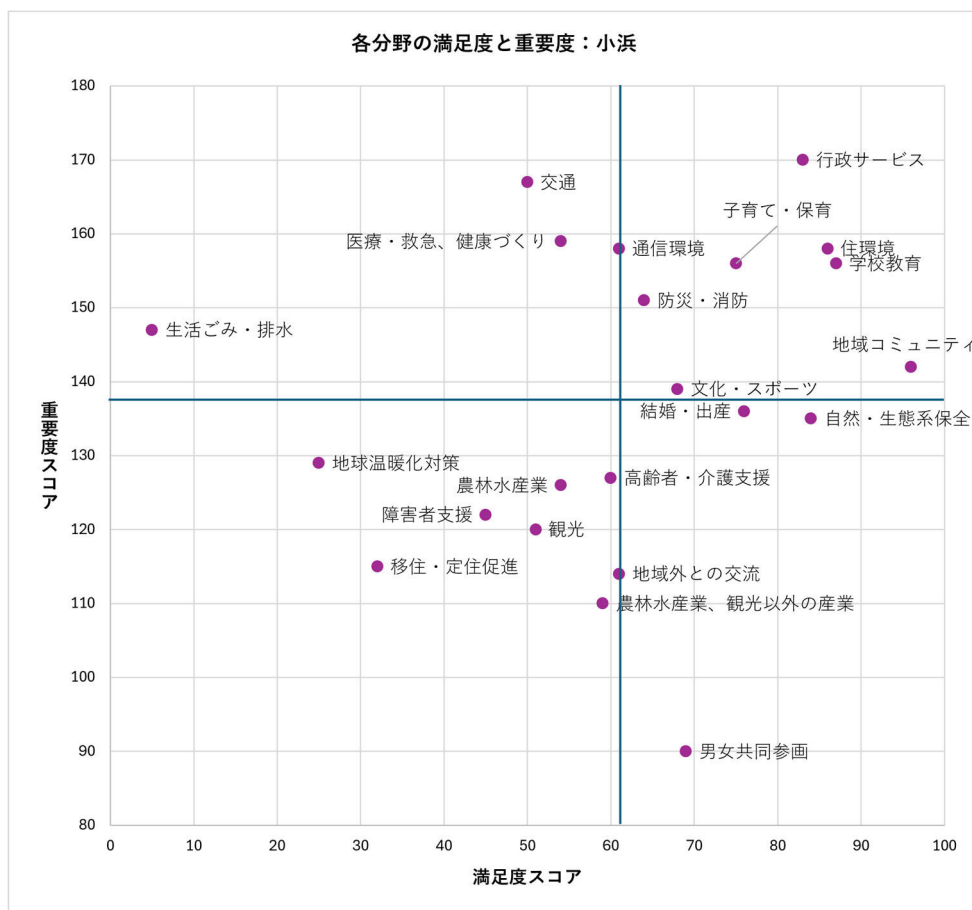


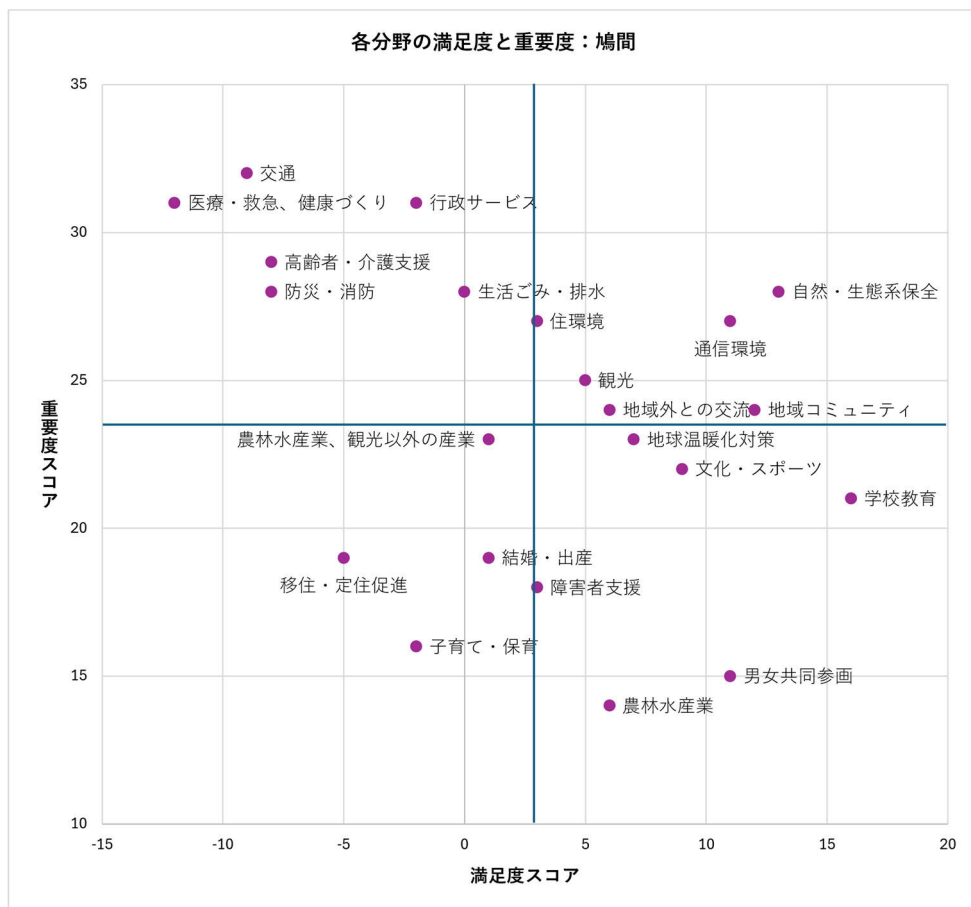
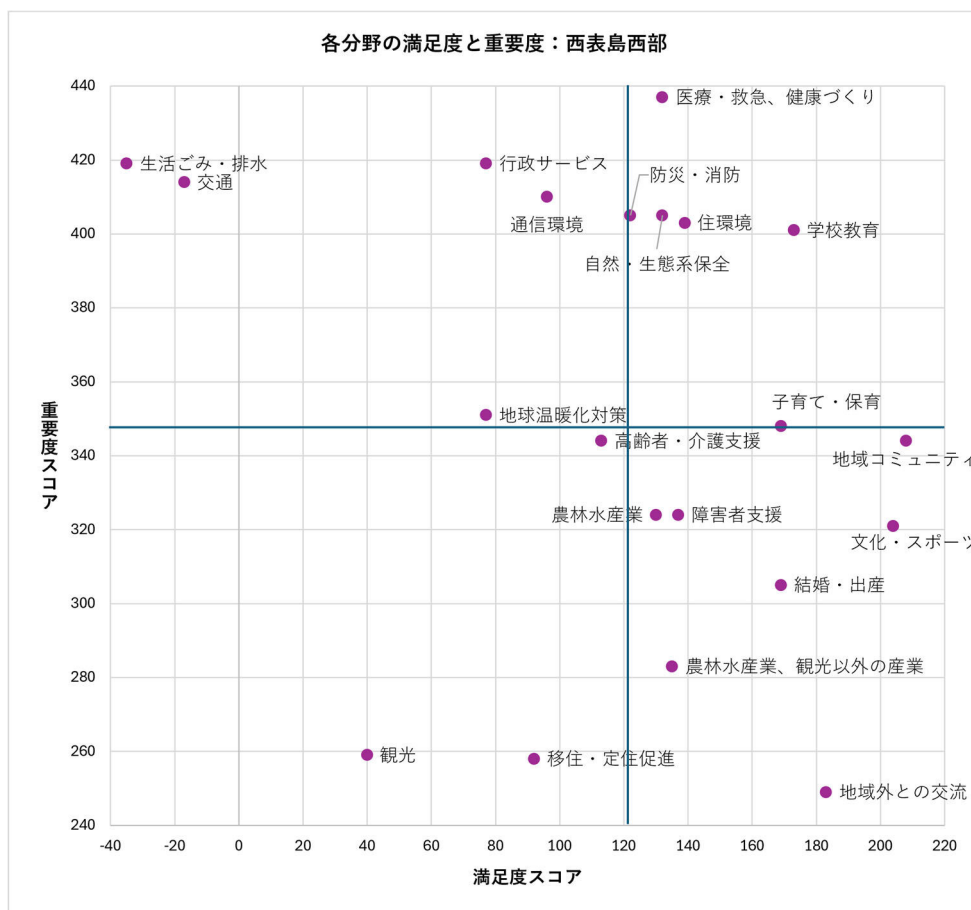
—：それぞれの平均値

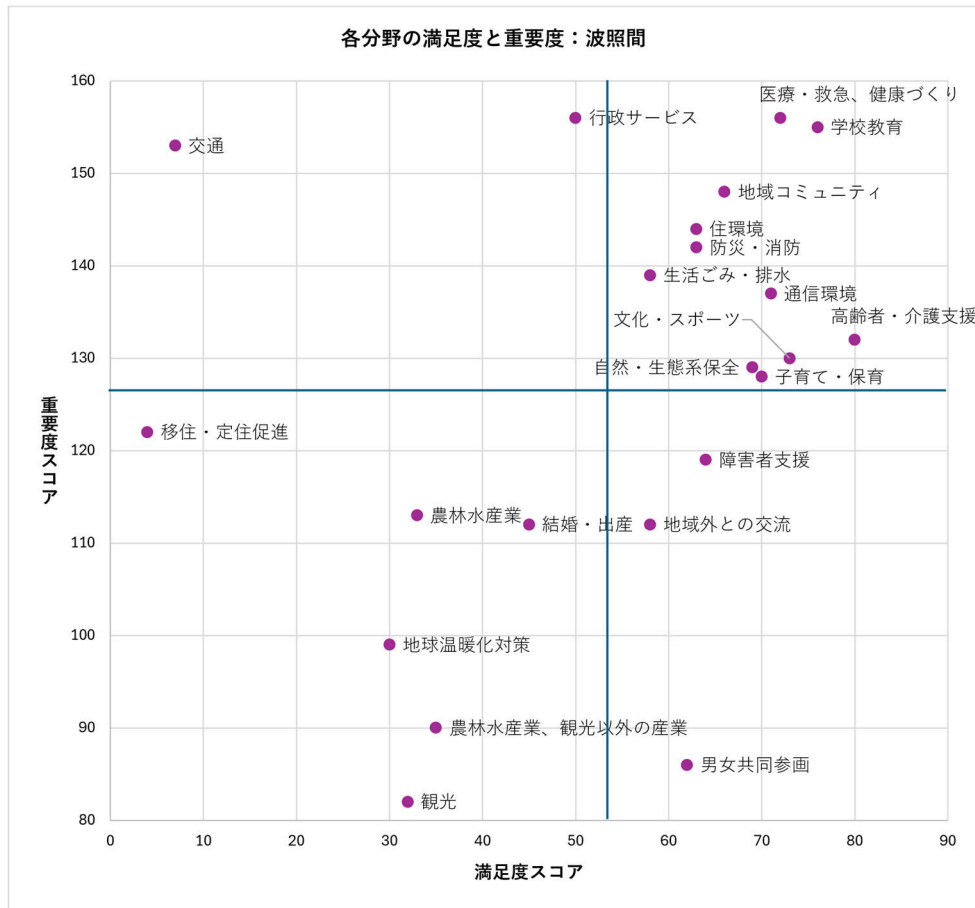
※スコアの算出方法：下記点数に回答数を掛け合わせて合計した

大いに満足、非常に重要	+ 3
それなりに満足、それなりに重要	+ 2
どちらともいえない	+ 1
やや不満、あまり重要ではない	- 1
大いに不満、まったく重要ではない	- 2

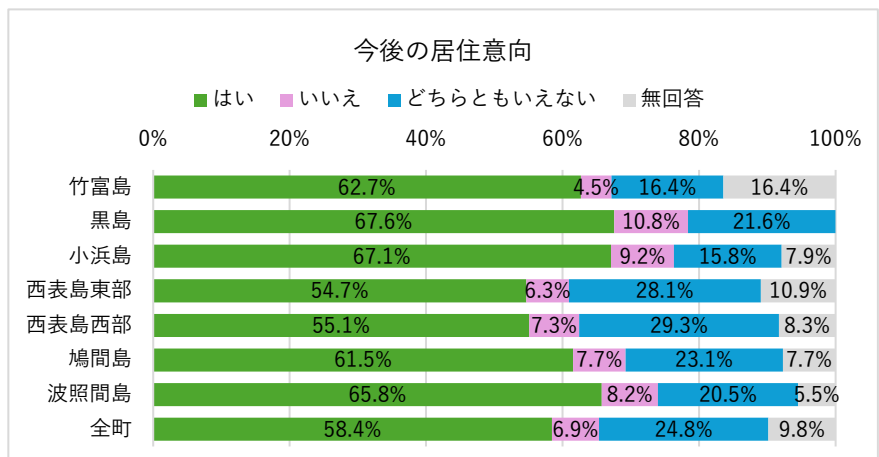
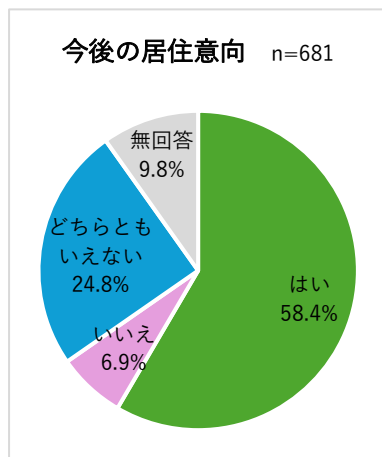








IV 1. あなたは今後も竹富町に住み続けたいですか？



IV 2. あなたが今後も竹富町に住み続けるために、必要な条件は何ですか？

人	
自然環境の保全	44
通信環境（インターネット、Wi-Fi）	15
交通	84
海上交通	9
船賃の低減（補助の維持）	23
船の増便	9
海上交通の安定	4
海上交通の利便性向上、時間	11
道路の整備	4
住居	34
住居の確保	28
住環境、生活環境	19
生活インフラ（水道・電気・ガス）	8
インフラ整備	4
生活ごみ	10
仕事、雇用	40
安定収入、賃金アップ、経済的な余裕	25
物価の抑制、経済的負担の軽減	16
買い物環境の充実	18
物流の安定化	6
産業振興	11
観光振興	6
観光客のコントロール、住民優先	3
防災	16
有事への懸念	4
安全安心	8
安心できる暮らし	9
安定した生活	3

医療の充実	66
歯科診療所の再開	8
出産できる環境	3
自分自身・家族の健康維持	11
福祉の充実	9
介護支援・サービスの充実	28
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	15
高齢者支援の充実	9
障害者支援の充実	3
子育て支援	11
子育てしやすい環境、子どもにとって良い環境	13
遊び場の設置（遊具、屋内等）	4
保育所の充実、改善	6
教育の充実、地域格差の解消	11
地域コミュニティ	28
良好な人間関係、つながり	16
共助、ゆいまーる	6
地域行事の負担軽減	3
地域文化の保存・継承	4
先住者と移住者の関係	5
家族・パートナーの存在	3
平和	9
人口増加	3
行政への各種要望	15
役場を町内に	5
娯楽施設、イベント	7
図書館	3
生まれた地域	4

V 20年後（2045年）の竹富町のために、役場に特に取り組んでほしいことは何ですか？

		人
自然環境の保全・継承		51
	自然との共生、バランス	3
	陸上生物の保護	4
	サンゴ保護	3
開発の抑制		3
再エネ導入		4
自給自足		5
	食糧自給	3
交通		50
	海上交通	16
	海上交通の安定	3
	陸路	10
	道路の美化	4
	公共交通の充実	3
	架橋	11
住居		20
	公営住宅の整備	3
	人口増・移住促進策としての住宅確保	5
空家対策		4
住環境、生活環境		7
生活インフラ（水道・電気・ガス）		6
インフラ整備		3
下水道整備、生活排水処理		8
ごみ問題の解決		33
	生ごみ対策	5
	漂着ごみ	5
物価の抑制、経済的負担の軽減		5
物流の安定化		5
仕事、雇用の確保		20
	十分な賃金	4
産業振興・維持		14
	新たな産業の育成	5
第一次産業の振興		10
	担い手育成	4
観光振興		18
	インバウンド強化	3
	観光インフラ整備	3
オーバーツーリズム対策		21
	事業者のマナー	5
	規制・ルールの設定・運用	4
	観光資源の保全（自然等）	7
	住民生活への影響抑制、観光との共存	5

訪問税の導入、活用		4
安心できる暮らし		4
医療の充実		12
歯科診療所の再開		3
高齢者支援・サービスの充実		7
介護支援・サービスの充実		13
高齢者施設（介護施設・グループホーム等）の設置		5
高齢者が安心して暮らせるまちづくり		7
障害者支援の充実		4
子育て・子ども支援		16
子育てしやすい環境、子どもにとって良い環境		5
教育の充実		13
	校舎の修繕・建替え、環境改善	4
子どもたちが帰ってきたいと思える/住み続けられる環境づくり		8
若者が暮らしやすい環境		3
人口の維持・増大、過疎化・少子化対策		27
	子どもを増やす	4
	若者を増やす、若者の定住促進	5
	Uターン促進	4
移住促進、移住しやすい環境		11
地域文化の保存・継承		10
自衛隊誘致		3
土地・家屋売却への懸念		3
	地域活性化	3
行政への各種要望		73
	役場移転	16
	出張所の設置拡大	3
	職員 島の実情への理解不足	7
	島に住んで	7
	町民の声を聴く、寄り添う	8
	職員教育、意識変革	4
	スピード感	3
	地域ごとに適した施策	3
	平等に	3
	財源の確保	4
	町が作った施設の保守管理	3
	石垣市との合併	3

竹富町総合計画作成のための町民アンケート 回答用紙

I お住まいの地域における以下の事柄について、あなたの現在の満足度をお教えてください（5段階のうち、いずれかの数字に○）。また、その理由等もあわせてお教えてください。

	①大いに満足	②それなりに満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤大いに不満	選択理由など
記入例) 通信環境	1	②	3	4	5	光になってストレスがなくなった
自然・生態系保全	1	2	3	4	5	
通信環境	1	2	3	4	5	
交通（道路・海上交通・空路）	1	2	3	4	5	
住環境	1	2	3	4	5	
生活ごみ・排水	1	2	3	4	5	
地球温暖化対策	1	2	3	4	5	
農林水産業	1	2	3	4	5	
観光	1	2	3	4	5	
農林水産業および観光以外の産業	1	2	3	4	5	
防災・消防	1	2	3	4	5	
医療・救急、健康づくり	1	2	3	4	5	
障害者支援	1	2	3	4	5	
高齢者・介護支援	1	2	3	4	5	
男女共同参画	1	2	3	4	5	
結婚・出産	1	2	3	4	5	
子育て・保育	1	2	3	4	5	
学校教育	1	2	3	4	5	
文化・スポーツ	1	2	3	4	5	
地域コミュニティ（公民館、近所づきあい等）	1	2	3	4	5	

	①大いに満足	②それなりに満足	③どちらともいえない	④やや不満	⑤大いに不満	選択理由など
地域外との交流 (町内外、国内外)	1	2	3	4	5	
移住・定住促進	1	2	3	4	5	
行政サービス (竹富町役場)	1	2	3	4	5	

Ⅱ お住まいの地域に関する以下の事柄は、あなたにとってどのくらい重要ですか？（５段階のうち、いずれかの数字に○）また、その理由等もあわせてお教えてください。

	①非常に重要	②それなりに重要	③どちらともいえない	④あまり重要ではない	⑤まったく重要ではない	選択理由など
記入例) 通信環境	1	②	3	4	5	仕事でインターネットを使うから
自然・生態系保全	1	2	3	4	5	
通信環境	1	2	3	4	5	
交通（道路・海上交通・空路）	1	2	3	4	5	
住環境	1	2	3	4	5	
生活ごみ・排水	1	2	3	4	5	
地球温暖化対策	1	2	3	4	5	
農林水産業	1	2	3	4	5	
観光	1	2	3	4	5	
農林水産業および観光以外の産業	1	2	3	4	5	
防災・消防	1	2	3	4	5	
医療・救急、健康づくり	1	2	3	4	5	
障害者支援	1	2	3	4	5	
高齢者・介護支援	1	2	3	4	5	
男女共同参画	1	2	3	4	5	
結婚・出産	1	2	3	4	5	
子育て・保育	1	2	3	4	5	

	①非常に重要	②それなりに重要	③どちらともいえない	④あまり重要ではない	⑤まったく重要ではない	選択理由など
学校教育	1	2	3	4	5	
文化・スポーツ	1	2	3	4	5	
地域コミュニティ（公民館、近所づきあい等）	1	2	3	4	5	
地域外との交流（町内外、国内外）	1	2	3	4	5	
移住・定住促進	1	2	3	4	5	
行政サービス（竹富町役場）	1	2	3	4	5	

Ⅲ I II の項目以外で、あなたが「まちづくり」において重要だと思う事柄があれば教えてください。

Ⅳ 今後の住む場所についてお聞かせください。

1. あなたは今後も竹富町に住み続けたいですか？（あなたご自身の気持ちをお聞かせください）

①はい ②いいえ ③どちらともいえない

2. あなたが今後も竹富町に住み続けるために、必要な条件は何ですか？

Ⅴ 20年後（2045年）の竹富町のために、役場に特に取り組んでほしいことは何ですか？

Ⅵ 計画や竹富町の行政などについて、ご意見などがあれば何でもご記入ください。

VII 最後に、あなた自身のことについて教えてください。

1. 性別 ①男性 ②女性

2. 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代
 ⑧80代以上

3. 居住地 ①竹富島 ②小浜島・嘉弥真島 ③黒島 ④西表島・東部、由布島
 ⑤西表島・西部 ⑥鳩間島 ⑦新城島 ⑧波照間島

4. 居住年数 ①2年未満 ②2～5年 ③5～10年 ④10～20年 ⑤20～30年
 ⑥30～40年 ⑦40年以上

5. 出身地 ①現在住んでいる島 ②竹富町内のほかの島 ③石垣・与那国
 ④八重山郡外の県内 ⑤沖縄県外

ご協力ありがとうございました。

同封の封筒に入れて、郵便ポストへ投函してください。

V. 高校生アンケート結果

調査概要

実施方法	Web アンケート 町出身者が多く通う高校上位 10 校*と沖縄県立離島児童生徒支援センター（群星寮）に協力を依頼し、Web アンケートの QR コードを記載したアンケート回答依頼用紙を配布
実施期間	令和 6 年 9 月 17 日～30 日
回答依頼対象者数	106 名（対象学年総数 141 名）
回答者数	63 名
回答率	59.4%

* 協力校：八重山高等学校、八重山商工高等学校、八重山農林高等学校、沖縄工業高等学校、那覇西高等学校、向陽高等学校、小禄高等学校、那覇国際高等学校、沖縄水産高等学校、国立沖縄工業高等専門学校

<集計結果要約>

○将来就きたい仕事

様々な職業名が上がった。国内で行われた様々な調査結果（資料末参照）と比較して、特に際立った特徴は見受けられないが、しいて言うならば、どの調査でも上位にランクインする公務員を挙げた人が少なかった。

○将来の町への居留意向

- ・卒業後すぐに住みたい地域は、半数以上が沖縄県外の国内と答えた。その理由としては、やりたい仕事に就くため、県外での生活を経験してみたいというものが大勢を占めた。
- ・卒業後すぐに自分が育った島・地区に住みたいと答えたのは約 2 割で、自分の生まれ育った島が好きだからという理由が多かった。
- ・時期の違いはあるが、8 割以上が将来は島に戻りたいという意思を示した。

○竹富町の好きなところ

- ・2/3 が自然、海、風景などの美しさを挙げた。次に多かったのは、人・地域コミュニティの優しさ・温かさで 3 割近く、次いで伝統行事・文化を約 1 割が挙げた。
- ・町の教育・子育て支援施策を評価する声も数件あった。

○竹富町のイヤなところ

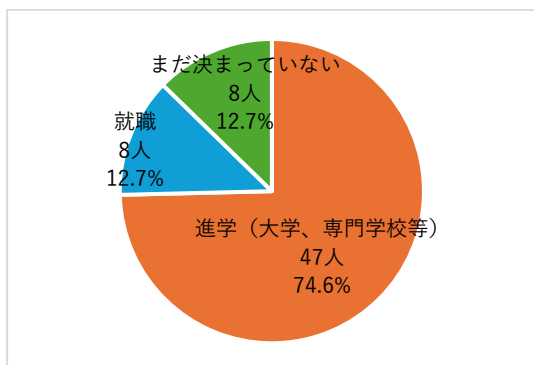
買い物や交通の不便さを挙げた人が多かった。また、遊ぶ場所や娯楽がないという回答も多かった。

○竹富町長になったら重点をおく政策

- ・子育て支援・教育を挙げた人が多かった。
- ・竹富町のイヤなところとして多く挙がっていた交通や買い物の利便性向上、竹富町の好きなところとして多く上がっていた自然環境保全を挙げた人も多かった。
- ・竹富町のイヤなところとして遊ぶ場所や娯楽がないという回答が多かったが、重点を置く政策としては単に娯楽施設を作るという回答はなく、人と交流しながら楽しめる場所を望んでいると推察される。

I あなたが現在考えている将来について教えてください。

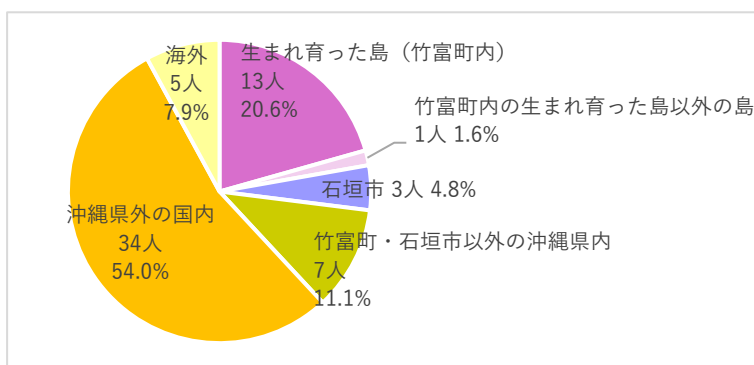
Q1. 高校卒業後の進路は、現時点でどうしたいと考えていますか？ n=63



Q2. 高校や大学等の卒業後は、どのような仕事に就きたいと考えていますか？ n=58

職業分類表	回答
01 管理的職業	国の機関
02 研究・技術の職業	研究職／化粧品の開発をする研究者／設計士／パソコンなどを使う仕事プログラミングなど／ゲームクリエイター／IT系
03 法務・経営・文化芸術等の専門的職業	声優 アニメ関係／学芸員／プロサッカー選手／音楽関係
04 医療・看護・保健の職業	獣医／看護師／医療系／健康関係／鍼灸師／フィジカルトレーナー
05 保育・教育の職業	保育／教員
06 事務的職業	医療事務
07 販売・営業の職業	フラワーアレンジメント／ウェディングプランナー
08 福祉・介護の職業	介護系の仕事
09 サービスの職業	美容師／料理関係／食に関わる仕事／観光業 エコツアーガイド
10 警備・保安の職業	警察官
11 農林漁業の職業	漁師
12 製造・修理・塗装・製図等の職業	お菓子専門のお店、パティシエなど
13 配送・輸送・機械運転の職業	パイロット／航海士／船関係
14 建設・土木・電気工事の職業	建築関係
その他	ダイバー／安定した仕事／稼げる仕事／人と関わる仕事／部屋から出ない仕事／国際系／海外で働きたい／未定

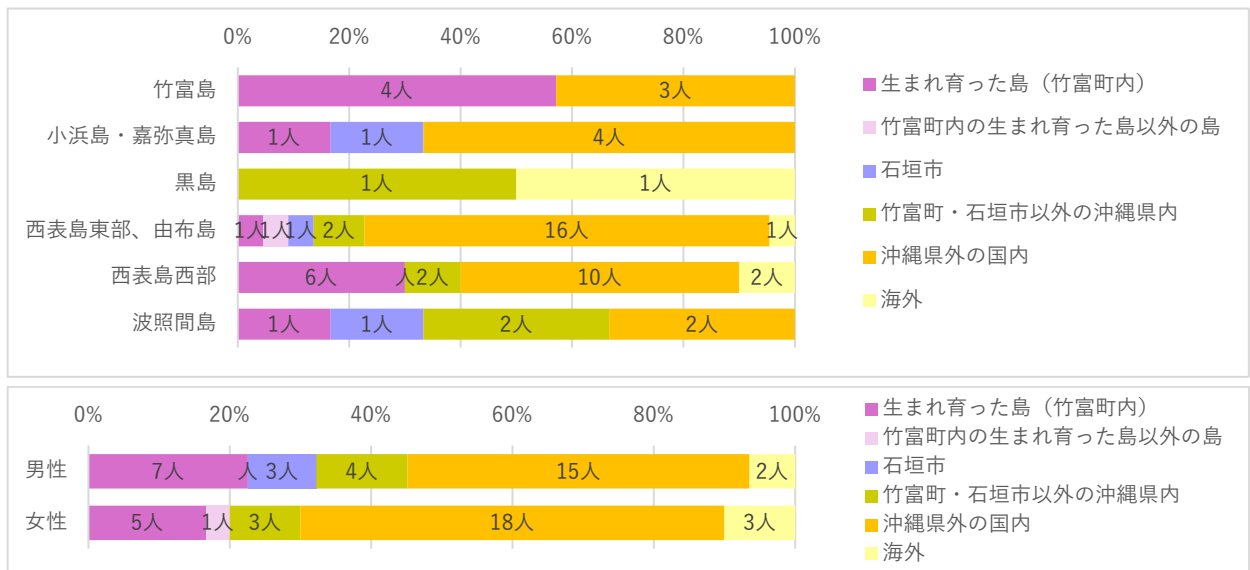
Q3. 高校や大学等の卒業後、どこに住みたいと考えていますか？ その理由とあわせて教えてください。 n=63



選択理由：

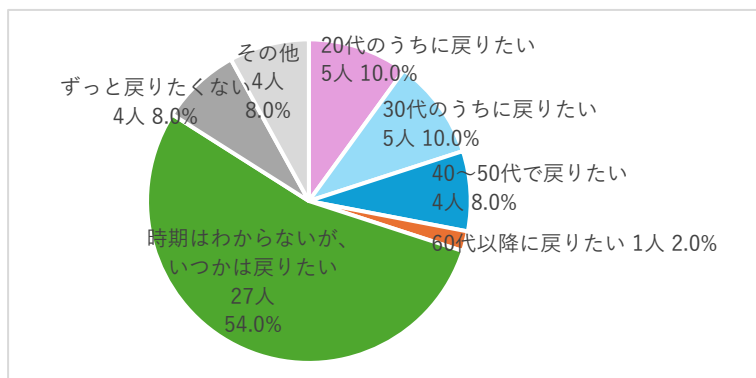
①生まれ育った島（竹富町内）：13名	・自分の島が好きだから（3名） ・自分の生まれ育った島が大好きで、島で生まれたことに誇りをもっています。地域の方の優しさ、おもしろさ、島に対する思いを15年間見てきて、自分も島のためにつくす大人になりたいと感じました。そして、下の世代にも「島に帰ってきたい」「島で生まれ育ってよかった」と思わせられるように島を守っていきたいです。 15歳で島を出て、親元を離れ3年間寮暮らしをしています。映画館や大きなショッピングセンターなどに憧れを持って育ってきましたが、離れてみてわかることがたくさんありました。 - コンビニやカラオケなど遊ぶところがなくとも、島の行事を見たり、体験したり、毎日綺麗な海や夕日を見て、地域の人から色々なことを学び、美味しい伝統料理を食べたり今までは当たり前だったことが何より幸せだと感じました。そんな島でずーっと幸せな生活を送りたいです。 - そう思わせてくれた島の先輩、地域の方に感謝しています。なのでそうなりたくて私も将来は島で暮らし、貢献していきたいです。 ・生まれ育った島に恩返ししたいから ・自分の育った地域が大好きだから島に帰って恩返しをしたい。でも、すぐには帰らずに外に出てたくさんのことを経験したいと思っている。 ・島の自然が好きだから ・祭りしたいから ・民宿を作りたいと考えているから ・落ち着くから ・考えてないのでとりあえず地元にした ・無回答（2名）
②竹富町内の①以外の島：1名	・実家があるから
③石垣市：3名	・やりたいことがあるから ・就職のため ・いしがきべんりだから
④竹富町・石垣市以外の沖縄県内：7名	・地元でくらす ・沖縄にいたいから ・沖縄県内のスポーツ振興に貢献していくために、県内プロ4チームのいずれかに就職し、たくさんの経験と知識を習得したいと考えているため。 ・多分那覇空港メインで働くと思うから、那覇近辺に住みたい。でも将来的に帰って来たい ・なんでもあるから ・やりたいことがたくさんある ・特に理由は無い
⑤沖縄県外の国内：34名	（仕事に関する理由） ・就職先の選択肢がたくさんあるから ・働く場所がたくさんあって働きやすそう ・本州のほうが交通の便がいい ・公務員の募集人数とか倍率とか沖縄と比べて多くて低いから ・声優などの仕事に就く際、事務所が多くある場所（東京など）が確実に職につきやすいと考えているため。 ・化粧品の開発（資生堂など）をしているほとんどの人が国公立の大学を卒業しているから、私も国公立の大学に行きたいと思っているから。 ・沖縄の外を体験してみたい - 中学生の時に怪我を和らげてくれた鍼灸の人がすごいと思ったからです ・海外で仕事したいと考えていて、県外の方が交通の便がよいから

	・自分がやりたいことが国際系の仕事だから、県外だと思った ・学芸員として本土の大きい博物館で働きたいから ・今の所自分がしたい仕事がそこでしかできないから ・県外の建築を学ぶため ・たくさんお金を稼ぐため (利便性に関する理由) ・姉がいるのと、過ごしやすさを考えて福岡の大学に行きたいと考えているから。 ・不便だから ・竹富町なんもないから (町外、県外での経験) ・離島なので船が大好きなのでより大きな世界を見るために県外に行きたいと思いました ・最終的に島に戻るのは良いと思うけど。一度でも内地で暮らしたいと思うから ・たくさん経験をしたい ・沖縄以外の国内で働くことによって、日本を知るきっかけになると思うから。 ・住んだことのない県で新しい体験をしてみたい ・たくさん経験をしたい ・内地に住んでみたいという気持ちがあるから ・将来は沖縄に帰ってきたいなと思っているからその前に県外での生活を経験しておきたい ・自分が育った環境とは違う新天地で生活してみたいから ・沖縄以外を感じたいから ・一旦外を楽しみたい (その他) ・リアルに考えたら、島に戻りたいけど県外で暮らしてそうだったから ・親の意向です 島がよかったなー ・なんとなく
⑥海外：5名	・海外で専門的な知識や技術を学びたいため ・海外で世界を学びたいと考えているから ・海外でいろんな技術や新しいことをしたいから ・小さい頃からきょうみがあったから ・海外の様々な景色をみたい



Q4. Q3で「①竹富町内の生まれ育った島」以外を選んだ方にお聞きします。

将来、生まれ育った島に戻りたいと思いますか？その理由とあわせて教えてください。n=50

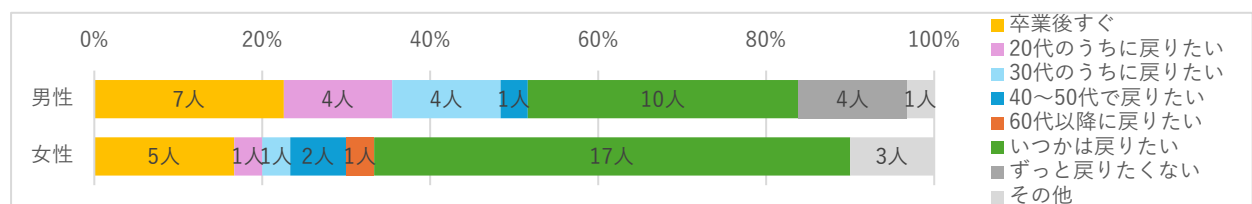
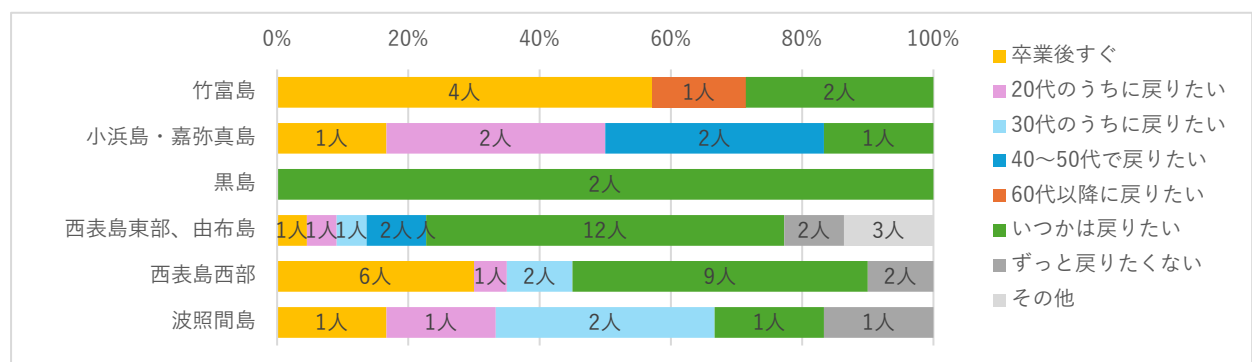
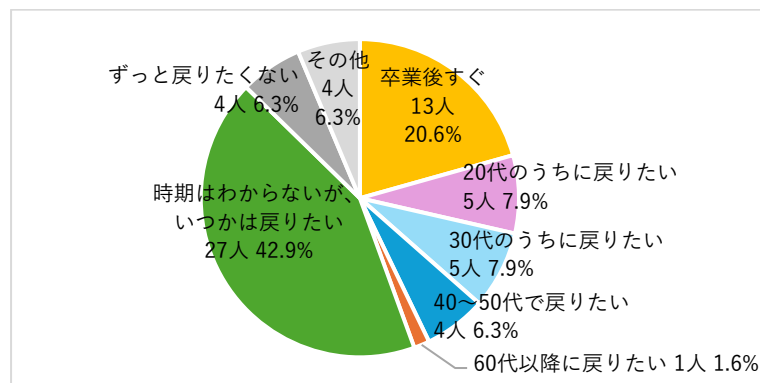


選択理由：

①20 代のうちに戻りたい：5 名	・ 小浜が好きだから早めに戻りたい ・ 島がすきだから ・ みんな暖かいから ・ 働くから ・ なんとなく
②30 代のうちに戻りたい：5 名	・ 38 ぐらいに帰ってきて島に貢献したいから ・ 島が落ち着くから ・ 一旦外で遊びたい ・ なんとなく 30 代がいいかなと思ったから ・ それくらいで行き詰まってそうだから
③40～50代で戻りたい：4 名	・ 島が好きだから ・ 島でのコミュニティが1 番温かいから ・ 若くて動ける時にいろんな経験をしたい ・ 年をとってから島の良さを満喫する
④60 代以降に戻りたい：1 名	・ ゆったり暮らしたいから
⑤時期はわからないが、いつかは戻りたい:27 名	・ 生まれ育った島だからなのと、1 番リラックスできるから ・ 生まれて育ったところだから ・ 自分が育った島には愛着があるから ・ 島が大好きで、いずれかは島の子供たちや大人たちにスポーツや健康という面で貢献していきたいとも考えているから ・ 島が好きだから ・ 伝統文化をまもりたいから。島が好きだから。 ・ 帰りたいから (2 名) ・ 那覇に住んでみて、故郷の大切さに気づいたから ・ 西表島に帰って来るかは分からないけどいつかは絶対に帰ってきたいと思っているからです ・ 県外で住みたいって答えたけどやっぱり故郷だしみんな優しいし子育てとかしやすいから ・ 地域の方にお世話になったし、島の友達との交流をしたいから ・ 自分の地元に戻って恩返ししたいから ・ 故郷でも頑張りたいから ・ 島でカフェとか開きたいから

	・ (もしですよ、本当にもしの話ですけど)自分が人気になった時いつ戻れると分からないから ・ 島に戻りたくないとは思わないから ・ いつ戻るか分からないが、いつかは竹富で過ごす時間も取り入れていきたい。 ・ なんとなく ・ 長い休みの時に帰ってみんなと遊びたい ・ 島では設計の仕事食っていけないから ・ 生まれ育った島に戻ってきたいし、貢献したいけど、今自分がやりたいと思ってることとどう関連付けるかイメージできないため。 ・ やりたい事で忙しそう ・ 大人は忙しそうだから
⑥ずっと戻りたくない：4名	・ 兄が実家つぐからべつにいいかなーってかんじ ・ 島の人が好きじゃない ・ 島以外でやりたいことがあるから
その他：3名	・ コンビニないから不便 ・ 交通の便がよくないので生活用品を取り揃えたりするのが大変 ・ 今の所のつきたい仕事をやるのに住むにはあまり適していないと思うから

Q3+Q4 生まれ育った島に戻りたい時期



II 竹富町についてのあなたの気持ち・意見をお聞かせください。

Q5. 竹富町の好きなところはどんなところですか？ 自由に記入してください。n=60

自然が豊か	31
海がきれい	10
星がきれい	3
空気がきれい	2
景色・まちなみ	5
伝統行事・文化	7
人・地域コミュニティの優しさ・温かさ	17
人口が少ない	3
のんびりしている	3
支援の手厚さ	4
その他※	13

※その他：

・ 海を綺麗にしようとする所が好きなところ
・ 料理、夕日、静か、家族感
・ 魚が釣れる
・ ・ 治安が良い ・ 水がおいしい
・ 心が癒される感じがする。
・ ・ 安心する ・ 懐かしい思い出がたくさん思い出される
・ 居心地がいい
・ お互いの島に特別感がある所
・ 竹富町内での交流がいっぱいある。
・ 体験学習（海洋教育や地域、学校での交流）
・ 海洋体験が学校行事に多い
・ 道路で寝れる
・ ぜんぶ

Q6. 竹富町のイヤなところはどんなところですか？ 自由に記入してください。n=55

交通の不便さ	8
船賃が高い	2
石垣島にすぐに行けない	2
買い物に不便、店・品物が少ない、スーパーがない	10
コンビニがない	5
欲しいものがすぐに手に入らない	2
送料が高い	2
遊ぶ場所、娯楽がない	7
何もない	2
不便が多い	3
道路がガタガタしている	2
ごみが多い	2
その他※	16
特にない	3

※その他：

- ・ 病院なども隣の島に行かないと行けないところ
- ・ 運動公園がない
- ・ 映画館がない
- ・ 自分の習いたい習い事が自由にできない。石垣にならに行くのにもお金がかかるし、そもそも習える場所がなかったりする。
- ・ もっと自販機増やして欲しい
- ・ 学校のグラウンドとか部活道具とかもうちょい細かいところも整備してほしい
- ・ 特産品とかあんまりないイメージ
- ・ 物価高
- ・ 船代がころころ変わる
- ・ 坂が多い
- ・ 税金を上手く活用せず植栽をしていること
- ・ 建物があまりない
- ・ 海に囲まれてる
- ・ 田舎
- ・ 嫌な人が多い
- ・ 身内
- ・ 湿気がすごい

Q7. もしあなたが竹富町長になったら、どのような政策に重点を置きますか？自由に記入してください。n=48

(利便性の向上：交通)

- ・ 交通手段の改善
- ・ 船便数を増やす
- ・ 交通費（船代）の減額
- ・ 船賃安くする
- ・ 船代安くする
- ・ 船代

(利便性の向上：買い物)

- ・ ユニオンを作る
- ・ ファミマ作る
- ・ 店を増やす

(地域活性化・経済)

- ・ 地域のPR活動
- ・ 竹富町の活性化
- ・ 経済格差の対策
- ・ 空き地の利用計画

(人口減少・少子化対策)

- ・ 人口減少の改善
- ・ 少子高齢化対策に力を入れていきたい
- ・ 住宅地の増加で家族を増やして少子化対策
- ・ IターンやUターン

(子育て支援・教育)

- ・ 子どもを応援する政策
- ・ 教育面
- ・ 教育、子育て支援
- ・ 教育系。小さな学校が多いから、他校との交流とかを増やしたりして、視野を広げる。
- ・ 高校生以下に金配って子育てしやすくする
- ・ 高校進学する学生に対して奨学金の支援を行う
- ・ 島を離れた子供たちの支援
- ・ 義務教育を受けている、児童生徒の負担軽減

(娯楽・交流)

- ・ 子供や老人が遊べる場所をつくる
- ・ 天気に左右されなくて、いろんな世代が楽しみながら運動できる場所を作る

- ・ 遊べるところをつくる
- ・ 竹富町のみんなと関われるイベントを増やす

(文化)

- ・ 伝統文化の継承
- ・ 小浜の世界遺産認定

(自然・環境・景観)

- ・ 自然を残すこと
- ・ 自然を守る運動をする
- ・ 自然環境
- ・ ビーチクリーン
- ・ ポイ捨ての対策、観光名所として街の景観は綺麗に保ちたい
- ・ 竹富町の景観が崩れないように環境整備に力をいれます。
- ・ 道とかの整備。草刈りとか
- ・ 電柱をけす

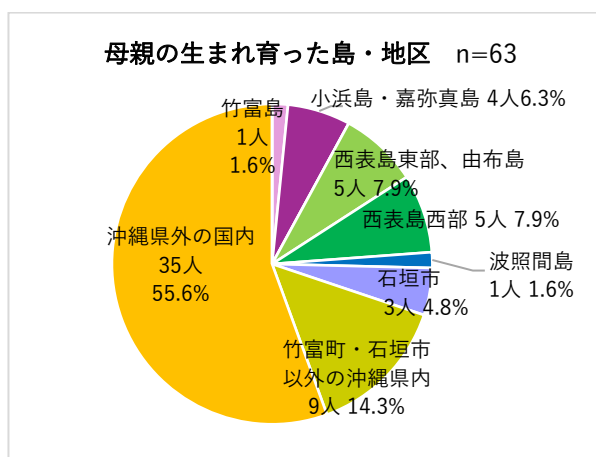
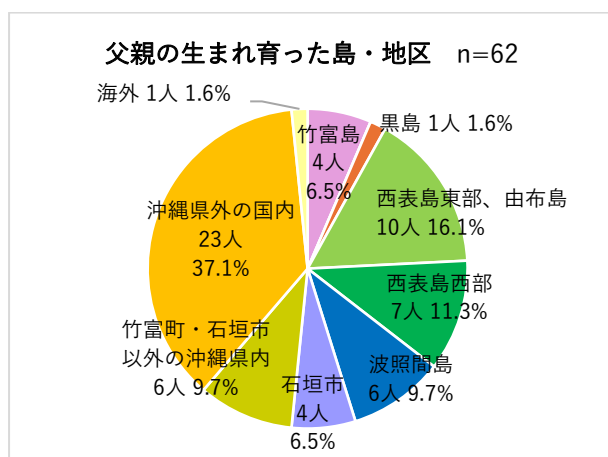
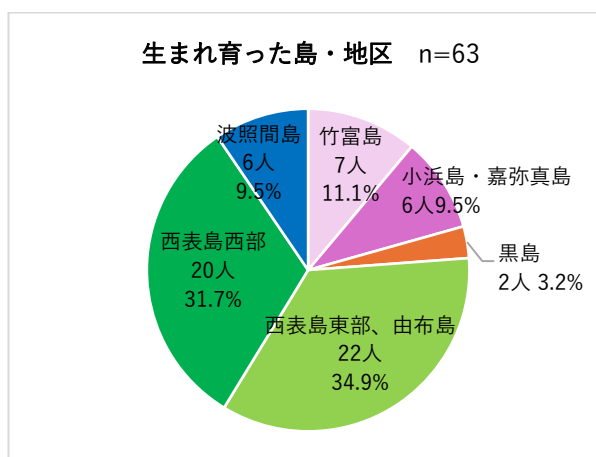
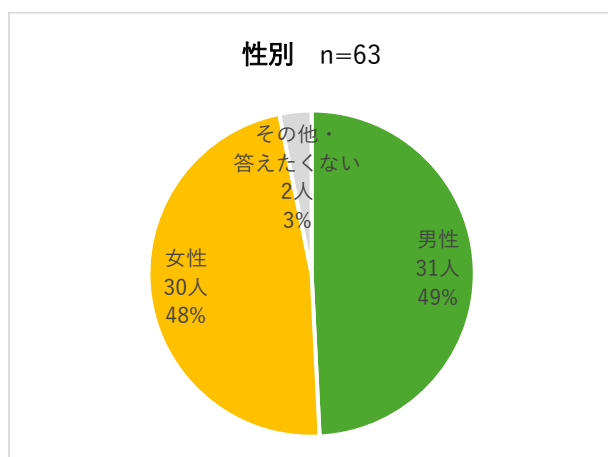
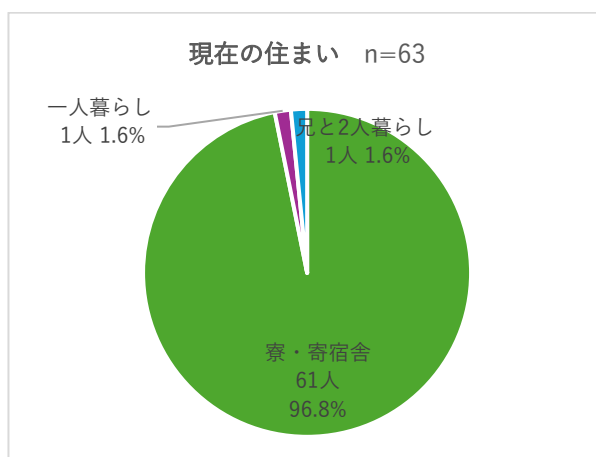
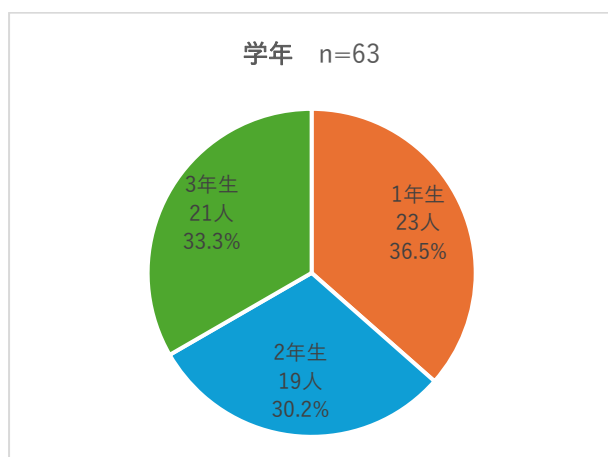
(その他の政策)

- ・ 福祉や医療
- ・ 町民が楽しく過ごせる
- ・ 島の人が暮らしやすい環境を作る
- ・ 町民の過ごしやすさ
- ・ 小さな子供からお年寄りまでが満足し、健康で文化的な最低限度の生活を営めるようにしたい
- ・ 離島でも本島と同じように扱うようにする
- ・ 住民以外の人から入島料をとる

(その他)

- ・ 今ある問題が分からないからなんとも言えない
- ・ そのままにする
- ・ 地域の人の不満を聞いて、島のダメなところを直していきたいです
- ・ 竹富町長になりたくないです
- ・ なるつもりはない

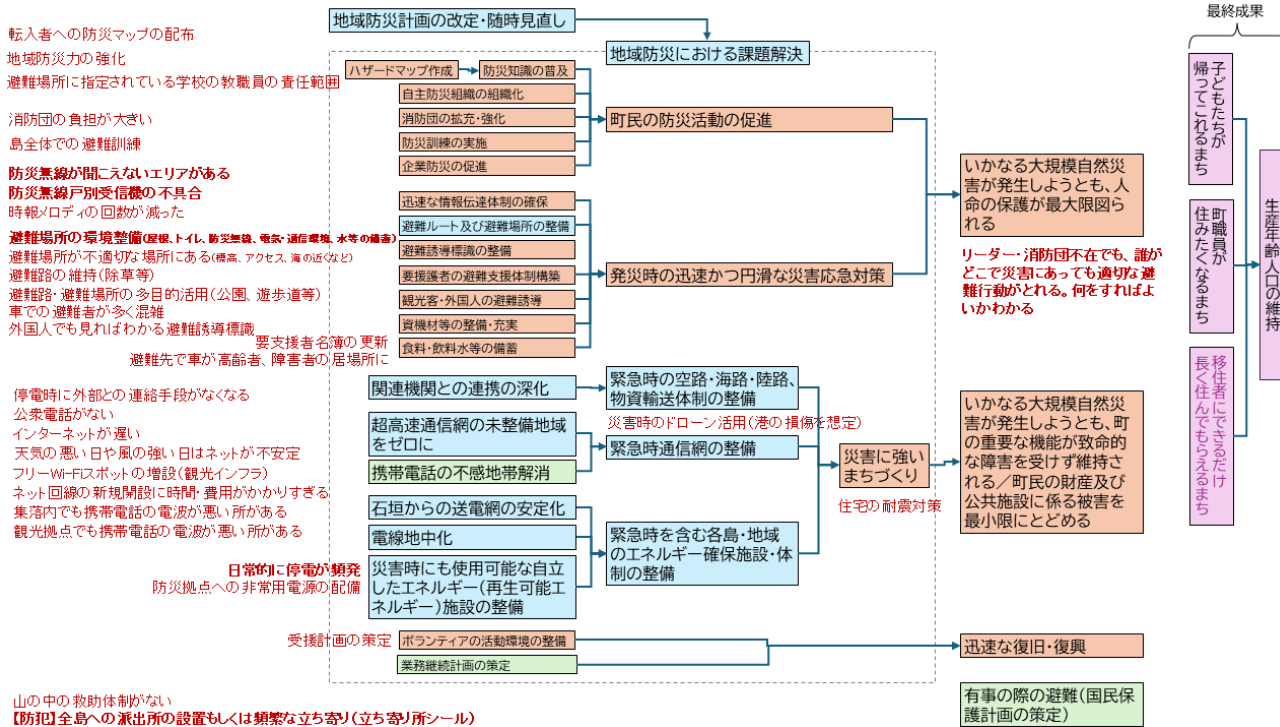
Ⅲ あなた自身のことについて教えてください。



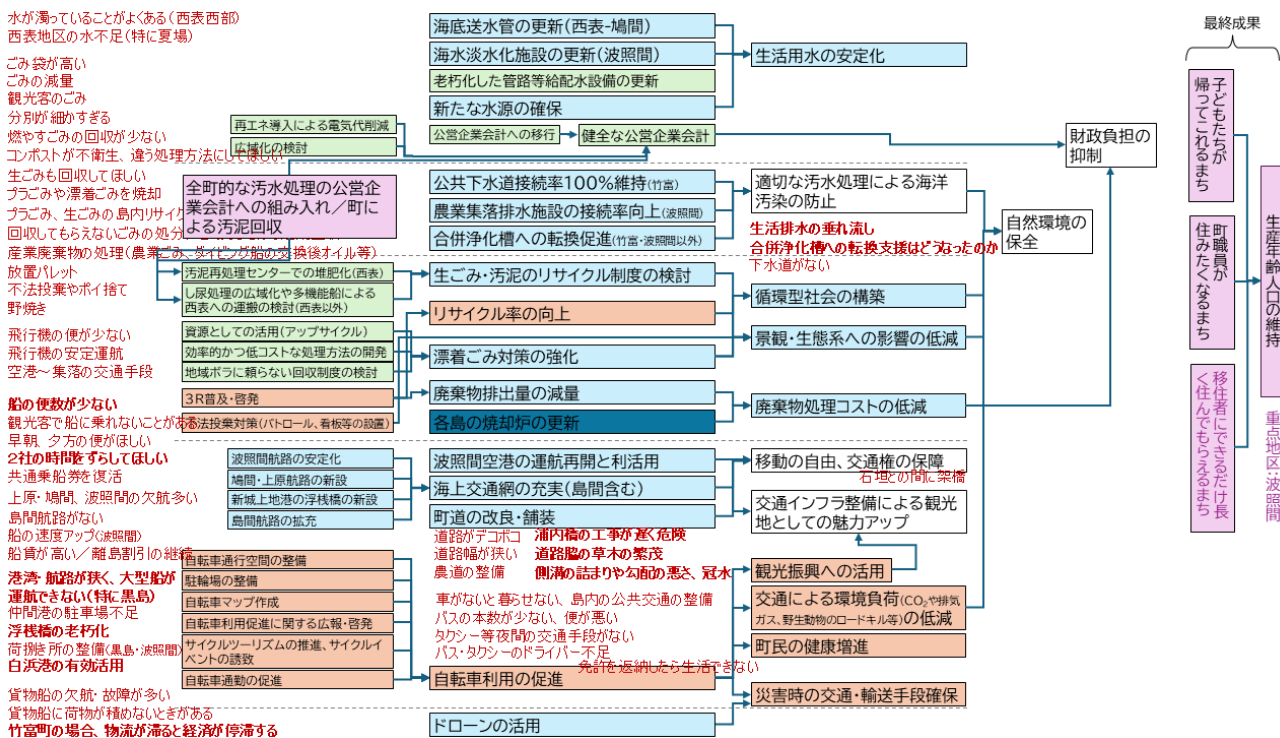
VI. 作業部会での議論

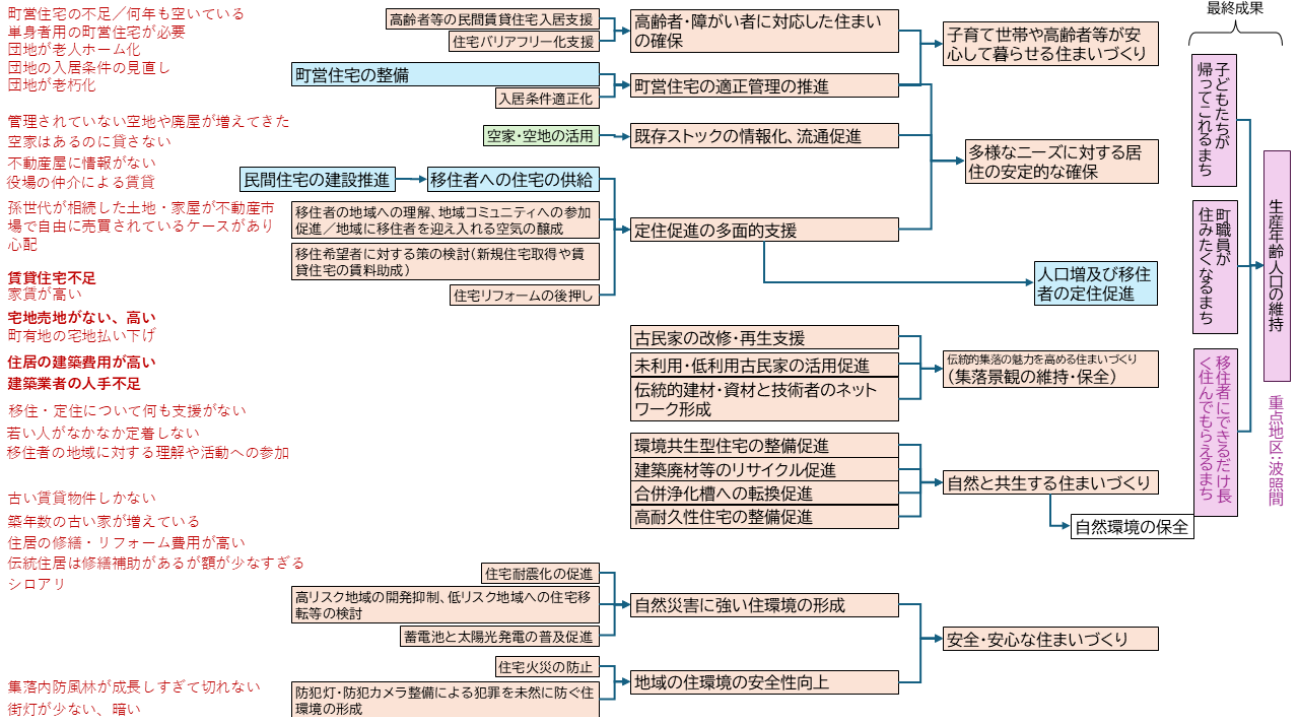
1 施策候補・課題リスト

町づくり目標1

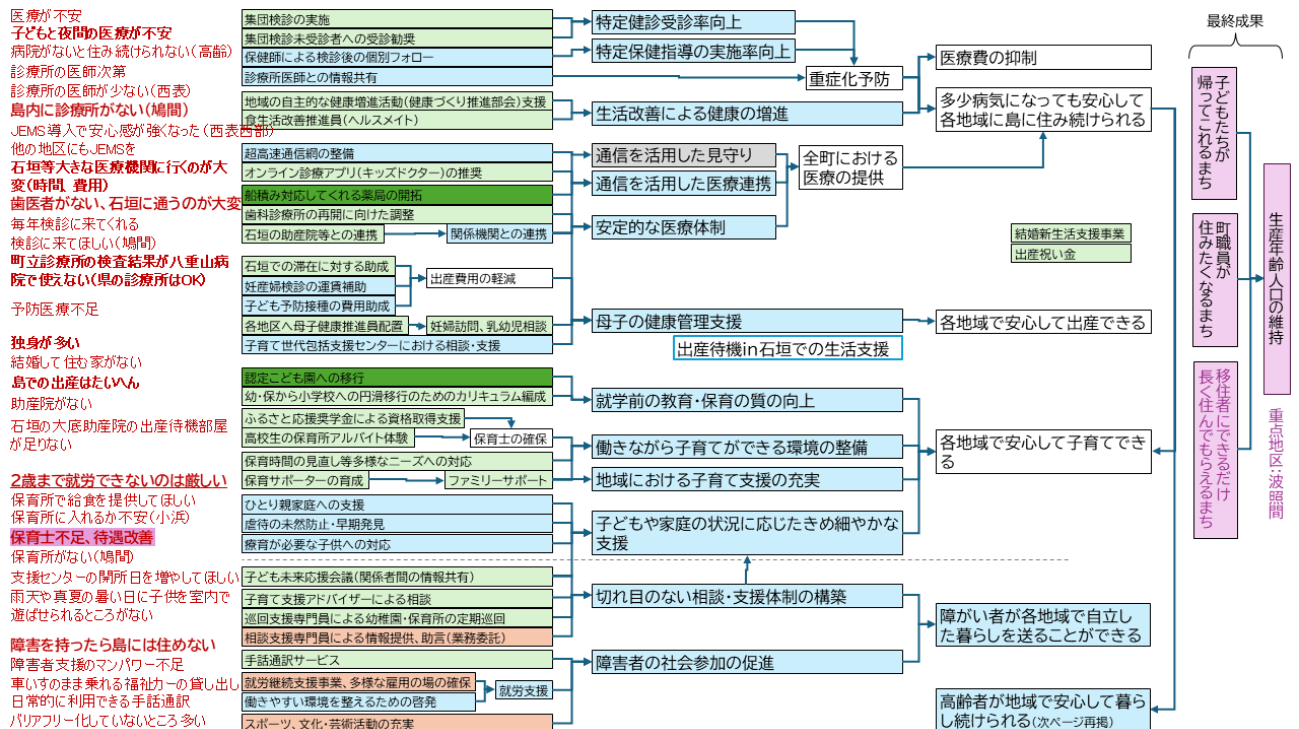


町づくり目標2-1 生活基盤

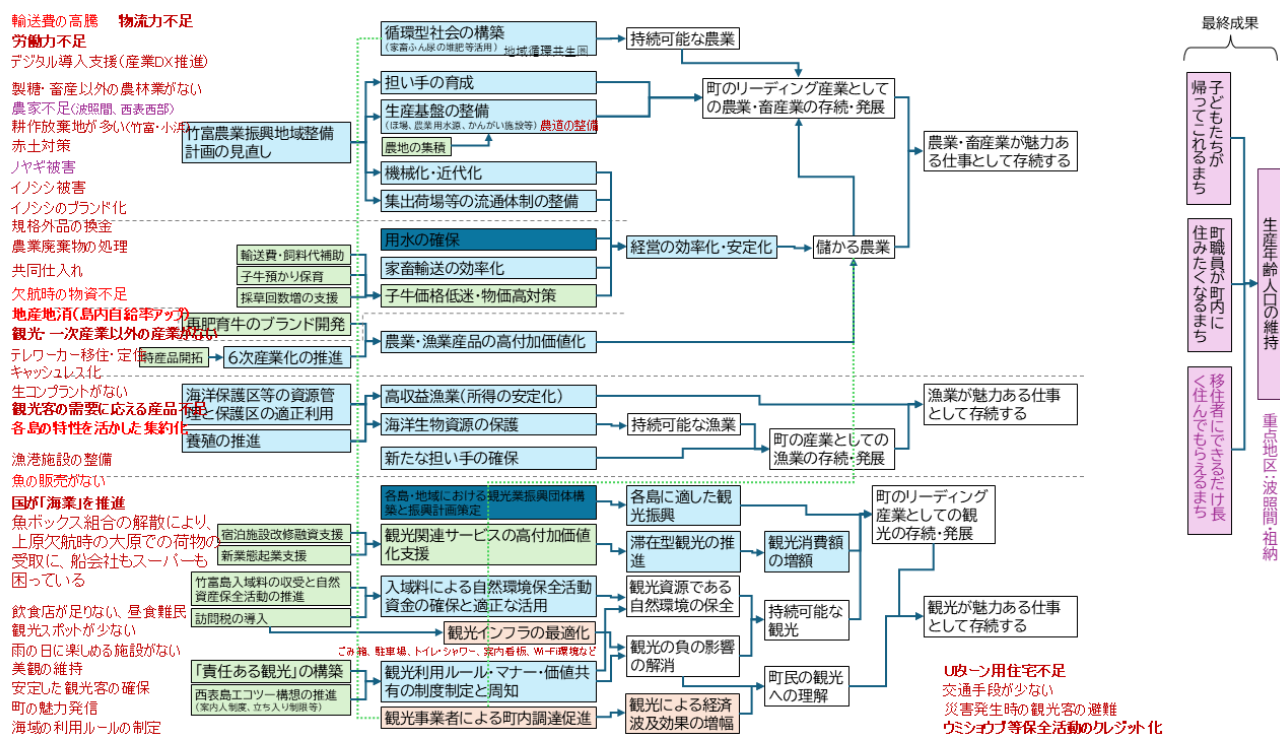




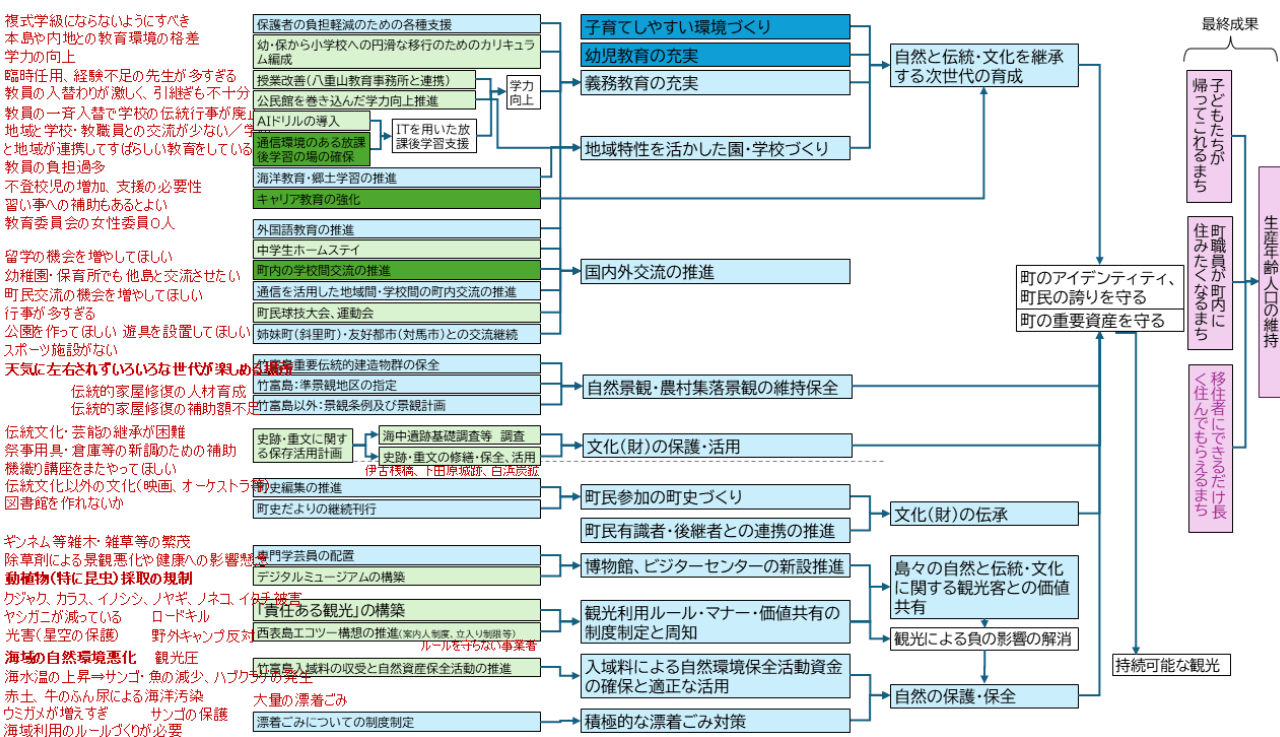
町づくり目標2-2 医療・福祉



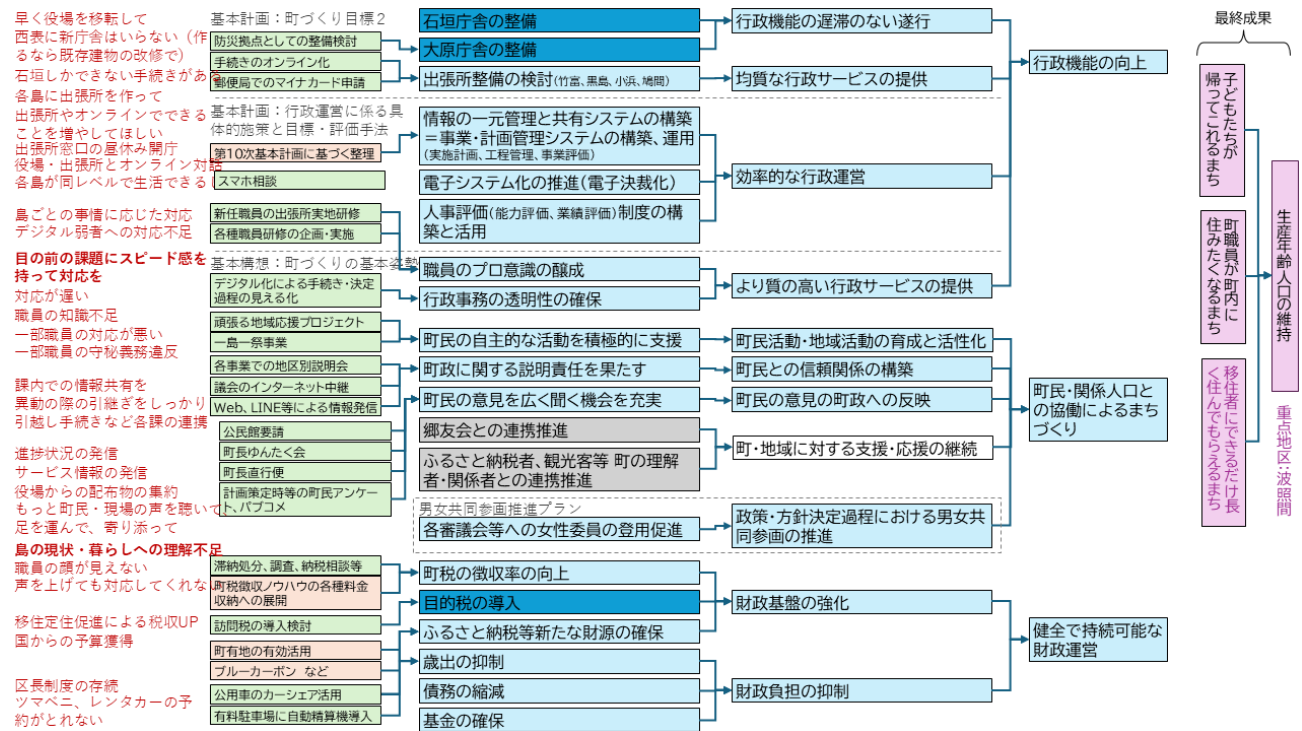
町づくり目標3



町づくり目標4



行政運営に係る施策



防災基礎・避難

地域防災計画の随時見直しと周知による防災力のたゆまぬ向上

住民と町との定期的な意見交換

様々な関連機関との連携の拡大と深化

災害時における連携・応援の確保体制の拡充

受援計画策定とそれに基づく体制整備

業務継続計画の実行が可能な体制の整備

観光と防災の連携強化

地域防災を支える基礎としての役場の防災力強化

転入者への防災マップの周知

消防団の負担が大きい

防災マップの更新

非常用持出品(最低限、水とトイレ?)準備の呼びかけ

増員の検討

女性団員の確保

防災拠点機能を備えた大原庁舎の整備

学校防災拠点化の促進(地域の避難所等としての拠点)

自主防災組織の組織化の支援

消防団の拡充・強化

防災拠点の環境整備

避難先で車が高齢者、障害者の居場所に

車での避難者が多かった

町民と観光客の良好な関係の構築

避難行動要支援者名簿の作成と、横連携によるそれぞれの避難方法の検討・随時確認

避難行動要支援者の避難支援体制構築

各地域での観光客受け入れ素地の醸成

観光と防災の連携強化

観光危機管理マニュアルの作成

事業者による観光客の避難誘導体制の構築

来訪者の存在も考慮に入れた地域防災力の強化(町民の防災活動の促進等)

誰がどこで災害にあっても、自助・共助によって適切な避難行動ができ、すべての町民と来訪者の命が守られる

島全体での避難訓練

防災拠点への非常用電源の配備

高齢者世帯・町からのお知らせ専用端末

防災無線・戸別受信機の定期メンテナンス、スピーカーの高性能化

避難者の把握・報告ツール

防災情報アプリ(電話による警報通知、公民館ごとの情報共有など)

観光事業者間での災害時の情報共有の場づくり

津波浸水想定域かつ防災無線空白域における迅速な情報伝達方法の検討(警報解除を知る手段も含む)

避難場所の備蓄保管庫に戸別受信機、ラジオ、スマホで受信して拡散するツールなど

多様な人・状況を想定した迅速な情報伝達手段の確保

多様な人・状況を想定した避難誘導方法の確立

外国人含む来訪者も町民同様に避難できる/観光事業者による避難誘導の対象外となる来訪者や、移動中等で土地勘のない場所にいる町民もちゃんと避難できる

誰にでもすぐわかる避難誘導標識の整備

「避難場所検索」等デジタルツールの導入・周知

標準、防災無線アナウンスの多言語化の推進

避難路の維持(除草等)

避難路・避難場所の多目的活用による維持(公園、散歩道等)

避難路・避難場所の整備・維持管理

適時・的確な避難行動をとるための環境整備

ライフライン確保/その他安全

日常的に停電が頻発

インターネットが遅い

天気の悪い日や風の強い日はネットが不安定

ネット回線の新規開設に時間・費用がかかりすぎ

集落内でも携帯電話の電波が悪い所がある

観光拠点でも携帯電話の電波が悪い所がある

生活基盤へ

停電対策の検討

電線地中化の推進

再生可能エネルギー導入の促進

災害時にも使用可能な自立したエネルギー

緊急時を含む各島・地域のエネルギー電気確保施設・体制の整備

災害時にも電気の供給が可能な環境等の整備

停電時や災害時に使える非常用電源の配備

公用車の電気自動車化+V2Hシステム、発電機やソーラー蓄電器など

インターネット接続環境の充実

家庭でのインターネット接続に係る支援(DX)

来訪者も活用できるWi-Fi整備の推進(DX)

5G等次世代高速通信整備の推進(DX)

スマホなんでも相談

携帯電話の不感地帯解消

デジタルデバйд対策

島嶼だからこそ必要不可欠な高速かつ強靱な通信環境の整備(DX)

緊急時のライフライン確保

防災行政無線の活用(要浸水対策)

警察電話、警察無線電話の活用

緊急時通信網の整備の通信手段の確保

停電時、携帯電話使えないときの通信手段の確保

耐震化の推進(住)

住宅防火診断、火災報知機設置指導の推進(住)

住宅の耐火性能向上に関する融資・支援の推進(制度についての普及促進)(住)

住宅火災防止(住)

災害に強いまちづくり

他の地区にもJEMSを

消防団の負担が大きい

山の中の救助体制が弱い

ヘリポートの機能安定化

JEMSとの連携強化の検討

消防団の拡充・強化

救急体制

来訪者への本町の医療・消防体制の理解促進、#7119・#8000の周知

山中の遭難救助(西表)

【防犯】全島への派出所の設置も検討

頻繁な立ち寄り(立ち寄り) 交番のない島への巡回強化(定期的な巡回の要請、情報共有など)

防犯

星空保護と防犯を両立する街灯・防犯灯の設置・調整

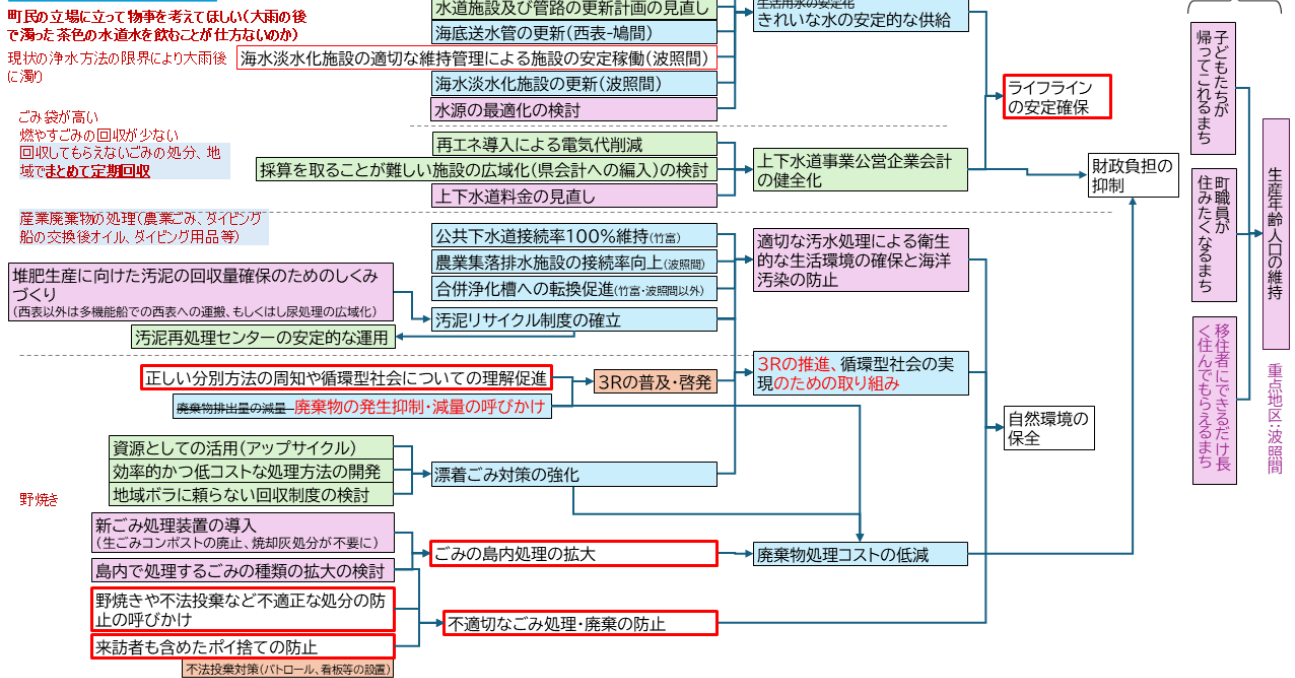
防犯灯・防犯カメラの整備推進(住)

様々な事態に備え、安心して暮らすことができる

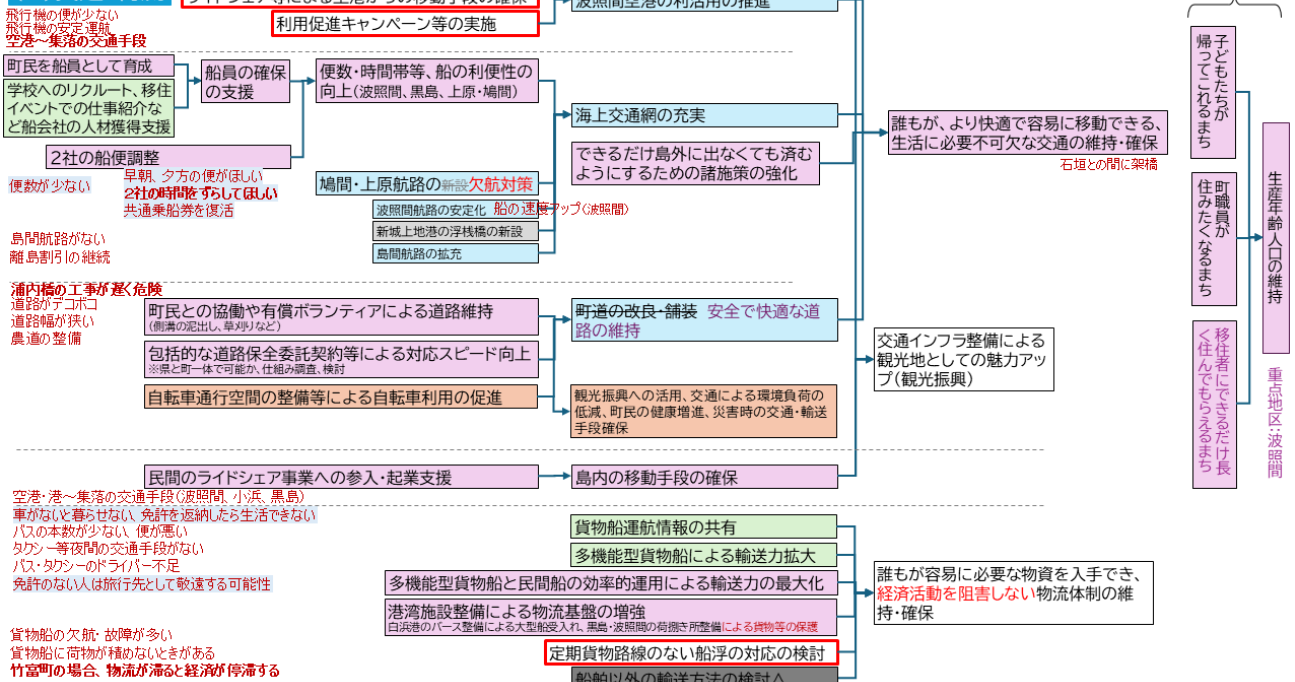
有事の際の避難(国民保護計画)

生活基盤部会(町づくり目標2-1)

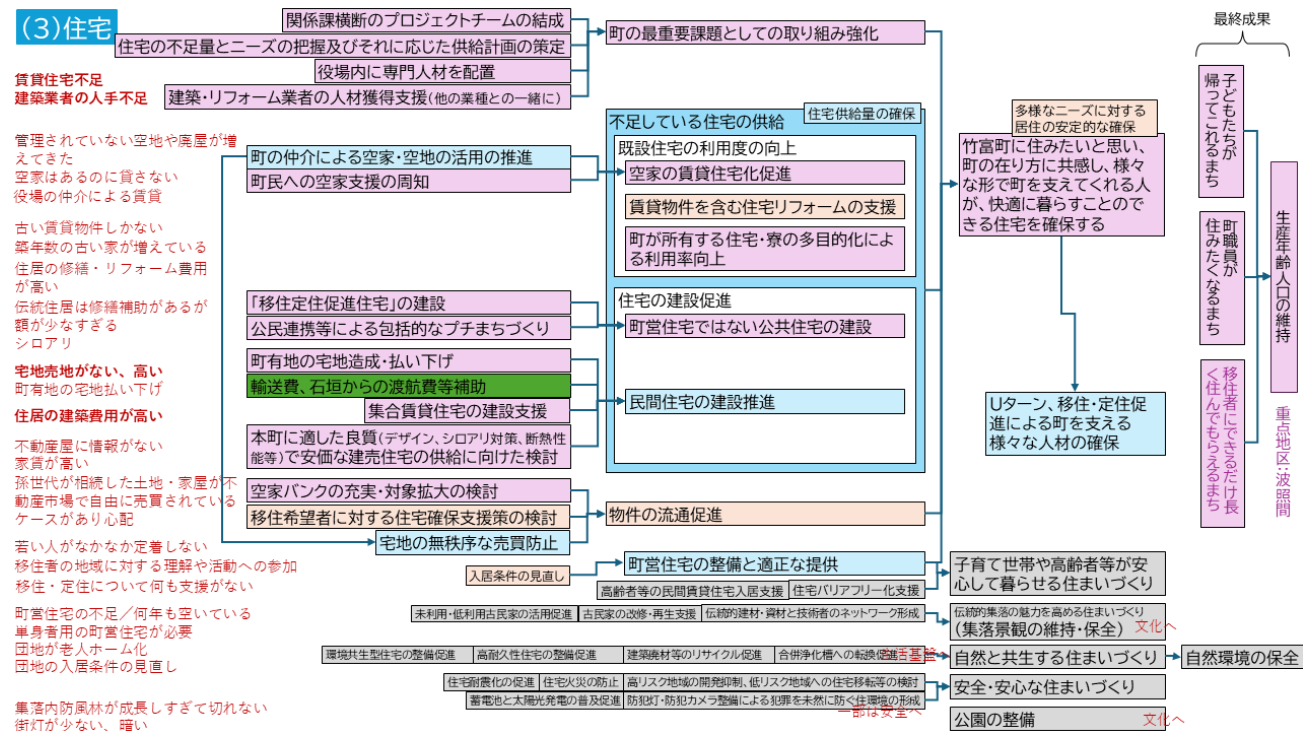
(1) 上下水・廃棄物



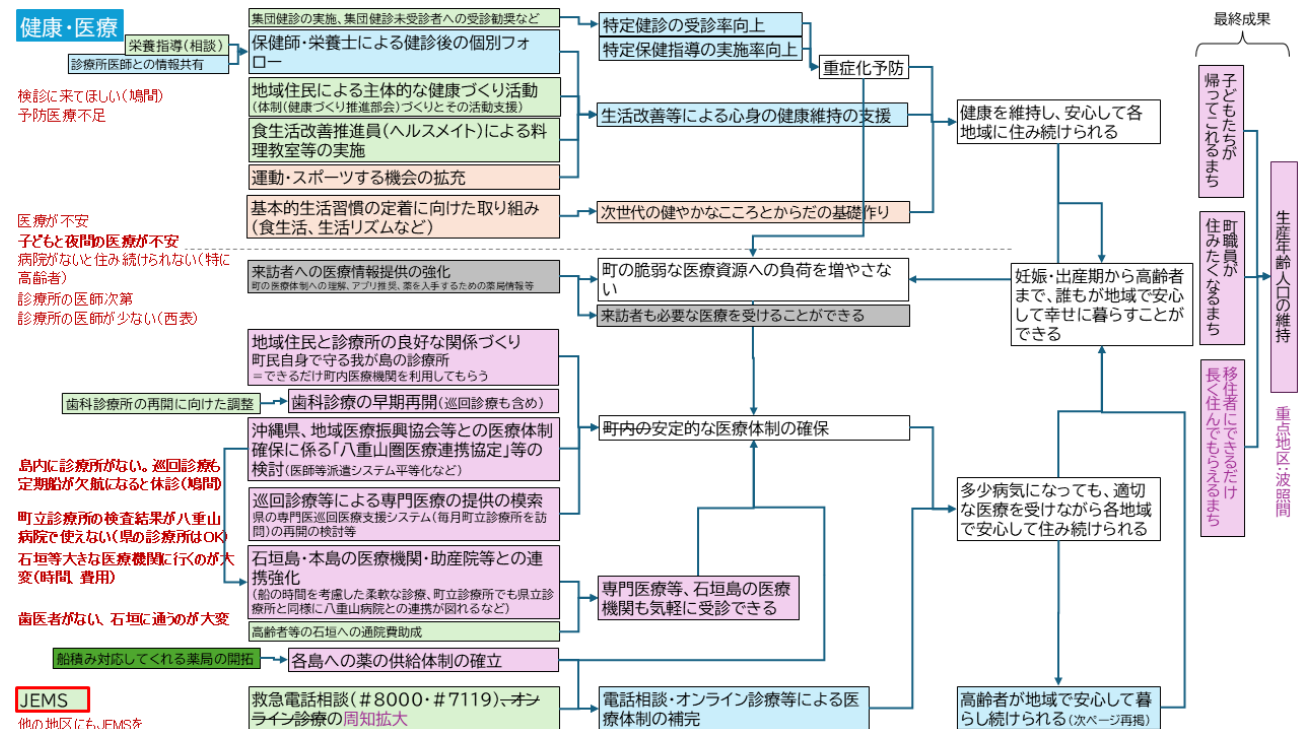
(2) 交通・物流

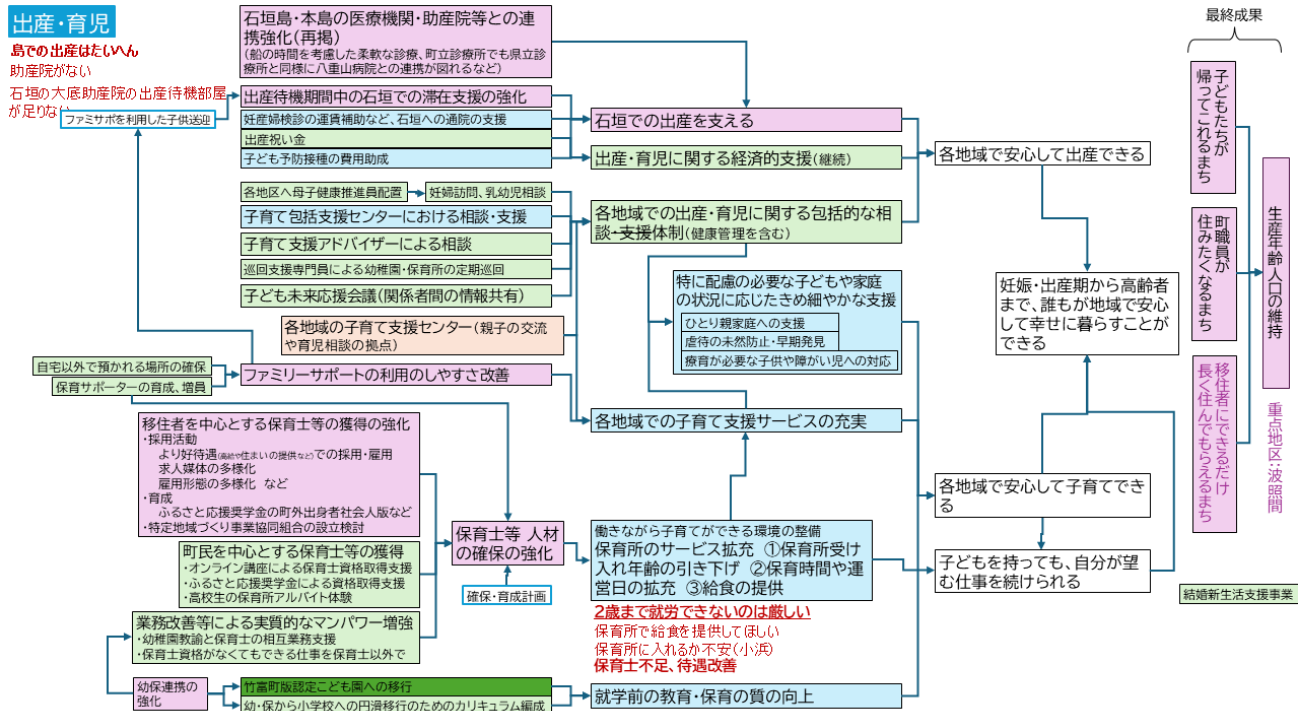


2 議論の結果

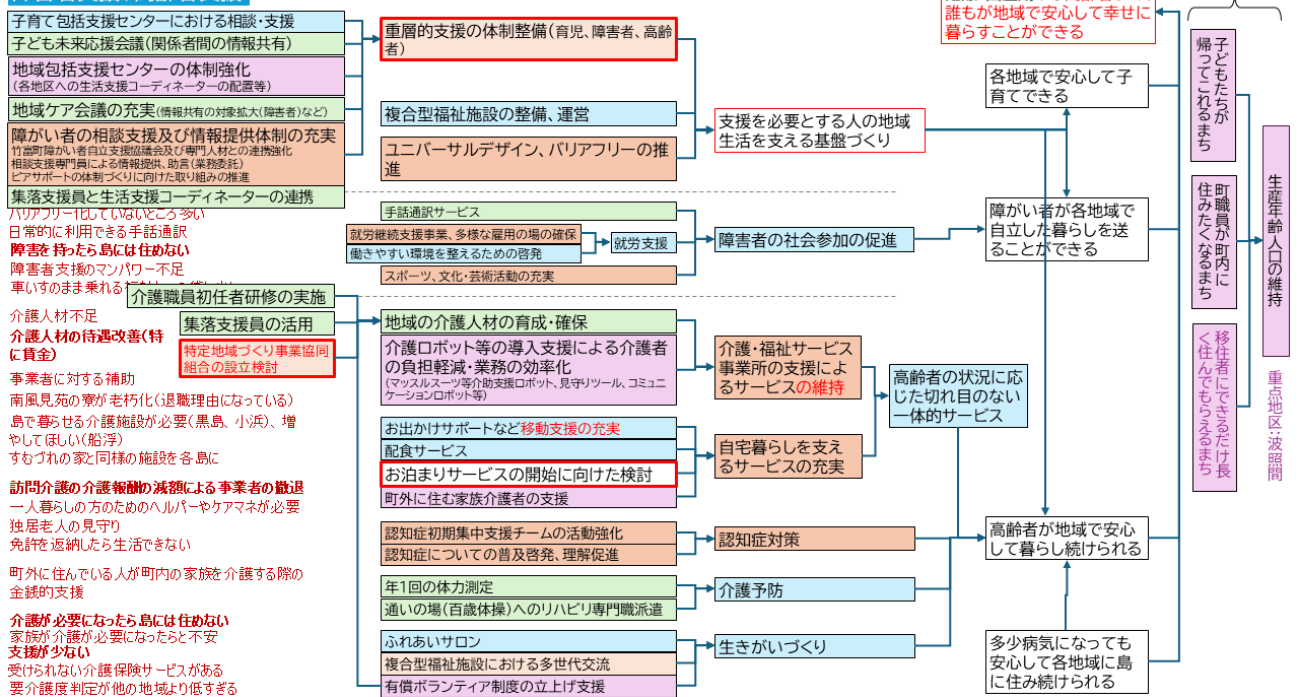


医療福祉部会(町づくり目標2-2)

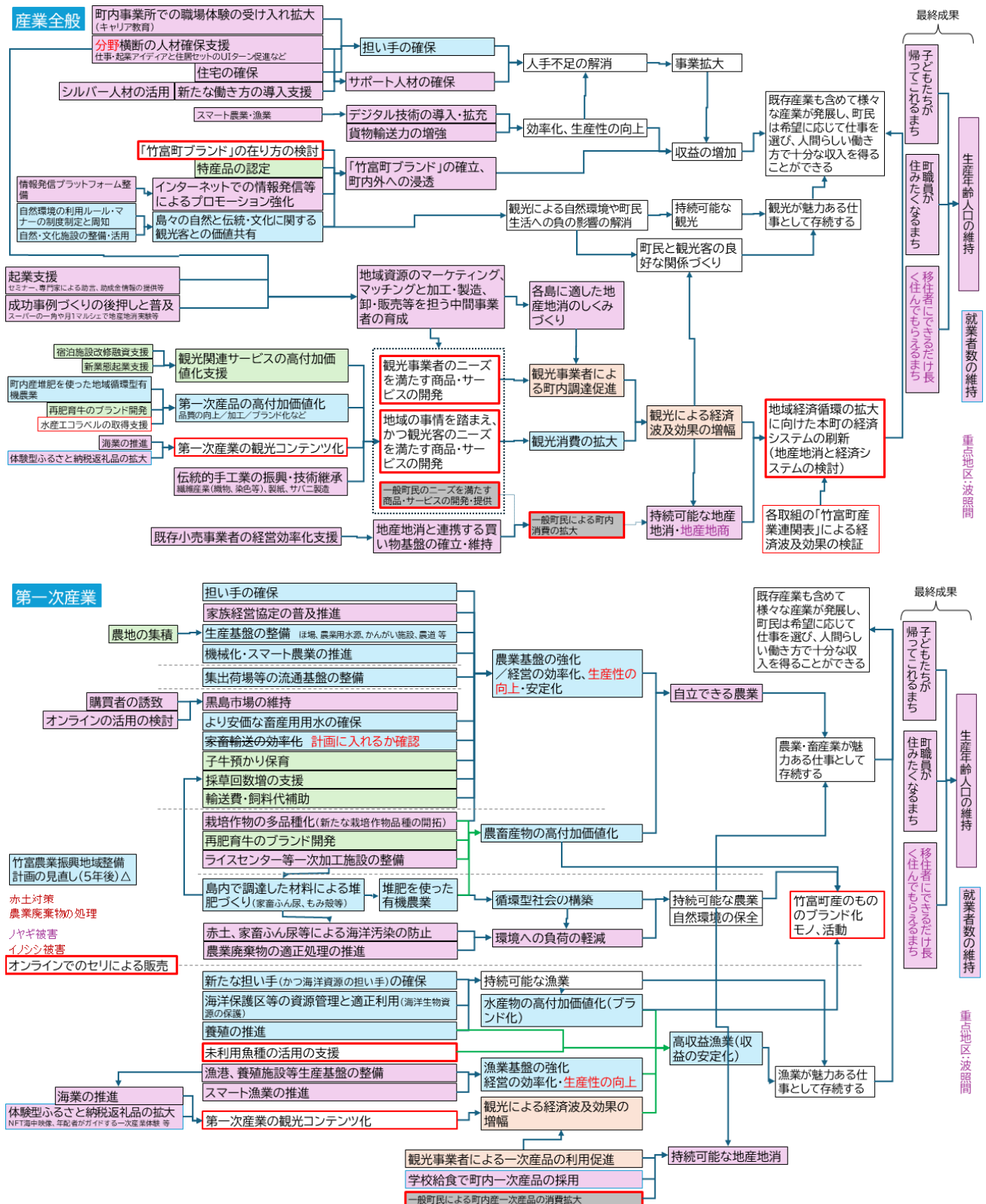




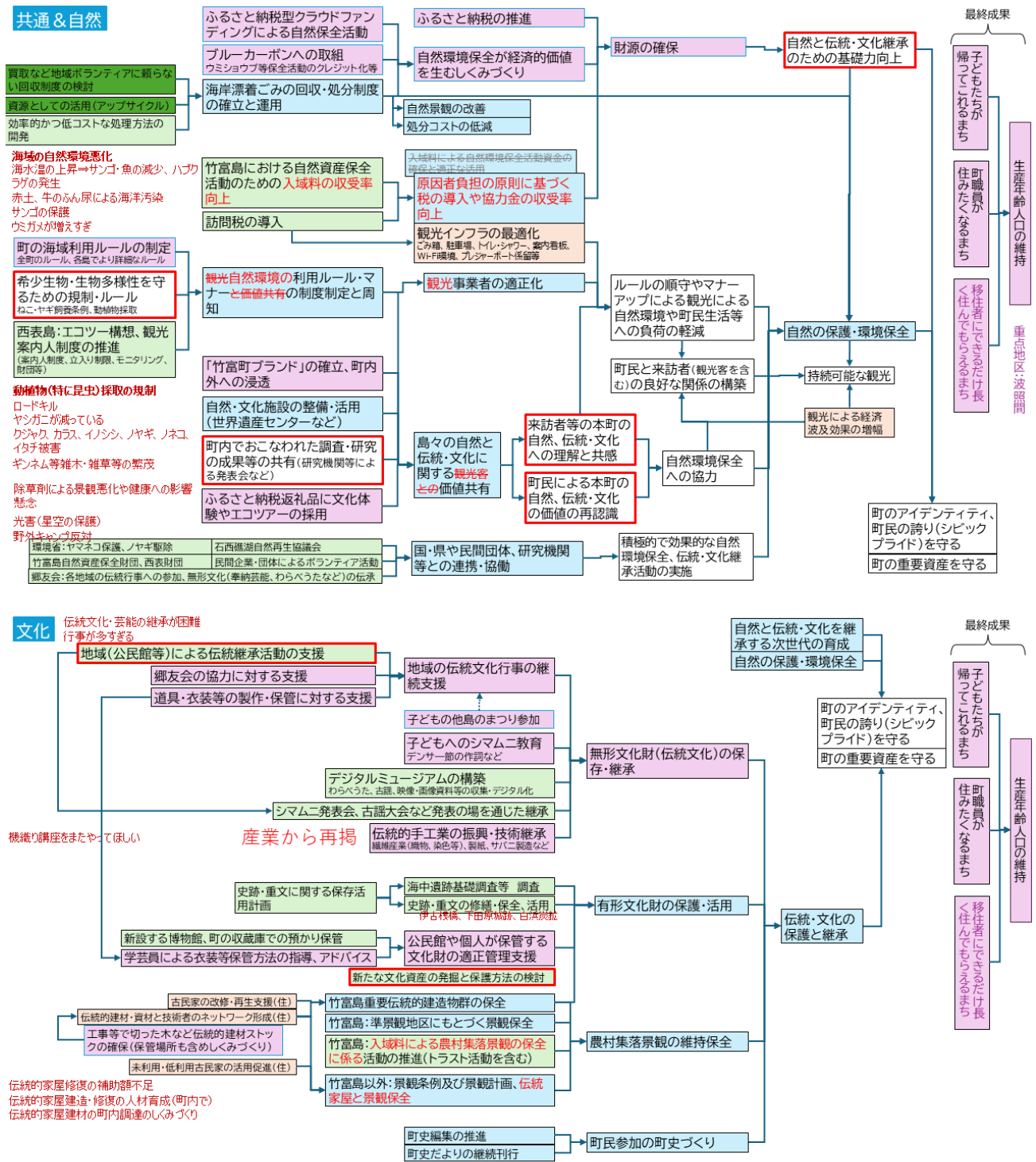
障害者支援、高齢者支援



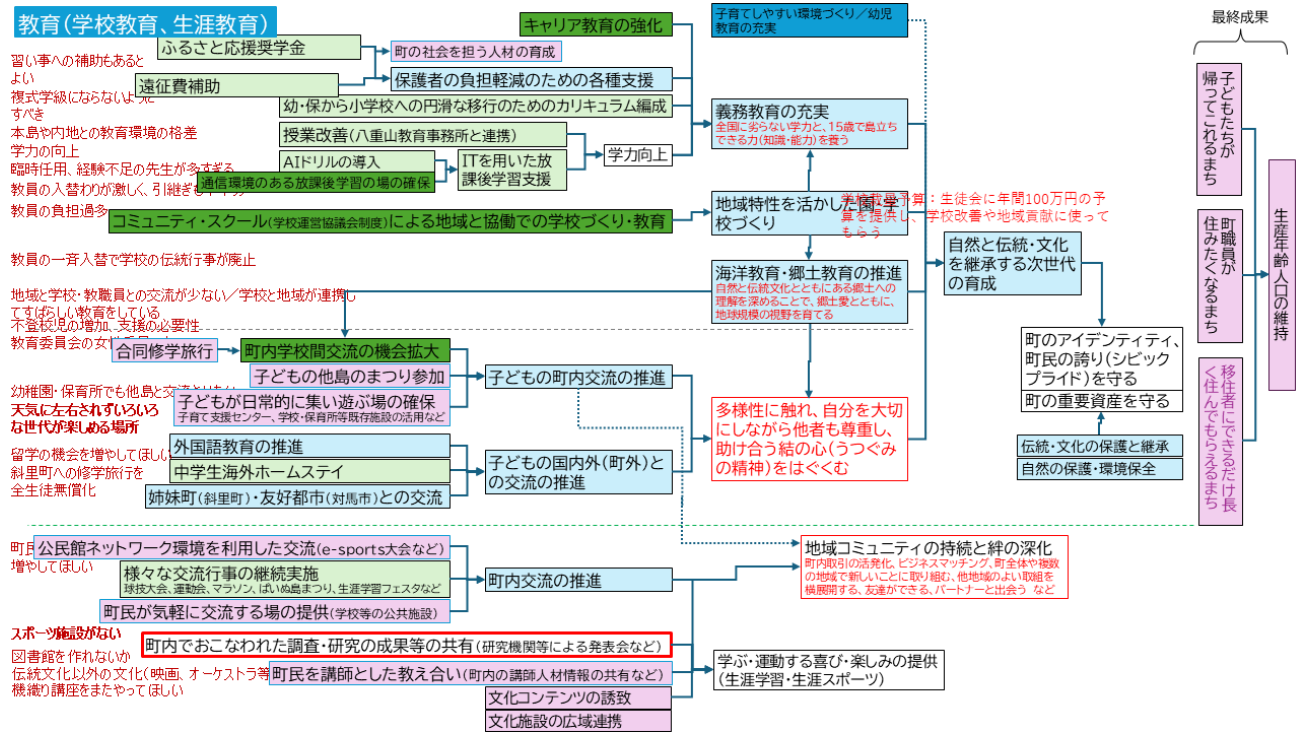
産業部会(町づくり目標3)



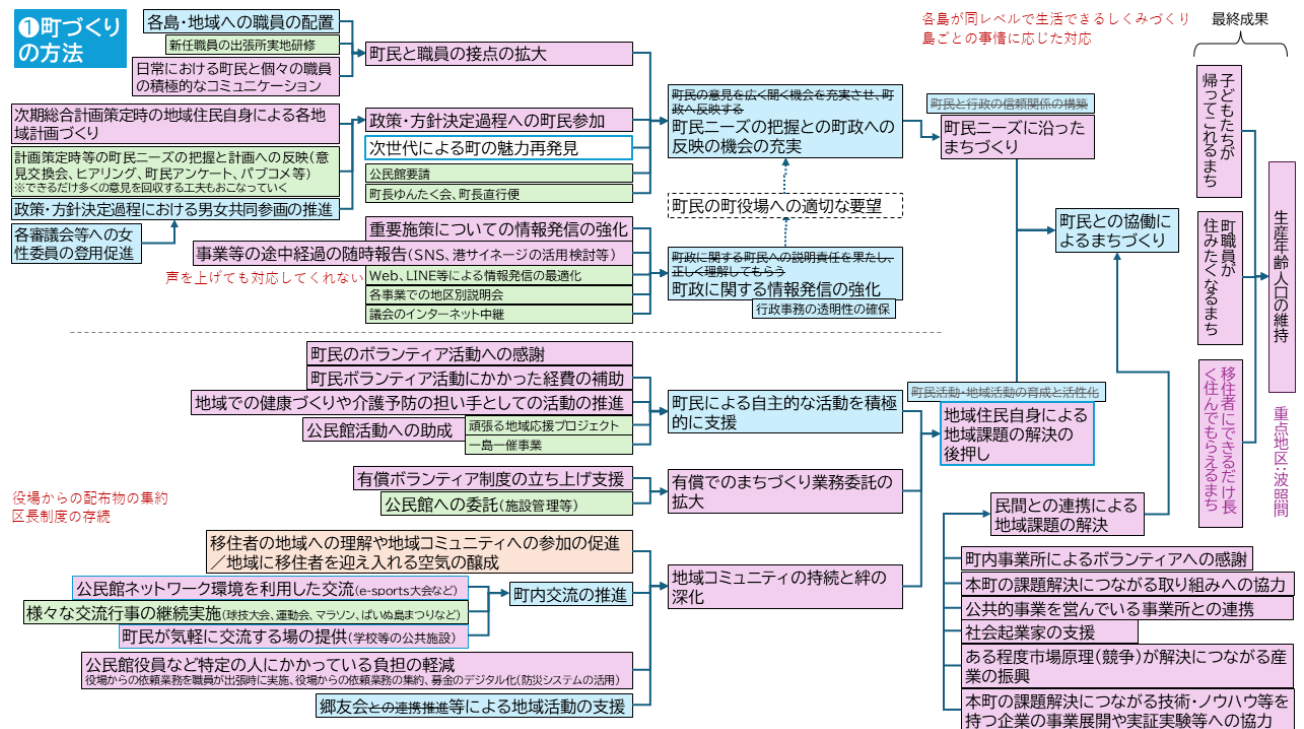
自然・文化部会(町づくり目標4)

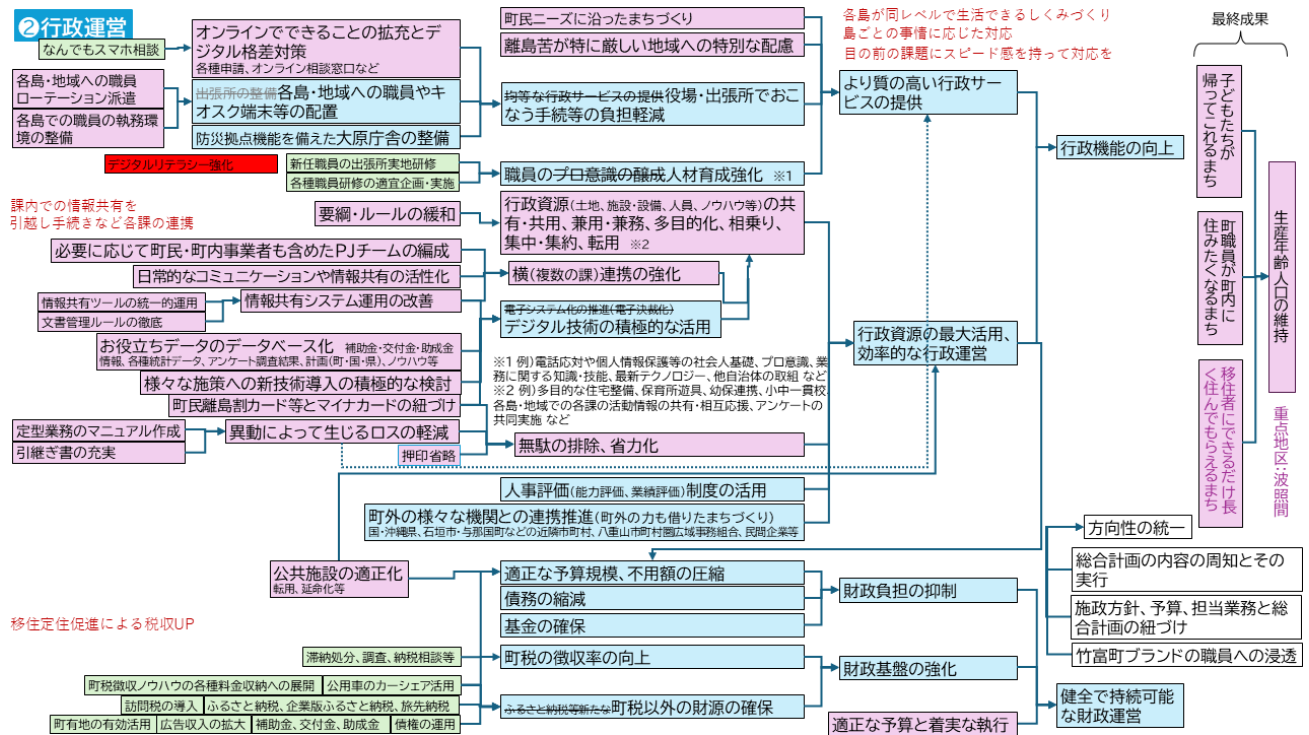


2 議論の結果



行政部会(行政運営に係る施策)





竹富町総合計画 第10次基本計画

竹富町デジタル田園都市構想総合戦略

＜別冊(資料編)＞

令和7年3月

編集：竹富町政策推進課

〒907-8503 沖縄県石垣市美崎町11番地1

TEL：0980-93-0507